

取扱説明書

日立液晶テレビ

(地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵)

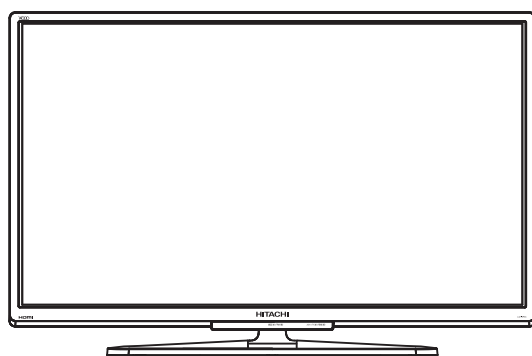
型式

エル 3 2 ジーピー 3 5

L32-GP35

エル 4 3 ジーピー 3 5

L43-GP35



HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

AVCHD
TM



DOLBY AUDIOTM



このたびは日立液晶テレビをお求めいただき、ありがとうございました。

本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、L32-GP35、L43-GP35と表記しています。

本機は内蔵ハードディスクや市販の外付ハードディスクを接続してテレビ番組を録画することができます。ハードディスクは一時的な保管場所です。万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、ハードディスクの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

最初に

この取扱説明書に記載の「安全上のご注意」をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
取扱説明書と保証書は大切に保管してください。『保証書』は梱包箱の上部内側に添付されています。

HITACHI
Inspire the Next



安全上のご注意 **9**

各部のはたらき **16**

テレビの
準備をする **20**

接続・設定をわかりやすく説明しています

テレビを見る
とき **47**

使える
メディア **66**

予約するとき
(録画) **69**

見るとき
(再生) **94**

残すとき
(ダビング) **104**

テレビをお好みの
設定にするとき **119**

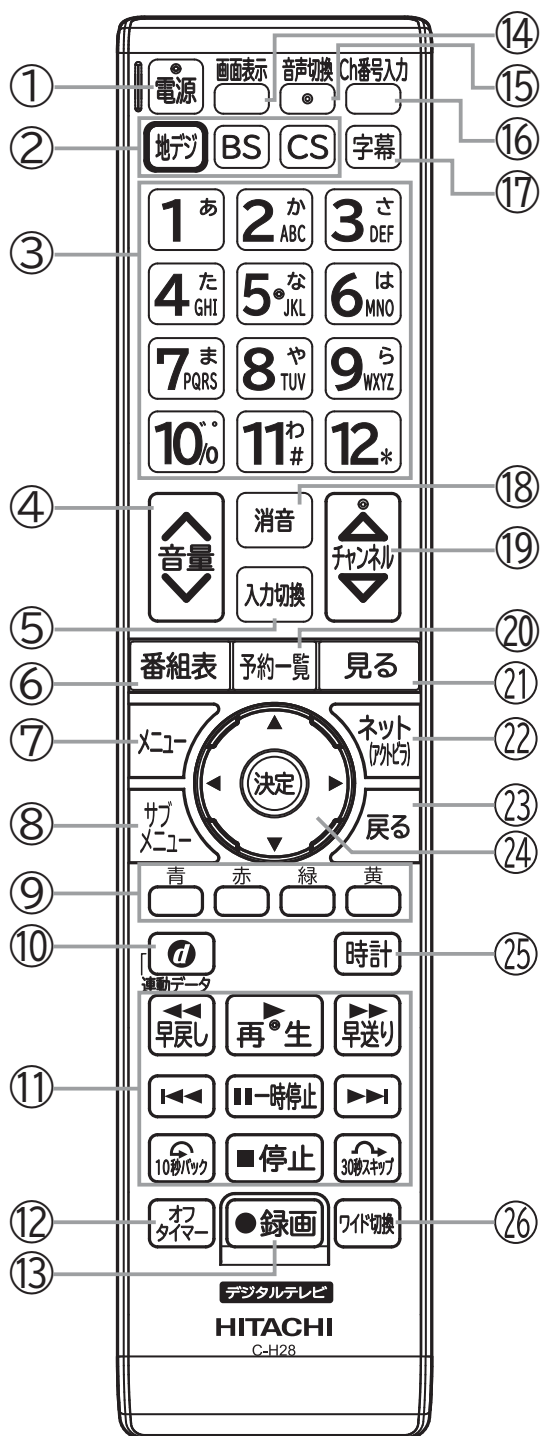
お知らせ **162**

困ったとき **168**

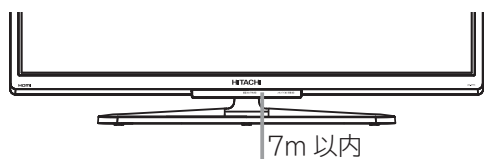
リモコンのボタンの位置とはたらき

この製品はリモコンコードを変更できます。

当社製テレビがもう1台近くにあるときなどに切り換えると便利です。
くわしくは **P.155** をご覧ください。



リモコンの使用範囲



リモコン受光部に正しく向けてください。
使用範囲は角度により異なります。

- ① **電源**：電源を入/切する。 **P.47**
- ② **地上、BS、CS**：地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送に切り換える。 **P.47**
視聴しない放送波のボタンを無効にすることができます。 **P.155**
- ③ **数字ボタン**：チャンネルを直接選んだり、数字や文字を入力する。 **P.47・107**
- ④ **音量** **▲ ▼**：音量を調節する。 **P.47**
- ⑤ **入力切換**：押すごとに、ビデオ1→ビデオ2→HDMI1→HDMI2→放送の順に切り換わる。 **P.48**
使用しない入力をスキップ(飛び越し)することができます。 **P.149**
- ⑥ **番組表**：番組表を表示する。 **P.52**
番組表から録画予約をする。 **P.82**
- ⑦ **メニュー**：メニューを表示する。 **P.119**
- ⑧ **サブメニュー**：サブメニューを表示する。 **P.119**
- ⑨ **色ボタン**：番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用できる。 **P.47・52・94**
画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。
- ⑩ **データ**：デジタル放送のとき、テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示する。 **P.47**
画面に「@ ボタンを押してください」と表示が出たときにも押します。
- ⑪ **早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、10秒バック、30秒スキップ**：本体に録画した番組などを見るときに使う。 **P.95~99**
- ⑫ **オフタイマー**：押すごとに30分、60分、90分、120分後に電源が切れるように設定できる。 **P.56**
- ⑬ **録画**：見ているデジタル放送をすぐに録画する。 **P.81**
- ⑭ **画面表示**：番組名、チャンネル番号、残量時間、録画中、再生中、視聴中の情報などを画面に表示する。 **P.49**
- ⑮ **音声切換**：視聴中や再生中の音声を切り換える。 **P.51**
- ⑯ **Ch 番号入力**：このボタンに続けて3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ。 **P.47**
- ⑰ **字幕**：デジタル放送のとき、字幕の言語や、表示の有無を設定する。 **P.50**
一部録画したものでも字幕表示の操作ができます。 **P.75**

- ⑮ **消音**：音を一時的に消す。
音声出力先手動切換を「入」に設定した場合は、押すごとに消音→ヘッドホン→スピーカーの順に切り換わる。P.132▶
- ⑯ **チャンネル** ▲ ▼：チャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。P.47▶
- ⑰ **予約一覧**：予約一覧画面を表示する。P.87▶
時刻指定予約をする。P.85▶
- ⑱ **見る**：録画一覧(全)を表示する。P.94▶
- ㉑ **ネット**：「ネットワーク」のサービスを選ぶ。P.62▶
- ㉒ **戻る**：メニューなどの画面を表示中に、1つ前の画面や元の画面に戻る。P.119▶
- ㉓ **上下左右、決定**：番組表、メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする。P.53・119▶
- ㉔ **時計**：現在時刻を表示する。P.49▶
- ㉕ **ワイド切換**：お好みの画面サイズを選ぶ。P.58▶

■この取扱説明書について

- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 画面の背景や放送などの映像や絵は、はめ込み画像です。
- 本書では、本機の内蔵ハードディスクを「本体」、外付ハードディスクを「外付」、iVDR規格のカセット式ハードディスクを「カセットHDD」、ハードディスクを「HDD」と表現している場合があります。

もくじ

リモコンのボタンの位置とはたらき	2
------------------	---

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください	9
ご使用上のお願い	13
● 本機の設置についてのお願い	14
● 転倒防止についてのお願い	14
留意点	15

各部のはたらき

本体前面/側面	16
本体後面	18

テレビの準備をする

テレビを見るまでの準備の流れ	20
----------------	----

準備 1 付属品を確認する	21
---------------	----

準備 2 miniB-CAS カードを入れる	22
------------------------	----

準備 3 アンテナをつなぐ	23
---------------	----

- UHF アンテナ 23
- BS・110 度 CS アンテナ 23
- CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき 24
- レコーダーを通して接続するとき 24

準備 4 他の機器とつなぐ	25
---------------	----

- ビデオ/ゲーム機との接続 25
- 携帯音楽プレーヤーとの接続 25
- HDMI 機器との接続 26
- デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続 28
- アナログ音声入力対応のオーディオ機器との接続 28
- CATV(ケーブルテレビ)のデジタルセットトップボックスとの接続 29
- スカパー！プレミアムサービスチューナーとの接続(録画) 30
- 本機の家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとの接続 32

準備 5 インターネットにつなぐ	34
------------------	----

準備 6 リモコンの準備をする	36
-----------------	----

準備 7 電源を入れる	37
-------------	----

準備 8 かんたんセットアップをする	38
--------------------	----

屋内配線も重要です	40
-----------	----

準備 9 外付ハードディスクやカセット HDD を使う	41
-----------------------------	----

- 未登録の外付ハードディスクを登録する 43
- 外付ハードディスクの登録・接続状況を確認する/登録名を変更する/登録を削除する 45
- 外付ハードディスクやカセット HDD を取り外す 46

テレビを見るとき

デジタル放送を見る

(地上・BS・110 度 CS デジタル)	47
-----------------------	----

- データ放送を見る 47

他の機器の映像を見る(入力切替)	48
------------------	----

他の機器の音楽を聞く	48
------------	----

- ビデオ 2 に接続した携帯音楽プレーヤーを聞く場合 48

チャンネル番号などを表示する	49
----------------	----

現在時刻を表示する	49
-----------	----

字幕を出す	50
-------	----

チャンネル内の映像を切り換える(映像切替)	50
-----------------------	----

視聴中の番組の音声切り換える(音声切替)	51
----------------------	----

「サラウンド」で聞く	51
------------	----

番組表を見る	52
--------	----

- 番組表について 52
- 放送中の番組を番組表から選んで見る 53
- 番組表の表示チャンネル数や表示対象を変更する 53
- 選択した放送局の番組情報を取得する 53
- 番組表で番組を検索する 54

番組の詳しい情報(番組説明)を見る	55
-------------------	----

画面だけを消す(消画)	56
-------------	----

自動的に電源を切る(オフタイマー)	56
-------------------	----

自動的に電源を入れる(オンタイマー〈目覚まし〉)	57
--------------------------	----

画面サイズを選ぶ	58
----------	----

HDMI で接続した AV アンプの音量を調節する	60
---------------------------	----

「ネットワーク」で動画を楽しむ	61
-----------------	----

- 「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定 62
- 利用するサービスを選び、専用画面を表示する 62
- 「ネットワーク」を利用中の文字入力のしかた 64

家庭内ネットワーク機能に対応したテレビで見る	65
------------------------	----

使えるメディア

本機で使えるメディア(ハードディスク・カード) — 66

- 本機で録画・再生ができるハードディスク — 66
- 本機で再生できる SD カード、USB — 67
- ハードディスクの構成の区分 — 67
- ハードディスク(本体、外付)について — 68
- カセット HDD について — 68

予約するとき(録画)

録画・録画予約の前に — 69

- 本機でできる録画・録画予約について — 69
- 番組の録画制限、ダビング制限について — 70
- 録画モードとおよその録画時間(目安) — 72
- 二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕の録画 — 75
- 録画中のチャンネルや入力の切り換え — 76
- 2 番組を同時に録画する場合(2 番組同時録画) — 77
- 予約が重なった場合 — 78
- 同時操作について — 79

テレビ番組を今すぐ録る(一発録画) — 81

番組を録画予約する — 82

- 番組表から簡単に予約する(簡単予約) — 82
- 番組表から好みの設定で予約する(詳細予約) — 83
- 予約内容を手動で入力して予約する(時刻指定予約) — 85

予約の便利な機能 — 86

- 番組指定予約したデジタル放送の予約を自動追跡する — 86

予約の確認・変更・削除/

録画中の予約の録画を停止する — 87

- 設定済みの予約を確認する(「予約一覧」画面の表示) — 87
- 一時的に毎週/毎日録画をやめる(予約スキップ) — 87
- 設定済みの予約の内容を変更する — 88
- 不要な予約を取り消す — 88
- 録画中の予約の録画を停止する — 88

他の機器の映像を録画する — 89

- スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画する(「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画)) — 89

録画した番組を本体と外付の間で移動する — 91

- 本体/外付間の番組の移動について — 91
- 録画した番組を手動で移動する(番組手動移動) — 92
- 番組の移動実行中に途中で中止するときは — 93

見るとき(再生)

録画した番組を見る — 94

- 録画した番組の一覧について(録画一覧画面) — 94
- 録画した番組を見る(通常再生) — 95

いろいろな見かた — 96

- 停止した位置の続きから見る(つづき再生・リジューム停止) — 96
- 再生速度を変えて見る・聞く — 97
- 見たい番組や場面までとばす — 97
- くり返して見る(リピート再生) — 98
- 録画中の番組を最初から見る(追いかけ再生) — 99

再生中の切り換え — 100

- 音声(言語)、字幕(言語)を切り換える — 100

写真・ビデオを見る — 101

- SD カードの出し入れ — 101
- USB 機器との接続 — 101
- 写真を連続して再生する(スライドショー) — 102
- 本体にダビングした AVCHD のハイビジョン画質の動画を再生する — 103

安全上の
ご注意

各部の
はたらき

テレビの
準備をする

テレビを
見る

使える
メディア

予約する
(録画)

見る(再生)

残す
(ダビング)

テレビを
お好みの
設定にする

お知らせ

困ったとき

残すとき(ダビング)

消去・編集する

番組の消去・編集について	104
● 番組の編集の制限	104
番組を消去する	105
● 不要な番組を1番組だけ削除する	105
● 複数の不要な番組を一括削除する	105
番組を編集する	106
● 番組を保護する・保護を解除する	106
● 番組名を変更する	107
● 文字入力のしかた	107
● 番組の不要な部分を削除する(部分削除)	109
● 番組を分割する	109
● チャプターマークを手動で追加・削除する	110
カセットHDDを編集する	111
● カセットHDDのタイトルを編集する	111

残す(ダビング)

ダビングする前に必ずお読みください	112
● 本機でできるダビングについて	112
番組をダビングする	113
● 番組をダビング一覧に登録してダビングする (ダビング一覧からのダビング)	113
ダビング実行中に途中で中止するときは	117
デジタルビデオカメラで記録された ハイビジョン画質の動画をダビングする	118
● AVCHDのハイビジョン画質で記録された 動画を本体にダビングする	118

テレビをお好みの設定にするとき

メニュー/サブメニューの使いかた	119
番組視聴中の便利な機能(選局対象)	122
お知らせなどの情報を確認する (テレビからのお知らせ/放送局からのお知らせ/ ボード(CS)/B-CASカード情報/ソフトウェア情報/ アンテナレベル)	123
映像設定をする	125
● 映像モードを切り換える	125
● 映像設定をする	126
● さらに細かく映像設定をする(プロ調整)	126
● 映像設定を初期化する	128
● 自動的にお部屋に合った画面の明るさにする (明るさセンサー)	129
音声設定をする	130
● 音声モードを切り換える	130
● 音質調整をする	131
● サラウンドで聞く	131
● 音質設定を初期化する	131
● ヘッドホンの各種設定をする (ヘッドホン設定)	132
● 聞きやすい音量にする(自動音量補正)	133
● 操作音などの報知音量の設定をする	134
● 光音声/ARCの出力形式を設定する	134
録画・再生設定をする	135
● 再生設定をする	135
● 録画設定をする	136
● 録画予約設定をする	137
通信設定をする	138
● ホームサーバー設定をする	138
● 接続したプレーヤー機器側で表示される 本機の名前を変更する	140
● ネットワーク設定をする	141
機能設定をする	144
● 節約設定をする	144
● 視聴時の制限項目設定をする	145
● 本体やリモコンの操作を制限する	147
● HDMIコントロールのリンク設定をする	147
● 画面の調整や画面サイズの設定をする	148
● 外部入力のスキャン設定をする	149
● 高速起動設定をする	149

初期設定をする 150

- かんたんセットアップをやり直す 150
- デジタル放送のチャンネル設定を変更する 151
- 地域設定をする 152
- B-CAS カードテストをする 152
- 受信設定をする 153
- 放送波無効設定をする 155
- リモコンコードの設定を変更する 155
- チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える 156
- ソフトウェア更新を設定する 157
- 時刻設定をする 157

本機を工場出荷時の設定に戻す 158

本体・外付・カセット HDD を初期化する 160

- 本体・外付の録画内容を全部または一部消去する(本体初期化・外付初期化) 160
- カセットHDDの録画内容を全部または一部消去する 160
- SD カードを初期化(フォーマット)する(SD カード初期化) 161

お知らせ

B-CAS カードについて 162

デジタル放送について 162

デジタル放送のチャンネル設定一覧 164

困ったとき

故障かな?と思ったら 166

メッセージ表示一覧 178

アイコン一覧 183

用語の説明 184

お手入れのしかた 185

著作権等について 186

保証とアフターサービス
(必ずご覧ください) 187

お客様ご相談窓口 188

お問い合わせ診断シート 189

仕様 190

外形寸法について 192

壁掛け/天吊りユニット取り付け時について 194

壁掛け/天吊りユニット取り付け図 195

スタンドの取り付けかた 197

索引 199

安全上の
ご注意

各部の
はたらき

テレビの
準備をする

テレビを
見る

使える
メディア

予約する
(録画)

見る(再生)

残す
(ダビング)

テレビを
好みの
設定にする

お知らせ

困ったとき

このテレビの便利な機能

テレビ機能

● いつも適度な音量の範囲で聞く

チャンネルを換えたり、CMに換わったときなどに大き過ぎたり小さ過ぎたりする音量を自動で調整し音量感が大きく変わることを抑える「自動音量補正」機能を搭載。音量調節頻度を減らします。 **P.133**

● 音楽を楽しむ

携帯音楽プレーヤーの外付けスピーカー代わりにつかったり、音楽も気軽に楽しめます。音声だけのときは自動で画面を消して消費電力も抑えます。

● 省エネ・節電をサポートする

● お部屋の明るさ環境に合わせて自動で画面の明るさを調節して消費電力を抑えます。(明るさセンサー) **P.129**

● テレビ放送が終了するなど無信号状態になると、約10分後に自動で電源オフします。(無信号電源オフ) **P.144**

● リモコンや本体で操作しない状態が3時間以上続くと、自動で電源オフします。(無操作電源オフ) **P.144**

● 誤操作を防止する

● 本体のボタンを触っても機能しないようにします。(本体操作部ロック) **P.147**

● リモコンの一部のボタンを機能しないようにし、設定を変えてしまってテレビが見られなくなることを防ぎます。(リモコンキーロック) **P.147**

● 見られない放送に切り換わらないようにします。(放送波無効設定) **P.155**

● 当社製テレビが2台あるとき、リモコン操作が片方のテレビだけに利くようにします。(リモコンコード切換) **P.155**

● AVネットワークで広がる

DLNA対応のテレビをネットワークにつないで、本機で録画した番組を別の部屋で楽しめます。

※AVネットワークのサーバー機能のみ対応

● インターネットサービスを楽しむ

アクトビラや TSUTAYA TVのインターネットサービスに接続し、見逃した TV番組、最新映画、ドラマ、アニメなどが視聴できます。

録画・再生機能

● 内蔵ハードディスクでたっぷり録る

1TB(テラバイト)の内蔵ハードディスクでかんたんに録画できます。デジタル放送のチューナーを3つ搭載しているので2番組同時に録画しながら、別の番組を視聴できます。

※地デジチューナー×3つ、BS/CSチューナー×3つ搭載

● 録画できる時間(容量)を増やす

USB端子に外付ハードディスクをつないで番組を保存できます。 **P.41・91**

● カセットHDDで便利に録る・見る

USB端子にカセットHDD「iVDR-S」(アダプター経由)をつないで番組を録画できます。録画した番組を持ち出して他の録画テレビ Woooで見たり、他の録画テレビ Woooで録りためた番組をじっくり楽しむことができます。テレビを買い換えても番組のデータの移行がかんたんです。

● 本編だけを手早く見る

録画した番組を見ているとき、シーンの変わり目までボタンひとつで飛ばします。何度も見ているタイトルやCMなどをジャンプします。 **P.97**

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	------------------------------------	---	--------------------------------------

■図記号の意味は次のとおりです。

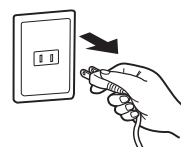
 絶対に行わない	 絶対に分解・修理はしない	 絶対に触れない
 絶対に風呂・シャワー室では使用しない	 絶対に水にぬらさない	 絶対にぬれた手で触れない
 必ず指示に従い行う	 必ず電源プラグをコンセントから抜く	 高圧注意 (本体後面に表示)

警告

電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差込んでください。
完全に通電を遮断するには電源プラグを抜いてください。

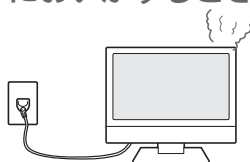
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く !!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、
販売店に修理をご依頼ください。



故障(画面が映らない、音が出ないなど)
や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の
原因になります。



使用禁止

煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

本機を落としたり、キャビネットを破損
したときは使わない

火災・感電の原因になります。

万一落としたり破損した場合は、
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセント
から抜いて、販売店にご相談ください。



使用禁止

水をかけない
水の入った物、花瓶などを
機器の上に置かないこと

本機の中に水などが入ると、
火災・感電の原因になります。

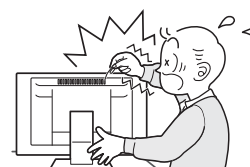


水ぬれ禁止

万一入った場合は、すぐに電源を切り、
電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

異物を入れない 特にお子様にご注意ください

通風孔などから
金属類や燃えやすい
ものなどが入ると、
火災・感電の原因に
なります。



禁止

万一入った場合は、すぐに電源を切り、
電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

ぐらついたり
変形した台の
上や傾いた所など。

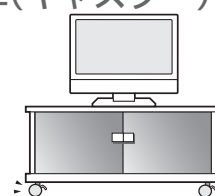


設置禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

テレビ台の車(キャスター)を固定する

台が動くと
本機が倒れ、
けがの原因に
なります。



車を固定

安全上
ご注意

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください(つづき)

警告

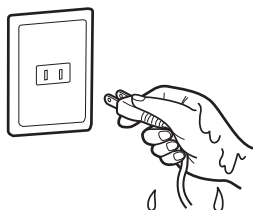
本機にのったり、ぶらさがったりしない
特にお子様にご注意ください



禁止

落下してけがの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

風呂場では使わない
機器を水滴のかかる場所に
置かないこと



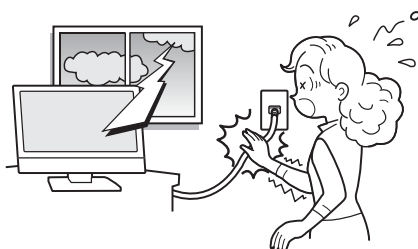
風呂場禁止



水ぬれ禁止

水気の多い場所での使用は、火災感電の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない



接触禁止

火災・感電の原因になります。

miniB-CAS カード、乾電池、ネジなど
小さな付属品や SD カードなどは幼児の
手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する
原因になります。

万一飲み込んだ場合は
医師に相談してください。



禁止

接続線で遊ばせない。けがの原因になります。

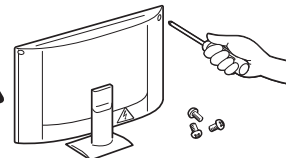
電源コードを傷つけない



傷つけ禁止

重いものをのせたり、
熱器具に近づけたり、無理に引っ張らない。
コードが破損して火災・感電の原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止

内部には電圧の
高い部分があり、さわると感電の
原因になります。また、けが・火災の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

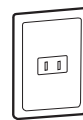
電源プラグにほこりが
ついたりコンセントの
差込みが不完全な場合は、
火災の原因になります。



ほこりを取る

傷んだ電源コードや差込みのゆるいコンセントは使わないで
ください。1年に一度は電源プラグとコンセントの定期的な
清掃と接続を点検してください。

電源は、交流 100V を使う



100V



100V

交流 100V 電源以外で
使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

設置のときは次のことをお守りください

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

空気穴(通風孔)をふさがない



禁止

あお向けや横倒し、さかさまにしない



禁止

直射日光の当たるところや熱器具のそばに置かない



設置禁止

キャビネットが
変色、変形などの劣化を起こす原因になることもあります。

押入れ、本箱などに入れない



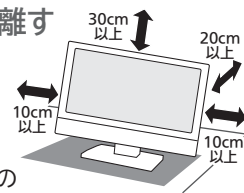
設置禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所、
温泉地域の硫化水素ガスの多い所に置かない



設置禁止

据付の際は壁から離す



壁から離す

壁掛けや設置位置に
よっては、通風孔からの
空気の流れて壁を汚す原因になることもあります。

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の
原因や、つま
ずいてけがの
原因になります。



禁止

電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や
転倒防止金具をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

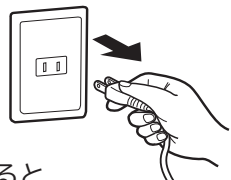
液晶画面に強い衝撃を加えない



禁止

パネルが割れて、けがの原因になります。

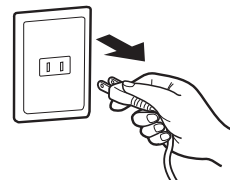
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

コードを引っ張ると
傷がつき、感電・火災の原因になります。

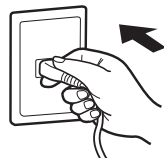
お手入れのときは、電源プラグを抜く



プラグを抜く

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む



根元まで
差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災・感電の原因になります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグ
をコンセントから抜く



プラグを抜く

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

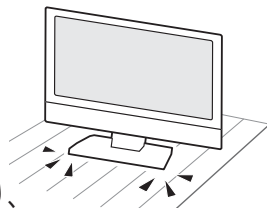
本機の上や近くにもものを置かない
ローソクのような
裸火を本体の上や
近くに置かない



禁止

金属類や液体が
内部に入ると、火災・感電の原因になります。

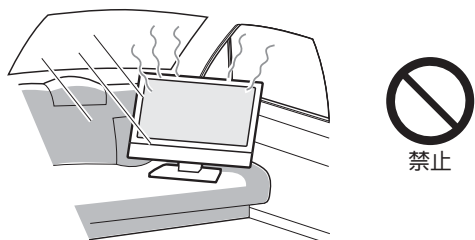
ワックスのかかった床に直接置かない



設置禁止

床上のワックス、
洗剤、溶剤により、
床材と本体底面のすべり止め用ゴムの密着性が
上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

車の中で使用しない



禁止

熱・振動により壊れて、火災・感電の原因になります。

持ち運びは 2 人以上で行う

本機の落下や思わぬけがの原因になります。

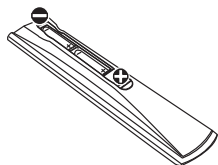


車(キャスター)付きのテレビ台ごと
移動させるときは、テレビ台のキャスター 2人以上で
固定手段を外して本機を支えながらテレビ台を押す。

本機を支えながらテレビ台を押さないと、本機が落下してけ
がの原因になることがあります。

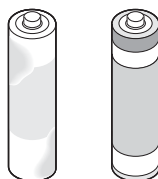
乾電池取扱いの注意

- プラス⊕とマイナス⊖の
向きを正しく入れる。
- マイナス⊖側から
入れる。



正しく入れる

- 分解したり、ショートさせたり、火の中に
投入したりしない。
- 充電しない。
- 種類の違う電池や、
新しい電池と古い電池
を混ぜて使用しない。



禁止

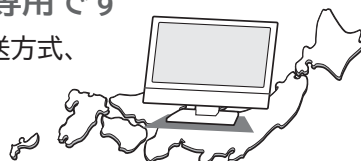
電池の破裂、液漏れにより、
火災・けがや周囲を汚す原因になります。

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した
ときは、きれいな水で洗い流してください。

また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに
医師の治療を受けてください。

日本国内専用です

外国では放送方式、
電源電圧が
異なるので
使えません。
また、アフターサービスもできません。



国内専用

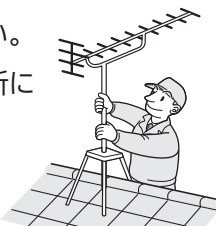
This television set is designed for use in Japan
only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.

アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。

送配電線から離れた場所に
設置してください。

アンテナが倒れると
感電の原因になります。



販売店に
相談する

BS、CS 放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので
確実に取り付けてください。

内部掃除は、販売店に依頼する

1 年に一度
くらいを目安に
してください。
内部にほこりが
たまったまま使うと、火災や故障の原因になります。



内部掃除

とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。

ご使用上のお願い

● 搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱装箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。
横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。
- SD カードは取り出しておいてください。

● 画面の残像について

時刻表示や静止画を長時間表示された場合や、画面に黒帯等が出る状態で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない(残像)症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

● 露付き(結露)について

本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます。露付き状態で本機を使用すると、本体(HDD)やSDカードの情報が読みとれないなど、本機が正常に動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 露付きは、次のように温度が急に変わる場合に起こります。
 - ・部屋を急激に暖房したとき
 - ・エアコンなどの冷風を直接当てたとき
 - ・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- 露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おき、十分に乾燥させてからご使用ください。
SDカードが入っているときは、必ず取り出しておいてください。

● 動作時・待機時の本体温度について

本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

● 取り扱い

本機は、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい部品(HDD(本体)など)を使用した精密な機器です。取扱いは慎重に行ってください。

● 液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。
液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかった場合はすぐに拭きとってください。
そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

● 本機を使わないときは

ふだん使わないときは、SDカードを取り出し、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。

● 大切な録画の場合は

- ハードディスクは一時的な保管場所です。大切な映像を録画する際は、レコーダーなどによる録画を併用されることをおすすめします。
- 事前に録画をして、正常に録画されていることを確認しておくことをおすすめします。
- 本機に故障や異常が発生すると、本体に録画された内容が失われることがあります。
- 万一本機の不具合により録画できなかった場合の補償については、ご容赦ください。

● 録画内容の補償について

- 万一、下記を一例とする何らかの不具合が発生した場合、停電、結露、その他の事象により録画や編集が正常に行われなかった場合に、録画内容やデータの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
(例)
 - ・本機、記録媒体(本体、外付ハードディスク、カセットHDDなど)の故障または異常による録画内容の損失
- 本機を修理した場合(本体以外の修理を行った場合でも)、本体や外付ハードディスクの録画内容が失われることがあります。その場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● 開封時・ご使用初期の臭いについて

開梱時や据付初期のご使用中およびご使用後に、多少の臭いを感じる場合があります。
これは、プラスチックなどを外装や内部に使用しているために発生するものです。
この臭いはご使用とともに軽減されます。

安全上の
ご注意

ご使用上のお願い
安全のために必ずお守りください

ご使用上のお願い(つづき)

● 本機の設置についてのお願い

不安定な場所に置くと、正常に録画しないなどの原因になります。

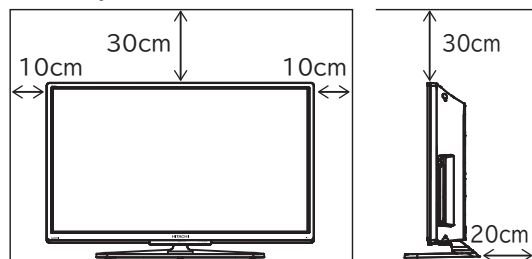


お願い!

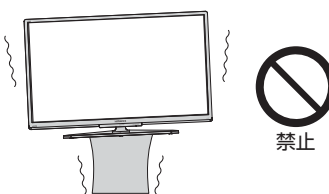
- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。

- 本機を高いところに置かないでください。
- 万一転倒した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる場所に本機を置かないでください。

- 最低限、下図のスペースを取ってください。上部は放熱効果を高めるため、30cm以上離してください。



- 不安定な場所に置かないでください。台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。



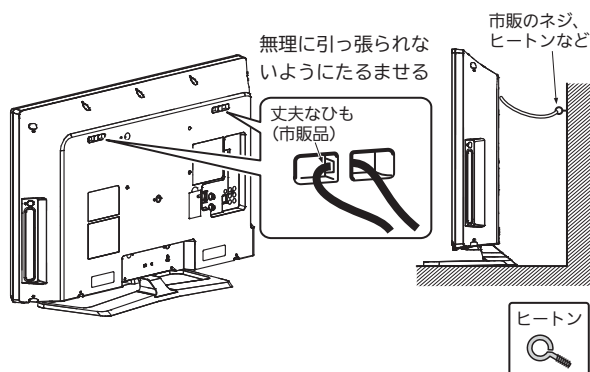
● 転倒防止についてのお願い

⚠ 注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありませんが、併用すると更に効果的です。

壁や柱などの安定した場所への固定

図のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り付けてください。

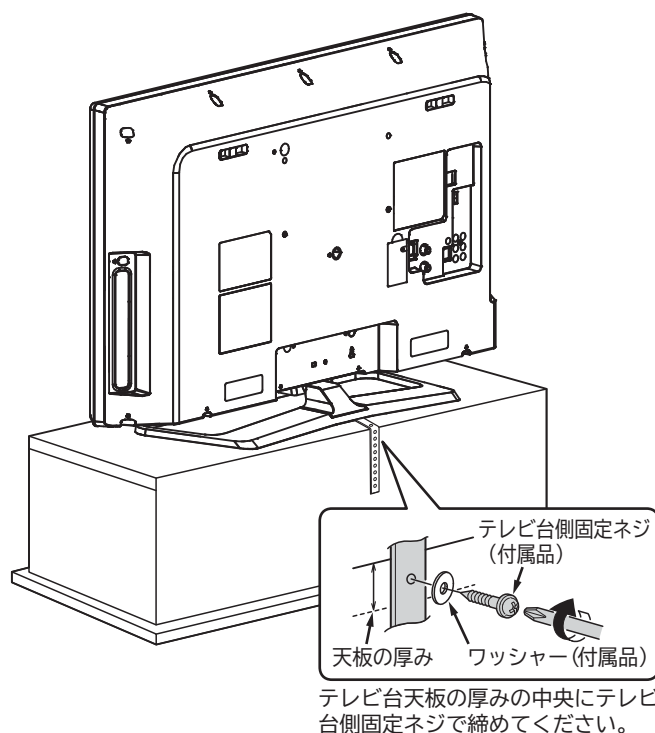


お願い!

ひも、ネジなどの取り付けは確実に行ってください。

テレビ台への固定

図のように、転倒防止バンドを付属のテレビ台側固定ネジとワッシャーでお使いの台の強固な部分に固定してください。転倒防止バンドのテレビ側への取付方法は「スタンドの取り付けかた」P.197～198をご覧ください。



留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

- 受信異常により本機の操作ができなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくおいてから電源プラグを差し直してください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- 付属の miniB-CAS^{ミニビーキャス} カードはデジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちに B-CAS^{ビーキャス}[(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ]カスタマーセンター **P.162**へご連絡ください。なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 本機で録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域(470 ~ 2071MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

●本機に付属している B-CAS^{ビーキャス} カード以外のものを挿入しないでください

B-CAS^{ビーキャス} カード挿入口に、正規の B-CAS^{ビーキャス} カード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

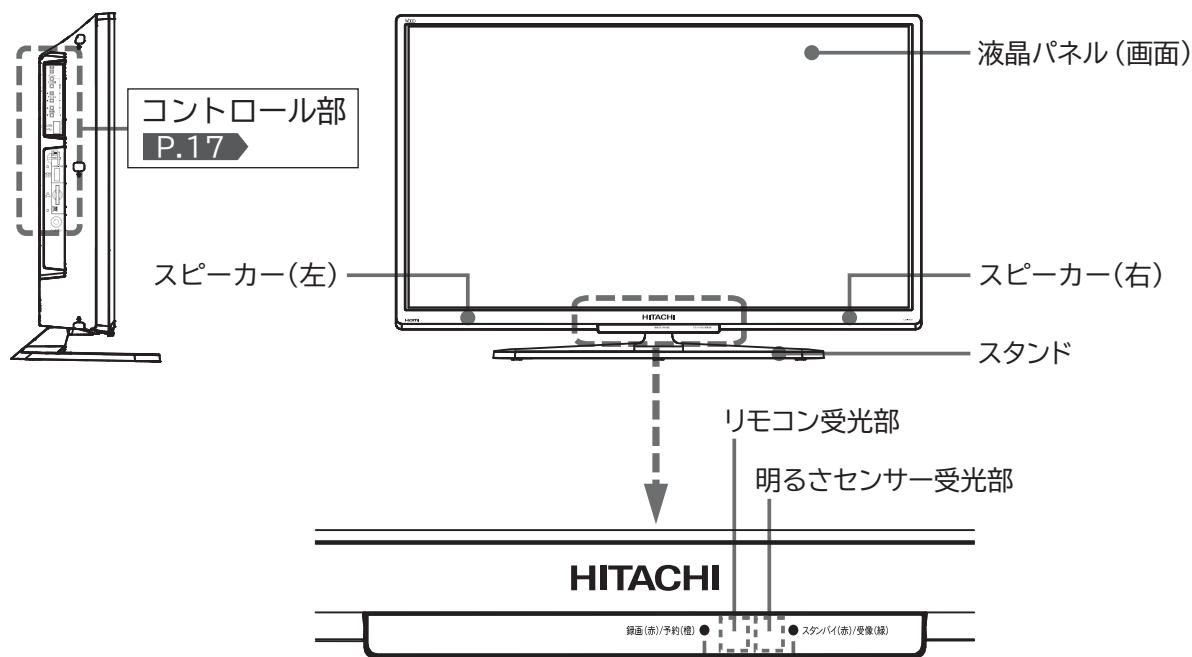
●天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

- お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」**P.159**により個人情報を消去されることをおすすめします。
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧による故障および損傷は有料修理になります。

本体前面 / 側面



録画／予約ランプ P.69

赤…………… 録画中／録画モード変換中／ダビング中

橙…………… 予約有り

電源「切」にした状態でも、録画 **P.69**、録画モード変換 **P.73・106**、ダビング **P.113** などで動作中は赤色に点灯します。

点灯中は外付ハードディスクやカセットHDDを取り外したり、電源コードを抜かないでください。

スタンバイ／受像ランプ P.47

緑…………… リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「入」にし、テレビの視聴ができる状態

赤…………… リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「切」にした待機状態 (スタンバイ)

※赤点滅…………… 安全装置がはたらいています。使用を中止し、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。マイコンおよびデジタルチューナーなどの回路が通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグを抜かないことをおすすめします。

- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグを抜いて、しばらくおいてから電源プラグを差し直してください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

電源を入/切する。

P.47

メニューを表示する。

P.119~120

ビデオなどを見るときに押す。

P.48

押すごとに、地上デジタル→BS→CS1→CS2→ビデオ1→ビデオ2→HDMI1→HDMI2の順に切り換わります。
メニュー表示中はリモコンの **決定** と同じはたらきをします。

P.119~120

お知らせ

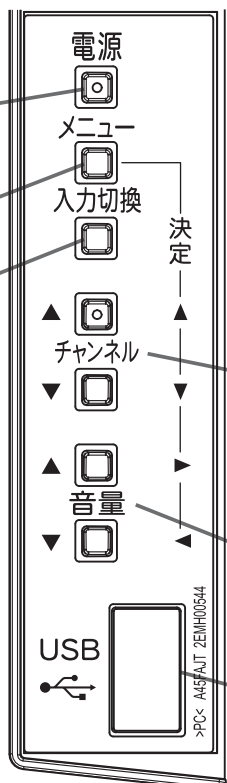
入力切換、チャンネル、音量ボタンが、リモコンの **決定**、**▲▼◀▶** と同じはたらきをするのは、メニューの各項目が画面に表示されているときに限ります。

メニュー項目が消えたあとの画面、たとえば項目「見る(再生)」から表示した録画一覧など、ではリモコンと同じはたらきはしません。

付属のminiB-CASカードを入れる。

P.22

- miniB-CASカードを抜き差しするときは、必ず電源プラグを抜いて行ってください。
- 付属のカード以外のものを入れないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。
- miniB-CASカードをSDカード挿入口に入れないよう、ご注意ください。



視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。

P.47

メニュー表示中はリモコンの **▲▼** と同じはたらきをします。

P.119~120

音量を調節する。

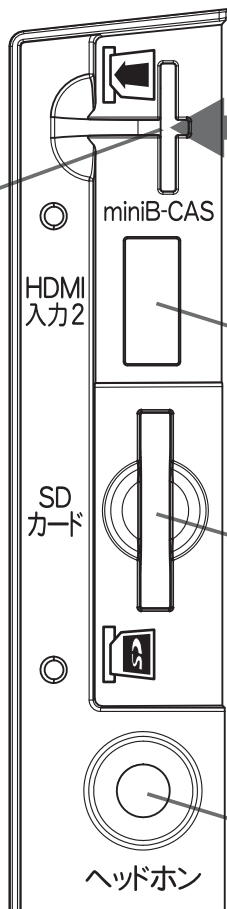
P.47

メニュー表示中はリモコンの **◀▶** と同じはたらきをします。

P.119~120

USB機器、外付ハードディスクと接続する。

P.41・101



HDMI機器を接続する。
再生専用。

P.26

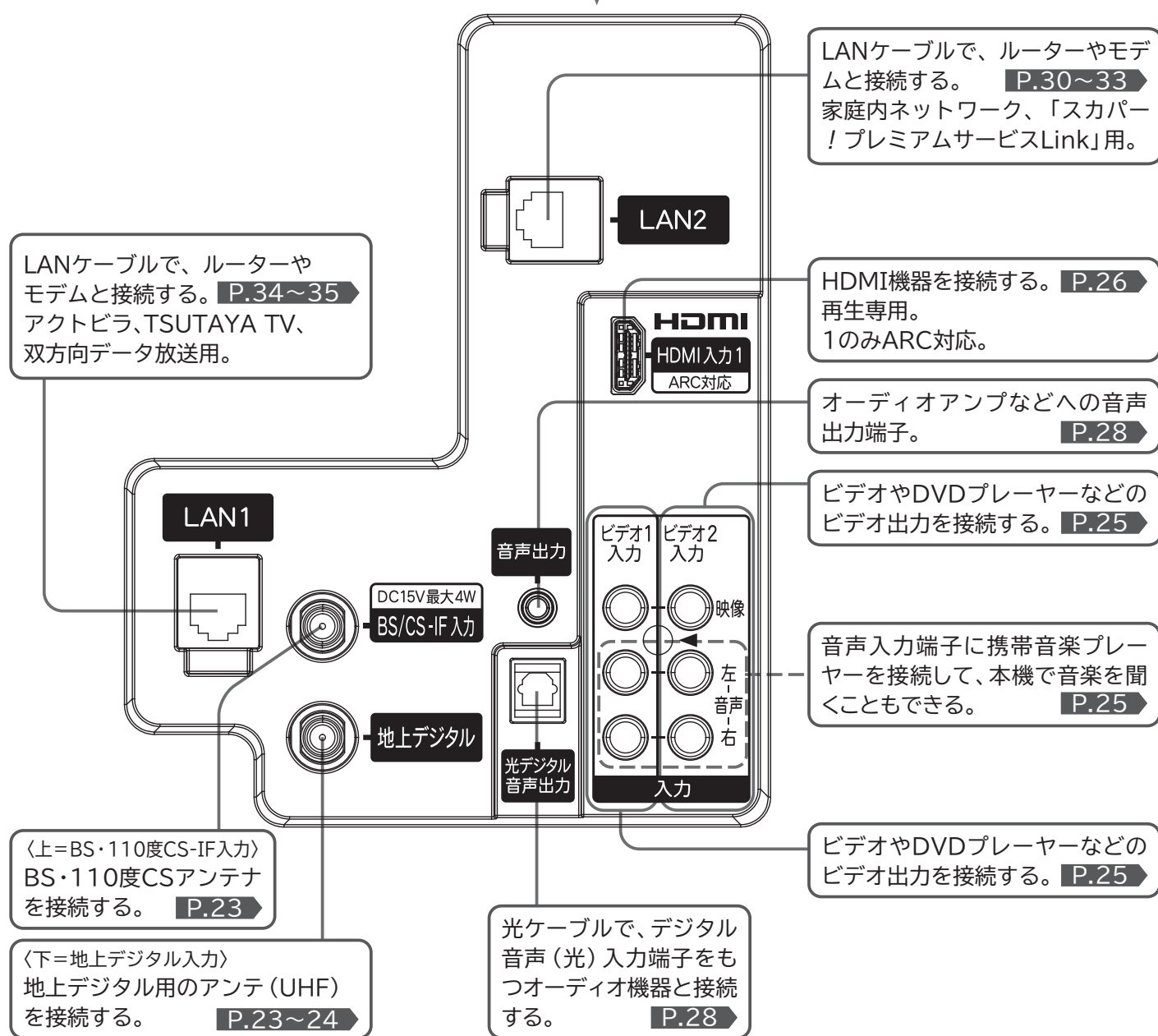
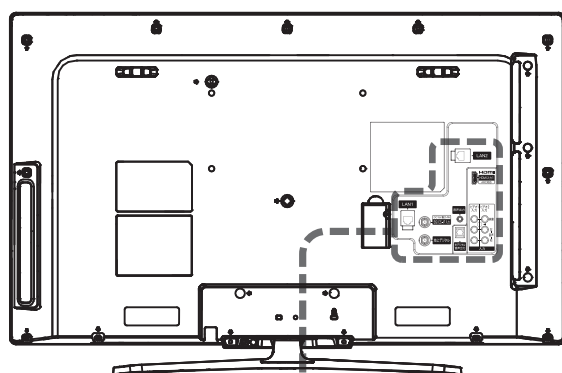
SDカードを入れる。

P.101

※保護テープをはがしてからご使用ください。

ステレオのヘッドホンを差し込む。

本体後面



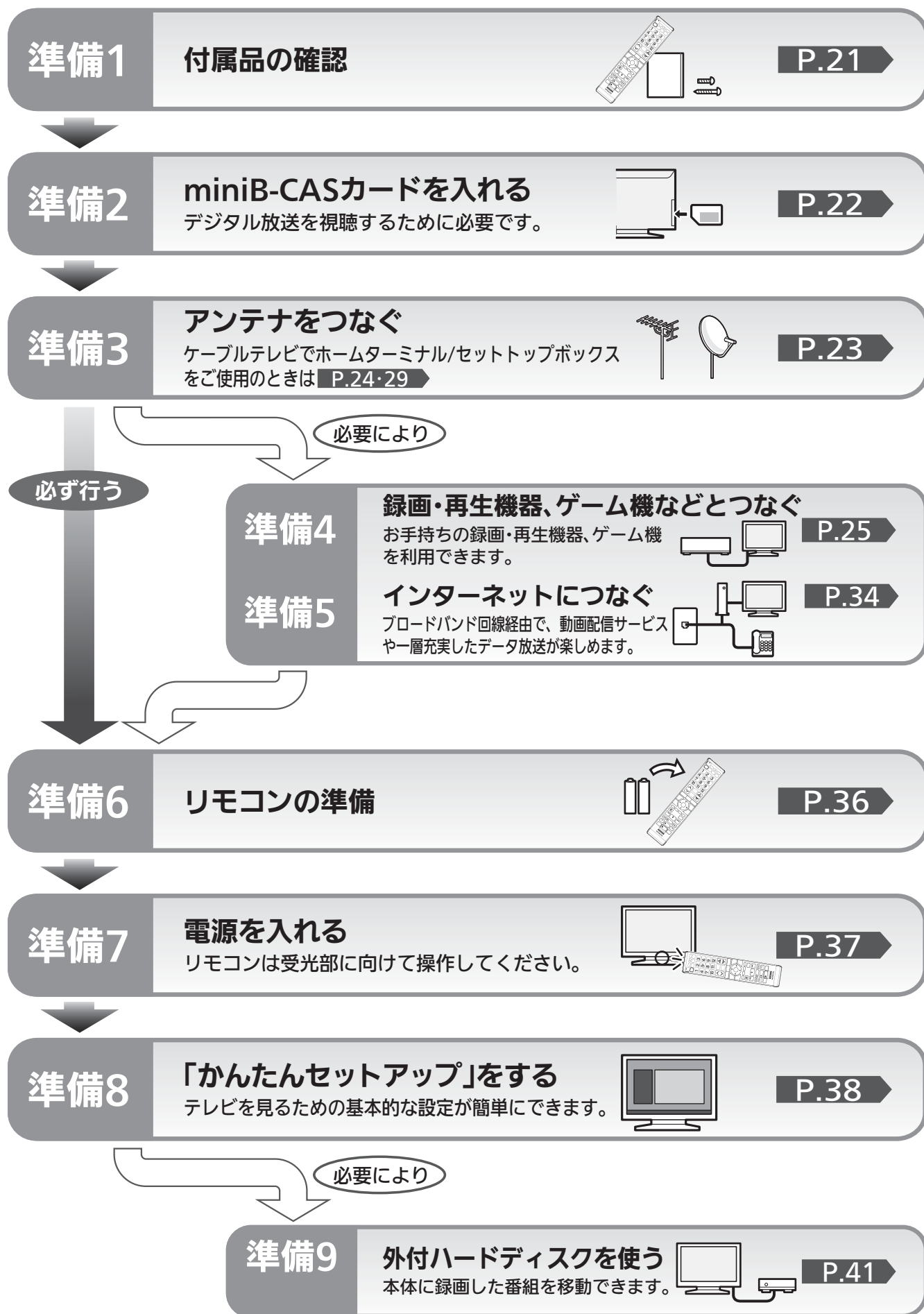
お知らせ

これまで D 端子を使って接続していた機器で、HDMI 端子があるものについては、HDMI 端子をご利用ください。

お願い

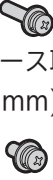
- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
映像…黄、音声-左…白、音声-右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることもあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

テレビを見るまでの準備の流れ

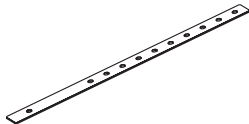


準備 1 付属品を確認する

テレビを見るために

リモコン…1台 	単4形乾電池…2個 
miniB-CASカード…1枚 	保証書…1冊 取扱説明書(本書)…1冊 ファースト・ステップ・ガイド…1冊
スタンドネック…1個 	スタンドネック取付用ネジ L32-GP35 : (4x18mm)…3本 L43-GP35 : (4x20mm)…3本
スタンドベース…1個 	スタンドベース取付用ネジ (4x10mm)…2本 

安全のために

テレビ台への固定用部品	
転倒防止バンド…1本 	テレビ台側固定ネジ (3.5 x 20mm)…1本 
	ワッシャー…1個 

※取付方法は「テレビ台への固定」 P.14 をご覧ください。

最初に本体と付属品のスタンドネックやスタンドベース、転倒防止バンドを取付用ネジで確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。
取付方法は「スタンドの取り付けかた」 P.197~198 をご覧ください。

テレビの
準備をする

付属品を確認する
テレビを見るまでの
準備の流れ

準備 2 miniB-CAS カードを入れる

本機には、miniB-CAS カードを付属しています。miniB-CAS カードはデジタル放送を見るために必要です。番組の著作権保護のため、miniB-CAS カードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。現在、デジタル放送をご覧にならなくても miniB-CAS カードを入れておかれることをおすすめします。B-CAS カードの詳しい説明は、**P.162**をご覧ください。

● miniB-CAS カードの入れかた

※ miniB-CAS カードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課されることはありません。

※ miniB-CAS カードは本機に入れる直前まで台紙からはがさないでください。

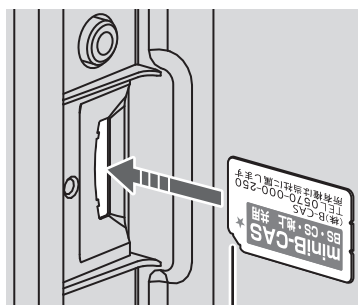
誤飲や紛失の恐れがあります。

1 電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認する

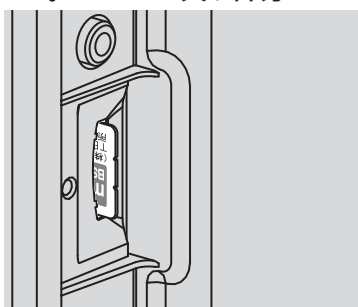
miniB-CAS カードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

2 miniB-CAS カードを入れる

- miniB-CAS カードは、金色端子部に触らないよう上下に挟むように持ってください。
- 本体後面から見て miniB-CAS カードの赤い印刷面が見える状態で、角がカットされた側を下にして、図のように挿入します。
- 下側にある SD カード挿入口と間違えないように注意してください。
- カチッとほまるまで押し込んでください。カードは一部分が見えた状態となります。



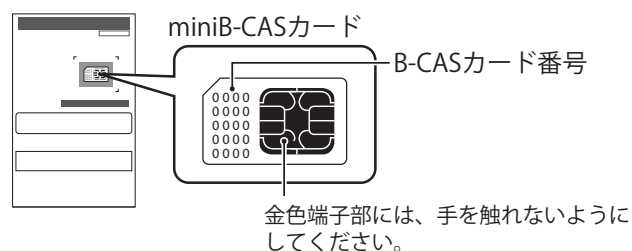
▼ 欠け部分



🗣️ お願い!

- 本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。

miniB-CAS カードについて



⚠️ 警告

miniB-CAS カードは乳幼児の手の届くところに置かない。

飲み込むと窒息死の原因になります。

万一飲み込んだ場合は医師に相談してください。

■ miniB-CAS カード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 金色端子部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- 台紙の裏の注意書きを必ずお読みください。

■ miniB-CAS カードを抜くとき

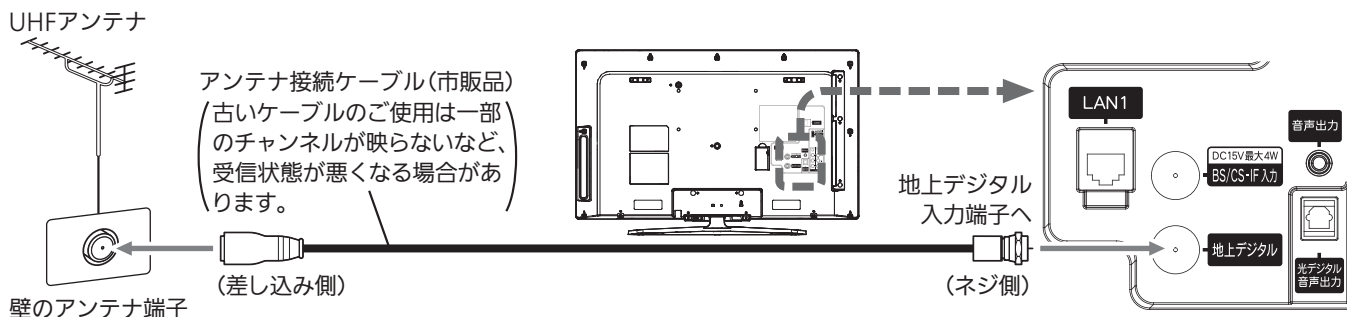
- 万一、抜く必要があるときは、本機の電源コードをコンセントから抜いたあと、miniB-CAS カードを一度奥に押し、カチッと音がしてロックが解除したら、ゆっくり miniB-CAS カードを抜いてください。
- miniB-CAS カードには IC チップ（集積回路）が組み込まれているため、画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

準備 3 アンテナをつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。
P.23~24 の図を参考にして、あてはまる接続を確実に行ってください。

● UHF アンテナ 地上デジタル放送を見るとき

- 地上デジタル放送をご覧になるためには、UHF アンテナとの接続が必要です。
- ご使用中の UHF アンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。



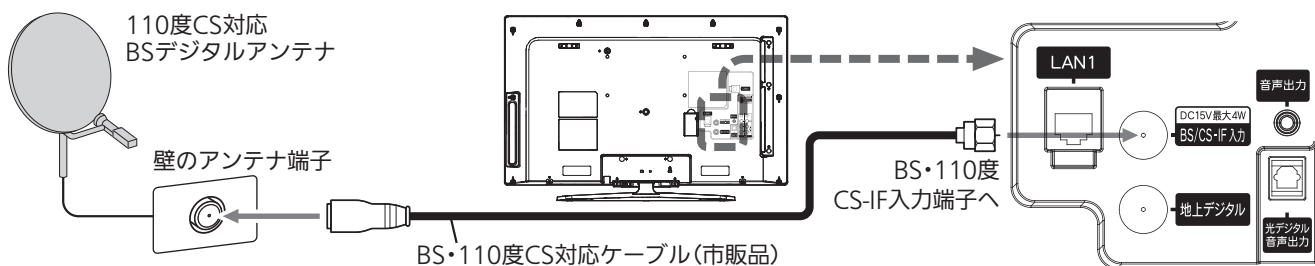
ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」P.40 をご覧ください。

● BS・110度CS アンテナ BS デジタル・110度CS デジタル放送を見るとき

アンテナは、110度CS 対応の BS デジタルアンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS 帯域に対応しているものをご使用ください。

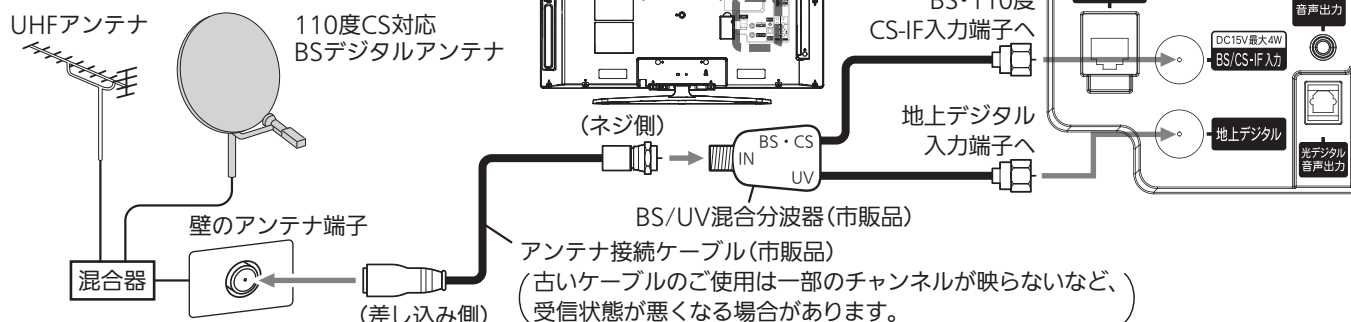
- **BS・110度CS アンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
BS・110度CS アンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
設置のしかたについては、BS・110度CS アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CS アンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
BS・110度CS アンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CS アンテナをつなぐときは、本機の電源プラグを抜いてください。**

お知らせ アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「入」に設定 P.154 すると、保護回路がはたらき、自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。



UHF/BS・110度CS混合のとき

(マンションの共同受信など)



テレビの
準備をする

アンテナをつなぐ
miniB-CASカードを入れる

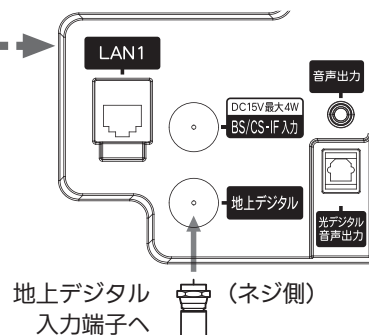
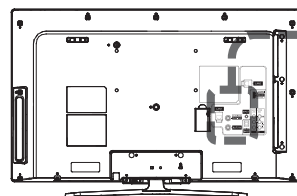
準備 3 アンテナをつなぐ(つづき)

● CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき

壁のアンテナ端子



(差し込み側)

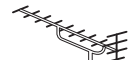


アンテナ接続ケーブル(市販品)
(古いケーブルのご使用は一部のチャンネルが映らないなど、受信状態が悪くなる場合があります。)

代表的な接続方法を記しています。
くわしくはCATV会社へお問い合わせください。

● レコーダーを通して接続するとき

UHFアンテナ



壁のアンテナ端子

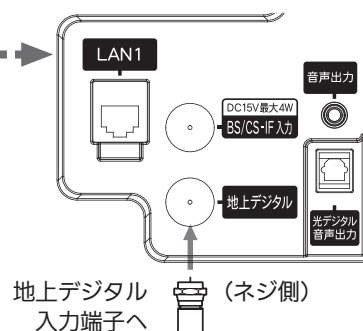
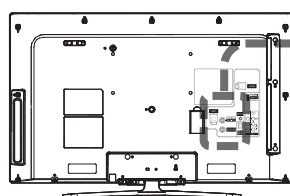


地上デジタルチューナー内蔵レコーダーの後面

地上デジタルアンテナ

入力 出力

同軸ケーブル(市販品)



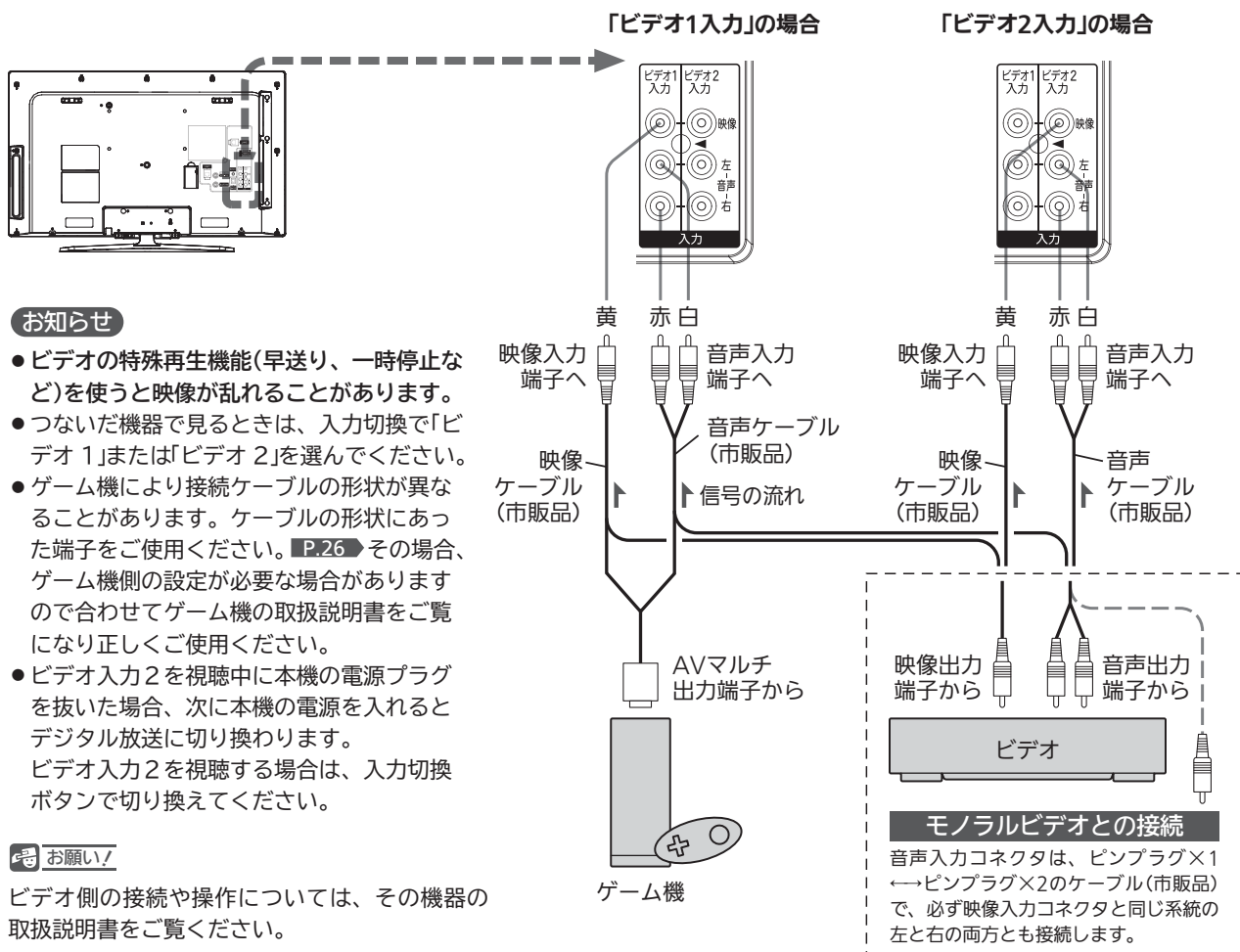
(差し込み側)

アンテナ接続ケーブル(市販品)
(古いケーブルのご使用は一部のチャンネルが映らないなど、受信状態が悪くなる場合があります。)

アンテナ出力の接続は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

準備 4 他の機器とつなぐ

● ビデオ / ゲーム機との接続



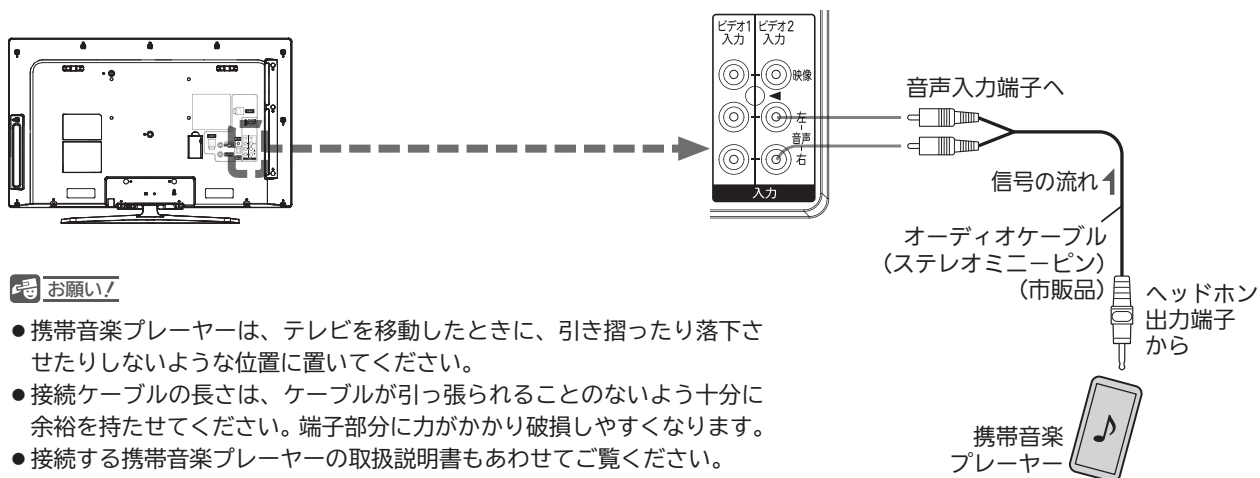
テレビの
準備をする

他の機器とつなぐ
アンテナをつなぐ

● 携帯音楽プレーヤーとの接続

ヘッドホンやイヤホンの代わりに本機とつなぎ、本機で音楽などを聞くことができます。

例：携帯音楽プレーヤーを「ビデオ 2」に接続する

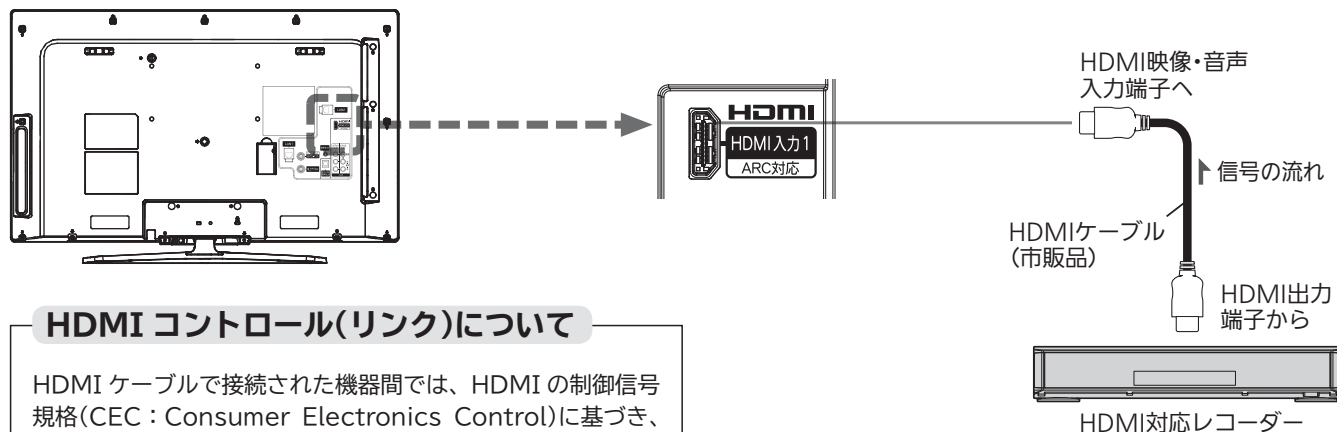


準備 4 他の機器とつなぐ(つづき)

HDMI 機器との接続

映像・音声信号を 1 本のケーブルでつなぐことができます。

例：HDMI 対応レコーダーを「HDMI1 入力」に接続する



HDMI コントロール(リンク)について

HDMI ケーブルで接続された機器間では、HDMI の制御信号規格(CEC：Consumer Electronics Control)に基づき、相互で操作を行う(リンクする)ことができます。本機では Wooo リンクと称しています。

お知らせ

- 本機に(またはアンプを介して)Wooo リンク対応レコーダーを接続しても、本機のリモコンで Wooo リンクによるレコーダーの操作はできません。テレビ電源入連動、テレビ電源切連動、リンク機器入連動、リンク機器切連動 **P.147** およびレコーダー再生操作による入力切替は動作します。
※ Wooo リンク対応レコーダーによって対応が異なる場合があります。

お願い!

- HDMI 端子の接続を変更した場合(HDMI1 入力から HDMI2 入力に差し替えた場合など)は、本機の電源を入れ直して入力切替で変更後の HDMI 入力を選んで、接続している機器からの映像が映っていることを確認してください。
- HDMI コントロール対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 機能を中止するために「リンク制御」**P.147** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

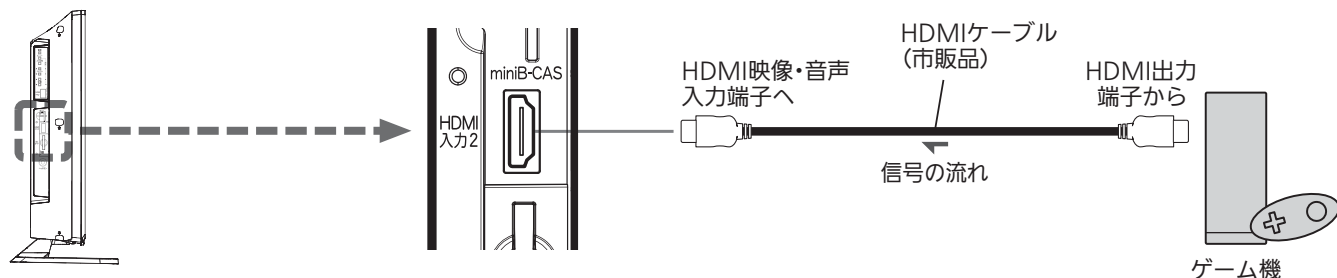
お知らせ

- 対応している映像信号
480i、480p、1080i、720p、1080p
- 対応している音声信号
種類：PCM のみ
サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz
- HDMI 対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切替で「HDMI1」(または「HDMI2」)を選んでください。
- HDMI 入力からの録画はできません。
- 「HDMI2 入力」は画面に向かって左側面にあります。
- 非対応の信号を入力すると、映像が乱れたり、映像が出なくなることがあります。接続機器側の設定には十分ご注意ください。
- HDMI 出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI 規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。

お願い!

- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証されたハイスピード HDMI ケーブルをご使用ください。
- HDMI 対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

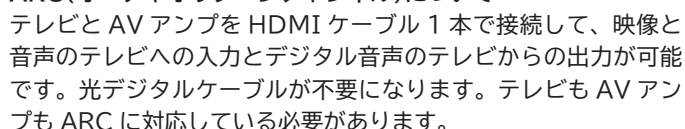
例：HDMI 対応ゲーム機を「HDMI2 入力」に接続する



お知らせ

ゲーム機側の設定を間違えると画像が映らなくなり設定変更ができなくなる場合がありますので、ゲーム機の取扱説明書をよく読み正しく設定してください。

さらに光ケーブル、HDMI ケーブルで接続したときは、AV アンプに合わせて「光音声出力設定」**P.134** が必要です。また、HDMI ケーブルで接続する場合は、AV アンプが ARC (オーディオリターンチャンネル) に対応している必要があります。

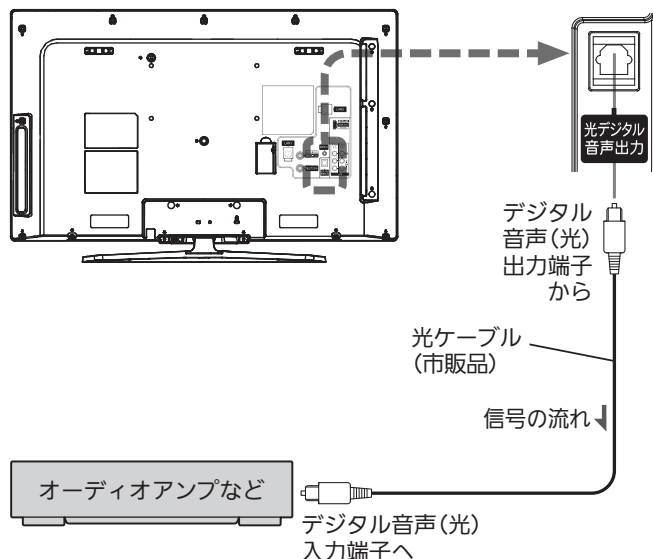


- ARC を使用するためには、ARC 対応の AV アンプが必要です。
また、AV アンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARC を使用するときは必ず、HDMI1 につないでください。
- ARC を使用する時も、本機とつなぐ HDMI ケーブルの AV アンプ側は HDMI 出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AV アンプ側の設定が必要な場合があります。
- AV アンプを含め、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI コントロール対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

準備 4 他の機器とつなぐ(つづき)

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器を接続すると、今見ている番組のマルチチャンネル音声を楽しむことができます。また番組によって録音することもできます。
接続後は、接続先に合わせて光音声出力の設定が必要です。 **P.134**



お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声(光)入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、本機の音量を「0」にしてください。

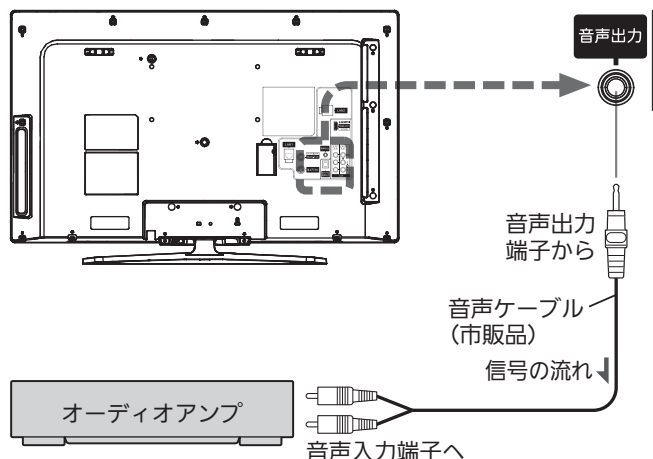
お願い!

- 接続前に本機とオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

アナログ音声入力対応のオーディオ機器との接続

音声出力端子からは、画面に映っている番組などの音声出力されます。

例：オーディオアンプとの接続



お知らせ

音声出力端子から出力される音声レベルは固定です。本機の音量を変えても出力される音声レベルは変わりません。オーディオアンプ側で音量を調節してください。本機の音量は「0」にしてください。

お願い!

オーディオアンプなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

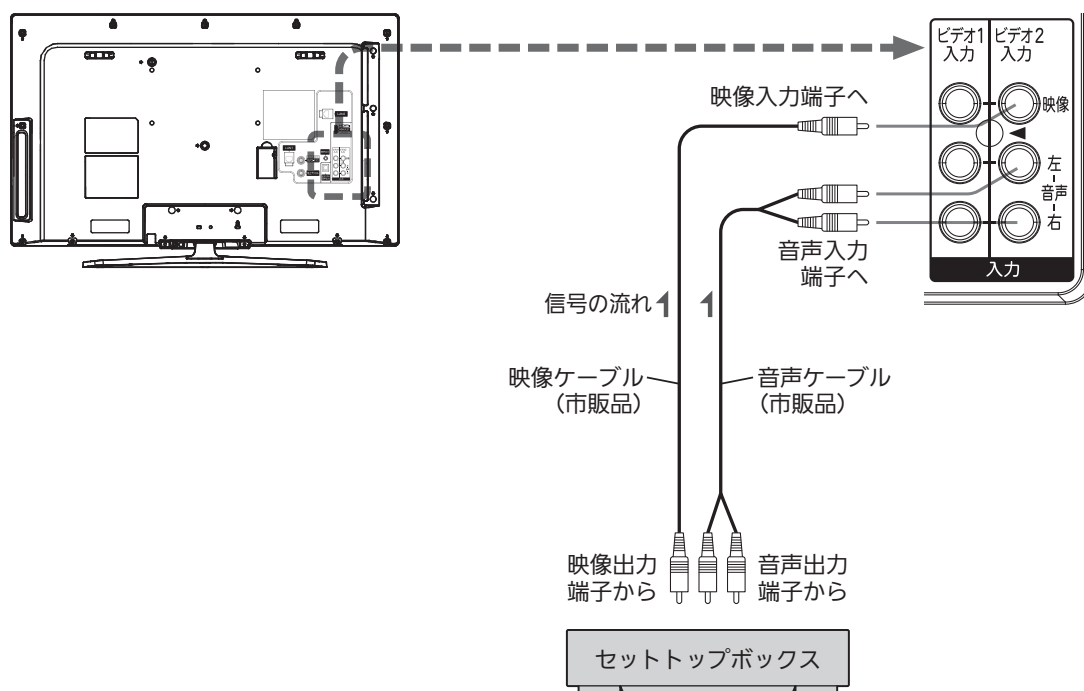
● CATV(ケーブルテレビ)のデジタルセットトップボックスとの接続

CATV(ケーブルテレビ)の放送はサービスの行われている地域でのみ受信でき、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

CATV会社によって仕様や接続方法、受信できる放送が異なりますので、くわしくはCATV会社にご相談ください。

コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を視聴するためには、CATV会社専用のセットトップボックスが必要です。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

例：セットトップボックスを「ビデオ2」に接続する



準備 4 他の機器とつなぐ(つづき)

● スカパー！プレミアムサービスチューナーとの接続(録画)

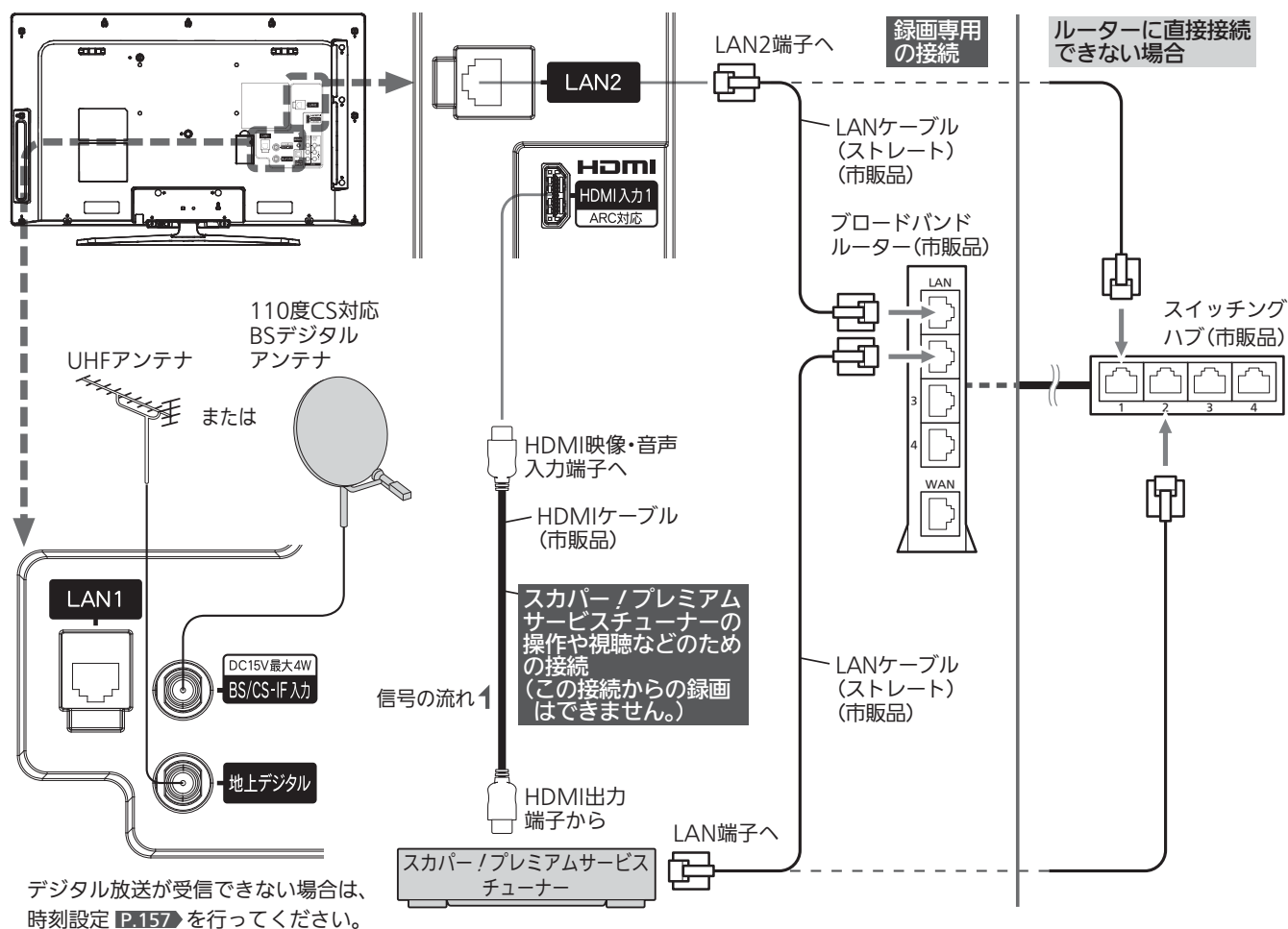
本機は「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画)に対応しています。

本機でスカパー！プレミアムサービスを録画するためには、スカパー！プレミアムサービスチューナーとの LAN 接続が必要です。

接続後は「ホームサーバー設定」**P.138**と、スカパー！プレミアムサービスチューナーのネットワーク設定を行ってください。

スカパー！プレミアムサービスチューナーの設定方法につきましては、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ブロードバンドルーター経由で接続する場合



「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画)とは

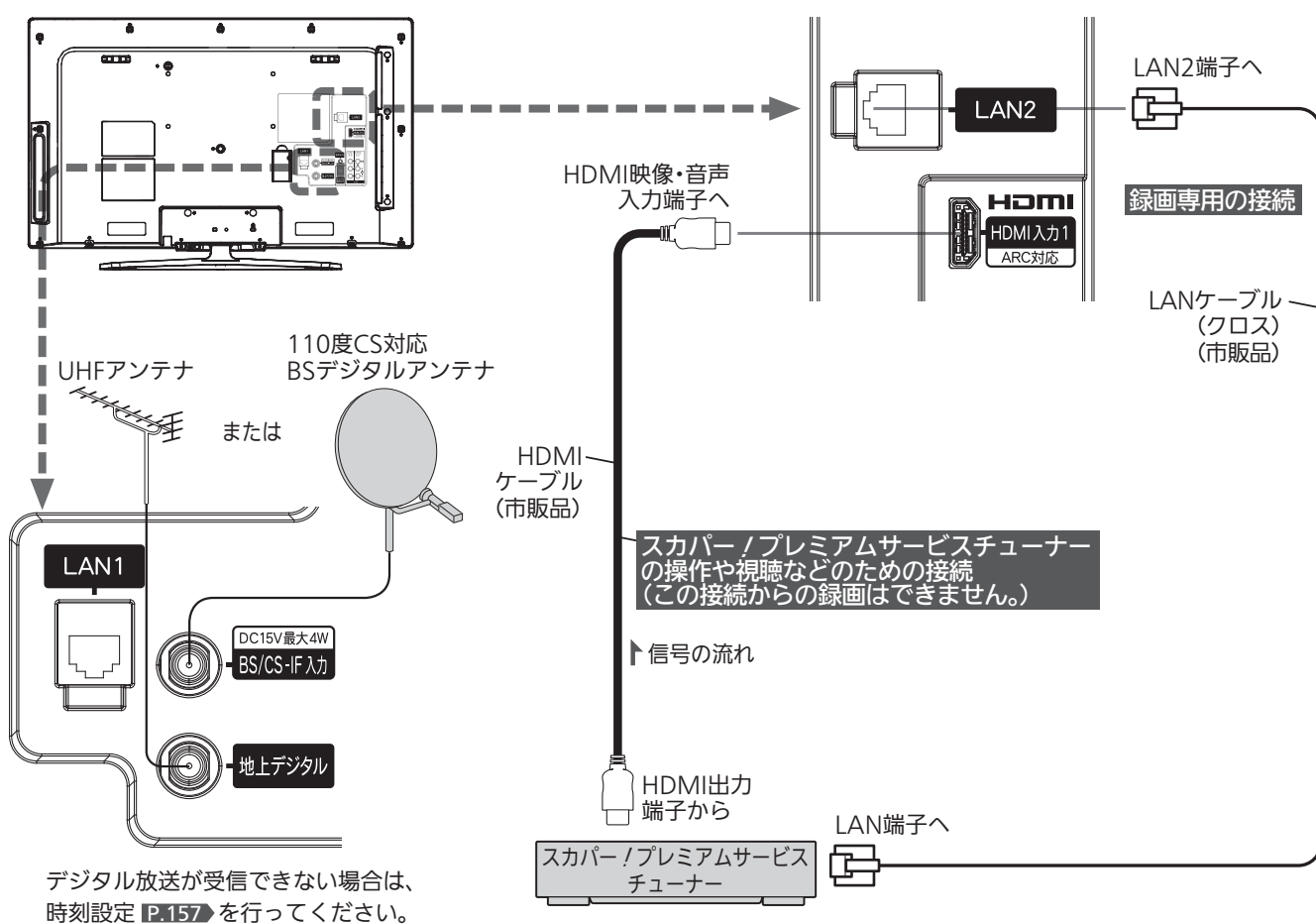
「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画)は、スカパー！プレミアムサービスの番組をホームネットワーク(家庭内LAN)内に接続された機器間でデジタル録画できる機能です。スカパー！プレミアムサービス対応チューナーと「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画)に対応した機器をネットワーク接続することで、ハイビジョン番組をハイビジョン画質のまま録画できます。

※標準画質番組は標準画質での録画となります。

お願い

- LAN ケーブルは、カテゴリ 5 以上のものをご使用ください。
- 本機とデジタル放送用アンテナとの接続も行ってください。本機は録画予約に必要な時刻設定をデジタル放送から取得しています。デジタル放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。
- スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- LAN 接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が悪化したり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。

直接接続する場合



お知らせ

- 本機の「LAN2 端子」のみ対応しています。
- スカパー！プレミアムサービスのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- PPV(ペイ・パー・ビュー)の番組を録画する場合は、スカパー！プレミアムサービスチューナー側で電話回線の接続などが必要です。くわしくは、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

準備 4 他の機器とつなぐ(つづき)

● 本機の家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとの接続

本機に録画した番組などを、本機能に対応したテレビで離れた場所からでも視聴することができます。接続後は、本機の「ホームサーバー設定」P.138 で「ホームサーバー機能」を「入」に設定してください。「ホームサーバー機能」を「入」に設定すると、「高速起動設定」P.149 が自動的に「入」に設定されます。

「入」では内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、待機時消費電力(リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力)が増えます。

お知らせ

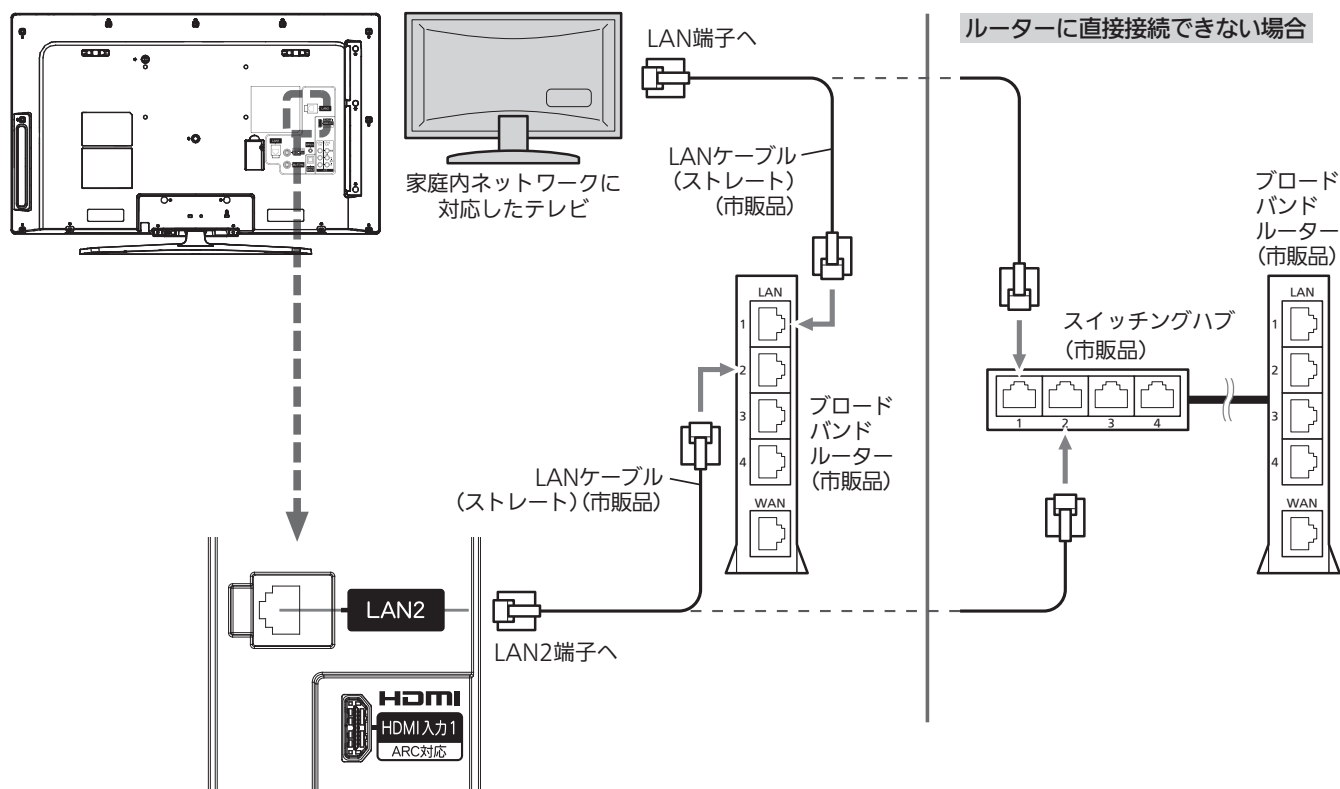
- 本機の「LAN2 端子」のみ対応しています。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとは、DLNA※¹ の定める映像と音声を通信用のガイドラインに対応したデジタルメディアプレーヤーと呼ばれる機器です。
- 録画回数制限のある番組を視聴するためには、接続したテレビが DTCP-IP※² 規格に対応している必要があります。

※ 1 DLNA(Digital Living Network Alliance)：家庭内ネットワーク上で機器間の相互接続を実現するための標準化活動を推進する業界団体です。

※ 2 DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol)：ネットワーク上で著作権保護されたデータを伝送するための規格です。

ブロードバンドルーター経由で接続する場合

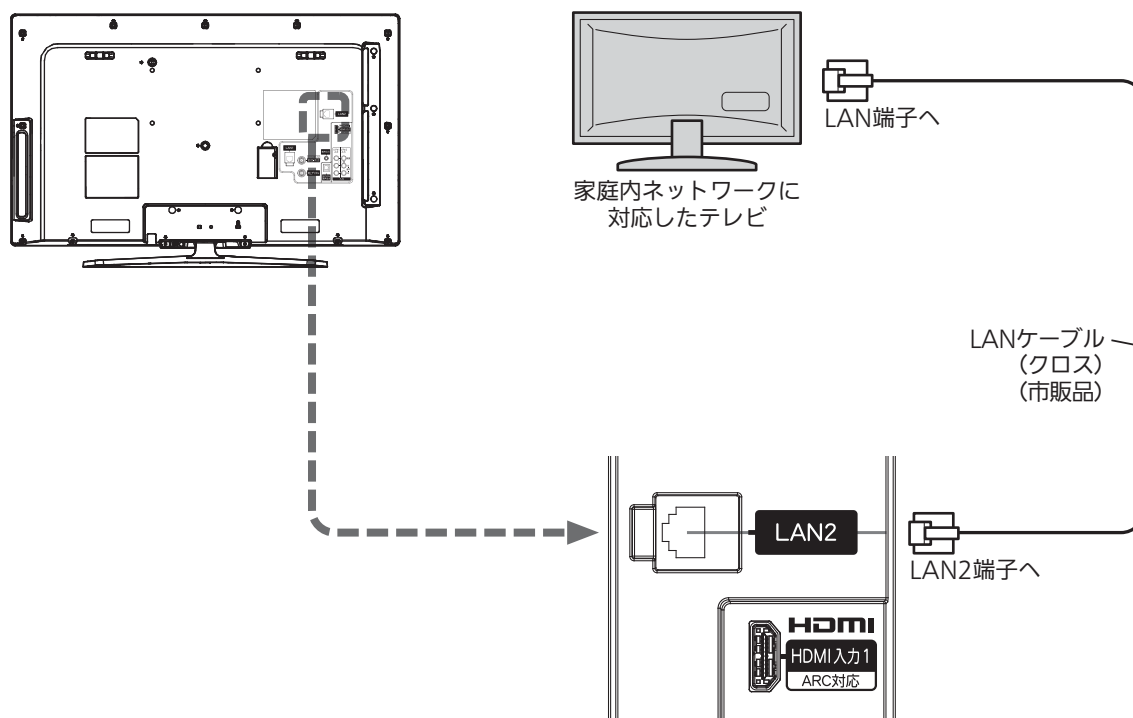
本機で「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)も一緒に利用する場合の接続例です。



お願い!

- LAN ケーブルは、カテゴリ 5 以上のものでご使用ください。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- LAN 接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。

直接接続する場合



準備 5 インターネットにつなぐ

デジタル放送のデータ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境（FTTH、ADSL、CATV など）をお持ちの場合、本機の LAN 端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「動画配信サービス」を利用するためにはブロードバンド環境が必要です。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線事業者と別途ご契約(有料)をしていただく必要があります。
くわしくは、プロバイダまたは回線事業者にお問い合わせください。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線事業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- FTTH 回線終端装置、または ADSL モデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線事業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

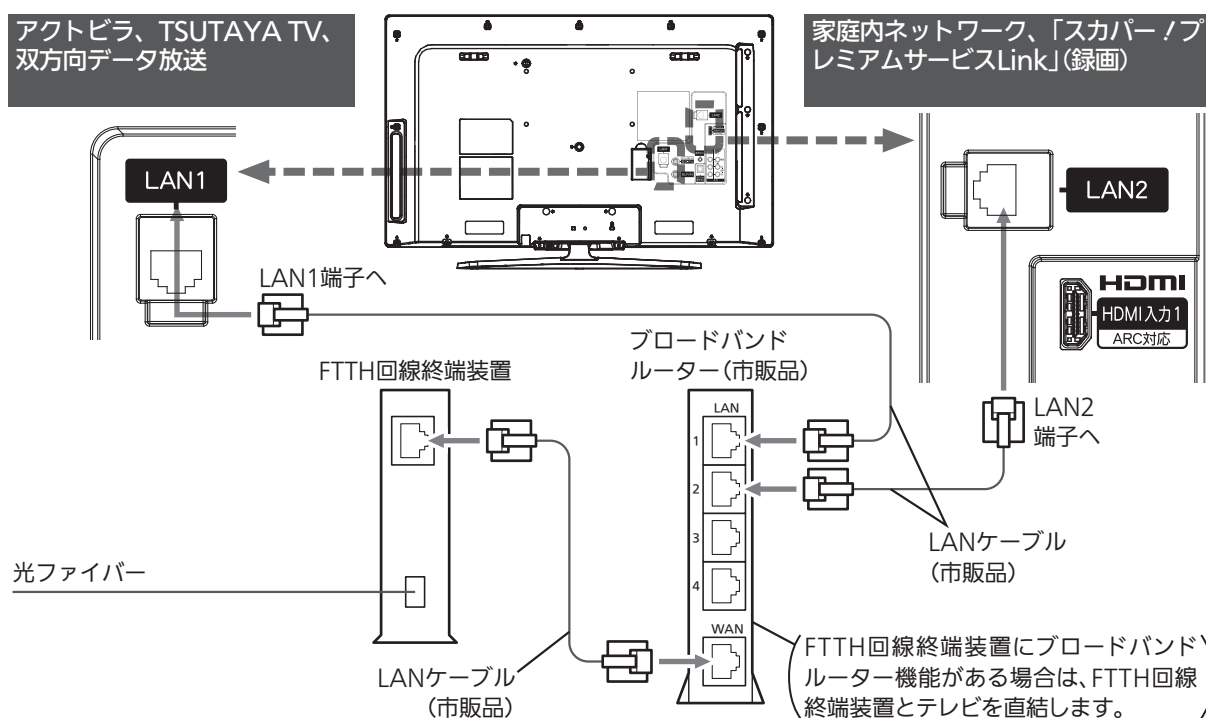
- FTTH 回線終端装置、または ADSL モデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付き ADSL モデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。

FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線事業者へお問い合わせください。

利用するサービスにより接続する LAN 端子が異なります。どのサービスを利用するのか、よく確認して接続してください。ネットワーク(動画配信サービス)を利用するときは、デジタル放送を受信するか時刻設定をしてください。

接続後は、「ネットワーク設定」P.141~142 を行ってください。

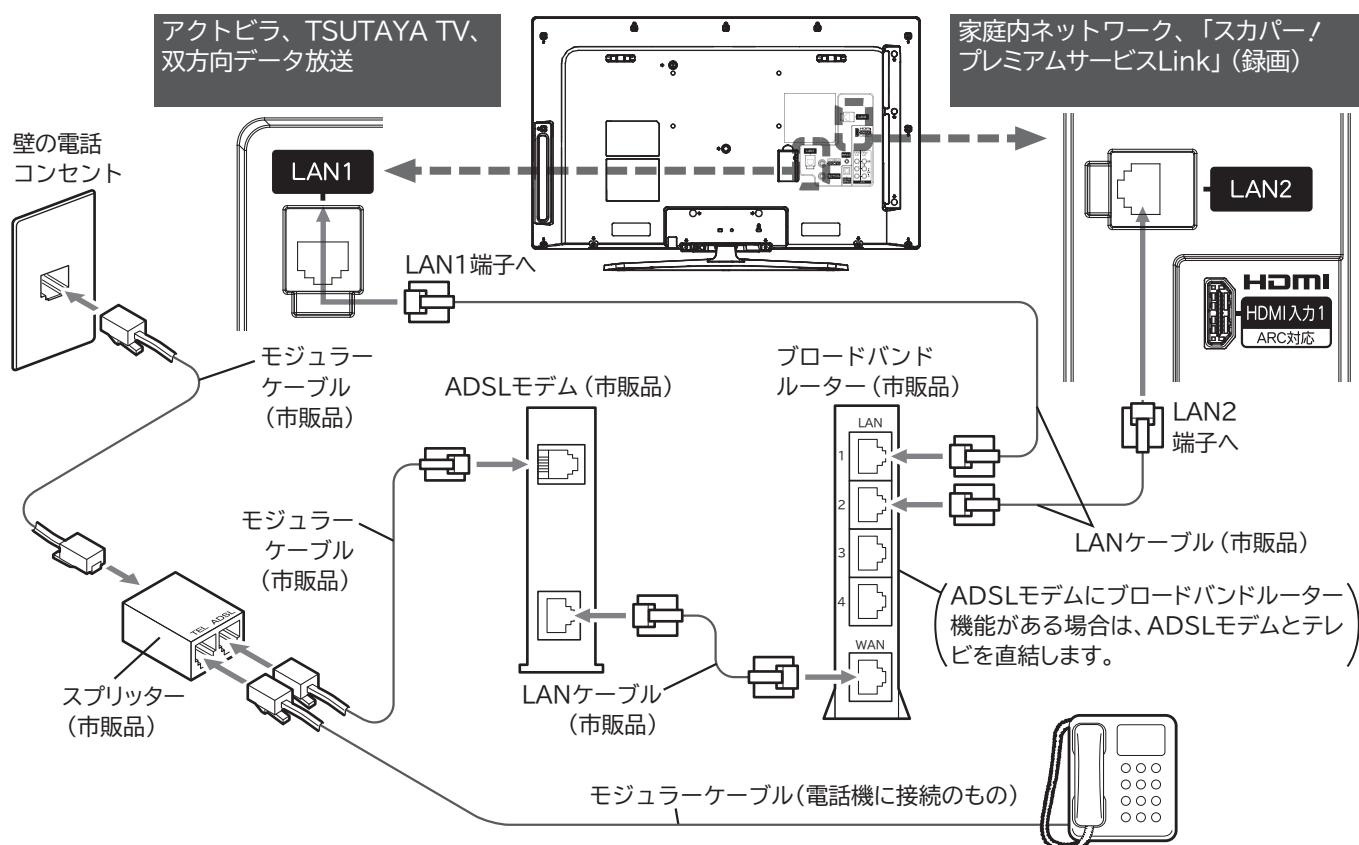


ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型 ADSL モデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。
- USB 接続の ADSL モデムをお使いの場合などは、ADSL 事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSL モデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSL の接続については、専門知識が必要なため、ADSL 事業者にお問い合わせください。

利用するサービスにより接続するLAN端子が異なります。どのサービスを利用するのか、よく確認して接続してください。ネットワーク(動画配信サービス)を利用するときは、デジタル放送を受信するか時刻設定をしてください。

接続後は、「ネットワーク設定」P.141~143 を行ってください。



テレビの
準備をする

インターネットにつなぐ

CATV(ケーブルテレビ)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

● 接続についてのお願い

- LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX タイプのものをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、回線終端装置、またはモデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、回線終端装置、またはモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

● 本機の MAC アドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機の MAC アドレスを確認する場合は、ネットワーク設定 P.141~142 をご覧ください。

● 動画配信サービスを利用するには

時刻情報を得るために、アンテナ線を接続してデジタル放送を受信してください。デジタル放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。

準備 6 リモコンの準備をする

● 乾電池を入れる

単 4 形乾電池 R03(UM-4)を 2 個使用



⚠ 警告

電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

⚠ 注意

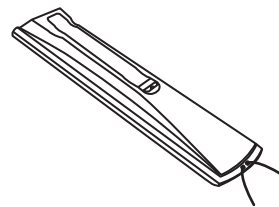
乾電池は⊖側から入れる

- 乾電池の寿命は約半年です。(ご使用の状態によって寿命が変わります。)
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2 個とも新しい乾電池と交換してください。

● 吊りひもをつけるとき

太さ 2mm 程度の丈夫なひもを用意してください。

図のように
丈夫なひもを通す



⚠ 注意

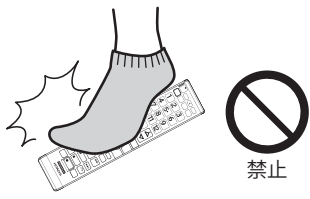
吊りひもを持って振り回さない
人に当たると、けがの原因になります。

📞 お願い! リモコンの取扱い

落としたり、物を当てたり、衝撃を与えない。



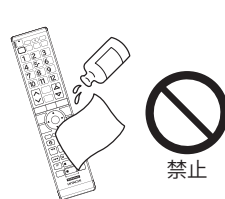
リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりしない。



水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。



ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。



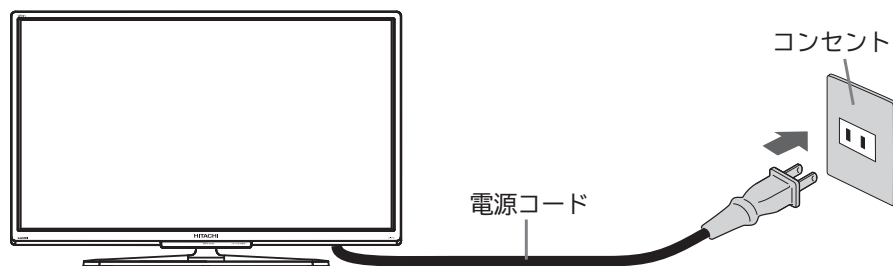
外傷に至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

- ボタンを押すときは、力を入れすぎないようにしてください。
- 丁寧に扱ってください。
- 油脂成分を含んだハンドクリームや化粧水などのついた手でボタンを押さないでください。
- 電子レンジなどの加熱調理機器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。
- 電池ぶた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし、発熱、液もれ、破裂などの恐れがありますので、必ず電池ぶたをつけてご使用ください。

準備 7 電源を入れる

● 電源コードをつなぐ

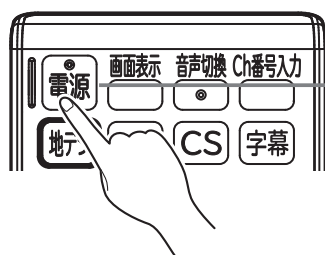
電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。



 **お願い!**

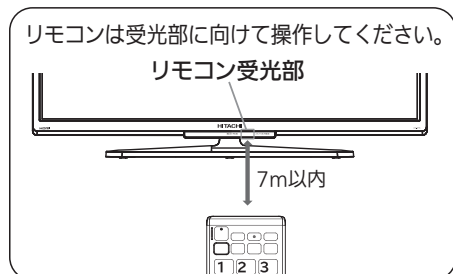
キャビネットや液晶パネルが損傷している場合は、電源プラグをコンセントに差し込まずに、お買い上げの販売店に連絡してください。

● リモコンで電源を入れる



電源ボタンを押す

お買い上げ後、初めて電源を入れると下記の画面(かんたんセットアップ)が表示されます。



かんたんセットアップ

お買い上げいただきありがとうございます。
これからテレビを視聴するための初期設定を行います。

設定を始める前に取扱説明書の
「テレビを見るための準備」をご覧ください、
準備が完了していることをご確認ください。



テレビの
準備をする

電源を入れる
リモコンの準備をする

準備8 かんたんセットアップをする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、画面にかんたんセットアップ設定画面が表示されます。

画面の案内に従って、確認・設定を行ってください。

1 準備が済んでいるか、確認する (アンテナ線の接続、miniB-CASカードの挿入)

- アンテナ線の接続が済んでいない場合は
いったん電源プラグを抜き、そのあとアンテナ線を接続してください。
- 「B-CASテストを行います」という画面が表示されるときは
miniB-CASカードが正しく挿入されていません。
P.22でminiB-CASカードの挿入を確認し、を押してください。
 - 「OK」が表示されたときは、を押します。→ 手順 2へ
 - 「NG」が表示されたときは、デジタル放送を視聴・録画できません。◀▶で「いいえ」を選び、を押します。→ 手順 2へ

2 地域設定をする

- ① お住まいの地域の郵便番号を入力する
 - 番号の入力を間違えたときは、を押します。
- ② お住まいの都道府県(地域)を確認する
 - 変更したいときは、◀▶で選び、を押します。
 - 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都島部」を選びます。
 - 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県島部」を選びます。
- ③ お住まいの市外局番を入力する
 - 番号の入力を間違えたときは、を押します。

3 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

- ① 設定/変更するかどうかを確認する
 - 地上デジタル放送のチャンネルを設定/変更しない場合は、◀▶で「いいえ」を選び、を押します。→ 手順 4へ
- ② お住まいの都道府県(地域)を確認する
 - 変更したいときは、◀▶で選び、を押します。
- ③ チャンネルスキャンの帯域を選ぶ
 - 「UHF」……通常はこちらを選んでください。
 - 「全帯域」…… ケーブルテレビ(CATV)をお使いの場合で、地上デジタル放送がパススルー方式で再送信されているときに選びます。
 - 帯域を選んで決定すると、チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。
設定が終わるまで10分程度かかることがあります。

④ チャンネル一覧の設定内容を確認する

- 地上デジタル放送のチャンネルを修正したいときは、かんたんセットアップ終了後に修正してください。P.151
- 一覧の「CH」や「チャンネル名」が「----」になって、設定ができないチャンネルがあるときは
 - ① を押して、衛星アンテナの電源設定画面を表示する
 - ② を押して、地上デジタル放送の設定画面に戻る
 - ③ 「全帯域」を選んで、もう一度地上デジタル放送のチャンネルスキャンを行う

4 衛星(BS・110度CS)アンテナの電源の設定をする

「供給しない」……

次のような場合を選びます。

- 他の機器(レコーダーなど)からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しているとき。
- マンションなどで共同受信しているとき。
- ケーブルテレビ(CATV)で受信しているとき。

「受信設定」(衛星)画面の「アンテナ電源」が「オフ」に設定され、本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しません。
他の機器からBS・110度CSアンテナへ電源が供給されていない(他の機器が通電状態になっていないなど)ときは、本機でBS・110度CSデジタル放送を視聴・録画することはできません。

「テレビ連動」……

- 本機とBS・110度CSアンテナを直接つなぎ、他の機器からBS・110度CSアンテナへ電源を供給していないとき。

「受信設定」(衛星)画面の「アンテナ電源」が「オン」に設定され、本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します。

「接続しない」……

- BS・110度CSアンテナを接続していないとき。
- 衛星アンテナ電源の設定確認画面で正しく設定されていないときは、◀▶で「再設定」を選び、を押します。
もう一度設定してください。
- 再設定をしても正しく設定できない場合は、アンテナの向きや受信環境に問題があると考えられますので、お買上げの販売店にご相談ください。

5 節電画質設定をする

「変更する」…… ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

「しない」…… 工場出荷時の画質のままになります。

- 節電画質を設定すると、画面がそれまでと比べやや暗くなります。

6 高速起動の設定をする

「変更する」…

- 高速起動が「入」になり、電源が切の状態から起動して(本機の電源が入になって)から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。高速起動が「入」のときは、
 - ・ 動作を安定させるために1日1回内部のシステムを再起動させます。
 - ・ 高速起動を「切」にしたときと比較して、待機時消費電力(リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力)が増えます。

- 「変更する」で決定すると、再起動する時刻を設定する画面が表示されます。(工場出荷時の設定 … AM(午前) 5:00)

この時刻でよいときは、**決定**を押して確定します。

使用しない時間帯に変更するときは、次の操作をします。

- ① ▲▼ で「時」を選び、▶ で分に移動する
- ② ▲▼ で「分」(10分単位)を選び、▶ で「確定」に移動する
- ③ **決定**を押して、確定する

「しない」…

高速起動が「切」になり、起動時間を高速化しません。

7 確認事項を確認し、かんたんセットアップを終了する

- 追加のメッセージが表示されるときは、メッセージに従って必要な接続や設定を行ってください。
- 「受信できません」が表示されるときは、かんたんセットアップ中に視聴しない放送が選ばれたままになっている可能性があります。受信可能な放送に切り換えてみてください。

P.47

お知らせ

- かんたんセットアップは、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 地上デジタル放送のチャンネルスキャンをしなかったときは、かんたんセットアップ終了後、必ず時計を合わせてください。

P.157

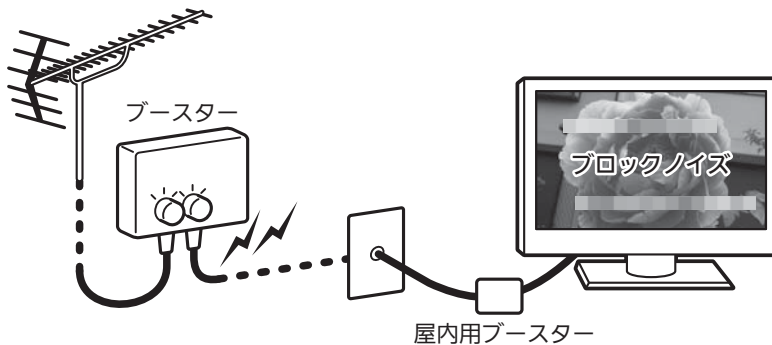
時計を合わせないと、録画予約、ネットワーク(「アクトビラ」、「TSUTAYA TV」)の利用、「スカパー! プレミアムサービスLink」(録画)ができません。(地上デジタル放送のチャンネルスキャンをすると、放送を受信できる状態のときは時刻が自動的に設定・修正されます。)

- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、かんたんセットアップをやり直したいときは **P.150** をご覧ください。

屋内配線も重要です

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、屋内配線を確認してみましょう。

アナログ放送のときに使っていたブースターをそのまま使っていると、電波が強すぎて、映りが悪くなることがあります。



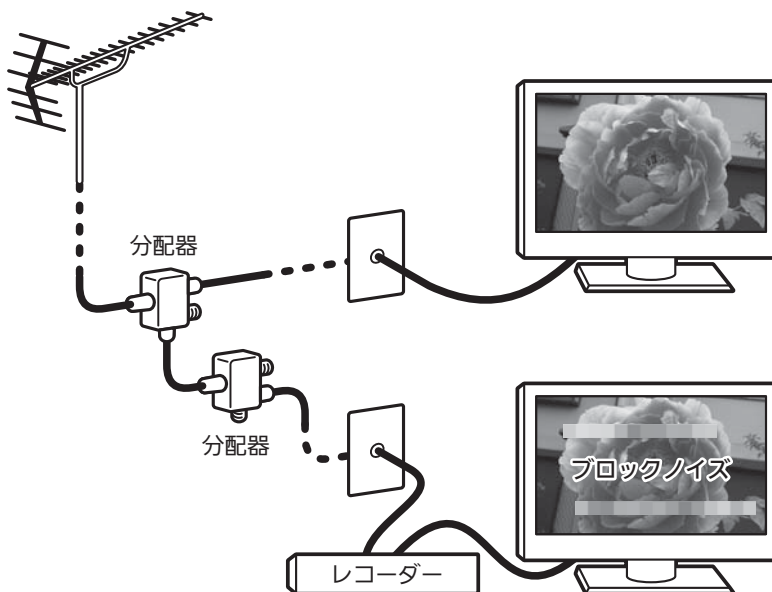
アッテネーターの設定を確認しましょう。

P.153 のアッテネーターを「入」にして映りが良くなれば電波が強すぎると考えられます。ブースターの利得調整ができるなら利得を下げましょう。

屋内用ブースターを外してみましょう。

屋内用ブースターは、アンテナから壁の端子の妨害も一緒に増幅し、映りを悪くする場合があります。

分配器や録画機器を通っていると、電波が弱くなり、映りが悪くなります。

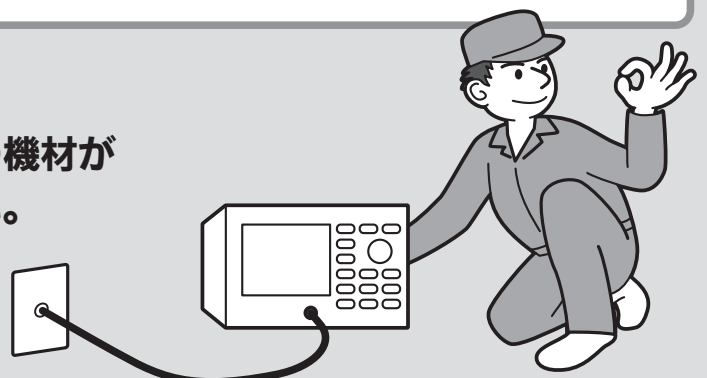


アンテナレベルを確認しましょう。

「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」で受信レベルを確認できます。

安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

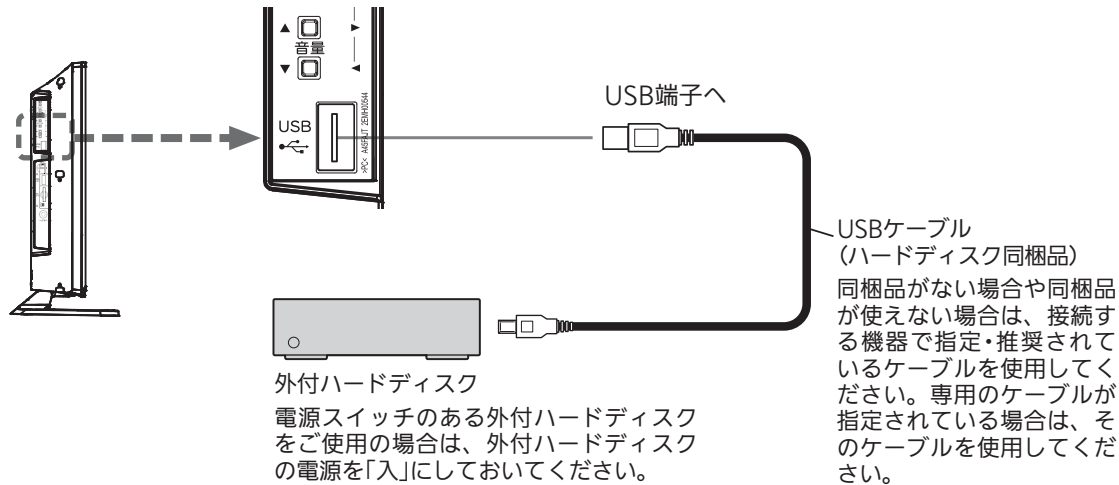
電波状況の確認については、専用の機材がそろった工事業者にご相談ください。集合アンテナをご利用の場合は、管理者にご相談ください。



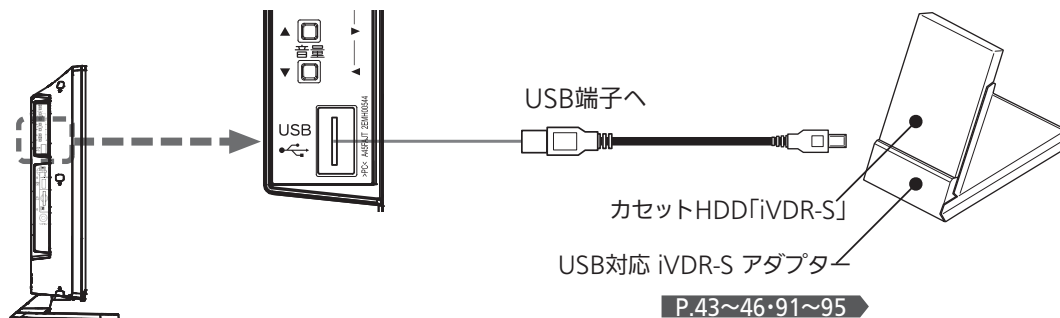
準備 9 外付ハードディスクやカセット HDD を使う

本機に市販の外付ハードディスクを接続することで、本体に録画した番組を移動して、録画できる番組数を増やすことができます。USB 対応 iVDR-S アダプター経由でカセット HDD 「iVDR-S」を接続し、デジタル放送を録画したり、録画した番組を再生することができます。設定や操作については、**P.43~46・91~95** をご覧ください。

● 外付ハードディスクをつなぐ



● USB 対応 iVDR-S アダプター経由でカセット HDD 「iVDR-S」をつなぐ



お知らせ

- デジタル放送録画用の外付ハードディスクやカセット HDD 「iVDR-S」を接続してください。
- 本機の USB 端子はデジタルビデオカメラやデジタルカメラの写
真を見る場合と共用ですが、外付ハードディスクやカセット
HDD を使用するときは、本機の USB 端子にはデジタル放送録
画用ハードディスクやカセット HDD だけを接続してください。
- 本機に接続できるハードディスクは 1 台だけですが、8 台まで
登録して使用することができます。USB 対応 iVDR-S アダプ
タは登録なしで使用できます。
- USB ハブ(ひとつの USB 端子を複数の USB 端子に変換する機
器)は使用できません。
- 本体の録画再生中や外付ハードディスクやカセット HDD が動作
中は、外付ハードディスクやカセット HDD を外さないでください。
- 本機に接続できる外付ハードディスクは、USB2.0 コネクタを持ち、
USB マスストレージクラスで、容量 160GB から 2TB までです。
(注：160GB と表示があっても実質容量が 160GB を切るもの
は外付として使用できません。接続するハードディスクの取
扱説明書などでご確認ください。)
- 本機と接続テスト済みの外付ハードディスク、USB 対応 iVDR-S
アダプターやカセット HDD のメーカーや型番については、当社の
ホームページ(<http://av.hitachi-ls.co.jp/check/>)やハード
ディスクのメーカーのホームページなどでご確認ください。

- 外付ハードディスクやカセット HDD を接続していると、電源
「入」時や録画一覧表示時にしばらく操作ができないことがあり
ます。ハードディスクの情報を取り込んでいるためです。しば
らく待ってから操作をしてください。

お願い!

- ハードディスクを設置するときは、本機を移動させたときに当
たり倒れたりしないよう、よく確かめながら設置してください。
- USB ケーブルが長い場合は、本機を移動させたときにケーブル
が引っ掛からないよう、よく確かめながら接続してください。
- USB ケーブルは、ハードディスク同梱のものを使用してくださ
い。長さが合わないなどでやむを得ず同梱品以外のケーブルを
使用する場合は、接続機器で指定・推奨されているケーブルを
使用してください。USB 規格に準拠していないケーブルは不具合
の原因となりますので使用しないでください。
- ハードディスクの取り外しは、必ず次のようなときに行ってください。
・「メニュー」→「テレビ操作」→「外付ハードディスク取外し」
または「カセット HDD 取外し」で「はい」を選んでから
P.46
- ハードディスクの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使
用ください。
- 「外付ハードディスクに異常が発生しました。」などの画面表示が
何度も表示される、外付ハードディスクが認識されない、など、
外付ハードディスクに不具合が起きた場合は、お買い上げのメ
ーカーへお問い合わせください。

テレビの
準備をする

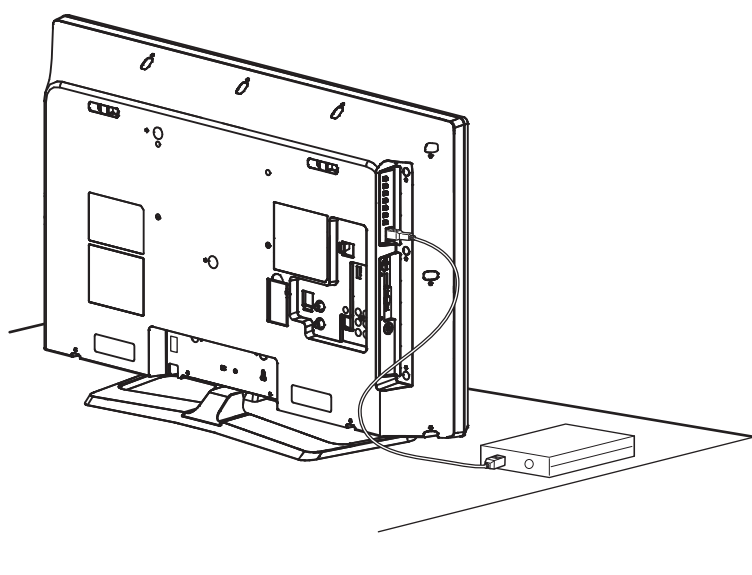
外付ハードディスクやカセット HDD を使う
屋内配線も重要です

準備 9 外付ハードディスクやカセット HDD を使う(つづき)

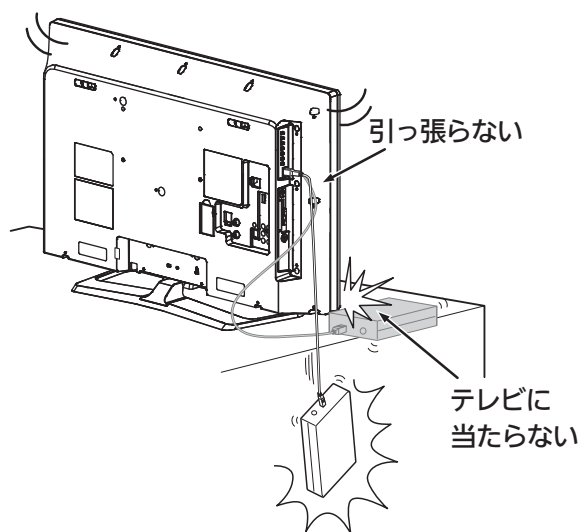
- 外付ハードディスクやカセット HDD は非常に精密な機器です。衝撃や振動などが加わらないよう、丁寧にお取扱いください。
特に外付ハードディスクやカセット HDD の動作中(ハードディスクの表示灯が点灯や点滅をしているとき)はご注意ください。
- USB ケーブルは、余裕を持たせて接続してください。きつく折れ曲がる状態にすると、ケーブルが断線する恐れがあります。

本体への取り付け例(据え置きタイプ)

据え置きタイプのハードディスクをご使用になられる場合の取り付け例です。
接続している USB ケーブルは本機を移動させたときに
ケーブルが引っ掛かったりハードディスクを引っ張らないように接続してください。
ハードディスク本体も、テレビ移動時にテレビと接触しないように設置ください。
ハードディスクの動作不良、故障の恐れがあります。

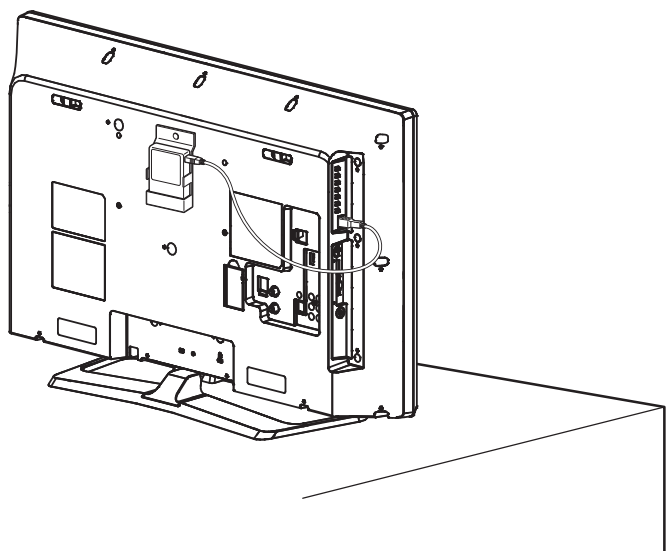


【悪い例】

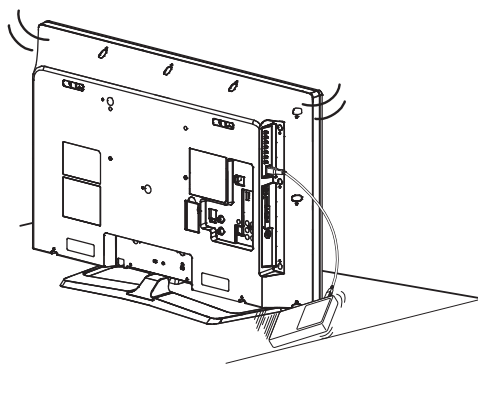


本体への取り付け例(ポータブルタイプ)

ポータブルハードディスクと、そのメーカーオプションの取付キットをご使用になられる場合の取り付け例です。
取付キット同梱ネジは、しっかり締まるサイズのあったものを必ずご使用ください。



【悪い例】



未登録の外付ハードディスクを登録する

※ 登録済みの外付ハードディスクをつなぎ直したときは、再登録する必要はありません

本機に接続できる外付ハードディスクは1台だけですが、8台まで登録して利用することができます。

気を付けて

- 登録すると、外付ハードディスクが初期化され、外付ハードディスクの内容はすべて消去されます。
本機以外(同一型式の当社モデルを含む)で使用した外付ハードディスクを本機に登録する場合も、同様に外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。
- 初期化で消去された内容は、元には戻せません。
- 登録後は、登録をした本機でのみ利用することができます。(同一型式の当社モデルでも利用できません。)
- 登録を削除した外付ハードディスクを再登録する場合も、同様に初期化され、内容がすべて消去されます。
- 外付ハードディスクやカセットHDDの初期化中や動作中は、外付ハードディスクやカセットHDDの電源を切ったり、本機や外付ハードディスクやカセットHDDの電源コードやUSBケーブルを抜かないでください。
本体/外付ハードディスクやカセットHDDの録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。
また、USBケーブルを抜いて外付ハードディスクやカセットHDDを取り外すときは、必ず **P.46** の手順を行って取り外してください。
- 万一本機が故障して主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合、外付ハードディスクの登録情報が削除され、外付ハードディスクの再登録(初期化)が必要となります。再登録(初期化)すると、外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。

外付ハードディスクの接続時に登録するとき

1 本機の電源が「入」で放送や外部入力を視聴しているときに、未登録の外付ハードディスクをUSBケーブルで本機に接続する **P.41**

(外付ハードディスクに電源スイッチがある場合は、外付ハードディスクの電源を入れてください。)

- 次のメッセージが表示されます。

USB端子に大容量機器が接続されました。
外付ハードディスクとして登録してよろしいですか？

カメラなどを接続している場合は「いいえ」を選んでください。
登録を行うと記録された画像が消去されます。

■メッセージが表示されない場合は

P.44で「外付ハードディスク一覧」画面から登録してください。

- 接続したUSB機器を外付ハードディスクとして利用しないときは、登録しないでください。
登録すると、USB機器に記録された内容がすべて消去されてしまいます。
「いいえ」のまま **(決定)** を押して決定したあと、必ず **P.46** の手順を行って取り外してください。

2 外付ハードディスクとして使用する場合のみ、◀▶で「はい」を選び、**(決定)**を押す

USB端子に大容量機器が接続されました。
外付ハードディスクとして登録してよろしいですか？

カメラなどを接続している場合は「いいえ」を選んでください。
登録を行うと記録された画像が消去されます。

- 「はい」で決定すると、次のメッセージが表示される場合は、すでに8台登録済みで9台目の登録となっています。

外付ハードディスクの登録数が満杯です。
「外付ハードディスク一覧」から不要な機器を削除してください。

(決定) を押して通常画面に戻したあと、**P.45** で不要な外付ハードディスクの登録を削除してください。
登録を削除した外付ハードディスクの内容は再生/編集/移動できなくなります。他の機器で再生/編集することもできませんので、削除する外付ハードディスクは慎重に選んでください。

3 ◀▶で「はい」を選び、**(決定)**を押す

外付ハードディスクを初期化します。
外付ハードディスク内のデータはすべて消去され、本機専用の機器となります。よろしいですか？

カメラなどを接続している場合は「いいえ」を選んでください。

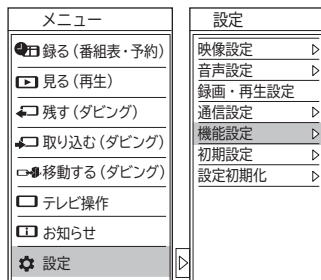
- 外付ハードディスクの初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化が終わると終了画面が表示されます。

4 **(決定)** を押し、通常画面に戻す

準備 9 外付ハードディスクやカセット HDD を使う(つづき)

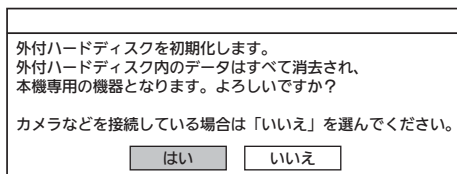
「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき

- 1 を押す
- 2 ▲▼ で「設定」を選び、 を押す
- 3 ▲▼ で「機能設定」を選び、 を押す



- 「機能設定」画面が表示されます。

- 4 ▲▼ で「外付ハードディスク一覧」を選び、 を押す
- 5 ▲▼ で「●(赤) 未登録」の外付ハードディスクを選び、 を押す
- 6 ◀▶ で「はい」を選び、 を押す



- 外付ハードディスクの初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化が終わると終了画面が表示されます。

- 7 を押し、通常画面に戻す

カセットHDDを接続するとき

- 1 本機の電源が「入」で放送や外部入力を視聴しているときに、カセットHDDを装着したUSB対応iVDRアダプターをUSBケーブルで本機に接続する **P.41**

- カセットHDDは登録なしで使用できます。

- 外付けハードディスクの登録画面 **P.43** が表示された場合は、登録しないでください。

登録すると、カセットHDDに記録された内容がすべて消去されてしまいます。

「いいえ」のまま を押して決定したあと、必ず **P.46** の手順を行って取り外してください。

- 2 初期化の前のカセットHDDを接続した場合は、 を押し、通常画面に戻す

未フォーマットのカセットHDDが接続されています。
「メディア管理(初期化)」の「カセットHDD初期化・設定」より、「全消去」を行ってください。

確認

- カセットHDDを初期化するには、**P.160** 「カセットHDDの録画内容を全部または一部消去する」の手順 **1** ~ **4** を行ってください。

外付ハードディスクの登録・接続状況を確認する/登録名を変更する/登録を削除する

「外付ハードディスク一覧」画面で操作します。

外付ハードディスクの登録・接続状況を確認する

1 **P.44**▶ (「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき)の手順 **1**~**4** を行う

2 登録・接続状況を確認する

外付ハードディスク一覧 10/14 金 PM 3:15

接続状態	名称	登録日時	容量
● 接続中	ハードディスク1	2016/10/13 PM 7:11	500 GB
● 未接続	ハードディスク2	2016/10/ 6 PM11:40	1 TB
● 未登録	ハードディスク3	2016/10/10 PM 9:36	2 TB

外付ハードディスクの本機への登録状況を確認できます

- (緑) : 登録済みで接続中
- (グレー) : 登録済みで未接続
- (赤) : 未登録で接続中

3 確認が終わったら
メニューを押し、通常画面に戻す

外付ハードディスクの登録名を変更する

1 **P.44**▶ (「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき)の手順 **1**~**4** を行う

2 ▲▼ で登録名を変更したい外付ハードディスクを選び、赤を押す

3 登録名を変更する
(文字の入力のしかたは、**P.107**▶ をご覧ください。)

4 すべての文字を確定したら
決定を押して文字入力を終了する

5 変更が終わったら
戻るを押し、通常画面に戻す

外付ハードディスクの登録を削除する

気を付けて

- 登録を削除した外付ハードディスクを再登録する場合は、外付ハードディスクが初期化され、内容がすべて消去されます。

登録を削除した外付ハードディスクの内容は再生/編集/移動できなくなります。他の機器で再生/編集することもできませんので、削除する機器は慎重に選んでください。

- 接続中の外付ハードディスクは削除できません。
- 未登録の外付ハードディスクは削除できません。**P.46**▶ で取り外すと一覧から消えます。

1 **P.44**▶ (「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき)の手順 **1**~**4** を行う

2 ▲▼ で登録を削除したい外付ハードディスクを選び、黄を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

4 削除が終わったら
戻るを押し、通常画面に戻す

準備 9 外付ハードディスクやカセット HDD を使う(つづき)

外付ハードディスクやカセットHDDを取り外す

気を付けて

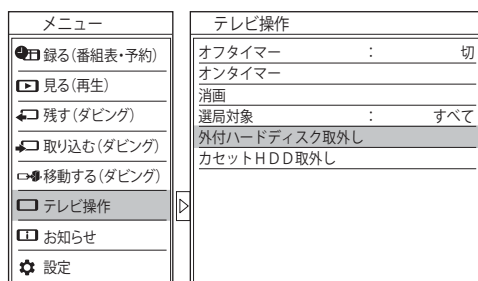
- 必ず、本機の電源が「入」で停止中のときに、このページの手順に従って取り外してください。
そのままUSBケーブルを抜いて外付ハードディスクやカセットHDDを取り外すと、本機と外付ハードディスクやカセットHDDの録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。
- 本機の電源が「切」の場合は、録画予約の録画実行中、録画モード変換予定番組の録画モード変換中など、本機内部の電源が入っていることがありますので、録画/予約ランプ **P.16** が赤色に点灯している場合は、外付ハードディスクやカセットHDDを取り外さないでください。

1 本機の電源が「切」の場合は、
本機の電源を入れておく

2  を押す

3 ▲▼ で「テレビ操作」を選び、**(決定)** を押す

4 ▲▼ で「外付ハードディスク取外し」
または「カセットHDD取出し」を選び、
(決定) を押す



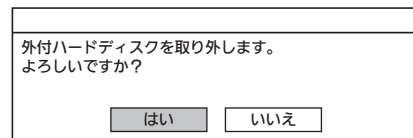
■ 「外付ハードディスク取外し」または「カセットHDD取外し」がグレーで選べないときは

手順 **4** 以降の操作は不要です。

 を押して通常画面に戻してください。

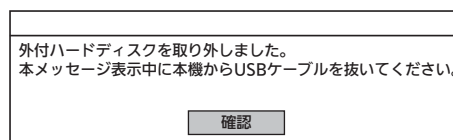
そのあと、本機からUSBケーブルを抜いてください。(録画/予約ランプ **P.16** が赤色に点灯中は、USBケーブルを抜かないでください。)

5 次のメッセージが表示されたら、
◀▶ で「はい」を選び、**(決定)** を押す



- 外付ハードディスクやカセットHDDを安全に取り外すための処理を行います。

6 次のメッセージが表示されたら、
(決定) を押す



7 本機からUSBケーブルを抜く

- 外付ハードディスクに電源スイッチがある場合は、外付ハードディスクの電源を切ります。

デジタル放送を見る(地上・BS・110度CS デジタル)

1 電源を入れる

- スタンバイ / 受像ランプが緑色に点灯します。



2 デジタル放送の種類を選ぶ

- [CS] は押すごとに CS1 と CS2 が切り換わります。
- 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。P.155

3 チャンネルを選ぶ

- 数字ボタンは、数字の真ん中を押してください。
- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルを変えることができます。P.151~152

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

- BS・110度CS デジタル放送の工場出荷時に設定されているチャンネルについては、P.165 をご覧ください。



3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

番号入力ボタンを押した後、数字ボタンで3桁入力する
3秒以内に次の番号を押してください。

例：103チャンネルを選ぶとき



「0」を入力するときは「10%」を押します。

- 110度CS デジタル放送では、CS1、CS2 のどちらからでも選べます。
- 「サブメニュー」→「Ch 番号入力」を選んでから数字ボタンで入力して選ぶこともできます。サブメニューについては P.119 をご覧ください。

チャンネルを順送り / 逆送りで選ぶ

チャンネル▲▼ボタンを押す



4 音量を調節する

- 音量は 0 から最大 60 まで変化します。
- 待機状態※のときでも、音量を小さくすることができます。
※電源「切」直後、5 秒程度は受け付けません。
- スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。P.133



音量選局などの操作以外は起動中の表示が消えてから行ってください。

🗣️ お願い /

携帯電話の通話や無線機などをご使用になると、本機に近づくすると、本機の音声に異音が入ったり、画面にノイズが出たりする場合があります。

異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

お知らせ

- 視聴年齢制限の対象番組を選んだときは、暗証番号入力画面が表示されます。P.145
- 受信状況(受信レベル)の確認ができます。P.124

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BS ラジオ放送、データ放送の分類があります。

データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、好みの情報を見ることができます。

データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。

また本機をインターネットに接続することで、データ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。

1 デジタル放送を見ているときに

📺 を押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4 種類の色ボタン(青 赤 緑 黄 ボタン)や▲▼◀▶ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。

それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

操作方法は番組、内容などによって異なります。画面の指示をご覧ください。

連動データ放送を見ているときに 📺 をもう一度押すと、テレビ放送に戻ります。

お知らせ

- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、「サブメニュー」→「番組説明」を選んで「番組説明」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。
くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴することはできません。
- 本機ではデータ放送を録画することはできません。
- 空いている数字ボタンに、よく使うデータ放送のチャンネルを設定しておくとう便利です。くわしくは P.151 をご覧ください。

テレビの準備をする

テレビを見る

デジタル放送を見る
外付ハードディスクやカセットHDDを使う

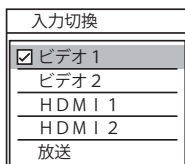
他の機器の映像を見る(入力切換)

他の機器との接続方法については、**P.25~33** をご覧ください。

例：ビデオ 1 に接続したビデオの映像を見る場合 **P.25**

1 本機とビデオの電源を入れる

2 入力切換 を押して、「ビデオ 1」に切り換える



入力切換 を押すごとに次のように切り換わります。



▲▼ で項目を選び、**決定**を押しても切り換わります。

本体側面の入力切換ボタンでも切り換わります。



- 視聴しない放送波を無効にすることができます。 **P.155**

3 ビデオの再生をする

お知らせ

- 「入力スキップ設定」 **P.149** によりすべての入力、スキップする(飛ばす)ことができます。
- 外部入力をスキップするには、「入力スキップ設定」 **P.149** で「する」に設定してください。
- ビデオ入力 2 を視聴中に本機の電源プラグを抜いた場合、次に本機の電源を入れるとデジタル放送に切り換わります。ビデオ入力 2 を視聴する場合は、入力切換ボタンで切り換えてください。

お願い

ビデオなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

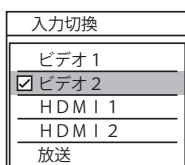
他の機器の音楽を聞く

携帯音楽プレーヤーをつないで、本機で高音質な音楽が楽しめます。

ビデオ 2 に接続した携帯音楽プレーヤーを聞く場合 **P.25**

1 本機と携帯音楽プレーヤーの電源を入れる

2 入力切換 を押して、「ビデオ 2」に切り換える



- 画面に「音楽プレーヤー接続モード」と表示されます。その後、消画となります。消画を解除したいときは、電源以外のボタンを押してください。このときは、押したボタンの動作はしません。

3 携帯音楽プレーヤーの再生をする

お知らせ

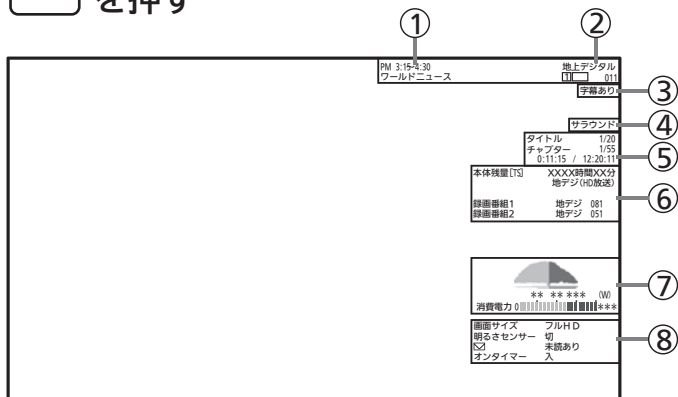
- 携帯音楽プレーヤーを接続するときは、ビデオ 2(またはビデオ 1)の映像入力には接続線を差し込まないでください。
- 音量が小さい場合は、携帯音楽プレーヤー側で調節することをおすすめします。本機側だけで音量を上げると、音楽を聞き終わって他の入力に切り換えたときに音量が大きくなりすぎることがありますのでご注意ください。音楽を聞き終わったあとは、携帯音楽プレーヤー側の音量を元の大きさに戻してください。
- 音声モード **P.130** は、「音楽プレーヤー」に固定され、切り換えることはできません。
- ビデオ入力 2 を視聴中に本機の電源プラグを抜いた場合、次に本機の電源を入れるとデジタル放送に切り換わります。ビデオ入力 2 を視聴する場合は、入力切換ボタンで切り換えてください。

チャンネル番号などを表示する

現在見ている番組の番組名、放送の種類、チャンネル番号、外部入力、現在時刻などを確認できます。

画面表示

を押す



※イラストは表示の一例です。

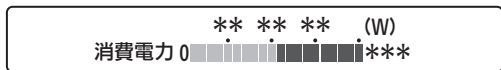
押すごとに次のように切り換わります。



- 「①」は、数秒で消えます。表示を切り換えるには表示している間にボタンを押します。
- 「②」は、焼き付け(映像内容が変わっても画像が消えずに残る)防止のため、電源を切ると表示は消えます。
- 「⑤」は、再生中のみ表示されます。

節電メーターについて

この表示を節電メーターといいます。



※目盛は機種によって異なります。

現在の消費電力の目安をバーグラフで表示します。

お知らせ

- メニューを表示中でも、右下に消費電力値を表示します。設定を変更による消費電力の変化を見ることができます。
- 消費電力値はテレビ機能のみからの算出値で、使用状況、固体差などの条件により、実際と異なります。

- ①…番組の開始時刻と終了時刻、番組名
- ②…放送の種類、チャンネル番号、外部入力など
- ③…字幕の有無 **P.50**
- ④…音声の種類 **P.51**
- ⑤…番組のタイトルやチャプターの現在番号/総数、再生経過時間/総再生時間(時間、分、秒)、など
時間やチャプター数などの数字は、とびとびに表示されることがあります。
- ⑥…本体(ハードディスク)などの動作状態や残量時間、いろいろな情報
再生中、録画中、停止中によって、表示される情報が変わります。
- ⑦…節電メーターとエコ効果メーター
※目盛は機種によって異なります。
- ⑧…画面サイズ **P.58**、明るさセンサー **P.129**、未読のお知らせの有無 **P.123**、オンタイマー **P.57**

お知らせ

- 残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。
残量時間は、録画中、停止中の情報に表示されます。現在本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。

エコ効果メーターについて

この表示をエコ効果メーターといいます。



緑色の面積が大きくなるほどエコ効果(省電力度)が高くなります。6段階のエコ効果を表示します。

現在時刻を表示する

現在時刻の表示 / 非表示を切り換えることができます。

を押す

現在時刻が表示されます。



もう一度押すと、現在時刻が消えます。

- 他の画面表示が表示されているときは、一時的に時刻表示オフになります。

テレビを見る

チャンネル番号などを表示する／現在時刻を表示する
他の機器の映像を見る／他の機器の音楽を聞く

字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕や文字スーパーが表示できるようになっています。
本機では、字幕や文字スーパーの表示／非表示や言語を設定できます。

字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに

字幕を押す

- 字幕が表示できるかどうかは、次の方法で確認できます。
 - ・「サブメニュー」→「番組説明」を選ぶ
- 字幕表示できる番組では、番組説明画面 **P.55** に **字幕** マークが表示されます。

くり返し押して「日本語」または「英語」を選ぶと字幕が表示されます。

押すごとに次のように切り換わります。



▲▼ で項目を選び、**決定**を押しても切り換わります。

「日本語」…………… 番組の日本語の字幕を表示します。
「英語」…………… 番組の英語の字幕を表示します。
「切」…………… 字幕や文字スーパーを表示しません。

お知らせ

- 英語の字幕が放送にないときは、「英語」を選択しても日本語が表示されます。

チャンネル内の映像を切り換える (映像切換)

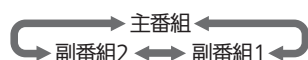
ひとつの番組で複数の映像を放送している番組(マルチビュー放送)を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。

1 デジタル放送を見ているときに サブメニューを押す

2 ▲ ▼ で「映像切換」を選び、**決定**を押す

3 ▲ ▼ で映像の種類を選び、**決定**を押す

切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。
たとえば、主番組と副番組 1、副番組 2 が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。



お知らせ

- マルチビュー放送とは
ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大 3 つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や、他の映像信号がない場合は、映像は切り換わりません。

視聴中の番組の音声を切り換える (音声切換)

複数の音声がある番組を見ているときは、視聴中に音声を切り換えることができます。

複数の音声がある番組を見ているときに

を押す

押すごとに音声切り換わります。

お知らせ

P.134 「音声設定」→「光音声出力設定」を「自動」に設定して Dolby Audio-Dolby Digital の二重音声を再生しているときは、デジタル音声(光)出力端子から出力している音声を、本機の「音声切換」操作で切り換えることはできません。この場合は、「光音声出力設定」を「PCM」にするか、アンプ側で切り換えてください。

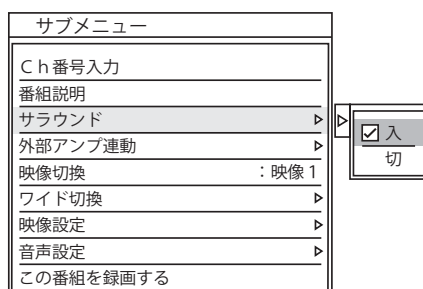
「サラウンド」で聞く

サラウンドを「入」にすると、音声の奥行き感や広がり感が強調されます。
音楽番組やスポーツ中継などに適しています。

1 を押す

2 ▲ ▼ で「サラウンド」を選び、
(決定)を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ



4 を押す

お知らせ

- サラウンドを「入」に設定すると、音が大きくなるように感じることがあります。
- モノラル音声や二重音声を左右同じ音で聞いているときには効果がありません。
- ヘッドホン使用時にこの機能はありません。
- 「メニュー」→「設定」→「音声設定」→「サラウンド」でも設定を切り換えることができます。音声設定については **P.131** をご覧ください。

テレビを見る

視聴中の番組の音声を切り換える／「サラウンド」で聞く
字幕を出す／チャンネル内の映像を切り換える

番組表を見る

番組表を表示して、録画予約(簡単予約 **P.82**、詳細予約 **P.83**)をしたり、放送中の番組を確認することができます。番組表は、最大8日分まで表示できます。

番組表について

番組表の見かた

(例) 1画面の表示チャンネル数が、5チャンネル表示のとき

放送の種類 地上D番組表 **番組表の表示対象** 表示する対象を選ぶことができます。 **P.53**

現在時刻 15:15

選択中の番組の放送日時と簡単な情報 10月14日(金) 第8回〇響演奏会 15:00~16:00

選択中の番組(青色) 00 ニュース 00 ワールドニュース 00 わくわく動物園めぐり 00 映画劇場「刑事〇〇〇〇」 00 野球中継 〇〇×〇〇 ~△△△ 00 アニメ「〇〇〇〇〇〇」 30 アニメ「〇〇〇〇〇〇」

ガイド表示 番組情報のジャンル情報をもとに、映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメの番組は、色分け表示されます。

番組表 1画面で表示するチャンネル数を選ぶことができます。 **P.53**

日付 14金 15土 16日 17月 18火 19水 20木 21金

選択中の番組のジャンルアイコン **P.185**

リモコンのチャンネル番号(1 ~ 12)、放送局の3桁チャンネル番号、放送局名

青線で表示されているところには、短い番組があります。選ぶと、番組が表示されます。

00 ドラマスペシャル「××家の人々」 00 鉄道の旅「九州」 00 鉄道の旅「九州」 54 天気予報 00 鉄道の旅「九州」

- 番組表から録画予約した番組には「**予**」が表示されます。(毎週/毎日録画の番組の場合は、1回目の予約にだけ表示されます。)
- 番組表を表示中に **黄** を押すと、選んでいる番組の詳しい情報(番組説明)を見ることができます。 **P.55**

番組表の表示について

- お買い上げ後、すぐには番組表を表示できません。かんたんセットアップ(チャンネル設定)を済ませていないと、番組データが受信できないため、番組表を表示できません。
- それぞれのデジタル放送を受信できる環境であれば、各放送局から送信される番組表を表示できます。
 - 現在視聴中の放送の種類での番組表が表示されます。
 - 地上デジタル放送では、放送局ごとに番組情報を送信します。受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、**◀▶** でその放送局を選択し(青色にする)、**決定** を押してください。
 - BS・110度CS放送では、どの放送局を選局してもすべての放送局の番組情報を表示します。
 - 番組表を表示中に、サブメニューの「番組データ取得」から取得して表示することもできます。 **P.53**
 - 番組表の内容が表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。
 - チャンネル設定をやり直したときや、約1週間以上電源プラグを抜いていたときは、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。

番組データの受信(取得)について

- 本機の電源プラグを抜いているときや、停電したときは、番組データを受信できず、空欄になるか前回の内容が残ります。
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。受信レベルの確認方法は **P.124** をご覧ください。
- ソフトウェア更新(オンエアダウンロード)と番組データの受信が重なったときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ケーブルテレビ(CATV)は、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

「表示対象」が「設定チャンネル」時のCS2の番組表について

- CS2のPo1 ~ 36に設定されているチャンネルが表示できます。工場出荷時は、あらかじめ設定されたPo1:CS100、Po13 ~ 36:CS161 ~ CS321の25チャンネルが表示されます。
- Po2 ~ 12はお好みのチャンネルを設定していただくために未設定です。Po2 ~ 12にチャンネルを設定し、番組表に表示するには、**P.151** をご覧ください。
- CS2の放送サービスはチャンネル数が36を超えるため、すべてのチャンネルを表示することはできません。すべてのチャンネルを表示するには、「表示対象」を「テレビ」または「すべて」に設定してください。 **P.53**

お知らせ

- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が変更され、番組表の内容と異なることがあります。

放送中の番組を番組表から選んで見る

1 **番組表** を押して、番組表を表示する

2 **◀▶** で現在放送中の視聴したい番組を選ぶ

- 選ばれた番組は青色で表示されます。

地上D番組表 [すべて]			
15:15	14金	15土	16日
10月14日(金) 第8回○音楽祭			
15:00~16:00			
00放送 011	012	00テレビ 021	03放送 031
00ニュース	00第8回○音楽祭	00美観なガーデン「おきおき」	00ドラマスペシャル「××家の人々」
15時 30ワールドニュース		30さわやか自然風景	
16時 30わくわく動物園めぐり		00名画アルバム特選集	
17時 00映画劇場「刑事○○○○」		45世界の旅風景	00鉄道の旅「九州」
18時		00世界ウルルン体験記	30音楽のある景色
		00アニメ「○○○○○○○○」	00ニュース
		30アニメ「○○○○○○○○」	

■ 違う放送の種類別の番組表を見るときは

BS **CS** を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

CS は、押すごとにCS1とCS2が切り換わります。

■ 別の日の番組表を見るときは

青 (前日)、**赤** (翌日)を押します。

- 現在放送中以外の番組は、視聴できません。

3 **決定** を押して、番組説明画面を表示する

- 現在放送中以外の番組を選んで **決定** を押した場合は、簡単予約 **P.82** になります。

4 **◀▶** で「今すぐ見る」を選び、**決定** を押す

番組予約へ	今すぐ見る
戻る	内容 属性 国 国

- その番組の画面に変わります。
- 「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。現在放送中以外の番組は視聴できません。

お知らせ

- 番組表は、「メニュー」→「録る(番組表・予約)」→「番組表」でも、表示することができます。 **P.120**

番組表の表示チャンネル数や表示対象を変更する

1 番組表を表示中に、**サブメニュー** を押す

- 「サブメニュー」画面が表示されます。

2 **▲▼** で設定を変更したい項目を選び、**◀▶** で設定を変更する

サブメニュー	
番組表の検索	
録画モード	TS
表示チャンネル数	5チャンネル表示
表示対象	すべて
視聴制限一時解除	
番組データ取得	
項目選択	決定
設定変更	戻る

「表示チャンネル数」...

番組表の1画面に表示されるチャンネル数
3、5、7、9、11、15、19チャンネル表示
(工場出荷時の設定: 9チャンネル表示)

「表示対象」...

番組表に表示される対象

「設定チャンネル」

チャンネル設定で設定されているPo1 ~ 36チャンネルが表示されます。

「テレビ」

テレビ放送のチャンネル(サブチャンネルを含む)が表示されます。

「ラジオ」

ラジオ放送のチャンネルが表示されます。

「データ」

データ放送のチャンネルが表示されます。

「すべて」

テレビ放送、ラジオ放送、データ放送のすべてのチャンネルが表示されます。

- 視聴中のチャンネルは「表示対象」の設定に関係なく表示されます。

3 変更が終わったら **戻る** を押し、番組表に戻す

選択した放送局の番組情報を取得する(番組情報が表示されないとき)

1 番組表を表示中に、**サブメニュー** を押す

- 「サブメニュー」画面が表示されます。

2 **▲▼** で「番組データ取得」を選び、**決定** を押す

サブメニュー	
番組表の検索	
録画モード	TS
表示チャンネル数	5チャンネル表示
表示対象	すべて
視聴制限一時解除	
番組データ取得	
項目選択	決定
設定変更	戻る

- 表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

番組表を見る (つづき)

番組表で番組を検索する

ジャンル検索

- 1** 番組表を表示中に、を押す
- 「サブメニュー」画面が表示されます。

- 2** 「番組表の検索」が選ばれているので、そのまま を押す

サブメニュー	
番組表の検索	
録画モード	IS
表示チャンネル数	5チャンネル表示
表示対象	すべて
視聴制限一時解除	

- 3** ▲▼ で「ジャンル検索」を選び、を押す

- 検索項目が表示されます。

フリーワード検索
ジャンル検索

- 4** ▲▼ で希望の項目を選び、を押す

- この操作をくり返し、検索したい項目を絞り込みます。
- 絞り込みが終わると、検索結果画面が表示されます。

- 5** 検索結果が表示されたら
▲▼ で見たい番組を選び、を押す

- 番組説明画面が表示されます。

■ 違う放送の種類の検索結果を見るときは

 BS CS を押すと、その放送の検索結果に切り換わります。

 は、押すごとにCS1とCS2が切り換わります。

- 検索結果画面で最初に表示される放送の種類は、次の方法で選ぶことができます。

- ① 検索結果画面を表示中に  を押し、サブメニュー画面を表示する
- ② ▲▼ で「放送種別」を選ぶ
- ③ ◀▶ で希望の放送を選ぶ
- ④  を押す

■ 検索結果が2ページ以上あるときは

 (前ページ)、 (次ページ)を押します。

■ 別の日の検索結果を見るときは

 (前日)、 (翌日)を押します。

- 6** ▶▶ で「今すぐ見る」を選び、を押す

- その番組の画面に変わります。
- 「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

フリーワード検索

- 1** 左記の手順**3**のときに、「フリーワード検索」が選ばれているので、そのまま を押す

フリーワード検索
ジャンル検索

- 2** フリーワードを登録する

- ①  を押す
- ② 「フリーワード」が選ばれているので、そのまま を押す
- ③ 文字を入力する **P.107**
 - 文字の種類(かな)、カナ、英字、数字を切り換える操作のみ、となります。
- ④ 文字入力が終わったら、を押す
- ⑤ 「登録」が選ばれているので、そのまま を押す
 - 複数のフリーワードを登録する場合は、手順①～⑤をくり返します。(最大5件まで)
 - 手順②で「ジャンル」を選ぶと、検索条件にジャンルを登録できます

■ 登録したフリーワードを変更するとき

- ① ▲▼ でフリーワードを選び、を押す
- ② ▲▼ で「フリーワード編集」を選び、を押す
- ③ 上記(登録)の手順②～⑤を行い、変更した文字を登録する

■ 登録したフリーワードを削除するとき

- ① ▲▼ でフリーワードを選び、を押す
- ② ◀▶ で「はい」を選び、を押す

- 3** を押す

- 検索結果画面が表示されます。
- 複数のフリーワードを登録している場合は、1つでも条件を満たす番組を検索します。

- 4** 検索結果が表示されたら
左記(ジャンル検索)の手順**5**、**6**を行う

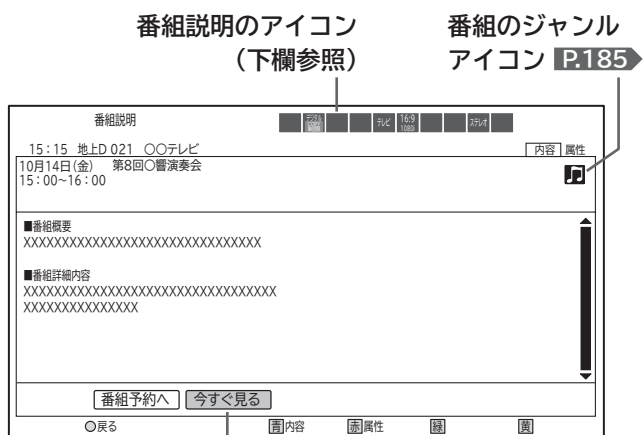
お知らせ

- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、ワードが一致していても検索できない場合があります。
- フリーワード検索で英数の文字入力をした場合、半角文字で登録されますが、検索は全角文字と半角文字を区別せずに行います。

番組の詳しい情報(番組説明)を見る

視聴中の番組の内容や、番組表を表示中に選んでいる番組の内容を確認することができます。

番組の詳しい情報を見る(番組説明)



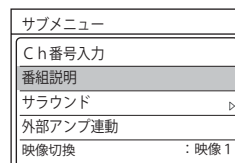
「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

番組を視聴中のとき

1  を押して、「サブメニュー」画面を表示する

2 ▲▼ で「番組説明」を選び、 を押す

- 視聴中の番組の番組説明画面が表示されます。



3 番組説明画面を消すときは番組説明画面を表示中に、 を押す

番組表を表示中のとき

1  を押す

- 選んでいる番組の番組説明画面が表示されます。

■ 番組の属性を確認するときは
(番組の種類、映像、音声、ジャンル、信号情報、視聴制限など)

番組説明画面を表示中に、 を押します。

番組説明画面に戻すときは、 を押します。

2 番組説明画面を消すときは番組説明画面を表示中に、 を押す

番組説明画面のアイコンについて

 テレビ放送の番組

 データ放送の番組

 テレビ放送と連動したデータ放送がある番組

 テレビ放送とは別のデータ放送がある番組

 ラジオ放送の番組

 ラジオ放送と連動したデータ放送がある番組

 ラジオ放送とは別のデータ放送がある番組

 ステレオ音声の番組

 モノラル音声の番組

 二重音声放送で「主+副」音声の番組

 5.1chなどのサラウンド音声の番組

 マルチ番組 (映像や音声などが複数あり、切り換えできる番組)

 「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー9回+ムーブ1回) 番組 (デジタル放送)

 「録画禁止」番組 (デジタル放送)

 映像/S映像/D映像、音声などのアナログ出力端子から映像・音声出力されない番組

 番組の映像信号情報
上：画面の縦横比
下：信号方式

 字幕がある番組

 視聴制限がある番組

テレビを見る

番組の詳しい情報(番組説明)を見る
番組表を見る

画面だけを消す(消画)

何かをしながらテレビを見るときなど、音声を聞ければいいというときは、消画にすると電力の節約にもなります。

1 を押す

- 「メニュー / サブメニューの使いかた」[P.119](#) もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、 を押す

3 ▲ ▼ で「消画」を選び、 を押す

画面だけが消えます。

■ 画面を戻したいときは

電源以外の、何かボタンを押す

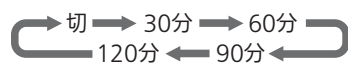
消画が解除されますが、押したボタンの動作はしません。

自動的に電源を切る(オフタイマー)

を押す

オフタイマー
30分
60分
90分
120分
☒ 切

ボタンを離したところの時間が設定されます。
押すごとに次のように切り換わります。



▲▼ で項目を選び、 を押しても切り換わります。

約 3 秒後に表示が消え、オフタイマーがスタートします。

■ オフタイマーを取消したいときは

オフタイマー「切」が選択されるまで  を押す

■ 設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは

 を 1 回押す

2 回以上押すとオフタイマーが設定し直されます。

■ 電源が切れる 1 分前になると

「オフタイマー 1 分前」の表示が出ます。

引き続き見るときは、「いいえ」が選ばれている状態で  を押してください。

お知らせ

- 「メニュー」→「テレビ操作」→「オフタイマー」でも設定することができます。
- メニューについては、[P.119](#) をご覧ください。
- オンタイマーについては、[P.57](#) をご覧ください。

自動的に電源を入れる (オンタイマー〈目覚まし〉)

自動的に本機の電源を入れることができます。

また、オンタイマーを使う曜日と時刻や、電源が入ったときに選ばれるチャンネルと音量を設定できます。

1 メニューを押す

- 「メニュー / サブメニューの使いかた」P.119 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、 決定を押す

3 ▲ ▼ で「オンタイマー」を選び、 決定を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

入/切	放送波	チャンネル	曜日	時刻	音量	自動電源オフ	
切	地上D	011-01	毎日	AM 7:00	20	30分後	確定

- チャンネル、曜日、時刻、音量など、オンタイマーの内容を変更する場合は、手順 5 へ進みます。
- オンタイマーの内容に変更がない場合は、手順 10 へ進みます。
- オンタイマーを使わない場合は、▲ ▼ で「切」を選び、手順 10 へ進みます。
- 「切」では手順 5 ~ 9 の内容を変更することができません。

5 放送波とチャンネルを選ぶ

① ▶ でカーソルを「放送波」へ動かし、 ▲ ▼ で放送波を選ぶ

- 放送波無効設定 P.155 されている放送波は選べません。

② ▶ でカーソルを「チャンネル」へ動かし、 ▲ ▼ でチャンネルを選ぶ

6 オンタイマーを使う曜日を選ぶ

- ▶ でカーソルを「曜日」へ動かし、
▲ ▼ でオンタイマーを使う曜日を選ぶ
- 工場出荷時は「毎日」が選ばれています。

7 電源「入」にする時刻を選ぶ

- ▶ でカーソルを「時刻」へ動かし、
▲ ▼ ▶ で時刻を選ぶ

- 工場出荷時は「AM 7 時 00 分」が選ばれています。
- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の 12 時は「PM 0:00」に、夜の 12 時は「AM 0:00」に合わせます。

8 音量を選ぶ

- ▶ でカーソルを「音量」へ動かし、
▲ ▼ で音量を選ぶ

- 工場出荷時は、オンタイマー画面を表示したときの音量が選ばれています。

9 自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

オンタイマーで電源「入」になったあとは、安全のため、自動でオフタイマー P.56 が設定された状態になります。電源「入」になってから何分後に自動で電源「切」にするかを設定してください。

- ▶ でカーソルを「自動電源オフ」へ動かし、
▲ ▼ で自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

- 工場出荷時は「30 分後」が選ばれています。

〈オンタイマーで電源「入」になったあとの「自動電源オフ」の解除のしかた〉

オフタイマーを使います。 P.56

① ① を押す

② ② をくり返し押して「切」を選ぶ

または、▲ ▼ で「切」を選び、決定を押す

10 ▶ で「確定」を選び、決定を押す

入/切	放送波	チャンネル	曜日	時刻	音量	自動電源オフ	
入	地上D	011-01	毎日	AM 7:00	20	30分後	確定

お知らせ

- オンタイマーを設定後は、電源プラグを抜かないでください。電源を切るときは電源ボタン(リモコンまたは本体左側面)を押してください。
- オンタイマーで電源が入ったあとは、手順 9 で設定された時間を経過すると、自動的に電源が切れます。

テレビを見る

自動的に電源を入れる
画面だけを消す／自動的に電源を切る

画面サイズを選ぶ

映像に合わせた画面サイズを選べます。

選べる画面サイズは、見ている番組や放送の種類によって異なります。

を押す

押すごとに画面サイズが切り換わります。

▲▼で項目を選び、 を押しても切り換わります。

切り換わる画面サイズの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

■ 720p のハイビジョン映像の場合

自動的に「標準」になります。他の画面サイズは選べません。

■ 「ネットワーク」利用中の場合

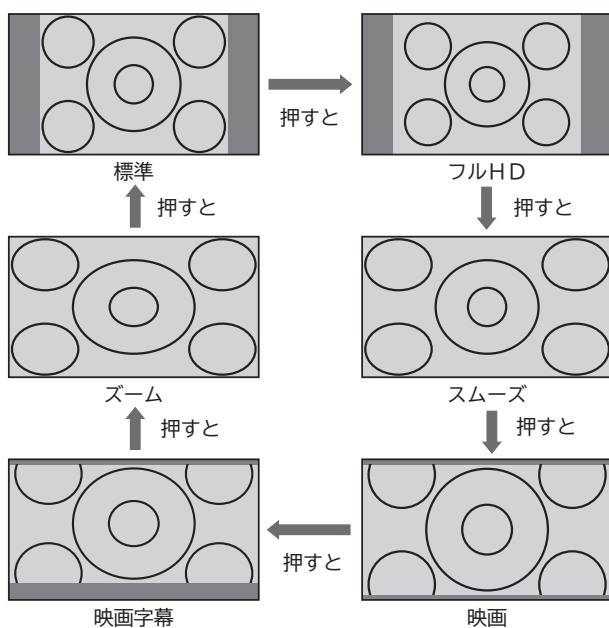
自動的に「フル HD」になります。他の画面サイズは選べません。

ビデオ、DVDなどの場合

標準映像(480i、480p)

 を押すごとに次のように切り換わります。

各画面モードの特徴は次ページをご覧ください。



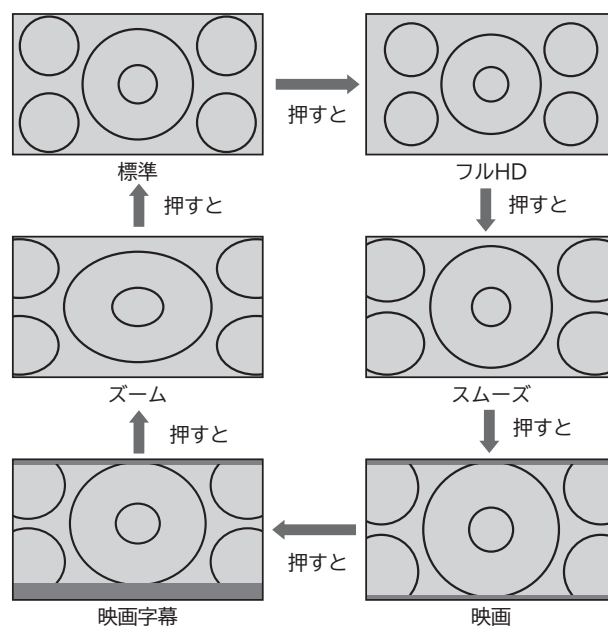
ビデオ2をご使用の場合は、見えかたが異なることがあります。

ハイビジョン番組、ブルーレイディスクプレーヤーなどの場合

ハイビジョン映像(1080i、1080p)

 を押すごとに次のように切り換わります。

各画面モードの特徴は次ページをご覧ください。



画面サイズについて

標準(480i、480p)

4:3の画面サイズで見える

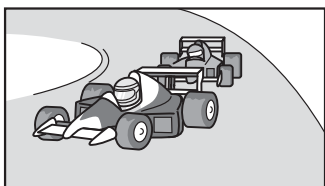
横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。



フルHD

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像をすべて画面内に表示して見る

画面からはみ出した部分がなく、映像信号を全て画面内に表示します。



- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。

この画面サイズでは「垂直位置調整」P.148の操作はできませんが無効です。

スムーズ/ズーム

4:3の映像を画面いっぱいにして見る

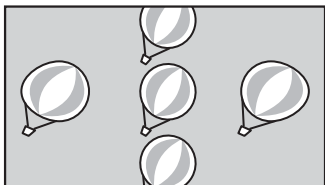
4:3映像で左右の黒帯や固定画面が気になるときにも使います。画面左右を拡大して表示します。

スムーズのとき

- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

ズームのとき

- 画面が水平に均一に広がります。

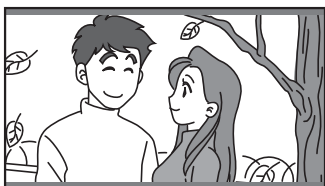


映画

劇場サイズの映画・ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。



映画字幕

字幕付劇場サイズの映画・ビデオを見る

字幕の部分を縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。



お願い!

- 本機は、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるサイズを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイド切換機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- 見ている映像によっては、映像の上下が画面の外にはみ出したり、映像が画面の中央からずれていることがあります。このようなとき、映像を上下に移動させることができます。P.148
- 番組やビデオソフトにより、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。
- 接続する機器によって、見えかたが異なることがあります。

HDMIで接続したAVアンプの音量を調節する

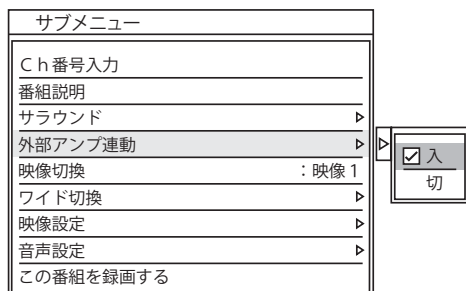
「リンク制御」P.147 を「入」に設定する必要があります。

HDMI コントロール対応の AV アンプやホームシアターシステムに限ります。

1  を押す

2 ▲ ▼ で「外部アンプ連動」を選び、
 を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ



「入」で本機は消音され、AV アンプの電源が「入」になり、本機のリモコンで音量を調節できるようになります。

4 本機のリモコンの音量▲▼、 で音量を調節する

お知らせ

- 外部アンプ連動「入」にすると、以降、本機の電源と連動してアンプの電源が立ち上がります。
アンプに電源が入ると本機の音声は消音されます。
これらが基本的な動作ですが、接続される製品により動作は異なります。
- 音量▲▼を押した直後に「アンプ音量 +」(または-)の表示が出る場合があります。
- 音量▲▼を押し続けて音量調整すると画面表示の数字が変わらないまま音量が変わる場合があります。ボタンを放すと表示が変わりそのときの音量が表示されます。
- 本機でヘッドホンをご使用中は、外部アンプからは本機の音は出ません。
- 音声出力先手動切換が「入」のときは、外部アンプ連動は設定できません。

「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。

本機では、「アクトビラ」「TSUTAYA TV」の動画配信サービスをお楽しみいただけます。

各サービスの利用には料金はかかりません(一部有料のサービスもあります)。ただし、回線利用料やプロバイダとの契約・使用料金は別途必要です。

「アクトビラ」の最新情報は

アクトビラ公式情報サイト <http://actvila.jp/>

「アクトビラ」に関するお問い合わせは

アクトビラ・カスタマーセンター

受付時間 10:00～19:00 年中無休(元日除く)

TEL 0570-09-1017

メールアドレス info@desk.actvila.jp

(2016年6月現在)

「アクトビラ(acTVila)」について

本機は、「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」のコンテンツをお楽しみいただけます。

- 「アクトビラ」のサービスの内容は、予告なく変更されることがあります。
- 「アクトビラ」の最新情報は、アクトビラ公式情報サイト <http://actvila.jp/> をご覧ください。(2016年6月現在)
- 「アクトビラ」の利用条件については、アクトビラ公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせは

TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。

または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認いただけます。

「TSUTAYA TV」の最新情報は

TSUTAYA TV公式情報サイト <http://tsutaya-tv.jp/>

(2016年6月現在)

「TSUTAYA TV」について

本機で可能な視聴形式は、レンタル(ストリーミング)だけです。

お知らせ

■ 全般

- 録画予約の開始時刻になると、各サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダが採用している接続方法・契約内容によっては、各サービスを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、各サービスを表示できない場合があります。
- 各サービスを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合は、次のいずれかの方法を行って、本機に記録されたネットワーク履歴情報を消去してください。
 - ・「ネット情報初期化」を行う **P.158**
 - ・「すべての設定内容を初期化する」を行う **P.159**

■ 接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」をご利用の場合は映像が乱れる/途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。実行速度12Mbps以上のFTTH(光)での接続をおすすめします。
- 「アクトビラ」、「TSUTAYA TV」を利用する場合は、時刻情報をデジタル放送から取得しますので、デジタル放送の受信が必要です。受信できない場合は時刻設定を行ってください。

■ 各サービスについて

- サービスの内容は、予告なく変更されることがあります。
- サービスの最新情報は、各サービスの公式情報サイトやトップページをご覧ください。
- 利用条件については、各サービスの公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「ネットワーク」で動画を楽しむ (つづき)

「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定

本機で「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境(ADSL、FTTH、CATVなど)が必要です。

事前に、次の接続や準備をしておいてください。

① LAN1端子の接続 **P.34~35**

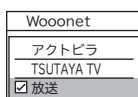
② ネットワーク設定 **P.141**

- 動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー (FTTH) のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

利用するサービスを選び、専用画面を表示する

1 放送や外部入力を視聴中に、**ネット**を押す

- 録画中など、本機の動作中は表示されません。



2 ▲▼ で見たいサービスを選び、**決定**を押す

- 「メニュー」→「機能設定」→「制限設定」→「視聴制限設定」で、「ネットワーク利用制限」を「する」に設定している場合は暗証番号を入力して、視聴制限を一時的に解除してください。

3 選択したサービスの画面が表示されるので、画面に沿って操作する
主に使用するのは、▲▼◀▶ と **決定** です。

ここからは各サービスが提供する画面となりますので、ご不明な点等は各サービスへお問い合わせください。

■ 放送や外部入力の視聴に戻るとき

- ① **ネット**を押して、選択画面を表示する
- ② ▲▼で放送または外部入力を選び、**決定**を押す
 - **BS** **CS** のいずれかを押すと、①の選択画面を出さずに放送の画面に変わります。

お知らせ

- パソコン用のホームページなど、テレビ用に作られていないホームページでは、表示が崩れたり、表示ができないことがあります。
- 各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- 利用するネットワークのサービスは、「メニュー」→「見る(再生)」→「Woonet」でも、選ぶことができます。
- ネットワーク視聴中は、映像設定 **P.125**、音声設定 **P.130** の操作をすることはできません。

「ネットワーク」の閲覧制限について

本機には、「ネットワーク」を利用するときにお子さまなどに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使って「ネットワーク」を利用になるご家庭では、「ネットワーク」を利用する際に暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。設定のしかたは、**P.145**をご覧ください。

ツールバー(便利機能)を表示して操作するとき

各サービスを利用中、配信された映像を全画面表示していないときは、ツールバーを表示させて便利な操作ができます。

1 各サービスを視聴中に **①**を押す

- 画面下に「ツールバー」が表示されます。



2 ◀▶ で項目を選び、**決定**を押す

項目	機能
◀ 戻る	1つ前のページへ移動する。
▶ 進む	1つ先のページへ移動する。
✕ 中止	ページの読み込みを中止する。 (ページの読み込み中のみ表示されます。)
🔄 再読み込み	表示中のページを再度読み込む。 (ページの読み込み中は表示されません。)
🏠 ホーム	ホーム画面に戻る。
♡ お気に入り	気に入ったページを「お気に入り一覧」に登録したり、一覧から呼び出したりする。
📄 表示履歴	表示履歴の一覧を表示する。
🔍 メニュー	表示する文字の大きさや各種設定を行う。

3 操作が終わったら、**①**を押す

- 「ツールバー」が消えます。

気に入ったページを登録して、あとで見るとき

お気に入りに登録する

1 気に入ったページを表示中に

① を押す

- 画面下に「ツールバー」が表示されます。

2 ◀▶ で「お気に入り」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で「お気に入りに登録」を選び、(決定) を押す

- 表示中のページがお気に入りに登録されます。(最大50件まで)

登録したお気に入りページを見る

1 上記(お気に入りに登録する)の手順③のときに▲▼ で「お気に入り一覧」を選び、(決定) を押す

2 ▲▼ で表示したいページを選び、(決定) を押す

- 登録したページが、提供者の都合で削除されたり、アドレスが変更された場合には、表示できません。

不要なお気に入りページを削除する

1 上記(お気に入りに登録する)の手順③のときに▲▼ で「お気に入り一覧」を選び、(決定) を押す

2 ▲▼ で「編集」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で削除したいページを選ぶ

4 ◀ を押して「✓」を「☑」に変更し、(決定) を押す

5 ▲▼ ▶ で「削除」を選び、(決定) を押す

- 選んだページが削除されます。

6 ◀▶ で「完了」を選び、(決定) を押す

7 ▲▼ で「×」を選び、(決定) を押す

登録したお気に入りページの名前を変更する

1 左記(お気に入りに登録する)の手順③のときに▲▼ で「お気に入り一覧」を選び、(決定) を押す

2 ▲▼ で「編集」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で名前を変更したいページを選び、(決定) を押す

4 ページの名前を変更する
P.64▶

5 ▲▼ ▶ で「完了」を選び、(決定) を押す

6 ▲▼ で「×」を選び、(決定) を押す

全画面表示で動画コンテンツを操作するとき

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、本機のリモコンで一時停止や前スキップ/次スキップなどの操作ができます。

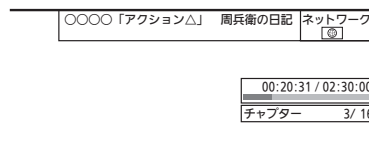
- 早送り/早戻し、前スキップ/次スキップの操作は、動画コンテンツによって対応していない場合があります。

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に

早戻し、再生、早送り、一時停止、一時停止、前戻し、後進

で操作する

- 動画コンテンツを視聴中に 表示 を押すと視聴中のコンテンツの題名、長さや経過時間、全チャプター数と現在チャプターが確認できます。



■ 操作パネルを表示して操作するときは

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、操作パネルを表示させて操作することもできます。

- 全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、▲▼◀▶ のいずれかを押す
 - 画面左下に「操作パネル」が表示されます。
- 操作パネルに表示されている各ボタンに割り振られた機能にしたがって、リモコンのボタンを押して操作する
- 操作が終わったら、戻る を押す
 - 「操作パネル」が消えます。

「ネットワーク」で動画を楽しむ (つづき)

「ネットワーク」を利用中の文字 入力のしかた

「ネットワーク」を利用中は、文字入力が必要になることがあります。

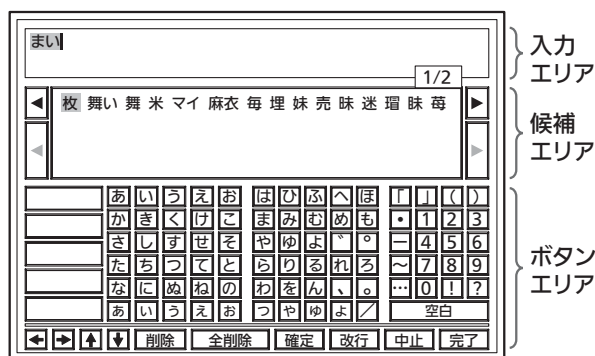
下記のように、画面にキーボードを表示させて、リモコンのボタンを使って入力します。

- サービスによっては独自の文字入力画面を提供している場合があります。その場合は、画面表示に沿って操作してください。

基本的な使いかた

1 検索文字入力欄など、文字の入力ができる場所を選び、**決定**を押す

- 「キーボード画面」が表示されます。



2 ① ▲▼◀▶ でカーソル(黄色い部分)を移動する

② ▲▼◀▶ でボタンエリアの文字の中から入力したい文字を選び、**決定**を押す

- 文字を入力していくごとに、キーボード画面の候補エリアに変換する候補の文字列が表示されます。

3 変換候補文字列が表示されたら

① ▲ を何度か押してカーソルを候補エリアに移動する

② 変換したい文字列を ▲▼◀▶ で選び、**決定**を押す

4 続けて入力したい文字があるときは 手順 2、3 の操作を行う

5 入力したい文字をすべて確定したら、**▲▼◀▶** でボタンエリアの「完了」を選び、**決定**を押す

- 元の画面に戻ります。

■ 文字入力を途中でやめて元の画面に戻る ときは

▲▼◀▶ でボタンエリアの「中止」を選び、**決定**を押します。

入力エリアに文字がないときは、**戻る**を押します。

文字の削除、かな以外の文字の入力

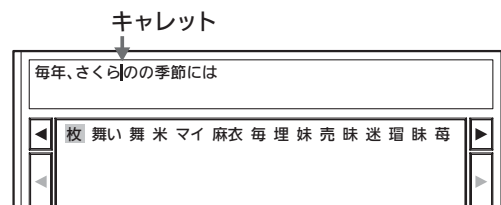
最後に入力した文字を消す場合

戻るを押す

または、**▲▼◀▶** でボタンエリアの「削除」を選び、**決定**を押します。

入力エリアの文字列の途中の文字を消す場合

- ① ▼ でカーソルを入力エリアに移動する
- ② ◀▶ でキャレット(文字と文字の間の縦線)を消したい文字の左横に移動させる
- ③ **戻る**を押す



入力した文字をすべて消す場合

▲▼◀▶ でボタンエリアの「全削除」を選び、**決定**を押す

かな以外の文字の入力

▲▼◀▶ でボタンエリア左端の文字の種類から入力したい文字の種類を選び、**決定**を押す

家庭内ネットワーク機能に対応したテレビで見る

本機に接続した家庭内ネットワーク機能(ホームサーバー機能)に対応したテレビ(プレーヤー機器)から操作をして、本機の本体に録画した番組を送信することで、その接続したテレビ(プレーヤー機器)で視聴することができます。視聴できるのは、本体に録画した番組だけです。外付に移動した番組やカセットHDDから視聴することはできません。

事前に、次の接続や準備をしておいてください。

① LAN2端子の接続 P.32

② ホームサーバー機能の設定 P.138

③ 本機の名称設定(お好みで) P.140

接続したテレビ(プレーヤー機器)の操作については、テレビ(プレーヤー機器)の取扱説明書をご覧ください。

● 本体に録画した番組を家庭内ネットワーク機能対応テレビ(プレーヤー機器)で見る

本体

本機が電源「切」のときも見ることができます。

家庭内ネットワーク機能対応テレビ(プレーヤー機器)とは、DLNAの定める映像と音声を通信用のガイドラインに対応したデジタルメディアプレーヤーと呼ばれる機器です。

- 家庭内ネットワーク機能に対応していないテレビ(プレーヤー機器)では、視聴できません。
DLNA(Digital Living Network Alliance) :
家庭内ネットワーク上で機器間の相互接続を実現するための標準化活動を推進する業界団体です。

本機(本体)から送信することができる録画番組

- 放送を録画した番組
録画モード : TS、AF ~ AE、XP ~ EP
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)した番組
ハイビジョン画質番組、標準画質番組
- デジタルビデオカメラなどから取り込み(ダビング)した番組
AVCHD方式

接続したテレビ(プレーヤー機器)によっては、見るできない録画の種類があります。接続したテレビ(プレーヤー機器)の取扱説明書も合わせてお読みください。

次のようなことはできません

- 同時に複数のテレビ(プレーヤー機器)で見る
- 外付に移動した番組やカセットHDDなどから見る
- 挿入されたSDカード、USB接続されたデジタルビデオカメラなどの動画を見る(本体に取り込む(ダビング)する必要があります)

本機に録画した番組をテレビ(プレーヤー機器)で視聴(再生)中は、次の操作はできません

- 録画一覧画面の左上の映像表示
- 番組の消去
- テレビ(プレーヤー機器)で再生中の番組の、番組名の変更などの編集操作

次の番組やコンテンツは見ることはできません

- 録画中の番組
- 本機の録画一覧で選択中の番組
- 接続したテレビ(プレーヤー機器)と本機で、同一の番組を同時に見る
- テレビ(プレーヤー機器)側で対応していない録画方式の番組
(例) AVCデコード機能がないテレビ(プレーヤー機器)では、録画モードAF ~ AEの放送録画番組、AVCREC方式のカメラなどから取り込んだAVCHD方式の動画などを視聴できません。

本機の状態が以下の場合、接続したテレビ(プレーヤー機器)で見ることはできません

- 録画一覧で選択され、小画面を表示中の番組
 - 番組の消去
- 先に視聴を始めていた場合でも、本機が以下の状態になると視聴が中断されます。
- 2番組同時録画
 - 高速/等速ダビング
 - 本体/外付間の番組移動
 - SDカード/USBから本体へのダビング
 - 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)での録画
 - ネットワークのホームページや動画の全画面表示
 - 部分削除、番組分割など編集画面表示
 - ダビング関係の操作
 - メニューの設定画面表示(通信設定、初期設定、設定初期化)
 - ソフトウェア更新

テレビを見る

「家庭内ネットワーク機能に対応したテレビで見る」
「ネットワーク」で動画を楽しむ

お知らせ

- お客様のネットワーク環境やその状況、本機の動作状況により、視聴中に画像や音声が悪化したり、視聴できない場合があります。
- LAN接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が悪化したり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。
無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。
- 録画モード変換中はプレーヤー機器からの再生操作で動作を中断しますので、動作停止後に再生できます。
- 録画回数制限のある録画した番組を接続したテレビ(プレーヤー機器)で視聴するときは、接続したテレビ(プレーヤー機器)側がDTCP-IP規格に対応している必要があります。

DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol) :
ネットワーク上で著作権保護されたデータを伝送するための規格です。

本機で使えるメディア(ハードディスク・カード)

本機で録画・再生ができるハードディスク

本機で使えるハードディスクは、この表に載っている次のハードディスクだけです。

- ハードディスクのメーカーや個体差などにより、本機では使えないことがあります。

○:できる ×:できない

ハードディスクの種類 P.68 の「ハードディスク(本体、外付)について」も、あわせてご覧ください。 本機と接続テスト済みの外付ハードディスクについては、P.41 をご覧ください。		ハードディスク (HDD)	
		本体 内蔵ハードディスク	外付 外付ハードディスク 録画することはできませんが、本体との間で録画された番組の移動を行い、再生することができます。
録画予約で直接録画 / 一発録画	デジタル放送	○ / ○	× / ×
「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)		○	×
本体と外付の間での番組の移動 (コピー不可、移動のくり返し可能)		○ (録画モードTS、AF～AEのみ)	
カセットHDDから ダビング	「1回だけ録画可能」番組 ※1	○	×
	「制限なしに録画可能」番組	○	×
くり返し録画		○	
再生		○	○
録画一覧からの再生		○	○
追いかけて再生		○	×

ハードディスクの種類 P.68 の「カセットHDDについて」も、あわせてご覧ください。 本機と接続テスト済みのカセットHDDについては、P.41 をご覧ください。		カセットHDD
		カセットHDD カセットハードディスク
録画予約で直接録画 / 一発録画	デジタル放送	○ (※2) / ×
「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)		×
本体から ダビング	「1回だけ録画可能」番組 ※1	○
	「制限なしに録画可能」番組	○
くり返し録画		○
再生		○
録画一覧からの再生		○
追いかけて再生		×

※1 デジタル放送をダビングする場合、「コピー」、「ムーブ(移動)」のどちらになるかについては、P.70 をご覧ください。

スカパー！プレミアムサービス、スカパー！、WOWOWなどで録画制限がある番組については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。

※2 カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。

お知らせ

- 本機の内蔵HDDで部分削除 P.109 した録画番組は、カセットHDDにダビングすることはできません。
- 他の機器で部分削除されてカセットHDDに保存された録画番組は、本機の内蔵HDDにダビングすることはできません。

本機で再生できるSDカード、USB

本機で使えるSDカード、USBは、この表に載っているものだけです。

- SDカード、USBのバージョン(Ver)が違う場合、本機では使えないことがあります。

○:できる ×:できない

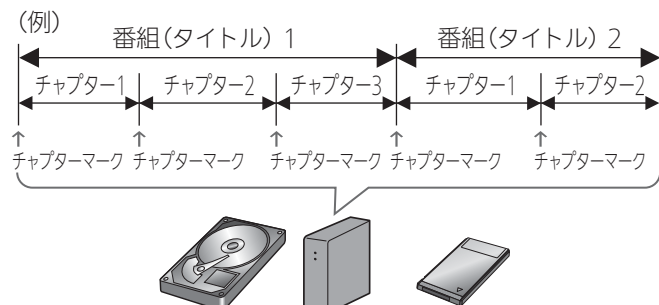
メディアの種類	JPEGで記録されたSD、USB		AVCHDで記録されたSD、USB	
	SD (JPEG) 	USB (JPEG)	SD (AVCHD) 	USB (AVCHD)
P.103 の「SDカードについて」、 「USB機器について」も、あわせて ご覧ください。 本機で再生できるJPEG形式につ いては、 P.103 をご覧ください。	JPEGファイル(デジタルカメラで撮影された 写真など)が記録された、 ・SDHC (4GB~32GB) SD (8MB~2GB)		AVCHD(デジタルビデオカメラで撮影された ハイビジョン画質の動画)が記録された、 ・SDHC (4GB~32GB) SD (8MB~2GB)	
再生	○		×	
録画一覧からの再生	×		× ※1	
本体からダビング / 本体へダビング	× / ×		○ ※1	

※1 直接再生はできませんが、本体に取り込んで(ダビング)して、本体の録画一覧()画面から再生することができます。

ハードディスクの構成の区分

本体/外付/カセットHDD

「番組(タイトル)」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。



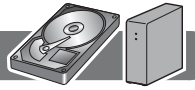
- 1回の録画が1番組(タイトル)となります。
- チャプターは、チャプターマークを追加することによって、さらに細かく区切ることができます。

使える
メディア

本機で使えるメディア (ハードディスク・カード)

本機で使えるメディア(ハードディスク・カード) (つづき)

ハードディスク(本体、外付)について



本書では、本機の内蔵ハードディスクを「本体」、外付ハードディスクを「外付」、ハードディスクを「HDD」と表現している場合があります。

■ハードディスク(ドライブ)[HDD]とは？

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このハードディスクを内蔵しています。また、外付ハードディスク対応機種では、外付ハードディスクを1台接続することができます。

■次のようなことは行わないでください！

- 本機や外付ハードディスクに振動や衝撃を与えないでください。特に本機や外付の電源が入っているときは、お気を付けください。
- 本書で指示している場合を除き、本機や外付ハードディスクの電源が入っている状態で、本機の電源プラグを抜かないでください。また、本機や外付ハードディスクの動作中にUSBケーブルを抜かないでください。録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。)
- ハードディスクが結露した状態で使わないでください。
- ハードディスクは、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- ハードディスクが故障すると、ハードディスクの録画内容が失われることがあります。

■内蔵ハードディスクを外して、お客さま自身で交換することはできません。

- 正常に動作しません。また、保証が無効となります。
- 故障のときは、お買上げの販売店にご相談ください。

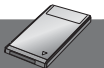
■ハードディスクは、録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

- 大切な録画内容は、レコーダーなどによる録画を併用されることをおすすめします。
- ハードディスクは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となり、録画内容が再生できなくなることがあります。
- ハードディスクに異常が発生した場合、ハードディスクの録画内容は失われます。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合、ハードディスクが寿命近くになっています。
 - ・再生できない、再生一時停止をくり返す
 - ・ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が発生する
 - ・映像が乱れる
- 外付ハードディスクに移動した番組は、コピー防止・内容の保護の目的により、本機以外では再生できません。万一本機が故障して主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合でも、外付ハードディスクに移動した番組は再生できなくなりますので、ご了承ください。
- 外付ハードディスクに不具合が起きた場合は、お買上げのメーカーにお問い合わせください。

■その他

- 本機や外付ハードディスクを長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- 本機の内蔵ハードディスクは、お買上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画してから、再生をお楽しみください。

カセットHDDについて



本書では、iVDR規格のカセット式ハードディスクを「カセットHDD」と表現している場合があります。

■カセットHDDとは？

カセットHDDは、iVDR(Information Versatile Device for Removable usage)規格に準拠したカセット式のハードディスクです。

USB対応iVDRアダプター経由でカセットHDDを接続することにより、HDDの高速/大容量を活かしたリムーバブルメディアとして利用できます。

デジタル放送はほとんどの番組はコピー制限付きです。コピー制限付き番組はセキュア対応のカセットHDD「iVDR-S」にコピーワンスで録画することが出来ます。

本機では日立マクセル株式会社製のカセットHDD「iV」(アイヴィ) [M-VDRS1T.E、M-VDRS500G.E] (別売)を推奨します。

■カセットHDDの取扱について

- カセットHDDは精密機器です。
- 次の動作中に、カセットHDDを取り外したり、電源プラグを抜かないでください。カセットHDDの記録内容が損傷し、録画や再生ができなくなる可能性があります。
 - ・録画・再生・編集・ダビング中
 - ・カセットHDD 認識中
 - ・初期化中
 - ・アクセス中
- カセットHDDのコネクタ部に液体・ほこりなどの異物が付いていないことを確認してください。
- 頻繁にカセットHDDを抜き差ししないでください。コネクタ接触部が磨耗し接触不良などの故障の原因になります。

録画・録画予約の前に

本機でできる録画・録画予約について

本機では、最大80番組まで録画予約できます。

今すぐ録る(一発録画)

番組を今すぐ録る(一発録画) **P.81**

デジタル放送 **本体**

こんなときに 番組を今すぐ録画したいとき [録画]ボタンを押すだけで、今見ている番組をすぐに録画できます。

ユーザー予約(自分で予約) 番組指定予約

番組表から簡単に予約する(簡単予約) **P.82**

デジタル放送 **本体**

こんなときに 番組表から簡単に番組を予約したいとき 番組表から予約したい番組を選ぶだけで、簡単に予約できます。(8日先まで) 毎週録画の設定も簡単にできます。

番組表から好みの設定で予約する(詳細予約) **P.83**

デジタル放送 **本体** **カセットHDD**

こんなときに 番組表から好みの設定で番組を予約したいとき 番組表から予約したい番組を選んで、好みの設定で予約できます。(8日先まで) また、ジャンル検索やカセットHDDへの予約、毎週/毎日録画の設定などもできます。

ユーザー予約(自分で予約) 時刻指定予約

予約内容を手動で入力して予約する(時刻指定予約) **P.85**

デジタル放送 **本体**

こんなときに 番組表を利用できない番組を予約したいとき 自分でチャンネル、予約日、開始/終了時刻などを入力して予約できます。(約1カ月先まで)

録画・録画予約の前に
本機で使えるメディア(ハードディスク・カード)

使える
メディア

予約する(録画)

録画予約をしたときの本機の動き

希望の時刻に録画するには、デジタル放送を受信する必要があります。

■ 予約があるときは

- 本体の録画/予約ランプ **P.16** が橙色に点灯します。

■ 予約の開始時刻になると

- 本機の電源の入/切に関係なく、予約の録画が実行されます。
(本機の電源が切のときは、録画開始の少し前になると本機内部の一部の電源が入ります。画面は映りません。)

■ 予約の録画中は

- 本体の録画/予約ランプが赤色に点灯します。

■ 予約の終了時刻になると

- 自動的に録画が終わり、本体の録画/予約ランプが消えます。
(他に予約があるときは、橙色に点灯します。)
- 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
- 録画を停止した位置までが、1番組(タイトル)となります。

録画・録画予約の前に (つづき)

番組の録画制限、ダビング制限について

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限 ○：できる ×：できない	本体	外付	カセットHDD
制限なしに録画可能	○	×	○
1回だけ録画可能	○		○
ダビング10	○		○
録画禁止	×		×

デジタル放送の場合は、ほとんどの番組が「1回だけ録画可能」番組または「ダビング10」番組です。

ダビング制限 ◎：「コピー」 ○：「ムーブ(移動)」 ×：できない	本体 ↓ カセットHDD	本体 ↑ カセットHDD
制限なしに録画可能	◎	◎
1回だけ録画可能	○	○
ダビング10(9回目まで)	◎	
ダビング10(10回目)	○	

本体⇄外付間の移動制限 ○：移動のみ可能 (コピー不可)	本体 ↓ 外付	本体 ↑ 外付
制限なしに録画可能	○	○
1回だけ録画可能	○	○
ダビング10	○	○
録画禁止		

「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組を移動しても、ダビングの残り回数は減りません。

■「制限なしに録画可能」番組について

ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後も本体の元の番組はそのまま残ります。

■ デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組について

ダビングする場合は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後に本体の元の番組が削除されます。

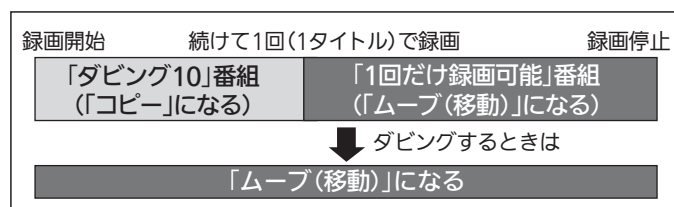
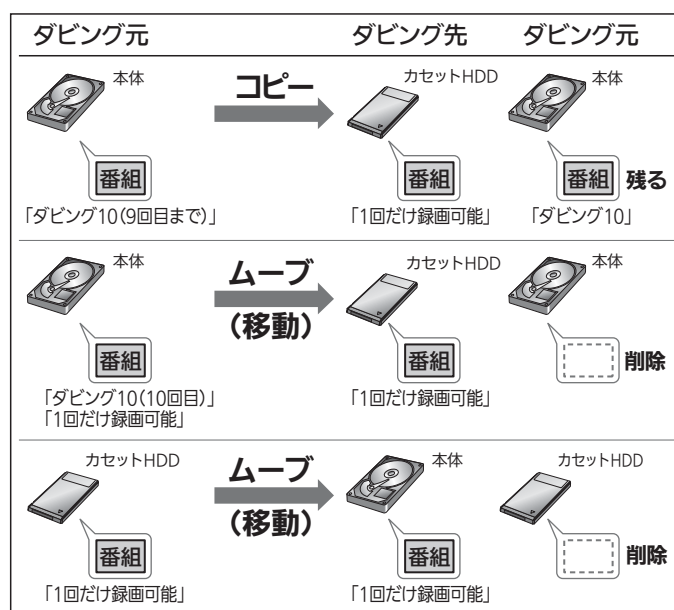
■ デジタル放送の「ダビング10」(コピー 9回+ムーブ 1回)番組について

ダビングする場合、9回目までは「コピー」となり、ダビング後も本体の元の番組はそのまま残ります。

10回目は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後に本体の元の番組が削除されます。

カセットHDDにダビングされた番組は、「1回だけ録画可能」番組となります。

- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢制限のある番組になったときは、録画を一時停止します。
録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 「ダビング10(コピー)」「制限なしにコピー可能」になる番組と、「1回だけ録画可能」「ダビング10(ムーブ)」番組を続けて1回で録画すると、録画の開始から停止までが1番組(タイトル)となるため、ダビングする場合はすべての部分が「ムーブ(移動)」となります。



- ケーブルテレビ(CATV)、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。

- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- デジタル放送の4：3の映像を録画したときは、4：3の映像に左右に黒帯が付いた状態で録画されます。
- 録画モードや音声、字幕による録画の制限は、**P.72～76** をご覧ください。

● 番組の最大記録可能数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大記録可能数は、1番組の記録時間や録画モードにより、下記の数値より少なくなることがあります。(**P.104** もご覧ください。)

- 本体 1000番組
- 外付(本体からの移動のみ)..... 1000番組
- カセットHDD..... 1000番組

お知らせ

毎日予約や毎週予約を頻繁に利用していると、録画番組数が上限に達しやすくなります。録画一覧画面の左下に表示される録画番組の総数をご確認いただき **P.94** 、上限に達する前に不要な番組を削除してください。

停電があった場合

■ 全般

- 停電から復帰すると、自動的に停電の前の状態に戻ります。
- 停電によって録画が中断したときは、**P.123** 「テレビからのお知らせ」でお知らせします。

■ 録画の種類別では

録画予約の録画開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時刻が自動修正される(または時刻を合わせ直す)と予約内容が復活します。

デジタル放送の一発録画中に停電したとき、および録画予約の録画実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻(時間)前に復帰したときは、録画終了時刻(時間)まで録画されます。
- 録画終了時刻後に復帰したときは、録画は停電したところで終了します。

■ その他

- 停電前後の番組が分割して録画一覧画面に登録されます。
- 停電直前の10分程度が録画されていないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前の録画内容が削除されたり、再生できない録画内容が残ったりすることがあります。
- 停電発生の状況によっては、初期化が必要になることがあります。

録画・録画予約の前に (つづき)

録画モードとおよその録画時間(目安)

録画モードは、「録画・再生設定」画面の「録画設定」-「録画モード」**P.136** で設定します。

● 本体に番組を録画するときの、用途別おすすめの録画モード

- 録画した番組を、ハイビジョン画質で見たい
- 本体に録画した番組を、外付に移動したい
- カセットHDDに、ハイビジョン画質で高速ダビングすることが多い

⇒ TS、AF～AE ※1

- 録画した番組を見終わったら、こまめに消去することが多い
- 放送そのままのサラウンド音声で録画して、再生したい

⇒ TS

- たくさんの番組を録画して、本体に長く残しておきたい
- 標準画質の番組を録画することが多い

⇒ XP～EP ※2

- たくさんの番組を録画して、本体にしばらく残しておきたい
- カセットHDDに、ハイビジョン画質で高速ダビングすることが多い

⇒ AF～AE ※1

※1 AF～AEの場合、同時操作の組み合わせによっては録画モード変換予定番組となります。

※2 録画モード変換予定番組となります。(録画モード変換予定番組については、**P.73** をご覧ください。)

● 録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。

- 地上・BS・110度CSデジタルのSD放送は、TS、AF～AEで録画しても標準画質で録画されます。
- 110度CSデジタル放送は、番組ごとに時間当たりの情報量が異なるため、番組ごとに録画可能時間(残量)が変わります。
- AE、EPは、「録画・再生設定」画面の「録画設定」-「AEモード」、「EPモード」の設定によって録画できる時間が変わります。**P.136**
- スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をAEで録画すると、ブロックノイズなどが目立つことがあります。
- 本機は、効率よく録画を行うために時間当たりの情報量を可変して録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大8時間です。(連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。)
8時間を越える番組を予約するには、時刻指定予約 **P.85** で8時間以内となるよう番組を分割して録画してください。
- カセットHDDにダビングしたAF～AEの録画番組は、日立01、02、UT700シリーズ、IV-R1000では再生できません。

● 本体の録画モードとおよその録画時間(目安)

本体 (内蔵ハードディスク)

録画モード	本体 (1TB)	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
TS	BSデジタル(HD放送) 地上デジタル(HD放送)	デジタル放送	放送そのままの画質 (ハイビジョン画質)	高画質 画質優先
AF	約160時間	デジタル放送	放送のデータを 圧縮変換した ハイビジョン画質	時間優先
AN	約254時間			
AE	5.5倍モード 12倍モード	デジタル放送	放送のデータを 圧縮変換した ハイビジョン画質	時間優先
XP	約220時間	デジタル放送	標準画質 (従来の画質)	従来の画質 画質優先
SP	約443時間			
LP	約883時間			
EP	6時間モード 8時間モード			

録画モード ※	本体 (1TB)	録画できる放送	記録される画質
TS	スカパー！プレミアムサービス (ハイビジョン画質番組)	スカパー！プレミアムサービス	ハイビジョン画質
	スカパー！プレミアムサービス (標準画質番組)	スカパー！プレミアムサービス	標準画質

※「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)の録画モードは、TSだけとなります。

「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)の()内の時間は、変動する録画可能時間の目安です。

録画・録画予約の前に

予約する(録画)

録画モード変換予定番組について

■ 録画モード変換予定番組になる番組

デジタル放送を本体に録画するとき、次のような場合は、いったん録画モードTSで録画されます。

- ・ 本体に録画モードXP～EPで録画する場合
- ・ **P.79～80** の同時操作の組み合わせによって、録画モードAF～AEの番組がいったん録画モードTSで録画される場合

■ 録画モードの変換動作について

本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。

- 録画モード変換予定番組は、録画一覧画面の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。 **P.94**

(例) 録画モードAFに変換予定の番組の場合

変換前 … 変換予定→AF 変換終了後 … HD画質AF

- 変換順は前後することがあります。
- 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。(変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。)
- 変換中に本機の電源が入になったときや、録画モードの変換よりも優先順位の高い動作(録画予約の録画実行、ソフトウェア更新など)が始まったときは、その時点で実行中の番組の変換は中止となり、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

録画・録画予約の前に (つづき)

● カセットHDDの録画モードとおよその録画時間(目安)

カセットHDD (カセットHDDへ録画予約する番組は、録画モードTSのみとなります。詳細予約 **P.83**)

録画モード	500GB	1TB	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
TS BSデジタル(HD放送) 地上デジタル(HD放送)	約45時間 約63時間	約90時間 約127時間	デジタル放送	放送そのままの画質 (ハイビジョン画質)	高画質 画質優先
AF	約80時間	約160時間	デジタル放送	放送のデータを 圧縮変換した ハイビジョン画質	時間優先
AN	約126時間	約254時間			
AE 5.5倍モード 12倍モード	約252時間 約540時間	約508時間 約1080時間	デジタル放送	標準画質 (従来の画質)	従来の画質 時間優先
XP	約110時間	約220時間			
SP	約222時間	約443時間			
LP	約442時間	約883時間			
EP 6時間モード 8時間モード	約665時間 約887時間	約1330時間 約1773時間			

カセットHDD移動予定番組について

カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。

■ カセットHDDへの移動動作について

- 次の場合、移動を中断し、移動可能なときに再びその番組の最初から移動を開始します。
移動予定の番組は、本体/外付の録画一覧画面の番組名の録画モード情報欄 **P.94** に **移動予定→カセット** と表示されます。
 - ・ 2番組同時録画中、ダビング中、スカパー！プレミアムLink録画中
 - ・ 録画一覧画面表示中、写真/静止画(JPEG)表示中、SDカード挿入時
 - ・ ネットワーク(アクトビラ、T S U T A Y A T V)視聴中、DLNA配信中
 - ・ 現在時刻から5分以内に予約録画が始まる場合
 - ・ 移動中に電源プラグを抜いたり、停電があった場合
- 次の場合、移動を中止し、本体の録画番組になります。
 - ・ 本体/外付の録画一覧画面 **P.94** で「サブメニュー」→「カセットHDD移動取り消し」を選択し、**決定**を押した場合
 - ・ カセットHDDが未接続の場合や移動中にカセットHDDを取り外した場合
 - ・ カセットHDDが容量不足の場合

● およその残量時間について(目安)

残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。

- 現在本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。

■ 本体の場合

- 残量時間は、画面表示や、予約内容、予約一覧、本体の録画一覧または本体/外付の録画一覧(「**■**」ラベル以外)、などの画面で確認できます。
- 残量が少なくなったときは、予約内容、予約一覧、録画一覧の各画面の残量時間表示に「**!**」が表示され、録画モードが表示されません。

■ 外付の場合

- 残量時間は、本体/外付の録画一覧画面の「**■**」ラベルの一覧を表示しているときに確認できます。
- 残量が少なくなったときは、録画一覧画面の「**■**」ラベルが「**!**」になり、残量時間表示に「**!**」が表示され、録画モードが表示されません。

■ カセットHDDの場合

- 残量時間は、カセットHDDの録画一覧画面で確認できます。

二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕の録画

録画モードや「録画・再生設定」画面の「録画設定」、「録画予約設定」 **P.136 ~ 137** の設定によって、記録される映像や音声異なります。録画前に、設定を確認してから録画してください。

デジタル放送

録画先 ()は移動・ダビングのみ	本体 ハットHDD (外付)	本体 (外付 ハットHDD)	本体 (ハットHDD)
録画モード	TS	AF ~ AE	XP ~ EP
二重音声	主音声/副音声の両方が記録されます。 ● 再生中は… 音声を選べます。		主音声/副音声の両方が記録されます。 ※1 ● 再生中は… 音声を選べます。
マルチ番組の 映像・音声	複数の映像・音声記録 されます。 ● 再生中は… 映像・音声を選べます。	【映像】1つの映像だけが記録されます。 ■ 一発録画するとき 視聴中の映像 ■ 番組表から録画予約で録画するとき 「予約設定」画面で選んだ映像 ■ 時刻指定予約で録画するとき 主映像または映像1 ■ 手間なしダビングするとき 再生中の映像 ■ ダビングリストからダビングするとき 主映像または映像1 ■ 上記以外の録画をするとき 主映像または映像1 【音声】2つの音声記録 されます。 ■ 視聴中の音声「音声1」のとき 「音声1」と「音声2」 ■ 視聴中の音声「音声1」以外のとき 視聴中の音声と「音声1」 ● 再生中は… 映像の切り換えはできません。 音声のみ選べます。	1つの映像・音声だけが記録 されます。 ■ 一発録画するとき 視聴中の映像・音声 ■ 番組表から録画予約で録画するとき 「予約設定」画面で選んだ映像・音声 ■ 時刻指定予約で録画するとき 主映像または映像1、 主音声または音声1 ■ 手間なしダビングするとき 再生中の映像・音声 ■ ダビングリストからダビングするとき 主映像または映像1、 主音声または音声1 ■ 上記以外の録画をするとき 主映像または映像1、 主音声または音声1 ● 再生中は… 映像・音声の切り換えはできません。
サラウンド 音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。※2		ステレオ音声で記録されます。
字幕	字幕の情報が記録されます。※3 ● 再生中は… 字幕表示の入/切ができます。		■ 番組表から録画予約した場合 「録画予約設定」-「字幕焼きこみ」 を「あり」に設定して録画予約した ときだけ、映像といっしょに「録画 予約設定」-「字幕焼きこみ言語」で 設定された言語の字幕が記録され ます。※4 ■ 時刻指定予約の場合 字幕の設定 P.50 に応じて映像と いっしょに字幕が記録されます。 ● 再生中は… 字幕表示の入/切はできません。

録画・録画予約の前に

予約する(録画)

録画・録画予約の前に (つづき)

- ※1 「録画設定」-「XP記録音声」の設定を「LPCM」にして録画モードXPで録画するときは、「録画設定」-「二重音声選択」で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。(この場合、再生時に音声は選べません。)
- ※2 録画モードAF～AEでは、AAC以外のサラウンド・ステレオ音声放送の場合、音声方式を変換したステレオ音声(サラウンド音声の場合はダウンミックス2チャンネル)で記録されます。
- ※3 ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組(再生時に字幕表示が選べる番組)を高速ダビングまたはAF～AEモードへダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。
- ※4 ダビングするときは、映像といっしょに字幕が記録されている場合(再生時に字幕が常に表示される場合)は字幕もダビングされます。



録画中のチャンネルや入力の切り換え

- デジタル放送の他のチャンネルや、外部入力に切り換えることができます。

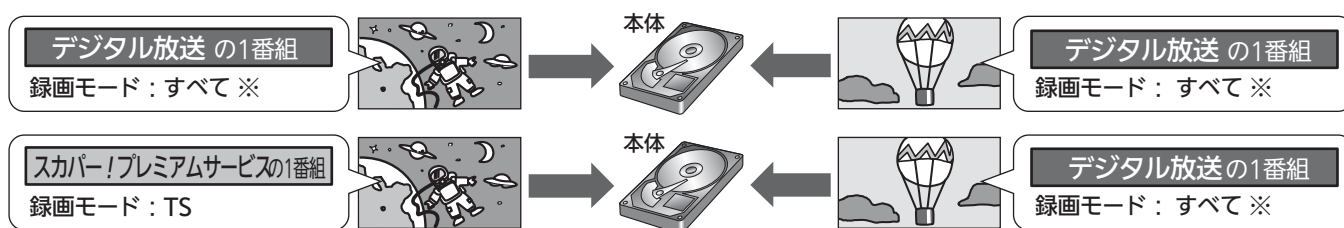
2番組を同時に録画する場合（2番組同時録画）

「同時操作について」P.79～80 もご覧ください。

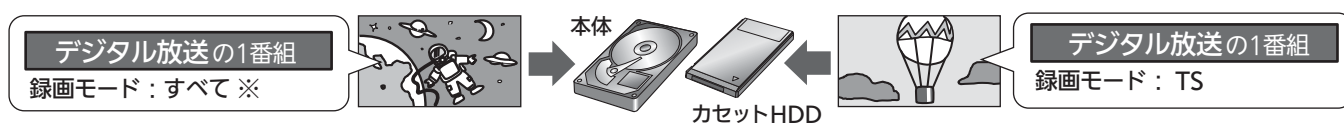
本機で可能な2番組同時録画の組み合わせ

- 本機では、次の組み合わせのときに、録画予約の2番組、一発録画の2番組、または一発録画と録画予約の2番組を同時に録画することができます。
 - ・ デジタル放送の2番組（本体に2番組、または本体に1番組とカセットHDDに録画予約の1番組）
 - ・ スカパー！プレミアムサービスとデジタル放送の各1番組（本体に各1番組）
- 録画する番組の録画モードによって、2番組同時録画できる/できないが異なります。

【2番組とも **本体** に録画するとき】



【**本体** に1番組と**カセットHDD** に録画予約の1番組を録画するとき】



カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。

※ デジタル放送を録画モードTS以外で同時録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に(変換順は前後することがあります)自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組 P.73)

- 本体→カセットHDDへ高速ダビング中は、ダビング中の番組のほかに本体に1番組同時に録画することができます。(「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)はできません。)
- デジタル放送の1つの番組(同じ番組)を2番組同時録画することはできません。

次の場合、2番組の同時録画はできません

- ・ ダビング中

2番組同時録画をする場合のご注意

- 同時録画ができない場合、2番組の録画予約が重なった部分は後の番組が優先して録画されます。前の番組は、後の番組と重なる部分の手前1分ほどから先が録画されません。P.78

録画・録画予約の前に (つづき)

予約が重なった場合

予約が重なっている場合は、「予約一覧」画面で重なっている予約に「○」「×

○…その番組の全部が録画されます。

×

3つ以上の予約が重なった場合

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

(例)

予約	
実際の録画	

- 開始時刻が同じ場合は、「予約一覧」画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。

(例)

予約	
実際の録画	

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合

(例)

予約	
実際の録画	

予約が重なる手前のの部分について

- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほど (部分)は録画されません。

2番組同時録画ができない組み合わせ(P.77)で、2つ以上の予約が重なった場合

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、「予約一覧」画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほどは録画されません。(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む)

同時操作について

視聴中、再生中、録画中、ダビング中によって、同時にできる操作が異なります。

視聴中の同時操作について

■ 視聴中の録画・ダビング・番組手動移動

○：できる ×：できない

これから始める (始まる)こと	本体へ 一発録画する	本体へ 予約した録画を 実行する	「スカパー！ プレミアムサービス Link」(録画) する	カセットHDDへ 予約した録画を 実行する	ダビングする 番組手動移動を する
今やっていること					
放送の視聴中	○	○	○	○ (※1)	○
外部入力からの映像を視聴中	視聴：○ 録画：×	○	○	○ (※1)	○
ネットワークのホームページ表示中 ネットワークから動画コンテンツを表示(視聴)中	表示：○ 録画：×	表示：× 録画：○	表示：× 録画：○	表示：× 録画：○ (※1)	表示：○ ダビング/ 番組手動移動：×

※1 カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。

再生中の同時操作について

■ 再生中の録画、ダビング・番組手動移動

○：できる ×：できない

これから始める (始まる)こと	本体へ予約した録画 を実行する	「スカパー！ プレミアムサービス Link」(録画) する	カセットHDDへ 予約した録画を 実行する	ダビングする 番組手動移動をする
今やっていること	放送			
本体の再生中	○ (※1)	○	○ (※2)	再生：○ ダビング/ 番組手動移動：×
外付の再生中	○ (※1)	○		再生：○ ダビング/ 番組手動移動：×
カセットHDDの再生中	○ (※1)	○	○ (※2)	
SD(JPEG)、USB(JPEG) の再生中	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○ (※2)	再生：○ ダビング/ 番組手動移動：×

※1 録画モードXP～EPで録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組 **P.73**)

※2 カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。

録画・録画予約の前に (つづき)

録画中の同時操作について

■ 録画中の再生・ダビング・番組手動移動

○：録画中に再生できる(★は追いかけ再生 **P.99** もできます) ×：録画中に再生・ダビングできない

今やっていること		これから始める (始まる)こと				ダビングする 番組手動移動をする
		本体	外付	再生する カセットHDD	SD(JPEG) USB(JPEG)	
本体に録画中	放送を録画中	○★	○★	○	×	×
	「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)中	○★	○★	○	×	×
カセットHDDに放送を予約録画中(本体に代理録画中)		○★		○	×	×

■ 録画中に別の番組の録画(2番組同時録画) **P.77**

○：録画できる

今やっていること (1番組目の録画)		これから始める (始まる)こと (2番組目の録画)			
		本体へ一発録画する	本体へ予約した録画を 実行する	「スカパー！ プレミアムサービス Link」(録画)する	カセットHDDへ 予約した録画を 実行する
1 本体に録画中	放送を録画中	1：○ 2：○ (※1)	1：○ (※1) 2：○ (※1)	1：○ (※1) 2：○ (※1)	1：○ 2：○ (※2)
	「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)中	1：○ (※1) 2：○ (※1)	1：○ (※1) 2：○ (※1)	チューナーの 仕様による	1：○ 2：○ (※2)
1 カセットHDDに予約録画中(本体に代理録画中)		1：○ (※2) 2：○ (※1)	1：○ (※2) 2：○ (※1)	1：○ (※2) 2：○ (※1)	1：○ (※2) 2：○ (※2)

- ※1 どちらかの番組を録画モードTS以外で録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組 **P.73**)
- ※2 カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。

ダビング中の同時操作について

■ ダビング中・番組手動移動中の視聴

○：できる ×：できない

今やっていること		これから始める (始まる)こと	放送の画面の 映像を見る	外部入力 の映像を見る	ダビング中の 映像を見る
ダビング中、番組手動移動中			○	○	×

■ ダビング中・番組手動移動中の再生

○：できる ×：できない

今やっていること		これから始める (始まる)こと		
		再生する	本体	外付
カセットHDD-本体 高速ダビング中		○ (※1)		×
外付番組手動移動中		×	×	×

- ※1 ダビングが「コピー」になる場合だけ、再生できます。「ムーブ(移動)」になる場合は、再生できません。

■ ダビング中・番組手動移動中の録画

○：できる ×：できない

今やっていること		これから始める (始まる)こと			
		本体へ 一発録画する	本体へ予約した録画を 実行する	「スカパー！ プレミアムサービスLink」 (録画)する	カセットHDDへ 予約した録画を実行する
カセットHDD-本体 高速ダビング中		○ (※2)	○ (※2)	×	○ (※3)
外付番組手動移動中		○ (※2)	○ (※2)	×	

- ※2 録画モードTS以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組 **P.73**)
- ※3 カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。

お知らせ

- 家庭内ネットワーク機能を利用時の同時操作については、**P.65** をご覧ください。

テレビ番組を今すぐ録る(一発録画)

視聴中の番組を、今すぐ録画する (一発録画)

デジタル放送 本体

録画中は、本体の録画/予約ランプ **P.16** が赤色に点灯します。

1 ●録画 を押す

- 本体が録画可能な状態のときは、録画が始まります。
- 本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。
(一発録画する前に本機の録画モードの設定を確認・変更するときは、**P.136** をご覧ください。)
- 番組を録画中に、放送やチャンネルを切り換えて別の番組を見ることができます。
- 番組を録画中に、別の番組に切り換えてもう一度押すと一発録画の2番組同時録画になります。
(2番組同時録画できない組み合わせがありますので、**P.80** もご覧ください。)
- 番組が終了すると、自動的に録画を停止します。

2 録画を一時停止するときは ■一時停止 を押す

- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 2番組同時録画中は、録画を一時停止したい番組を選局してから実行してください。

3 録画中に録画を停止するときは ■停止 を押す

- 確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選んで **決定** を押します。
- 2番組同時録画中/追っかけ再生中/録画同時再生中に録画を停止するときは **P.88** をご覧ください。

お知らせ

- 番組情報が取得できていない番組については、一発録画できません。
- 停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 停止した位置までが、1番組(タイトル)となります。
- 現在録画中の番組の放送、チャンネル、録画モードを確認したいときは、**■録** を押して画面表示を表示すると確認できます。
- 視聴中に、「サブメニュー」→「この番組を録画する」でも、視聴中の番組の一発録画を始めることができます。**P.121**
- 前の番組の本編が終わった直後など、まだ前の番組の時間内であるときに次の番組を録画しようとして **●録画** ボタンを押しても、前の番組が短く録画されたり、一発録画が開始されない場合があります。録画したい番組の時間帯になってから録画を開始してください。

録画モードをTS以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。(録画モード変換予定番組 **P.73**)

テレビ番組を今すぐ録る
録画・録画予約の前に

予約する(録画)

番組を録画予約する

[簡単予約]

番組表から簡単に予約する (簡単予約)

デジタル放送 本体

番組表から予約したい番組を選ぶだけで、簡単に予約できます。

録画中は、本体の録画/予約ランプ **P.16** が赤色に点灯します。

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。(番組表の見かたは **P.52** をご覧ください。)

■ 違う放送の種類の番組表を見るときは

地デジ **BS** **CS** を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

2 ▲▼◀▶ で予約したい日の番組を選ぶ

地上D番組表 すべて															
15:15			[14金] 15土 16日 17月 18火 19水 20木 21金												
10月14日(金) 世界ウルルン体験記 17:00~18:00															
 放送			0111	 放送		012			0201	 放送		0301	 放送		0401
15時	00 ニュース				00 第8回音楽委員会		00 第8回音楽委員会		00 第8回音楽委員会		00 第8回音楽委員会		00 ドラマスペシャル 「××家の人々」		15時
16時	30 ワールドニュース				00 野球中継 □□×× ~△△△		00 野球中継 □□×× ~△△△		00 名画アルバム特選 集		45 世界の旅風景		00 鉄道の旅「九州」		16時
17時	30 わくわく動物園めぐり				00 映画劇場「刑事□□□□」		00 映画劇場「刑事□□□□」		00 映画劇場「刑事□□□□」		00 映画劇場「刑事□□□□」		30 音楽のある景色		17時
18時					00 アニメ 「□□□□□□」		00 アニメ 「□□□□□□」		00 アニメ 「□□□□□□」		00 スペシャル「銀河 の始まり」		00 ニュース		18時
●ガバメーン ●戻る ●(空欄)単発予約(TS)/予約取消 ●前日の番組 ●空翌日の番組 ●国毎週予約(TS) ●国番組説明															

簡単予約で録画するときは、ガイド表示に表示されている録画モード(現在本機で選ばれている録画モード)で録画されます。

現在放送中の番組の場合は、表示されません。

■ 別の日の番組表を見るときは

青 (前日)、 **赤** (翌日)を押します。

3 決定 を押す

- 予約が確定し、選んだ番組に「**予**」が表示されます。(現在放送中の番組の場合は、番組説明画面が表示されます。**P.83** の手順 **3** ~ **8** を行って、予約を確定してください。)

- 予約が重なって、一部またはすべての録画ができない場合は確認メッセージが表示されます。

「はい」のままで **決定** を押すと、「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「**予**」または「**予**」が表示されます。**P.87**

◀▶ で「いいえ」を選んで **決定** を押すと、「予約一覧」画面は表示されず、確認メッセージが消えます。

■ 毎週この番組を予約するときは

緑 を押します。

■ 他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順 **2**、**3** をくり返します。

4 予約の設定が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

● 番組表を表示中に本機の録画モードの設定を確認・変更するときは

(番組表を表示していないときに本機の録画モードの設定を確認・変更するときは、**P.136** をご覧ください。)

① 手順 **2** のときに、**戻る** を押して、サブメニュー画面を表示する

② **▲▼** で「録画モード」に移動し、**◀▶** で希望の録画モードを選ぶ

③ 確認・変更が終わったら、**戻る** を押して、サブメニュー画面を消す

- 番組表は、「メニュー」→「録る(番組表・予約)」→「番組表」でも、表示することができます。**P.120**

録画モードをTS以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。(録画モード変換予定番組 **P.73**)

番組表から好みの設定で予約する (詳細予約)

デジタル放送 本体 ｶｾｯﾄHDD

番組表から予約したい番組を選んで、好みの設定で予約できます。

録画中は、本体の録画/予約ランプ **P.16** が赤色に点灯します。

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。
(番組表の見かたは **P.52** をご覧ください。)

- 違う放送の種類 of 番組表を見るときは
地デジ **BS** **CS** を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

2 ▲▼◀▶ で予約したい日の番組を選び、 黄 を押す

地上D番組表 すべて

15:15	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
10月14日(金) 世界ウルル体験記 17:00~18:00	00 ニュース 15 30 ワールドニュース	00 第8回音楽祭 15 30 わくわく動物園めぐり	00 野球中継 16 30 世界ウルル体験記	00 名画アルバム特選集 17 30 世界の旅「九州」	00 ドラマスペシャル「××家の人々」 17 30 音楽のある景色	00 ニュース 18 30

◎サブメニュー ○戻る (左) 毎週予約(TS)/予約取消 (右) 前日の番組 (左) 翌日の番組 (右) 毎週予約(TS) (右) 番組説明

- 「番組説明」画面が表示されます。
- 別の日の番組表を見るときは
青 (前日)、赤 (翌日) を押します。
- ジャンル、フリーワードで予約する番組を探すときは
P.54 で番組を検索(検索結果を表示)したあと、
▲▼ で番組を選び、**(決定)** を押します。

3 「番組説明」画面の下側で 「番組予約へ」が選ばれているので、**(決定)** を押す

- 「予約設定」画面が表示されます。

4 予約内容を確認する

予約設定 本体残量 52時間32分(TS) 10/14 金 PM 3:15

予約番組名: 世界ウルル体験記

放送波: 地上D チャンネル: 031 日付: 14 金 時刻: PM 5:00 ~ PM 6:00 録画先: 本体(HDD) 録画モード: HD画質 TS 予約確定

番組: ☒ 主番組 ☐ 副番組1 ☐ 副番組2 映像: ☒ 映像1 ☐ 映像2 ☐ 映像3 音声: ☒ 音声1 ☐ 音声2 ☐ 音声3

HD画質: ☐ 画質優先 ☐ 長時間 ☐ 標準画質 ☐ 長時間

変更 選択 (決定) 戻る (左) 毎日予約 (右) 毎週予約 (右) 設定取消 (右)

映像・音声 that 複数ある番組を録画モードXP ~ EPで予約するときだけに、表示されます。

5 予約内容を変更するときのみ、 ◀▶ で希望の項目に移動し、 ▲▼ で内容を変更する

放送波: 地上D チャンネル: 031 日付: 14 金 時刻: PM 5:00 ~ PM 6:00 録画先: 本体(HDD) 録画モード: HD画質 TS 予約確定

- 毎週/毎日録画をするときは
「日付」項目に移動し、希望の表示(毎週土、毎日、月一土、月一金など)に変更します。
● ▼ を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。
● 毎週録画、毎日録画(「毎日」)は、手順7で簡単に設定することもできます。

- カセットHDDに予約するときは
「録画先」項目に移動し、「カセットHDD」に変更します。
● 「チャンネル」「日付(毎週/毎日録画を除く)」「時刻」を変更した場合は、録画先は「本体(HDD)」固定となります。

- 録画モードを変更するときは
「録画モード」項目に移動し、希望の録画モードに変更します。(録画モードについては **P.72**)
● 録画先が「カセットHDD」の場合は、録画モードTS固定となります。録画モードTS以外は選択できません。

- 放送局(チャンネル)の枝番を切り換えるときは
「チャンネル」項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

6 映像・音声が多数ある番組(マルチ番組)を録画モードXP～EPで予約するときのみ、

◀▶ で希望の項目(番組、映像、音声)に移動し、▲▼ で内容を変更したあと、**決定** を押す

番組、映像、音声を選んで予約する必要がありますので、予約したい内容を選んでください。

放送波	チャンネル	日付	時刻	録画先	録画モード
地上D	031	14 金	PM 5:00 ~ PM 6:00	本体(HDD)	HD画質TS
番組 ☒ 主番組 ☐ 副番組1 ☐ 副番組2 映像 ☒ 映像1 ☐ 映像2 ☐ 映像3 音声 ☒ 音声1 ☐ 音声2 ☐ 音声3					
HD画質 標準画質 画質優先 長時間					
予約確定					

お知らせ

- チャンネルを変更して予約を行った場合、番組表に「**予**」は表示されません。
- 現在放送中の番組を詳細予約で毎週/毎日録画した場合は、現在放送中の番組から録画が開始されます。
- 番組表は、「メニュー」→「録る(番組表・予約)」→「番組表」でも、表示することができます。 **P.120**

録画モードをTS以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。(録画モード変換予定番組 **P.73**)

7 ◀▶ で「予約確定」に移動し、**決定** を押す

放送波	チャンネル	日付	時刻	録画先	録画モード
地上D	031	14 金	PM 5:00 ~ PM 6:00	本体(HDD)	HD画質TS
予約確定					

- 予約が確定して「番組説明」画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「**○**」または「**×**」が表示されます。 **P.87**

■ 毎週/毎日録画を簡単に設定するとき

毎週録画をするときは

この手順のときに、**緑** を押します。

毎日録画(「毎日」)をするときは

この手順のときに、**赤** を押します。

8 **戻る** を押し、番組表に戻す

- 録画予約した番組に「**予**」が表示されます。

■ 他の番組を続けて予約するとき

このあと、手順**2**～**8**をくり返します。

9 予約の設定が終わったら **戻る** を押し、通常画面に戻す

予約内容を手動で入力して予約する(時刻指定予約)

デジタル放送、**本体**

自分でチャンネルや予約日、開始/終了時刻などを入力して予約できます。

録画中は、本体の録画/予約ランプ **P.16** が赤色に点灯します。

1 **地デジ** **BS** **CS** で予約したい放送を選ぶ

2 **予約一覧** を押す

- 「予約一覧」画面が表示されます。
(「予約一覧」画面の見かたは **P.87** をご覧ください。)

3 **赤** を押す

- 「予約設定」画面が表示されます。

4 **▲▼** で予約内容を設定し、**◀▶** で項目を移動する

放送波	チャンネル	日付	時刻	録画先	録画モード	
地上D	031	--(--)	--:--	本体(HDD)	HD画質TS	予約確定

チャンネル、日付、開始時刻(時・分)、終了時刻(時・分)、録画先、録画モード を合わせます。

- 昼の12時は「PM 0:00」に、夜の12時は「AM 0:00」に合わせます。
- チャンネルは、手順**1**で選んだ放送だけが選べます。

■ 毎週/毎日録画をするときは

毎週録画をするときは

項目をすべて設定したあと **緑** を押すと、「日付」で設定した日からの毎週録画で確定します。(この場合は、手順**5**の操作は不要です。)

毎日録画(「毎日」)をするときは

項目をすべて設定したあと **赤** を押すと、「日付」で設定した日からの毎日録画で確定します。(この場合は、手順**5**の操作は不要です。)

毎日録画(「月ー土」、「月ー金」など曜日指定)をするときは

「日付」項目に移動し、希望の表示に変更します。

- **▼** を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。

■ 録画モードを変更するときは

「録画モード」項目に移動し、希望の録画モードに変更します。

■ 放送局(チャンネル)の枝番を切り換えるときは

「チャンネル」項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

5 **◀▶** で「予約確定」に移動し、**決定** を押す

放送波	チャンネル	日付	時刻	録画先	録画モード	
地上D	031	14 金	PM 5:00 ~ PM 6:00	本体(HDD)	HD画質TS	予約確定

- 予約が確定し、「予約一覧」画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「**□○**」または「**□×**」が表示されます。

■ 他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順**3** ~ **5**をくり返します。

6 確認が終わったら **戻る** を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 時刻指定予約を行った場合、番組表に「**予**」は表示されません。
- 時刻指定予約は、「メニュー」→「録る(番組表・予約)」→「時刻指定予約」でも行うことができます。 **P.120**
- 「予約一覧」画面は、「メニュー」→「録る(番組表・予約)」→「予約変更・確認」でも、表示することができます。 **P.120**
- 時刻指定予約では、録画先をカセットHDDに設定することはできません。

録画モードをTS以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。(録画モード変換予定番組 **P.73**)

予約の便利な機能

番組指定予約したデジタル放送の予約を自動追跡する

デジタル放送 **本体** **カセットHDD**

自動追跡

デジタル放送の番組を番組指定予約した場合、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。

(例)・毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。

- ・特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
- ・予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
- ・予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。

- 自動追跡による録画は、録画開始時点や録画中に受信した最新の番組データをもとに録画され、このときに放送時刻が変更されている場合は録画終了時刻を自動的に変更します。(自動追跡によって予約が重なったときは、**P.78**をご覧ください。)
- 自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 時間変更の情報が番組データに反映されていない場合や、放送局からの番組情報の送信状況によって番組変更情報(放送時間、番組名変更など)が本機で判別できない場合は、自動追跡されません。

■ 自動追跡対象の番組には

「予約一覧」画面の番組情報欄に、「番組指定 追跡対応」と表示されます。

■ 自動追跡できていない(番組が見つからず追跡録画できない)予約には

「予約一覧」画面の該当予約に「▼」が表示されます。

予約一覧	本体残量 52時間32分(TS)	10/14 金 PM 3:15
地LD 031	10/14金 PM 5:00~PM 6:00 本体 TS	番組指定 追跡対応
世界ウルルン体験記		
地LD 151	10/14金 PM 11:00~PM 11:30 本体 TS	ポップスジャム
地LD 011-01	10/16日 PM 8:30~PM 10:00 本体 TS	京都・三人歩き旅
BS 161	10/16日 PM 9:00~PM 11:00 本体 TS	カウントダウンポップス...
地LD 021	毎週木 AM 8:15~PM 8:30 本体 AF	朝のドラマ「○○△△」

■ 自動追跡できずに、時刻指定予約で録画された番組には

「録画一覧」画面の該当番組に「▼」が表示されます。

録画一覧	本体残量 52時間32分(TS)	10/14 金 PM 3:15
全 オバテ	ドラマ	映画
アニメ	音楽	スポーツ
バラエティ	ニュース	撮影
		ビデオ
		外付
(映像)	プロジェクトZ	16/10/14木
	地上061 PM 11:00~(1時間00分)HD画質TS	
	カウントダウンポップス	16/10/ 9日
	世界ウルルン体験記	16/10/ 8土
	スペシャル「京都」	16/10/ 8土

「▼」が表示された予約/番組は自動追跡していないため、録画したい番組が録画されない/録画されていないことがあります。

イベントリレー録画

P.137 の「録画・再生設定」画面の「録画予約設定」-「イベントリレー録画」の設定を「する」にすると、野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。(イベントリレーによって予約が重なったときは、

P.78 をご覧ください。)

(例) 昼の時間帯に「NHK総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHKEテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。

お知らせ

- 番組名が似ている番組がある場合は、自動追跡で別の番組が録画されることがあります。
- 自動追跡をしたくないときは、時刻指定予約で予約してください。
- 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組指定予約した場合だけ有効となります。

番組表から予約した番組であれば、適宜受信した最新の番組情報から予約された番組が放送されることや終了時間を確認して録画を行います。もし、放送時刻の変更を検出した場合は、録画時刻を自動で変更し録画を続けます。従い、放送局からの番組情報の送信され方により、番組変更情報を本機で判別できない場合は録画できなかったり、中断されます。放送時刻の変更により他の録画と重なってしまった場合などうまく録画できない場合があります。

予約の確認・変更・削除 / 録画中の予約の録画を停止する

予約の確認・変更・削除 / 録画中の予約の録画を停止する

予約する(録画)

設定済みの予約を確認する (「予約一覧」画面の表示)

1 「予約一覧」を押す

- 「予約一覧」画面が表示されます。
(「予約一覧」画面の見かたは、下欄をご覧ください。)

■ 別のページを表示するときは

◀▶ を押します。

2 確認が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 次回に「予約一覧」画面を表示するときは、上の一覧の切り換えは保持されず、「すべて」の一覧に戻ります。
- 「予約一覧」画面は、「メニュー」→「録(番組表・予約)」→「予約変更・確認」でも、表示することができます。 **P.120**

一時的に毎週/毎日録画をやめる (予約スキップ)

祝日などでその週/日の番組の放送がない場合、予約をそのまま残して録画だけ実行されないようにすることができます。

- 予約スキップの設定をした予約は、1回だけスキップされます。(次回からは録画されます。)

1 「予約一覧」を押して、「予約一覧」画面を表示したあと ▲▼ で一時的に毎週/毎日録画をやめたい予約を選ぶ

2 戻る を押して、サブメニュー画面を表示する

3 「スキップ」が選ばれているので、決定 を押す

スキップ

地上D 081	10/19水	PM11:00~AM 1:00	本体 TS	サッカー「〇〇×△△…」
地上D 021	毎週木	AM 8:15~PM 8:30	本体 AF	番組指定 追跡対応 朝のドラマ「〇〇△△×〇〇〇〇」

- 予約スキップを設定した予約には、「[7]」が表示されます。

4 設定の変更が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

■ 予約スキップを中止するときは

「予約一覧」画面で予約スキップを中止する予約を選び、手順3で「スキップ解除」のまま **決定** を押すと、「[7]」が消えます。

「予約一覧」画面の見かた

およその残量時間 **P.74**

現在時刻

選択中の予約

- 背景が青色になります。

現在のページ/総ページ

ガイド表示

予約一覧	本体残量 52時間32分 (TS)	10/14 金 PM 3:15
地上D 031	10/14金 PM 5:00~PM 6:00 本体 TS	番組指定 追跡対応
地上D 151	10/14金 PM11:00~PM11:30 本体 TS	ポップスジャム
地上D 011-01 10/16日	PM 8:30~PM10:00 本体 TS	京都・三人歩き旅
BS 161	10/16日 PM 9:00~PM11:00 本体 TS	カウントダウンポップ…
地上D 071	10/18火 PM 2:00~PM 4:54 本体 TS	ドラマ劇場
地上D 081	10/19水 PM11:00~AM 1:00 本体 TS	サッカー「〇〇×△△…」
[7] 地上D 021	毎週木 AM 8:15~PM 8:30 本体 AF	朝のドラマ「〇〇△△×〇〇〇〇」

番組指定：番組指定予約で予約した番組

時刻指定：時刻指定予約で予約した番組

追跡対応：自動追跡の対応番組 **P.86**

予約一覧

上から録画開始時刻の早い順に並びます。(並び順は自動的に変わります。)

■ 予約重なり **P.78**

- 〇：その番組の全部が録画されます
- ×：その番組の全部または一部が録画されません
- 重なっている予約は、背景が黄色になります。

■ [7]：予約スキップ中の予約 (上記参照)

➤：追跡対応だが追跡できていない予約 **P.86**

- ：録画中の予約

予約の確認・変更・削除 / 録画中の予約の録画を停止する (つづき)

設定済みの予約の内容を変更する

録画実行中の予約の変更はできません。

1 を押して、「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で変更したい予約を選び、 を押す

- 「予約設定」画面が表示されます。

2 ◀▶ で変更したい項目に移動し、▲▼ で内容を変更する

3 ◀▶ で「予約確定」に移動し、 を押す

- 予約が確定し、予約一覧画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは、重なっている予約に「」または「」が表示されます。

4 設定の変更が終わったら
 を押し、通常画面に戻す

不要な予約を取り消す

予約の取り消しは1予約ずつのみとなります。

録画実行中の予約の取り消しはできません。実行中の録画を停止させると取り消されます。

番組表から予約を取り消す

1 番組表を表示中に
「」が表示されている番組で、予約を取り消したい番組を選ぶ **P.82・83**

2 を押して、「」を消す

3 予約の取り消しが終わったら
 を押し、通常画面に戻す

「予約一覧」画面から予約を取り消す

1 を押して、「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で取り消したい予約を選ぶ

2 を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、 を押す

4 予約の取り消しが終わったら
 を押し、通常画面に戻す

録画中の予約の録画を停止する

1番組だけ録画している場合

1 追っかけ再生中や、録画/再生を同時に行っているときのみ
 を押して、再生を停止する

- 録画一覧画面が表示される場合は
 を押して、通常画面に戻します。

2 を押す

- このあと、確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、 を押します。

2番組同時録画中の場合

1 追っかけ再生中や、録画/再生を同時に行っているときのみ
 を押して、再生を停止する

- 録画一覧画面が表示される場合は
 を押して、通常画面に戻します。

2 を押す

- サブメニュー画面が表示されます。

3 ▲▼ で録画を停止したい方の番組の「録画を停止する」を選び、 を押す

(例)

サブメニュー
録画を停止する【地デジ】[011ch]
録画を停止する【地デジ】[051ch]

4 録画中のもう一方の番組も録画を停止する場合はもう一度、 を押す

- このあと、確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、 を押します。

お知らせ

- 録画を停止すると、その番組の予約が取り消されます。(毎週/毎日録画の設定は残ります。)
- 停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 停止した位置までが、1番組(タイトル)となります。
- 録画中に、サブメニュー画面から録画を停止することもできます。
 - ① 録画中に を押して、サブメニュー画面を表示する
 - ② ▲▼ で録画を停止したい番組の「録画を停止する」を選び、 を押す
- 番組表から、録画中の番組の録画を停止することもできます。
 - ① を押して、番組表を表示する
 - ② ▲▼◀▶ で、録画中で録画を停止したい番組を選ぶ
 - ③ を押して、「番組説明」画面を表示する
 - ④ 「録画停止」が選ばれているので、 を押す

他の機器の映像を録画する

他の機器の映像を録画する
予約の確認・変更・削除／録画中の予約の録画を停止する

予約する(録画)

スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画する(「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画))



ネットワーク経由でスカパー！プレミアムサービスチューナーから録画・録画予約(LAN録画)することができます。この場合、デジタル放送のハイビジョン映像は、ハイビジョン画質のまま録画できます。

本体

録画中は、本体の録画/予約ランプ **P.16** が赤色に点灯します。

事前に、次の接続や準備をしておいてください。

- ① 本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーの接続をする(LAN以外にもう1系統チューナーと接続する) **P.30**
LAN接続は、録画用の映像/音声信号を入力するための接続です。
スカパー！プレミアムサービスチューナーのメニュー画面や番組表などを本機に表示するために、LAN接続とは別にHDMIケーブルで本機とチューナーを接続してください。
- ② 本機の「通信設定」画面の「ホームサーバー設定」-「ホームサーバー機能」の設定を「入」にする **P.138**
「切」にすると、スカパー！プレミアムサービスチューナーと通信ができないため、録画されません。
- ③ スカパー！プレミアムサービスチューナーのネットワークを設定し、スカパー！プレミアムサービスチューナーに本機を録画機器として登録する
設定や登録方法については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画・録画予約をする

現在放送中の番組を録画するときの例

- 1 スカパー！プレミアムサービスチューナー
本機が録画先になるように設定する
 - 設定方法については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 2 スカパー！プレミアムサービスチューナー
録画するチャンネルに合わせる
- 3 スカパー！プレミアムサービスチューナー
チューナーのリモコンを操作し、現在放送中の番組の録画を開始する
 - 録画番組の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- 本機の電源が切のときは自動的に電源が入り、録画が始まります。この場合、電源入から録画ができる状態になるまでしばらく時間がかかりますので、録画の最初の部分は録画されません。

録画予約で録画するときの例

- 1 スカパー！プレミアムサービスチューナー
本機が録画先になるように設定する
 - 設定方法については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 2 スカパー！プレミアムサービスチューナー
録画予約の設定をする
 - チューナーで設定した予約が、本機の「予約一覧」画面に登録されます。
- 3 本機
予約を確認する **P.87**
 - 本機には録画モードTSで録画されます。
 - 接続しているスカパー！プレミアムサービスチューナーによって、または視聴制限がある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。
 - 録画予約の開始時刻になると、自動的に本機の録画が始まります。
 - 録画予約の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- 予約によっては、番組の最初の部分が録画されないことがあります。

他の機器の映像を録画する (つづき)

スカパー！プレミアムサービスチューナーからの録画予約の設定の変更・取り消し

■ 録画予約の設定の変更

- 本機では変更できません。
- 本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーの電源を入れた状態で、スカパー！プレミアムサービスチューナー側で変更してください。

■ 録画予約の設定の取り消し

- 本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーの電源を入れた状態で、スカパー！プレミアムサービスチューナー側で取り消しを行ってください。自動的に本機の予約一覧から消去されます。
- スカパー！プレミアムサービスチューナー側で取り消し操作を行っても本機の予約一覧から消去されない場合は、本機の予約一覧画面から取り消しを行ってください。

お知らせ

- 録画中は、本機の電源を切らないでください。
- 番組の最初の部分が録画されない場合があります。
- スカパー！プレミアムサービスのデータ放送、ラジオ放送は本機に録画できません。
- 地上デジタル放送を受信可能なスカパー！プレミアムサービスチューナーから、地上デジタル放送を本機に録画予約することはできません。本機側で録画予約してください。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」番組の場合は、最初の部分が録画されないことがあります。
- ネットワーク環境により、通信速度が遅い場合は録画が停止することがあります。
- 本機からスカパー！プレミアムサービスチューナーを操作したり、スカパー！プレミアムサービスチューナーから本機を操作したりすることはできません。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面、ダビング一覧画面などに表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。
- 次のような場合、録画したスカパー！プレミアムサービスの番組の字幕表示の入/切や文字スーパーの記録はできません。
 - ・ スカパー！プレミアムサービスチューナーが字幕や文字スーパーの出力に対応していないとき
 - ・ 標準画質の番組のとき
 - ・ 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)した番組を等速ダビングするとき
 - ・ 本機以外で「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)した番組のとき
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)と他の動作が重なったときは、**P.79～80** をご覧ください。
- 本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーをブロードバンドルーター経由で接続している場合は、本機のネットワークの設定が必要になります。設定方法につきましては **P.141** をご覧ください。

スカパー！放送サービスおよびご契約内容の変更に 関するお問い合わせは

(2016年6月現在)

スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）

0120-039-888

受付時間 10:00～20:00 <年中無休>

電話番号はお間違いのないようにお願いします。

お電話いただく前に、有料放送契約約款

(<http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/>)
の内容をご確認ください。

※ 個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー
(<http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/>)
に記載しております。

録画した番組を本体と外付の間で移動する

本体/外付間の番組の移動について

本体と本機に接続・登録した外付の間で番組を移動することができます。

(外付の接続については **P.41**、外付の登録については **P.43** をご覧ください。)

- 外付に移動した番組は、外付を登録したこの機器でのみ、本体に録画した番組と同様に次のような操作ができます。(同一型式の当社モデルでも利用できません。)

- ・再生
- ・番組の消去、番組名の変更、番組保護/保護解除

- 外付に移動した番組は、次のような操作はできません。(本体に移動して操作してください。)

- ・番組の部分削除/分割
- ・家庭内ネットワーク機能を利用して家庭内ネットワーク機能対応テレビ(プレーヤー機器)から視聴など

- 移動できる番組は、録画モードTS、AF ~ AEの番組だけです。

- 次の番組は、移動できません。
 - ・録画モードXP ~ EPの番組
 - ・保護されている番組

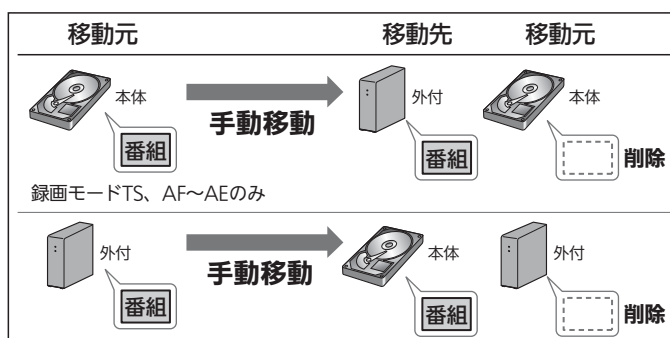
- 本体/外付間の番組の移動は「番組手動移動」**P.92**で行います。(番組のコピーはできません。)

- チャプターマーク、録画モード、映像・音声・字幕などの情報が、そのまま引き継がれます。

- 移動の実行時間は、高速ダビングのときと同等となります。

- 録画モードを変更することはできません。

- 番組の移動完了後は、移動元の番組が削除されます。



- 本体/外付間の番組の移動は、何度でも可能です。
- コピー回数も保持されます。

録画した番組を本体と外付の間で移動する
他の機器の映像を録画する

予約録画(録画)

気を付けて

- 番組の移動中は、外付の電源を切ったり、本機や外付の電源コードやUSBケーブルを抜かないでください。本体/外付の録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。
- 外付を取り外すときは、必ず **P.46** の方法で取り外してください。

- ハードディスクは録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。大切な録画内容は、レコーダーなどによる録画を併用されることをおすすめします。
- 万一本機が故障して主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合、外付の登録情報が削除され、外付の再登録(初期化)が必要となります。再登録(初期化)すると、外付の内容がすべて消去されます。

録画した番組を本体と外付の間で移動する(つづき)

録画した番組を手動で移動する (番組手動移動)

本体 → 外付、外付 → 本体

1 を押す

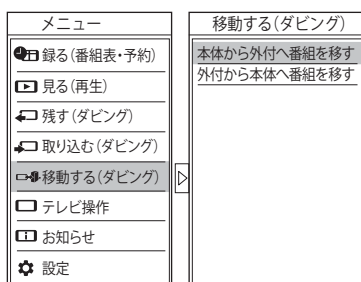
2 ▲▼ で「移動する(ダビング)」を選び、
(決定) を押す

3 本体→外付に移動するとき
「本体から外付へ番組を移す」で、
そのまま (決定) を押す

外付→本体に移動するとき

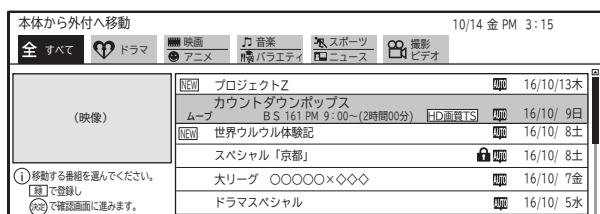
▲▼ で「外付から本体へ番組を移す」
を選び、(決定) を押す

(例) 本体→外付に
移動するとき



- 番組移動用の録画一覧画面が表示されます。

4 ▲▼ で番組移動一覧に登録(追加)する
番組を選ぶ



■ 別のページを表示するときは

◀▶ を押します。

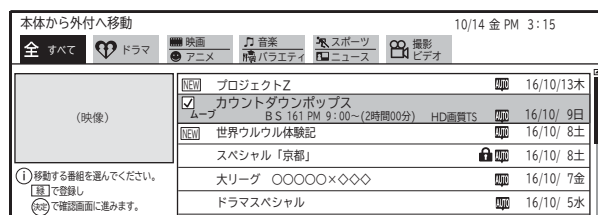
■ 一覧の並び順を変えたいときは

- ① を押して、サブメニュー画面を表示する
- ② ▲▼ で「並べ替え」を選び、(決定) を押す
- ③ ▲▼ で希望の並び順を選び、(決定) を押す

■ ラベルを切り換えるときは

◀▶ で切り換えます。

5 を押し、登録(追加)する番組(1番組目)の左に「☒」を表示する

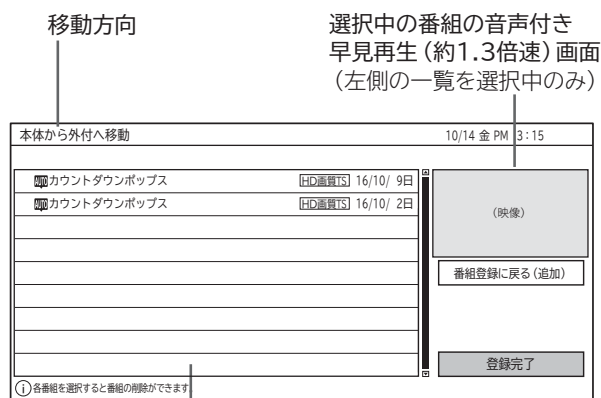


6 2番組以降を一括して登録(追加)する場合のみ
上記の手順4 ~ 4を行い、登録(追加)
する番組(2番組目以降)の左に「☒」を
表示する(最大18番組まで)

- 2番組目以降を選ぶ場合、ラベルの切り換えはできません。
複数のラベルをまたがってダビングしたいときは、「全」
の一覧から登録してください。

7 登録(追加)する番組を選び終わったら、
(決定) を押す

- 番組が登録(追加)された番組移動一覧が表示されます。



番組移動一覧(最大18番組まで追加可能)

■ 確認メッセージが表示される場合は

◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押してください。

■ 別の番組を追加するときは

▲▼ で右側の「番組登録に戻る(追加)」に移動し、(決定) を押します。
(左側の一覧が選ばれている場合は、▶▲▼
で「番組登録に戻る(追加)」に移動し、(決定) を押
します。)

番組移動用の録画一覧画面が表示されますので、
手順4 ~ 7の操作を行ってください。

■ 番組移動一覧に登録した全番組を削除するときは

◀▶ で左側の一覧に移動し、 を押します。確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、 を押します。

■ 番組移動一覧に登録した一部の番組を削除するときは

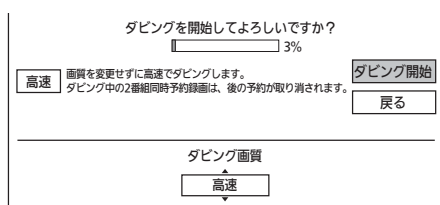
- ① ◀▶ で左側の一覧に移動する
- ② ▲▼ で削除したい番組を選ぶ
(別のページを表示するときは、◀◀、▶▶ を押す)
- ③  を押す
- ④ 確認メッセージが表示されるので、◀▶ で「はい」を選び、 を押す

8 右側の「登録完了」が選ばれている場合は、そのまま を押す

(左側の一覧が選ばれている場合は、▶▲▼ で「登録完了」に移動し、 を押す)

- 容量が計算されたあと、次の手順の画面が表示されます。

9 「ダビング開始」が選ばれているので、そのまま を押す



■ 番組手動移動の開始を中止するときは

「戻る」を選び、 を押してください。
(または、 を押します。)

番組の移動が始まります。

お知らせ

- 1度に移動できるのは、18番組までです。
19番組以上を移動したいときは、複数回に分けて移動してください。

番組の移動実行中に途中で中止するときは

番組の移動実行中に、サブメニュー画面から番組の移動を中止できます。

1 番組の移動実行中に、 を押して、サブメニュー画面を表示する

2 ▲▼ で「ダビングを中断する」を選び、 を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、 を押す

4 中止完了メッセージが表示したら、 を押す

番組の移動実行中に途中で中止したときの番組の内容

- 移動元 ……内容がそのまま残ります。
- 移動先 ……移動しません。

番組の移動実行中に停電があったときは

番組の移動を中止します。

- 停電で番組の移動を中止したときの番組の内容については、上記「番組の移動実行中に途中で中止したときの番組の内容」の場合と同様となります。
- 停電発生状況によっては、本体や外付の初期化が必要となることがあります。

録画した番組を見る

本機で録画した番組や、カセットHDDに録画やダビングした番組、外付に移動した番組を見るときは、画面に録画一覧画面を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

録画した番組の一覧について(録画一覧画面)

録画一覧画面の見かた

(例) 本体/外付の録画一覧(全)で日付順に並んでいるとき

選択中の番組と情報(青色)

コピー 9回 : コピー可能(数字はコピー可能回数) **P.70・112**

ムーブ : ムーブ(移動)のみ可能 **P.70・112**

変換予定 **→** **○** : 録画モード変換予定番組 ※3 **P.73**
(**○**は変換後の録画モード)

およその残量時間 **P.74**

本体/外付の「**全**」以外の一覧のとき…本体
本体/外付の「**全**」の一覧のとき……外付
カセットHDDの一覧のとき……カセットHDD
の、およその残量時間が表示されます。

ラベル ※1

ラベルごとに下記の内容で分類された番組の録画一覧が表示されます。

- 「**全**」「**ジャンル**」「**映像**」には、本体/外付両方の番組が表示されます。

全 : 再生可能なすべての番組

ジャンル (ドラマ、映画など)

: 番組指定予約で録画した番組のジャンルに該当する番組

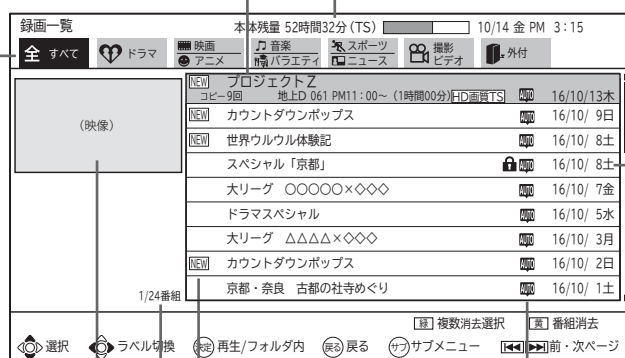
映像 : デジタルビデオカメラなどからダビングしたAVCHDの動画 **P.103**

外付 : 外付の番組 **P.91**

選択中の番組の早見再生(約1.3倍速音声付き)画面

- 録画中の番組は、「録画中のため表示できません」と表示されます。
- 外付の番組を「**全**」以外の一覧で選択中は、黒画面に「**外付**」と表示されます。
- カセットHDD内の部分削除編集された録画番組は、通常再生になることがあります。

選択中の番組の順番/総数



保護されている番組 **P.106**

おすすめ自動チャプターが記録されていてCMのある番組 ※2 **P.95・136**

NEW : まだ一度も見ていない(未再生の)番組 ※2

- 再生すると消えます。

自動追跡できず、時刻指定で録画された番組 ※2 **P.86**

録画中の番組 ※3

本機と接続したDLNA対応のプレーヤー機器の録画一覧で選択中、または再生中の番組 ※3

※1 本体/外付の録画一覧にだけ、表示されます。

※2 本体/外付の「**全**」「**ジャンル**」「**映像**」の一覧にだけ表示されます。

※3 本体/外付の「**全**」「**ジャンル**」の一覧にだけ表示されます。

- 本機の録画一覧画面は、本体/外付、カセットHDDごとに別々の画面になっています。
- 一覧の並び順は、「番組名順」、「日付順」、「未再生順」(本体/外付のみ)から選べます。
日付順、未再生順の番組は、録画日付の新しい順に並びます。
- 「番組名順」で、最初の5文字が同じ名前の番組は、フォルダー でまとめて表示されます。(連続ドラマ一括機能)
まだ見ていない(未再生)の番組が含まれているフォルダーは、**NEW** になります。
フォルダー内の一覧を表示したいときは、**▲▼** で または **NEW** の付いた番組名を選んで決定すると、フォルダー内の一覧が表示されます。フォルダー内から元の一覧に戻るには、**戻る** を押します。
- 番組の情報欄の録画モードが「変換予定」となっている番組は、録画された際に録画モードがいったんTSで録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に(変換順は前後することがあります)自動的に録画モードが変換されます。(録画モード変換予定番組) **P.73**
- カセットHDDへ録画予約した番組は、本機の内蔵ハードディスクに代理録画された後、カセットHDDに自動で移動(ムーブ)されます。移動予定の番組は、本体/外付の録画一覧画面の番組の録画モード情報欄に **移動予定→カセット** と表示されます。(カセットHDD移動予定番組) **P.74**

録画した番組を見る（通常再生）

本体 外付 カセットHDD

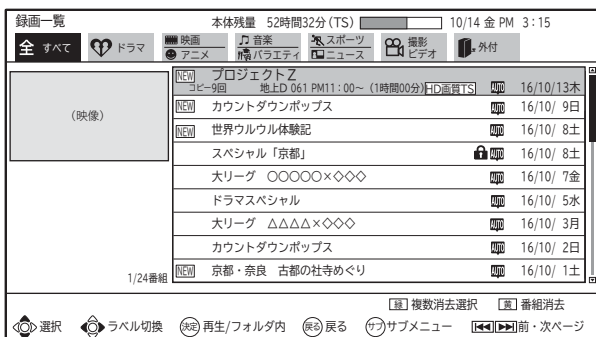
1 見る を押す

- 録画一覧画面が表示されます。

■ 録画番組再生/カセットHDD再生選択画面が表示されるときは

- ◀▶ で見たいハードディスクを選び、**決定** を押します。
- 番組が録画されていないカセットHDDを接続しているときは、選択画面は表示されません。

2 ▲▼ で見たい番組を選ぶ



■ ラベルを切り換えるときは

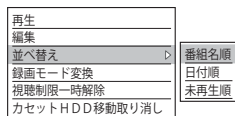
◀▶ で切り換えます。

■ 別のページを表示するときは

◀▶ を押します。

■ 一覧の並び順を変えたいときは

- 戻る** を押して、サブメニュー画面を表示する
- ▲▼ で「並べ替え」を選び、**決定** を押す
- ▲▼ で希望の並び順を選び、**決定** を押す



3 再生 または **決定** を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置（始めから、続きから）については、**P.96** をご覧ください。

4 再生を停止するときは

■ 停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。（停止位置が記憶されます。）
- 再生停止後、**戻る** を押すと通常画面に戻ります。

再生中に、本編とCMの変わり目で次の場面までとばしたいときは（おすすめ自動チャプター）

録画一覧画面で「**AVT**」が付いた番組には、録画中に本編とCMの変わり目でチャプターマークが自動的に記録されています。（おすすめ自動チャプター） **P.136**

▶▶ を押して、次の場面（チャプターマークの位置）までとばす

お知らせ

- 録画一覧画面から番組を再生したときは、その番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧画面に戻ります。
- 本体にダビングした番組は、録画一覧（**全**）画面にだけ表示されます。
- ダビングした番組は、チャンネル番号が表示されないことがあります。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目などで画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 本体再生中にSDカードを入れたりUSB機器を接続すると、再生が停止し、SDカードやUSB機器の内容を見るための画面が表示されます。
- 外付を接続していると、電源「入」時の録画一覧表示時にしばらく操作ができないことがあります。（外付の情報を取り込んでいるためです。）
この場合は、しばらく待ってから操作をしてください。
- 初期化中 **P.160** は、再生できません。
- 番組の消去・編集をするときは、**P.104～111** をご覧ください。
- 本体/外付の録画一覧画面は、「メニュー」→「見る（再生）」→「録画一覧」でも、表示することができます。 **P.120**
- カセットHDDの録画一覧画面は、「メニュー」→「見る（再生）」→「カセットHDD録画一覧」でも、表示することができます。 **P.120**
- 本体/外付やカセットHDDの録画一覧画面を表示中に、「サブメニュー」→「再生」で、再生を始める位置（始めから、続きから）を選んで再生することもできます。 **P.96**

いろいろな見かた

停止した位置の続きから見る (つづき再生・リジューム停止)

本体 外付 カセットHDD

通常再生を停止すると、つづき再生の停止状態になり、停止位置が記憶されます。停止位置は電源を切っても記憶しています。

■ 本体/外付/カセットHDDの場合

番組ごとに停止位置が記憶されます。

■ 動画(AVCHD) P.103 の場合

停止位置が記憶されます。

- 動画によっては、停止位置が記憶されないものがあります。

■ 写真/静止画(JPEG) P.102 の場合

停止位置は記憶されません。

次のような場合は、記憶した停止位置が解除されます

- 停止中に、**■停止** を押したとき。
直前に見ていた番組の停止位置が解除されます。
- 番組の編集を行ったとき。
編集を行った番組の停止位置が解除されます。
- 初期化をしたとき。

再生が始まる位置について

操作のしかたによって、再生が始まる位置(始めから、続きから)が変わります。

■ 直接再生を始める場合

- **再生** を押したとき
- 本体/外付またはカセットHDDの録画一覧画面から **決定** を押したとき

停止位置を記憶しているとき

記憶している停止位置(続き)から再生が始まります。

停止位置を記憶していないとき

番組の始めから再生が始まります。

■ サブメニューから操作して再生を始める場合

- 録画一覧画面から **決定** を押したとき

再生を始める位置(始めから、続きから)を選んで再生します。

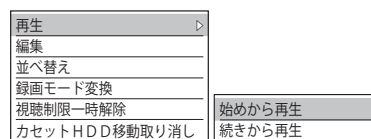
- ① 録画一覧画面を表示中に、**決定** を押してサブメニュー画面を表示する
- ② **▲▼** で「再生」を選び、**決定** を押す
- ③ **▲▼** で再生を始める位置を選び、**決定** を押す

始めから再生するとき

「始めから再生」を選びます。

記憶している停止位置(続き)から再生するとき

「続きから再生」を選びます。



お知らせ

- つづき再生が始まる位置は、停止位置によって多少ずれることがあります。
- 再生中に、「サブメニュー」→「始めから再生する」で、番組の先頭から再生を始めることもできます。P.121
- 停止中に、「メニュー」→「見る(再生)」→「続きから再生」で、記憶している停止位置(続き)から再生を始めることもできます。

P.120

再生速度を変えて見る・聞く

一部を除き、音声は出ません。

早く見る/聞く（早送り/早戻し）

本体 外付 カセットHDD

再生中に、 を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階に換わります。
- を押すと、通常の速さに戻ります。

音声付きで早く見る（早見再生）

本体 外付 カセットHDD

再生中に、 を1回押す

- 音声付きの約1.3倍速の早送りになります。
- を押すと、通常の速さに戻ります。

再生を一時的に止める（再生一時停止）

本体 外付 カセットHDD

再生中に、 を押す

- 再生が一時停止します。
- または を押すと再生に戻ります。

ゆっくり見る（スロー/逆スロー再生）

本体 外付 カセットHDD

再生一時停止中に、 を押す

- 押すたびに、再生速度が2段階で切り換わります。2でより遅くなります。
(録画モードAF～AEで録画された番組を逆スロー再生する場合は、1と2で同じ速度になります。)
- を押すと、通常の速さに、 を押すと再生一時停止に戻ります。
- スロー/逆スロー再生を約5分続けると、再生一時停止に戻ります。
- カセットHDDに録画した番組は、逆スロー再生はできません。

お知らせ

- 他の機器で部分削除され、カセットHDDに保存された録画番組は、通常再生、停止、スキップ、頭だしおよびリピート再生はできませんが、その他の操作はできません。

コマを進める/戻す（コマ送り/コマ戻し）

本体 外付 カセットHDD

再生一時停止中に、 を押す

- 押すたびに、コマが進み/戻ります。
- を押すと、通常の速さに戻ります。
- カセットHDDに録画した番組は、コマ戻しはできません。

お知らせ

- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマ飛びして再生されないことがあります。

見たい番組や場面までとばす

見たい/聞きたいところまでとばす（スキップ）

本体 外付 カセットHDD

再生中または早見再生中に、

を押す

- 押すたびに(連続10回まで)、チャプターがとばされます。

30秒単位で先にとばす（30秒スキップ） 10秒単位で前に戻す（10秒バック）

本体 外付 カセットHDD

再生中または早見再生中に、

を押す

- 30秒スキップは、押すたびに(連続10回まで)、約30秒ずつ最大5分先の場面までとばされます。
- 10秒バックは、押すたびに(連続10回まで)、約10秒ずつ最大1分40秒前の場面まで戻ります。

いろいろな見かた (つづき)

● 番号や時間を指定してとばす (頭だし)

本体 外付 カセットHDD

1 再生中または再生一時停止中に、を押す

2 ▲▼ で「頭だしを行う」を選び、を押す

サブメニュー
始めから再生する
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
サラウンド
外部アンプ連動

3 ▲▼ で希望の頭だしを選ぶ

- 押すたびに、頭だしの種類(チャプター、タイム(時間))が切り換わります。

(例) チャプターのとき

チャプターサーチ	頭だしする
--- /017	チャプター番号 / 総数
1~10入力	

タイム (時間) のとき

タイムサーチ	頭だしする
01:30:04	時間 / 総時間 (時間:分:秒)
1~10入力	

4  ~  で番号または時間を入力し、を押す

- 入力を間違えたときは、を押します。
- 指定した番号または時間までとばされます。

お知らせ

- とびこすチャプターや時間がないときは、見たい番組や場面までとばすことができません。
- 再生中に、「サブメニュー」→「始めから再生する」で、番組の先頭から再生を始めることもできます。 **P.121**

お知らせ

- 他の機器で部分削除され、カセットHDDに保存された録画番組は、通常再生、停止、スキップ、頭だしおよびリピート再生はできませんが、その他の操作はできません。

● くり返して見る (リピート再生)

本体 外付 カセットHDD

1 再生中に、を押す

2 ▲▼ で「リピート再生設定を行う」を選び、を押す

サブメニュー
始めから再生する
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
サラウンド
外部アンプ連動

3 ▲▼ で希望のリピート再生を選ぶ

- 再生中の本体、外付、カセットHDDの種類によって、選べるリピート再生の種類が異なります。
 - ・ 本体、カセットHDD …… チャプター、番組
 - ・ 外付 …………… 番組
- リピート再生が始まります。

4 リピート再生をやめるときは
手順3のときに、「オフ」を選ぶ

■ リピート再生をやめて、再生も停止するときは

を押します。

お知らせ

- リピート再生中に録画一覧画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- 録画番組によっては、リピート再生ができないことがあります。

録画中の番組を最初から見る (追いかけて再生)

本体

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)、番組の最初から見るができます。

1 録画中に、**見る**を押す

- ハードディスクの録画一覧画面が表示されます。
- 再生ディスクの選択画面が表示されるときは
「録画した番組を見る」が選ばれているので、**決定**を押す

2 ▲▼ で録画中の番組(●)を選ぶ

3 **再生**を押して、追いかけて再生を始める

4 追いかけて再生をやめるときは **停止**を押す

- 再生が停止します。(録画は続きます。)
- このあと、録画も停止させるときは
P.88をご覧ください。

お知らせ

- 録画開始直後の15秒程度は、追いかけて再生ができません。
- 追いかけて再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いついた場合は、自動的に再生が停止します。(録画は続きます。)
- 追いかけて再生中にスキップや頭出しなどを行って、再生が録画に追いつく場合は、その操作は実行できません。
- 追いかけて再生中は、通常再生になります。

再生中の切り換え

音声(言語)、字幕(言語)を切り換える

● 音声(言語)を切り換える

本体 外付 カセットHDD

再生中の番組に複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

再生中に、を押す

- 押すたびに、音声(主音声、副音声など)や音声言語が切り換わります。

● 字幕(言語)を切り換える

本体 外付 カセットHDD

再生中の番組に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入/切を選んだりすることができます。

(本機で録画した番組の場合は、録画モードTS、AF～AEで録画した番組だけ切り換えできます。P.75▶)

再生中に、を押す

- 押すたびに、字幕言語が切り換わるか、字幕が入/切します。(字幕がない場合は、何も表示されません。)
- を押したあと、▲▼で切り換えることもできます。
- ボタンを押してから表示が切りかわるまで時間がかかることがあります。

お知らせ

- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- P.134 の「音声設定」画面の「光音声出力設定」を「自動」に設定して二重音声を再生しているときは、デジタル音声(光)出力端子から出力している音声を、本機の「音声切替」操作で切り換えることはできません。この場合は、「光音声出力設定」を「PCM」に設定するか、アンプ側で切り換えてください。
- いろいろな速度での再生中は、字幕は表示されません。

写真・ビデオを見る

パソコンやデジタルカメラなどでJPEG形式の写真を記録したSDカードを本機で再生することができます。
また、JPEG形式の写真を記録したUSB機器と本機をUSBケーブルで接続すると、本機で再生することができます。

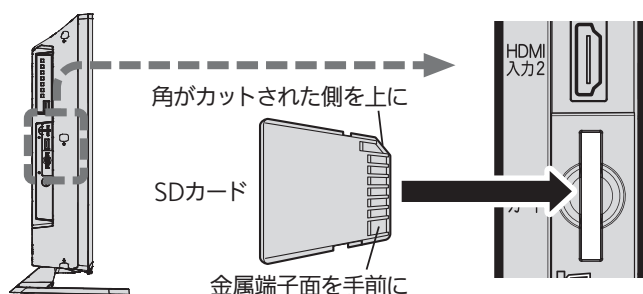
気を付けて

- SDカードやUSB機器の読み込み中・動作中は、次のことを行わないでください。
本機、SDカード、USB機器の故障や、記録されているデータの破損の原因となります。
 - ・ 本機やUSB機器の電源を切る
 - ・ 電源コード、SDカード、USBケーブルを抜く

SDカードの出し入れ

SD

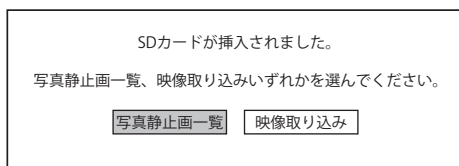
※初めてSDカードをお使いになるときは、本体の挿入口の保護テープをはがしてください。



入れるときは

SDカードの角がカットされた側を上にし、金属端子面を手前にして、奥まで(止まるまで)まっすぐ差し込む

- 写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されます。



取り出すときは

1 SDカードの中央部分を指で押してロックを外したあと、指をゆっくり離す

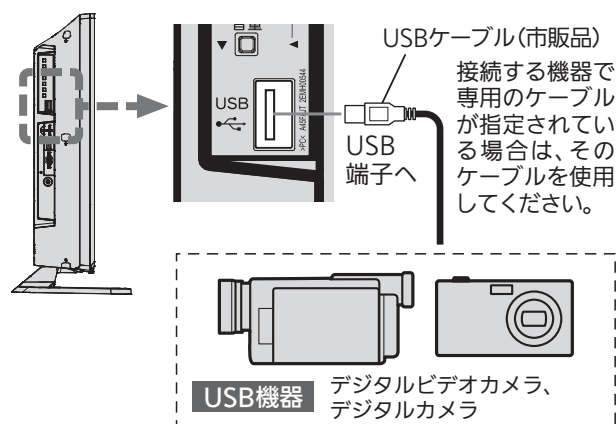
- ロックを外したあと指を急に離すと、SDカードが勢いよく飛び出して、けがの原因となることがあります。

2 SDカードの左右部分を指で持ち、まっすぐに引き出す

USB機器との接続

USB

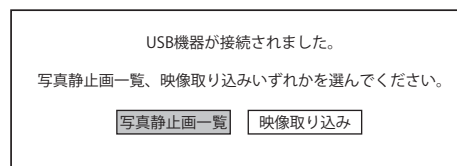
※外付を接続しているときは、P.46の方法で取り外してください。



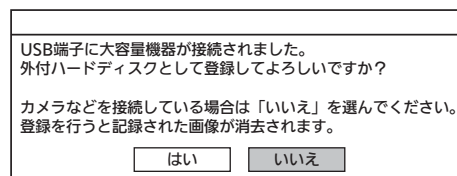
接続するときは

USBケーブルを本機とUSB機器に接続する

- 写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されます。



- 接続した機器に設定画面が表示される場合は、パソコンを接続するモードに設定してください。(くわしくは、接続するUSB機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 接続すると、次のようなメッセージが表示されたときは、「いいえ」のまま、決定を押してください。



「はい」で登録(初期化)すると、USB機器内のデータが消去されてしまいますので、登録しないでください。

接続を解除するときは

USBケーブルを本機から外す

本機で利用できるSDカード、JPEG/AVCHD対応のUSB機器については、P.67・103をご覧ください。

写真・ビデオを見る
再生中の切り換え

見る(再生)

写真・ビデオを見る (つづき)

写真を連続して再生する(スライドショー)

🗣️ お話し!

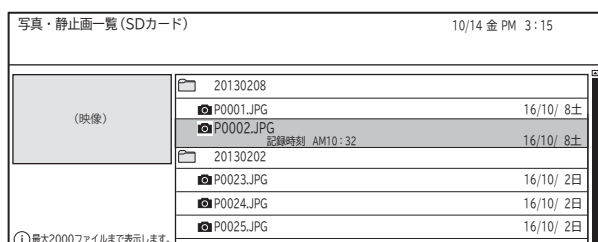
- SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み(ダビング)を行ってください。

1 JPEGの写真・静止画一覧画面を表示する

再生したいSDカードを入れる、またはUSB機器を接続する **P.101**

- 写真静止画一覧/映像取り込み選択画面が表示されるときは
◀▶ で「写真静止画一覧」を選び、**(決定)** を押す

2 ▲▼ で見たい写真📷 (ファイル)を選ぶ



- 📁 (フォルダー)内の一覧を表示するとき
▲▼ で 希望のフォルダー (📁)を選び、**(決定)** を押します。
- 別のページを表示するとき
◀▶ を押します。

3 連続再生するとき (スライドショー)

- 赤 **(再生)** または **(再生)** を押し、再生を始める
- 選んだ写真(ファイル)と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。
- 1ファイルの再生時間(表示間隔)は5秒です。
P.135 の「録画・再生設定」画面の「再生設定」→「JPEGスライドショー」で、10秒に変更することもできます。

選んだ写真 (ファイル) だけ再生するとき

- 青 **(決定)** または **(決定)** を押し、再生を始める
- 再生中に、ガイド表示を表示するとき
再生が開始されると画面の下にガイド表示が数秒間表示されます。

再生中でガイド表示が非表示のときに **青** を押すと、数秒間表示されます。

- 再生中の写真を回転させたいときは
再生中に **緑** (左回転)、**黄** (右回転)を押します。
 - 回転させた情報は記憶されません。
- 再生中の写真から前/次の写真を表示させたいときは
再生中に **◀** (前)、**▶** (次)を押します。

- ### 4 スライドショーの再生を一時停止するとき
- 赤 **(一時停止)** または **(一時停止)** を押す
- 再生が一時停止します。
 - もう一度 **赤** を押すか **再生** を押すと、再生に戻ります。

- ### 5 再生を停止するとき
- 戻る** または **停止** を押す
- 再生が停止し、写真・静止画一覧画面に戻ります。停止したファイルが選ばれています。
 - JPEG再生の場合、停止位置は記憶されません。
 - 一覧の途中から再生を始めたときは、最後のファイルまで再生されると最初のファイルに戻り、再生を始めたファイルのところまで再生されると停止して一覧画面に戻ります。

6 SDカードを抜く **P.101** USBケーブルを外す **P.101**

お知らせ

- 再生できないファイルには、「⊗」が表示されます。
- JPEGの録画一覧画面には、JPEG形式のファイルだけが表示されます。
- 写真や絵の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- JPEG再生中に録画予約の録画が始まると、JPEG再生は自動的に停止します。
- 録画中やダビング中は、JPEG再生はできません。
- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- 記録状態などによっては、一覧に表示されるファイルでも再生できないことがあります。
- JPEG再生中に再生できないファイルがあった場合は、再生を中止して録画一覧画面に戻ります。
- USB機器からJPEG再生中または映像取り込み(ダビング)中に、「USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。」というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。
その場合は、USBケーブルの接続を外してください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。
- SDカード、USB機器の写真・静止画一覧画面は、「メニュー」→「見る(再生)」→「SDカード写真・静止画一覧」、「USB写真・静止画一覧」でも、表示することができます。 **P.120**

本機で利用できるSDカードについて

- 本機は、SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたSDHCカードと、FAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

本機で利用できるJPEG対応のUSB機器について

- 本機で利用できるJPEG/AVCHD対応のUSB機器は、USBマストレージクラス(大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBの機器タイプ)に対応した、デジタルビデオカメラ、デジタルカメラだけです。
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本体の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は、保障しておりません。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本体の故障の原因となります。

本機で再生できるJPEG形式について

- データ名の右端に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。
ただし、上記の拡張子が付いたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものは、再生するとノイズが出ることがあります。
- 最大255フォルダー、2000ファイル、8階層まで対応しています。
フォルダーの構成により、再生/表示できるファイル数は減ります。
- 画素数は、34×34～8192×8192まで対応しています。
画素数の小さなファイルを再生した場合は、拡大して表示されます。
- 一覧のフォルダー/ファイル名は、半角で8文字まで表示されます。
- 記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- プロGRESS形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEGには対応していません。

本体にダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生する

本体

本機の本体にダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生することができます。

1 見る を押す

- 本体/外付の録画一覧画面が表示されます。
- 録画番組再生/カセットHDD再生の選択画面が表示されるときは
「録画した番組を見る」が選ばれているので、**決定**を押す

2 ◀▶ で録画一覧(📺)画面に切り換える

- 録画一覧(📺)画面は、本体にダビングしたAVCHDの動画がない場合は選べません。

3 ▲▼ で見たいビデオを選ぶ

4 再生 または **決定** を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置(始めから、続きから)については、**P.96** をご覧ください。

5 再生を停止するときは **停止** を押す

- 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

お知らせ

- AVCHD準拠でない動画は、再生できません。
- SDカードやUSB機械に記録されたAVCHDの動画は、本機で直接再生することはできませんが、本体に取り込む(ダビングする)ことができます。**P.118**
- 本体/外付の録画一覧画面は、「メニュー」→「見る(再生)」→「録画一覧」でも表示することができます。**P.120**

AVCHDで記録された動画の再生中に、次の再生が利用できます。**P.97～100**

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ● 通常再生 | ● 早送り/早戻し | ● 早見再生 |
| ● 再生一時停止 | ● スロー再生 | ● コマ送り |
| ● スキップ | ● 30秒スキップ | ● 10秒バック |
| ● 頭だし | ● リピート再生 | ● 音声切換 |
| ● 字幕切換 | | |
- (逆スロー再生、コマ戻しはできません。)

番組の消去・編集について

番組の編集の制限

本機でできる番組の消去・編集について(本機の録画中にできる消去・編集は下表をご覧ください)

機能	本体	外付	カセットHDD
○：できる ×：できない、または該当なし			
1番組の削除、複数番組の一括削除 番組名の変更 番組の保護/保護解除 再生中のチャプターマークの追加・削除	○	○	○
番組の部分削除、番組の分割		×	×

本機の録画中にできる番組の消去・編集について

機能	本体 の録画中			
	本体 録画済みの番組	本体 録画中の番組	外付	カセットHDD
○：できる ×：できない、または該当なし				
番組名の変更 番組の保護/保護解除 再生中のチャプターマークの追加・削除	○	×	○	○
1番組の削除、複数番組の一括削除	○		○	×
番組の部分削除、番組の分割 ※1	×		×	×

※1 録画開始3分前から、編集することができません。

お知らせ

●番組が保護されているときは、番組の消去や他の編集、ダビング制限のある番組のダビングはできません。

ダビングすると「ムーブ(移動)」になる部分を含んでいる番組の編集について

- 「ムーブ(移動)」になる部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「ムーブ(移動)」でダビングされます。
- 本体に録画された番組で、「ムーブ(移動)」になる部分だけを部分削除した場合や、「ムーブ(移動)」になる部分と「コピー」になる部分を分割した場合でも、部分削除・分割後の番組は「ムーブ(移動)」になります。(「コピー」にはなりません。)

番組を消去(削除)したときの残量時間について

本体 外付 カセットHDD

番組を消去(削除)すると、残量時間が増えます。

最大記録可能数/登録数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大記録可能数/登録数は、1番組の記録時間や録画モードにより、下記の数値より少なくなることがあります。

本体

- 番組数 1000
- 1番組あたりのチャプター数 997

外付

- 番組数(本体からの移動のみ) 1000
- 1番組あたりのチャプター数 997

カセットHDD

- 番組数 1000
- 1番組あたりのチャプター数 255

お知らせ

- 毎日予約や毎週予約を頻繁に利用していると、録画番組数が上限に達しやすくなります。録画一覧画面の左下に表示される録画番組の総数をご確認いただき **P.94**、上限に達する前に不要な番組を削除してください。

番組を消去する

気を付けて

- 削除(消去)された番組は、元に戻せません。
録画内容をよく確認してから削除してください。

不要な番組を1番組だけ削除する

本体 外付 接続HDD

- 1 **見る** を押して録画一覧画面を表示し、
不要な番組を選ぶ **P.95**

録画一覧	本体残量 52時間32分(TS)	10/14 金 PM 3:15
全 すべて	ドラマ	映画
アニメ	音楽	スポーツ
バラエティ	ニュース	映画
ビデオ		
(映像)		
プロジェクトZ	16/10/13木	
カウントダウンポップス	16/10/ 9日	
コピー9回 B.S 161 PM 9:00~(2時間00分) HD高画質TS	16/10/ 8土	
世界ウルルル体験記	16/10/ 8土	
スペシャル「京都」	16/10/ 8土	
大リーグ ○○○○×◇◇◇	16/10/ 7金	

- 2 **黄** を押す

- 3 **◀▶** で確認メッセージの「はい」を選び、
決定 を押す

- 番組が削除されます。

- 4 削除が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

複数の不要な番組を一括削除する

本体 外付 接続HDD

- 1 **見る** を押して録画一覧画面を表示し、
不要な番組(1番組目)を選ぶ **P.95**

- 2 **緑** を押して、削除する番組(1番組目)
の左に「**✓**」を表示する

録画一覧	本体残量 52時間32分(TS)	10/14 金 PM 3:15
全 すべて	ドラマ	映画
アニメ	音楽	スポーツ
バラエティ	ニュース	映画
ビデオ		
(映像)		
プロジェクトZ	16/10/13木	
✓ カウントダウンポップス	16/10/ 9日	
コピー9回 B.S 161 PM 9:00~(2時間00分) HD高画質TS	16/10/ 8土	
世界ウルルル体験記	16/10/ 8土	
スペシャル「京都」	16/10/ 8土	
大リーグ ○○○○×◇◇◇	16/10/ 7金	

- 3 **▲▼** で削除する番組(2番組目)を選ぶ
 - 2番組目以降を選ぶときは、ラベル **P.94** の切り換えはできません。

- 別のページを表示するときは
◀▶ を押します。

- 4 **緑** を押して、削除する番組(2番組目)
の左に「**✓**」を表示する

- 5 手順 **3**、**4** をくり返し、一括削除する
番組に「**✓**」を表示させる
(最大20番組まで)

- 削除を取り消すときは
「**✓**」の番組を選んで **緑** を押し、「**✓**」を消し
ます。

- 6 **黄** を押して、一括削除する番組を確
定する
 - 確定せずにやめるときは、**戻る** を押します。

- 7 **◀▶** で確認メッセージの「はい」を選び、
決定 を押す
 - 番組が一括削除されます。

- 8 削除が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 録画中の番組の消去はできません。 **P.104**
- 1度に消去できるのは、20番組までです。
21番組以上を消去したいときは、複数回に分けて消去してく
ださい。
- 複数消去選択中にプレーヤー機器での再生が始まると、チェッ
クマークが消え、消去操作は中止されます。

番組を消去する
番組の消去・編集について

残す(ダブリング)

番組を編集する

番組を保護する・保護を解除する

本体 外付 兼付HDD

番組を保護するとき

1 **見る** を押して録画一覧画面を表示し、保護または保護を解除する番組を選ぶ **P.95**

2 **編集** を押す

3 **▲▼** で「編集」を選び、**決定** を押す

4 **▲▼** で「保護設定」を選び、**決定** を押す

再生	
編集	
並べ替え	部分削除
録画モード変換	分割
視聴制限一時解除	番組名変更
カセットHDD移動取り消し	保護設定

- 番組を保護すると、録画一覧画面の番組名に「**!**」が表示されます。

5 変更が終わったら **戻る** を押し、通常画面に戻す

保護されている番組の保護を解除するとき

1 **見る** を押して録画一覧画面を表示し、保護または保護を解除する番組を選ぶ **P.95**

2 **編集** を押す

3 **▲▼** で「編集」を選び、**決定** を押す

4 **▲▼** で「保護解除」を選び、**決定** を押す

再生	
編集	
並べ替え	部分削除
録画モード変換	分割
視聴制限一時解除	番組名変更
カセットHDD移動取り消し	保護解除

- 確認メッセージが表示されるときは **▶▶** で「はい」を選び、**決定** を押します。

5 変更が終わったら **戻る** を押し、通常画面に戻す

■ 本体の残量時間を増やすため、録画モードTSの番組を録画モードAF～AEに変換する(録画モード変換予定番組に変更する)ことができます。 **本体**

- 録画モード変換予定番組が5番組以上ある場合、操作はできません。

① 録画一覧画面を表示し、希望の番組を選ぶ **P.95**

② **編集** を押して、サブメニュー画面を表示する

③ **▲▼** で「録画モード変換」を選び、**決定** を押す

④ **▲▼** で希望の変換を選び、**決定** を押す

⑤ 「確認」が選ばれているので、そのまま **決定** を押す

再生	
編集	
並べ替え	TS→AF
録画モード変換	TS→AN
視聴制限一時解除	TS→AE
カセットHDD移動取り消し	変換取り消し

■ 録画モード変換予定番組の自動変換をやめる(録画モードTSのまま残す)ことができます。 **本体**

① 上記の手順①～③を行う

② **▲▼** で「変換取り消し」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 録画モード変換予定番組の録画モードの変換動作については、**P.73**「録画モード変換予定番組について」をご覧ください。
- 上記の方法で録画モードをTS→AF～AEに変換した番組は、画質が低くなります。また、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声に変更され、再生中の切り換えができなくなります。 **P.75**
- 録画モード変換予定番組は、録画一覧画面 **P.94** の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
(例) 録画モードTS→AFに変換予定の番組の場合
変換前 … **変換予定**→AF 変換終了後 … **HD画質AF** 変換取り消し後 … **HD画質TS**
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)した番組や、家庭内ネットワーク機能を利用して本機から送信中の番組は、録画モードの変換はできません。

番組名を変更する

本体 **外付** **ポケットHDD**

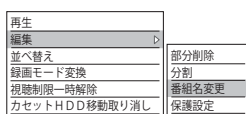
1 **見る** を押して録画一覧画面を表示し、
番組名を変更する番組を選ぶ

P.95

2 を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、**決定** を押す

4 ▲▼で「番組名変更」を選び、(決定)を押す



■ 確認メッセージが表示されるときは
◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押します。

5 録画一覧画面上で番組名を変更する (文字の入力のしかたは、右記を参照)

6 すべての文字入力が終わったら
 (決定) を押して文字入力を終了する

7 変更が終わったら を押し、通常画面に戻す

文字入力のしかた

入力可能な最大文字数について

番組名、カセットHDD名称

全角で31文字分(半角で62文字分)まで表示されます。

- 表示される画面や表示によって最大表示可能数が異なり、後半部分が表示されないことがありますので、お気を付けください。
- 未確定のまま入力できる文字数は、全角12文字までです。

一覧などで表示可能な最大文字数について

録画一覧画面の番組名、カセットHDD名称

番組名……………全角31文字分(半角62文字分)まで表示
されます。

カセットHDD名称…全角31文字分(半角62文字分)まで表示されます。

画面表示を表示させたときの番組名

全角20文字分(半角40文字分)まで表示されます。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 番組を保護した番組は、番組名を変更することができません。番組名を変更する場合は、番組保護を解除 **P.106** してください。

入力できる文字の種類

ボタン	文字の種類			
	漢字（全角かな）	カナ（半角）	英字（半角）	数字（半角）
1 あ	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ		1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	a b c A B C	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	d e f D E F	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	g h i G H I	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l J K L	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o M N O	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	p q r s P Q R S	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	t u v T U V	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z	9
11 わ	わをんわー(長音) 記号 ※2	ワヲンー(長音)	記号 ※3	
10 〇	(濁音/半濁音の切換) ※1	ゝ っ		0

※1 押すたびに、濁音(゛)、半濁音(゜)が切り換わります。(例) か→が→か→…、は→ば→ぱ→は→…

※2 全角記号一覧が表示され、次の全角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

、 。 , . : ; ? ! 々 / ~ … () [] { } 「 」 + - ± × ÷ = < > ♂ ♀ ¥ \$ % & * @ ☆ ★ ○ ● ◎
◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ ⇒ ⇔ ♪ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ I II III IV V VI VII VIII IX X (スペース)

※3 半角記号一覧が表示され、次の半角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] { } ~ (スペース)

番組を編集する (つづき)

文字入力に使うボタン

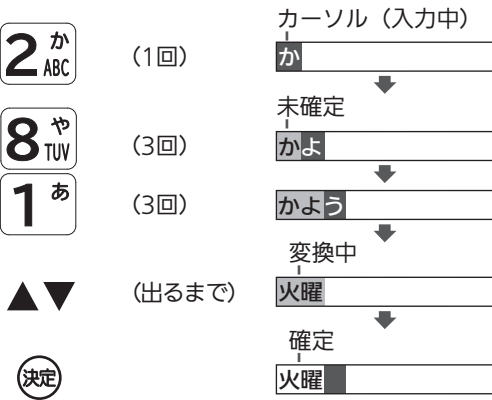
	● 押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。 ● 切り換えた状態は、画面下側のガイド表示に表示されます。 (ガイド表示) ● 漢字、全角カタカナは、「漢字」で入力したあとに変換します。
	● 押すたびに入力文字が切り換わります。 (文字の割り当ては P.107 下表を参照。)
	● 「漢字」で入力中(未確定状態のとき)は、押すたびに前/次候補を表示します。 ● 「英字」、「数字」で入力中は、押すたびに半角/全角が切り換わります。
	● カーソルを左右に移動します。 ● 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに を押すと、スペースが入ります。
	● 入力中の文字やカーソルで選んでいる文字を削除します。 ● 確定状態でカーソルが最後尾にあるときは、左横の文字にカーソルが移動します。
	● 「漢字」で入力中(未確定状態のとき)は、変換中の文字を確定します。 ● それ以外のときは、すべての文字を確定させて、文字入力を終了します。
	● 文字入力を途中でやめます。

漢字に変換するときは

例：「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

1 を押して、漢字入力モードに切り換える

2 「かよう」を入力後に、「火曜」に変換する



次の文字が同じボタン上にあるときは

- ▶ を押すと、カーソルが1文字右へ移動します。そのあと、同じボタンを押して入力が続けてください。
- 数字の場合(同じ番号を続けて入力する場合は、この操作は不要です。

記号を入力するときは

1 記号一覧が表示されるまで、 を何回か押す

2 で希望の記号を選び、 を押す

- 入力しないで記号一覧を消すときは を押します。

番組の不要な部分を削除(部分削除)したり、番組を分割したりする前に

気を付けて

- 削除(消去)された番組や分割された番組は、元に戻せません。
録画内容をよく確認してから、削除や分割をしてください。

お知らせ

- 録画開始3分前から録画中は、番組の部分削除や分割ができません。 **P.104**
- 部分削除の開始/終了で設定した位置や分割で設定した位置と、実際に編集される位置とは、1秒程度ずれることがあります。

番組の不要な部分を削除する(部分削除)

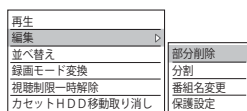
本体

- 1 **見る** を押して録画一覧画面を表示し、部分削除する番組を選ぶ **P.95**

- 2 **削除** を押す

- 3 **▲▼** で「編集」を選び、**決定** を押す

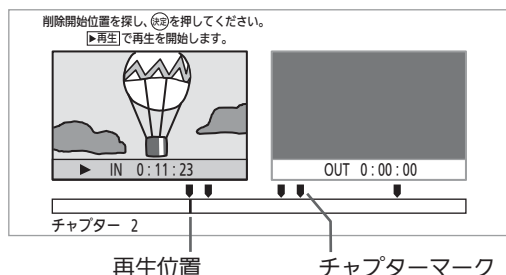
- 4 「部分削除」が選ばれているので、**決定** を押す



- 確認メッセージが表示されるときは
◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押します。

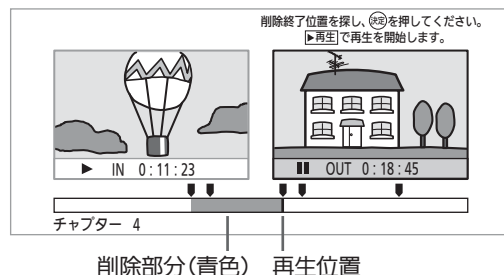
- 5 左側(IN側)の映像を見ながら、不要な部分の開始位置を探し、決定する

再生 ➡ 探す(**P.110** ★左下欄) ➡ **決定**



- 6 右側(OUT側)の映像を見ながら、不要な部分の終了位置を探し、決定する

再生 ➡ 探す(**P.110** ★左下欄) ➡ **決定**



- 選択メニューが表示されます。

■ 同じ番組の別の部分を削除するときは

- ① 「続けて編集する」で、そのまま **決定** を押す
- ② 手順5、6をくり返す

続けて編集する
削除結果の事前確認
削除を実行する

- 7 不要な部分の選択が終わったら、**▲▼** で「削除結果の事前確認」を選び、**決定** を押す

続けて編集する
削除結果の事前確認
削除を実行する

- 右側(OUT側)で、削除結果が連続再生されます。

- 8 削除結果の事前確認をする

- 事前確認(連続再生中)の再生速度は、変更することができます。(**P.110** ★左下欄)

- 9 削除結果の事前確認が終わったら、**停止** を押す

- 選択メニューが表示されます。

- 10 **▲▼** で「削除を実行する」を選び、**決定** を押す

続けて編集する
削除結果の事前確認
削除を実行する

- 11 **◀▶** で確認メッセージの「はい」を選び、**決定** を押す

- 不要な部分が削除され、通常画面に戻ります。

お知らせ

- 部分削除した録画番組は、カセットHDDにダビングすることができなくなります。

番組を分割する

本体

- 1 **見る** を押して録画一覧画面を表示し、分割する番組を選ぶ **P.95**

- 2 **分割** を押す

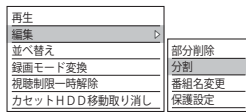
番組を編集する

残す(ダビング)

番組を編集する (つづき)

3 ▲▼ で「編集」を選び、**決定** を押す

4 ▲▼ で「分割」を選び、**決定** を押す



■ 確認メッセージが表示されるときは
◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押します。

5 映像を見ながら分割位置を探し、決定する

再生 ➡ 探す(★左下欄) ➡ **決定**



6 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、**決定** を押す

● 番組が分割され、通常画面に戻ります。

★ 部分削除の設定画面を表示中に、部分削除の開始/終了位置を探すときは

★ 部分削除の設定画面を表示中に、削除結果の事前確認(連続再生中)の再生速度を変更するときは

★ 分割の設定画面を表示中に、分割位置を探すときは

- 次の再生が利用できます。 **P.97**
 - ・通常再生 ・早送り/早戻し ・再生一時停止
 - ・スロー/逆スロー再生 ・30秒スキップ ・10秒バック
 - ・スキップ(スキップのみ、再生一時停止中からでもできます)
- コマ送り/コマ戻しをするときは、再生一時停止中に **赤** (コマ送り)、**青** (コマ戻し) を押します。
- 部分削除の開始/終了位置の検索時のみ、再生一時停止中に **一時停止** を押すと、番組の先頭に移動させることができます。

お知らせ

● 部分削除の開始/終了位置の検索や分割位置の検索で、「この位置に設定できません」というメッセージが表示されたときは
チャプターマークの位置から先の数秒間は、部分削除の開始/終了位置の検索や分割位置を設定できないことがあります。この部分に設定する場合は、次の操作を行って該当のチャプターマークを削除してください。

- ① ◀▶ で、該当のチャプターマークまでとばす
- ② すぐに **一時停止** を押して、再生一時停止にする
- ③ **黄** を押して、チャプターマークを削除する

チャプターマークを手動で追加・削除する

本体 **外付** **カセットHDD**

チャプターマークの手動追加・削除は、通常再生(番組全部の再生)時にのみ、行うことができます。

● チャプターマークを手動で追加する

通常再生中、通常再生の一時停止中に追加できます。

通常再生中または通常再生の一時停止中に、チャプターマークを追加したい場面が映ったら **緑** を押す

- チャプターマークが追加されます。

● チャプターマークを手動で削除する

通常再生の一時停止中に削除できます。

1 通常再生中に、◀▶ を押し、スキップで削除したいチャプターまでとばす

2 すぐに **一時停止** を押して、再生を一時停止する

3 **黄** を押す

- チャプターマークが削除されます。

お知らせ

- チャプターマークは、録画した番組の始めに自動的に追加されます。録画一時停止中から自動で録画が始まった場合は追加されません。
- 本体の場合は、録画中に自動でチャプターマークを追加することもできます。 **P.136**
- 番組の始めに記録されているチャプターマークは削除できません。

カセットHDDを編集する

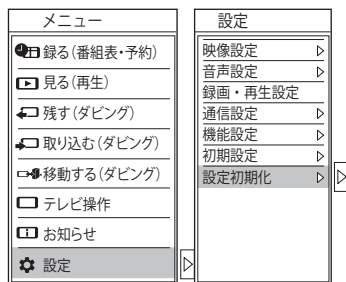
カセットHDDのタイトルを編集する

カセットHDD

1  を押す

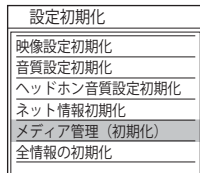
2 ▲▼ で「設定」を選び、 を押す

3 ▲▼ で「設定初期化」を選び、 を押す



- 「設定初期化」画面が表示されます。

4 ▲▼ で「メディア管理(初期化)」を選び、 を押す

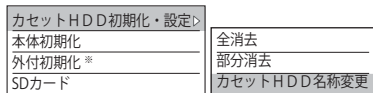


- 「メディア管理」画面が表示されます。

5 ▲▼ で「カセットHDD初期化・設定」を選び、 を押す

6 ▲▼ で「カセットHDD名称変更」を選び、 を押す

メディア管理



7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、 を押す

8 カセットHDDの名称を変更する
(文字の入力のしかたは、[P.107](#) をご覧ください。)

9 すべての文字を確定したら
 を押して文字入力を終了する

10 変更が終わったら
 を押し、通常画面に戻す

カセットHDDを編集する
番組を編集する

残す(ダビング)

ダビングする前に必ずお読みください

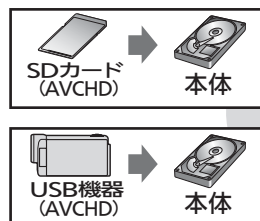
本機でできるダビングについて



- 1番組だけダビングしたい
- 複数の番組をまとめて一度にダビングしたい

ダビング一覧からダビング

※録画モードを変更してダビングすることはできません。



- デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質 (AVCHD) の動画をダビングしたい

AVCHD動画のダビング

ダビング方法	特 徴
ダビング一覧からダビング P.113	番組をダビング一覧に登録して、 <u>好みの設定でダビング</u> できます。 ● 複数の番組をまとめて一度にダビングできます。(一括ダビング) ● 録画モードを変更してダビングすることはできません。
AVCHD動画のダビング P.118	デジタルビデオカメラで撮影された <u>ハイビジョン画質 (AVCHD) の動画</u> をダビングできます。 ● ハイビジョン画質 (AVCHD) の動画を、ハイビジョン画質のまま本体HDDにダビングできます。

- 本体/外付の間で録画された番組を移動するときは、**P.91** をご覧ください。

お知らせ

- 本体は録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
大切な録画(録音)内容は、レコーダーなどによる録画を併用されることをおすすめします。
- 本機の内蔵HDDで部分削除 **P.109** した録画番組は、カセットHDDにダビングすることはできません。
- 他の機器で部分削除されカセットHDDに保存された録画番組は、本機の内蔵HDDにダビングすることはできません。

「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組のダビング制限について

P.70 の「番組の録画制限、ダビング制限について」をご覧ください。

ダビング中にできる同時操作については、**P.80** の「ダビング中の同時操作について」をご覧ください。

「コピー」と「ムーブ(移動)」

P.70 の「番組の録画制限、ダビング制限について」をご覧ください。

「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー 9回+ムーブ1回)」番組をダビングする場合は、ダビング後にダビング元の録画内容の扱い(コピーの場合…ダビング元の録画内容が残る、ムーブ(移動)の場合…ダビング元の録画内容が残らない)が変わります。

二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕のダビング

ダビング元/先の組み合わせにより、音声の再生内容が変わります。

P.75 の「二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕の録画」をご覧ください。

お知らせ

- ダビングを開始すると、放送の画面に切り換わります。(ダビング中の映像を本機で見ることはできません。)
- ダビング中に  を押して、画面と音声を消すことができます。(もう一度押すと戻ります。)

カセットHDD → 本体

次の順序でダビングします。

- ## ダビング一覧画面の見かた

10/14 金 PM 3:15

登録完

① 各番組を選択すると番組の移動、番組名の変更、番組の削除ができます。

 選択
 番組移動
 番組名変更
 全番組削除
 番組削除

 決定
  戻る
  前・次ページ

ガイド表示

本体→カセットHDDにダビングするときのみ表示されます

- ダビング順は、**P.115** で変更することができます。

番組をダビングする (つづき)

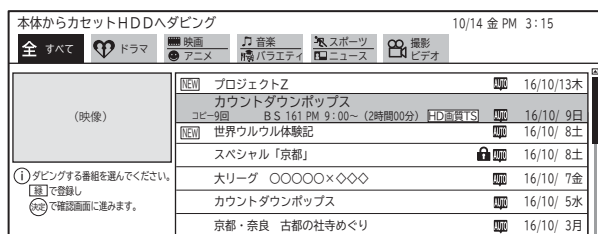
2. ダビング一覧に番組を登録(追加)する/番組を削除する/ダビング順や番組名などを変更する

次のようなことができます。

- 2-**あ**. ダビング一覧に番組を登録(追加)する場合 … 手順**2** ~ **5**へ
- 2-**い**. 全番組を削除する場合 … 手順**6** ~ **7**へ
- 2-**う**. 一部の番組を削除する場合 … 手順**8** ~ **10**へ
- 2-**え**. ダビング順を変更する場合 … 手順**11** ~ **13**へ
- 2-**お**. ダビングする番組名を変更する場合 … 手順**14** ~ **17**へ
- 2-**か**. カセットHDDの名称を設定する場合 … 手順**18** ~ **20**へ

2-**あ**. ダビング一覧に番組を登録(追加)する場合

2 ▲▼ で登録(追加)する番組を選ぶ



- ハードディスクの録画一覧には、本体の番組または外付の番組だけが表示されます。
- 保護された番組でコピー制限のあるものはダビングできません。

■ 別のページを表示するときは

◀▶ を押します。

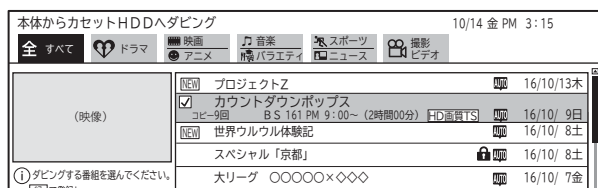
■ 一覧の並び順を変えたいときは

- ① **だ** を押して、サブメニュー画面を表示する
- ② ▲▼ で「並べ替え」を選び、**決定** を押す
- ③ ▲▼ で希望の並び順を選び、**決定** を押す

■ ラベルを切り換えるときは

◀▶ で切り換えます。

3 を押して、登録(追加)する番組(1番組目)の左に「」を表示する



■ 取り消すときは

「」の番組を選んで  を押し、「」を消します。

4 2番組以降を一括して登録(追加)する場合のみ 左記の手順**2** ~ **3**を行い、登録(追加)する番組(2番組目以降)の左に「」を表示する (最大18番組まで)

- ハードディスクの録画一覧で2番組目以降を選ぶ場合、ラベルの切り換えはできません。
- 複数のラベルをまたがってダビングしたいときは、「全」の一覧から登録してください。

5 登録(追加)する番組を選び終わったら、**決定** を押す

- 番組が登録(追加)されたダビング一覧が表示されます。



■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押してください。

■ ダビング一覧画面表示中に、番組を追加するときは

右側の「登録完了」が選ばれている場合は、▲▼ で「番組登録に戻る(追加)」に移動し、**決定** を押します。

左側の一覧が選ばれている場合は、▶▲▼ で「番組登録に戻る(追加)」に移動し、**決定** を押します。

ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、手順**2**以降の操作を行ってください。

すべての登録(追加)/削除変更が終わったら … 3. の手順**21**へ

お知らせ

- 1度にダビングできるのは、18番組までです。
- 19番組以上をダビングしたいときは、複数回に分けてダビングしてください。

2-⑥. 全番組を削除する場合

6 ダビング一覧画面を表示中に、
◀ で左側の一覧に移動し、 を押す

本体からカセットHDDへダビング		10/14 金 PM 3:15
■ カウントダウンポップス コピー回 B.S. 161	[HD画質TS] 16/ 9/26日	(映像)
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 9日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 2日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/ 9/19日	
		番組登録に戻る (追加)

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、
 を押す

- ダビング一覧の全番組が削除されます。

■ このあと、ダビング一覧画面に番組を追加するときは
右側の「番組登録に戻る (追加)」が選ばれているので、そのまま  を押します。
ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、
2-⑥.の手順2以降の操作を行ってください。

2-⑦. 一部の番組を削除する場合

8 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

本体からカセットHDDへダビング		10/14 金 PM 3:15
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 9日	(映像)
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 2日	
■ カウントダウンポップス コピー回 B.S. 161	[HD画質TS] 16/ 9/26日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/ 9/19日	
		番組登録に戻る (追加)

■ 別のページを表示するときは
、 を押します。

9  を押す

10 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、
 を押す

- 選んだ番組が削除されます。

すべての登録(追加)/削除変更が終わったら
… 3. の手順21へ

2-⑧. ダビング順を変更する場合

11 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

本体からカセットHDDへダビング		10/14 金 PM 3:15
■ カウントダウンポップス コピー回 B.S. 161	[HD画質TS] 16/ 9/26日	(映像)
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 9日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 2日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/ 9/19日	
		番組登録に戻る (追加)

■ 別のページを表示するときは

、 を押します。

12  を押す

13 ▲▼ で順番を移動する位置を選び、
 を押す

本体からカセットHDDへダビング		10/14 金 PM 3:15
■ カウントダウンポップス コピー回 B.S. 161	[HD画質TS] 16/ 9/26日	(映像)
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 9日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 2日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/ 9/19日	
		番組登録に戻る (追加)

- ダビングの順番が変更されます。

すべての登録(追加)/削除変更が終わったら
… 3. の手順21へ

2-⑨. 番組名を変更する場合

14 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

本体からカセットHDDへダビング		10/14 金 PM 3:15
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 9日	(映像)
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/10/ 2日	
■ カウントダウンポップス コピー回 B.S. 161	[HD画質TS] 16/ 9/26日	
■ カウントダウンポップス	[HD画質TS] 16/ 9/19日	
		番組登録に戻る (追加)

■ 別のページを表示するときは

、 を押します。

番組をダビングする

残す(ダビング)

番組をダビングする (つづき)

15  を押す

16 名前を変更する **P.107**

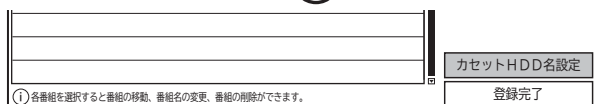
17  を押して、文字入力を終了する

- 選んだ番組の名前が変更されます。

すべての登録(追加)/削除変更が終わったら
… 3. の手順 **21**へ

2-**カ**. カセットHDDの名称を設定する場合

18 ダビング一覧画面を表示中に、
▶、▲▼ で、右側の「カセットHDD
名設定」に移動し、 を押す



19 名前を設定する **P.107**

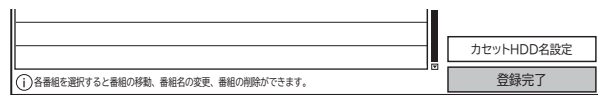
20  を押して、文字入力を終了する

- カセットHDDの名前が設定されます。

すべての登録(追加)/削除変更が終わったら
… 3. の手順 **21**へ

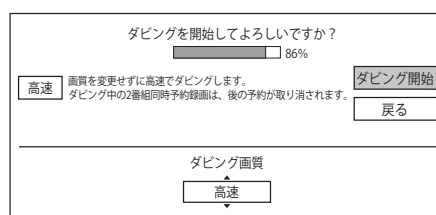
3. ダビングの設定を確認・完了する

21 ▶、▲▼ で、右側の「登録完了」に移動し、 を押す



4. ダビングを開始する

22 ▲▼ で「ダビング開始」に移動し、
 を押す



■ ダビングの開始を中止するときは
「戻る」を選び、 を押してください。
(または、 を押します。)

コピー制限情報(メッセージが表示されます)の確認後に、
ダビングが始まります。

コピー制限情報のメッセージ表示中に  を押すと、
メッセージが消え、テレビを見ることができます。

ダビング実行中に途中で中止するときは… **P.117** へ

お知らせ

- ダビング一覧の全番組の削除/一部番組の削除/番組名の変更をした場合でも、オリジナルの番組はそのまま残ります。
- オリジナルの番組を消去すると、ダビング一覧の番組も削除されます。

ダビング実行中に途中で中止するときは

1 ダビング中に、サブメニュー画面から、「ダビングを中断する」を選択し、**決定**を押す

- このあと確認メッセージが表示されますので、◀▶で「はい」を選び、**決定**を押します。

2 中止完了メッセージが表示されたら、**決定**を押す

ダビング実行中に停電があったときは

ダビングを中止します。

- 停電でダビングを中止したときの録画内容、再生内容については、右記「ダビング実行中に途中で中止したときの録画内容、再生内容」の場合と同様となります。
- 停電発生の状況やタイミングによっては、正しくダビングされないため再生できなかったり、本体やカセットHDDの初期化が必要となることがあります。

ダビング実行中に途中で中止したときの録画内容、再生内容

■ 本体→カセットHDDへダビング中

- 再生側
内容がそのまま残ります。
一括ダビングする場合、ダビング中止時点で「ムーブ(移動)」になる番組をダビング完了しているときは削除されます。
- 録画側(カセットHDD)
「1回だけ録画可能」番組と「ダビング10」番組は、ダビングされません。
「制限なしに録画可能」番組は、ダビングを中止したところまで録画されます。

■ カセットHDD→本体へダビング中(ムーブ)、AVCHDの動画→本体へダビング中

- 再生側(カセットHDD、AVCHDの動画)
内容がそのまま残ります。
- 録画側(本体)
「1回だけ録画可能」番組と「ダビング10」番組は、ダビングされません。
「制限なしに録画可能」番組は、ダビングを中止したところまで録画されます。
- ダビング実行中に中止した場合でも、タイミングによってダビングが完了する場合があります。

ダビング実行中に途中で中止するときは
番組をダビングする

残す(ダビング)

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画をダビングする

● AVCHDのハイビジョン画質で記録された動画を本体にダビングする

SD(AVCHD) USB(AVCHD) → 本体

ダビングする前に、**P.112** の「ダビングする前に必ずお読みください」をお読みください。

デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質(AVCHD)の動画を本体にダビングできます。

- ダビング元で記録された録画モードで、高速ダビングされます。本機で録画モードを変更してダビングすることはできません。
- 編集したい場合は、ダビング後に本体で行ってください。

ダビングのしかた

1 ダビング用の録画一覧画面を表示する

ダビングしたいSDカードを入れる、またはUSB機器を接続する **P.101**

※初めてSDカードをお使いになるときは、本体の挿入口の保護テープをはがしてください。

■ 写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示される時は

◀▶ で「映像取り込み」を選び、**決定** を押す

2 **P.114~116** の手順**2**~**22**を行い、ダビングを始める

- ダビング先(本体)の録画モードは、「高速」だけが選べます。

ダビング実行中に途中で中止するときは… **P.117**へ

ダビング後、再生するときは

ダビング後、本体の録画一覧(**再生**)画面から再生することができます。 **P.103**

お知らせ

- AVCHD準拠でない動画は、ダビングできません。
- ダビング後の番組名は、撮影日となります。
- 同じ日に撮影された場面(シーン)は、まとめて1番組になります。ただし、デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面(シーン)でも別々の番組になることがあります。くわしくは、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 1つの番組に99シーンを超えて記録されている場合は、99シーンごとに分けて取り込まれます。
- USB機器から映像取り込み(ダビング)中に、「USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。」というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。その場合は、USBケーブルの接続を外してください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。
- 「メニュー」→「取り込む(ダビング)」からでも、ダビング用の録画一覧画面を表示することができます。メニューについては、**P.120** をご覧ください。
- 1080pで撮影されたハイビジョン画質の動画は、本機にダビングすることができません。(録画一覧に表示されません。)

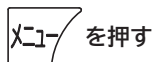
メニュー/サブメニューの使いかた

メニューボタンやサブメニューボタンを押すだけで、いろいろな機能呼び出せます。

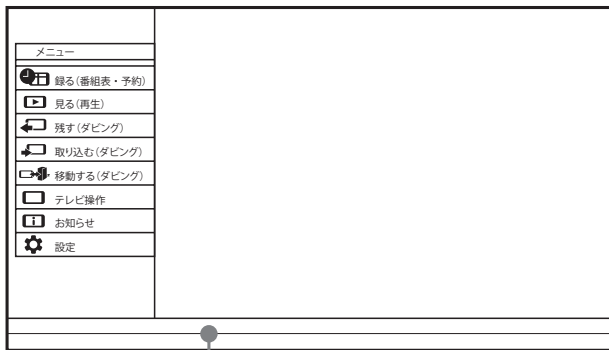
操作のしかた

1 メニュー画面から操作する場合

メニュー画面を表示する



メニュー画面



ガイド欄

サブメニュー画面から操作する場合

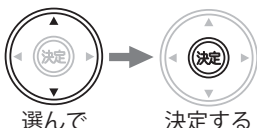
サブメニュー画面を表示する



サブメニュー画面の表示例

サブメニュー	
Ch 番号入力	
番組説明	
サラウンド	▷
外部アンプ連動	▷
映像切換	: 映像 1
ワイド切換	▷
映像設定	▷
音声設定	▷
この番組を録画する	

2 項目を選び、決定する



- この操作をくり返して、目的の画面を表示させてください。

3 設定画面が表示されたら、設定をする



- 画面下部のガイド欄を参考に操作してください。

4 設定や確認が終わったら、通常画面に戻す

メニュー画面から操作した場合



サブメニュー画面から操作した場合



メニュー / サブメニューの使いかた(つづき)

メニューの項目



録る(番組表・予約)

番組表の表示、予約の設定と変更や確認などができます。

番組表	P.52
時刻指定予約	P.85
予約変更・確認	P.87



見る(再生)

本体やカセットHDD、SDカードなどを見るときに操作できます。

続きから再生	※1	P.96
続きから再生(カセットHDD)	※1	P.96
録画一覧		P.94
カセットHDD録画一覧		P.94
SDカード写真・静止画一覧		P.102
USB写真・静止画一覧		P.102
Woonet		P.62



残す(ダビング)

本体に録画した番組をカセットHDDにダビングします。

本体録画番組を残す	P.113
-----------	-------



取り込む(ダビング)

カセットHDDの録画した番組を本体にダビングします。

カセットHDDからの映像取り込み	P.113
SDカードからの映像取り込み	P.118
USBからの映像取り込み	P.118



移動する(ダビング)

本体に録画した番組を外付ハードディスクへ移動したり、外付ハードディスクから本体に戻したりできます。

本体から外付に番組を移す	P.92
外付から本体に番組を移す	P.92



テレビ操作

視聴中に操作できる便利な機能です。

オフタイマー	:	切	※2	P.56
オンタイマー				P.57
消画				P.56
選局対象	:	すべて	※3	P.122
外付ハードディスク取外し				P.46
カセットHDD取外し				P.46



お知らせ

機器内部や放送局からのお知らせ、B-CASカードやソフトウェアの情報などを表示します。

テレビからのお知らせ	P.123
放送局からのお知らせ	P.123
ボード(CS)	P.124
B-CASカード情報	P.124
ソフトウェア情報	P.124
アンテナレベル	P.124



設定

いろいろな機能の設定ができます。

映像設定	P.125
音声設定	P.130
録画・再生設定	P.135
通信設定	P.138
機能設定	P.144
初期設定	P.150
設定初期化	P.158

※1 続きから再生できるものが1つだけ表示されます。

※2 オフタイマー使用中は「切」になるまでの時間が表示されます。

※3 設定内容が表示されます。

サブメニューの項目

● デジタル放送を見ているとき

Ch 番号入力		P.47
番組説明		P.55
サラウンド		P.51
外部アンプ連動	※4	P.60
映像切換	※5	P.50
ワイド切換		P.58
映像設定		P.125
音声設定		P.130
この番組を録画する	※6	P.81
録画を停止する【地デジ】【011ch】	※7	P.88
ダビングを中断する	※8	P.117

- ※4 HDMIコントロール対応アンプと未接続時は薄く表示され選択できません。
- ※5 デジタル放送波が受信できていないとき、データ放送チャンネルのときは薄く表示され選択できません。
- ※6 録画ができない状態のときは薄く表示され選択できません。
- ※7 録画中のみ表示されます。
- ※8 ダビング中のみ表示されます。

図中のチャンネル表示等は一例です。
 他の画面でもサブメニューで便利な機能が呼び出せます。
 例：番組表、録画一覧

● ビデオ1～2入力(音楽プレーヤー)を聞いているとき

サラウンド		P.51
外部アンプ連動	※4	P.60
音声設定		P.130
録画を停止する【地デジ】【011ch】	※7	P.88
ダビングを中断する	※8	P.117

● ビデオ1～2、HDMI1～2入力を見ているとき

サラウンド		P.51
外部アンプ連動	※4	P.60
ワイド切換		P.58
映像設定		P.125
音声設定		P.130
録画を停止する【地デジ】【011ch】	※7	P.88
ダビングを中断する	※8	P.117

● 再生のとき

始めから再生する		P.96
リピート再生設定を行う		P.98
頭だしを行う		P.98
サラウンド		P.51
外部アンプ連動	※4	P.60
ワイド切換		P.58
映像設定		P.125
音声設定		P.130

番組視聴中の便利な機能(選局対象)



選局対象の設定をする

チャンネル ▲▼ ボタンで選局できるデジタル放送のチャンネルを変更します。

1

「メニュー」→「テレビ操作」→「選局対象」の順に選ぶ

2

▲▼で設定内容を変更する

「すべて」…………… 受信できるすべてのチャンネルを選局するとき。

「設定チャンネル」… チャンネル設定で設定されている Po1 ~ 36 チャンネルだけを選局するとき。

「テレビ」…………… テレビ放送だけを選局するとき。

「ラジオ」…………… ラジオ放送だけを選局するとき。

「データ」…………… データ放送だけを選局するとき。

●工場出荷時の設定は、「すべて」です。

3



を押す

お知らせなどの情報を確認する

(テレビからのお知らせ / 放送局からのお知らせ / ボード(CS)/B-CAS カード情報 / ソフトウェア情報 / アンテナレベル)

テレビからのお知らせを読む

テレビからのお知らせには、予約重なりや停電などで録画予約の録画、初期化ができなかったときなどに、本機から送られるメッセージが表示されます。

本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「未読あり」が表示された場合は、以下の手順でお知らせの内容を確認してください。

1 「メニュー」→「お知らせ」→「テレビからのお知らせ」の順に選ぶ

2 お知らせの内容を確認する

テレビからのお知らせ		10/15 土 PM 3:15
	16/10/15(土) PM 0:14 10/15 AM 0:15~AM 1:30の予約(地デジ xxx-xx 本体 TS 番組指定)は電源プラグが抜かれたが、停電のため一部またはすべて録画できませんでした。	
	16/10/14(金) PM 8:29 PM 8:00~PM 9:00の予約録画は重複しているため中断されました。	
	16/10/14(金) PM 0:14 10/14 AM 0:15~AM 1:30の予約(地デジ xxx-xx 本体 TS 番組指定)は電源プラグが抜かれたが、停電のため一部またはすべて録画できませんでした。	

■ 別のページを表示するときは

 (前ページ)、 (次ページ)を押す

3 読み終わったら、を押す

テレビからのお知らせをすべて削除するとき

1 上の手順 2 の画面のとき、を押す

2 確認メッセージの「はい」を選び、

を押す

- すべてのテレビからのお知らせが削除されます。
- お知らせごとの手動削除はできません。

お知らせ

- テレビからのお知らせは 32 通まで表示できます。
- 最大表示数を越えると、日付の古いお知らせから削除されます。
- テレビからのお知らせは、予約が失敗したときなどに送られてくる重要な情報です。テレビからのお知らせの内容は、必ずご確認ください。
- テレビからのお知らせの送信や返信はできません。

放送局からのお知らせを読む

放送局からのお知らせには、デジタル放送の放送局から送られてくるお知らせと、本機の機能向上のためのダウンロード更新情報が表示されます。

1 「メニュー」→「お知らせ」→「放送局からのお知らせ」の順に選ぶ

2 ▲▼で読みたいお知らせを選び、を押す

- 画面の続きがあるときは
▲▼でスクロールする

3 内容を確認する

- お知らせ本文の続きがあるときは
▲▼でスクロールする
- 他のお知らせを読みたいときは
を押す

4 読み終わったら、をくり返し押す

ダウンロード更新情報が届いたとき

ソフトウェア更新 **P.157** を「切」に設定している場合、ダウンロード更新情報が届いたときはソフトウェア更新を「入」にしてください。

(ソフトウェア更新を「入」に設定している場合は、自動的にダウンロード更新されます。)

お知らせ

- 放送局からのお知らせは 31 通まで表示できます。
- 最大表示数を越えると、日付の古いお知らせから削除されます。
- 放送局からのお知らせは、ほとんどの場合お客さまご自身で削除することはできません。
- 放送局からのお知らせの送信や返信はできません。

お知らせなどの情報を確認する
番組視聴中の便利な機能

テレビをお好みの
設定にする

お知らせなどの情報を確認する(つづき)

110 度 CS デジタル放送の情報(ボード)を確認する

- 1 「メニュー」→「お知らせ」→「ボード (CS)」の順に選ぶ
- 2 ▲▼で「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、を押す
- 3 確認が終わったら、をくり返し押す

B-CAS カードの情報を確認する

- 1 「メニュー」→「お知らせ」→「B-CAS カード情報」の順に選ぶ
 - 契約されている各委託放送事業者への問い合わせなどで必要な、B-CAS カードの番号を確認します。
- 2 確認が終わったら、を押す

ソフトウェアの情報を確認する

- 1 「メニュー」→「お知らせ」→「ソフトウェア情報」の順に選ぶ
 - 本機で使用しているソフトウェアについての情報を確認します。
- 2 確認が終わったら、を押す

「アンテナレベル」画面を表示する

映りが悪いときに受信状態を確認します。

- 1 「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」の順に選ぶ
 - 「アンテナレベル」について詳しくは、[P.154](#)をご覧ください。
- 2 確認が終わったら、を押す

映像設定をする

画質の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「映像設定」画面について

映像設定		
映像モード切換	:	スーパー
バックライト	:	— — +30
コントラスト	:	— — +30
黒レベル	:	— — 0
色の濃さ	:	— — 0
色あい	:	— — 0
色温度	:	青みがかった白
シャープネス	:	— — 0
プロ調整	:	▷
映像設定の初期化		
明るさセンサー	:	切

映像モード切換 **P.125**

映像に合った映像設定を、5つのモードの中から選ぶことができます。

バックライト **P.126**

バックライトの明るさを調整します。

コントラスト **P.126**

映像コントラストを調整します。

黒レベル **P.126**

黒レベルを調整します。

色の濃さ **P.126**

色の濃さを調整します。

色あい **P.126**

色合いを調整します。

色温度 **P.126**

色の青み赤みを切り換えます。

シャープネス **P.126**

シャープネスを調整します。

プロ調整 **P.126**

映像設定をさらに細かく調整できます。

映像設定の初期化 **P.128**

現在選ばれている映像モードの映像設定を工場出荷時の状態に戻します。

明るさセンサー **P.129**

お部屋の明るさに応じて、バックライトの明るさを自動で調整します。

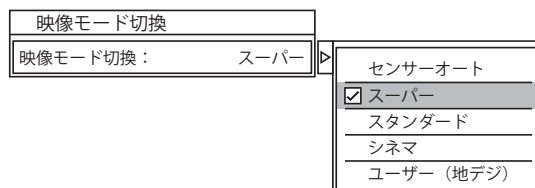
映像モードを切り換える

5つの映像モードから選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。

P.126~127

1 「サブメニュー」→「映像設定」→「映像モード切換」の順に選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ



3 決定を押す

お知らせ

映像モードは、各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに選ぶことができます。

映像モードの種類

- **センサーオート**
周囲の明るさに合わせて最適な画質に自動調整します。
- **スーパー**
色調、画質ともに鮮やかで、メリハリの効いたモードです。お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにオススメです。
- **スタンダード**
標準的な画面です。一般的な視聴にオススメです。
- **シネマ**
お部屋を暗くして映画ソフトを楽しむのに適したモードです。
・初期設定のままご使用の場合、映像によっては動きが不自然になることがあります。
「デジタルシネマ」**P.127** を「切」にするか、「シネマ」以外の映像モードをご覧ください。
- **ユーザー**
各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに、お好みに合わせて細かい調整ができます。 **P.126~127**

お知らせ

- 「メニュー」→「設定」→「映像設定」でも「映像設定」画面を表示できます。
- 「メニュー / サブメニューの使いかた」 **P.119~121** もあわせてご覧ください。

映像設定をする
お知らせなどの
情報を確認する

テレビをお好み
の設定にする

映像設定をする(つづき)

映像設定をする

映像モード **P.125** は、それぞれお好みの画質に調整することができます。

1 「サブメニュー」→「映像設定」→目的の調整項目を選ぶ

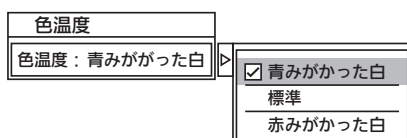
2 バックライト、コントラスト、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネスの場合

◀▶で調整する



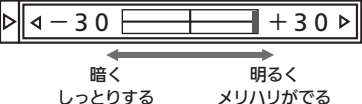
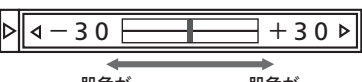
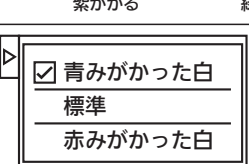
色温度の場合

▲▼で設定を選ぶ



3 を押す

映像設定の調整項目

バックライト	
コントラスト	
黒レベル	
色の濃さ	
色あい	
色温度	
シャープネス	

より美しい映像で見るために

- お部屋の明るさに応じて
「バックライト」または「明るさセンサー」で画面の明るさを調整してください。
- テレビに近づいて見るときは
「バックライト」や「明るさセンサー」で画面をやや暗めに、「シャープネス」で少しやわらかめに調整してください。
- 暗い映画などで、黒がつぶれぎみのときは
「黒レベル」で黒つぶれが少なくなるように調整してください。
- ノイズの多いビデオなどを再生するときは
「色の濃さ」で色を淡く調整してください。

さらに細かく映像設定をする(プロ調整)

「プロ調整」では、さらに細かく画質を調整することができます。

1 「サブメニュー」→「映像設定」→「プロ調整」→目的の調整項目を選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ

- 「白バランス」は、◀▶で調整してください。

3 を押す

お知らせ

- 「プロ調整」は画質の変化が大きいため、一度に複数項目の変更をせず、1項目変更するごとに通常の「映像設定」**P.126**を変更して確認しながら設定していくと、比較的早くお好みの最良画質にすることができます。
「プロ調整」項目を変更した場合は、通常の「映像設定」の変更で、更に画質が向上する場合があります。

プロ調整の調整項目

ディテール	強 ☒ 中 弱 切	画像の繊細感を強調します。
ガンマ補正	☒ 強 中 弱 切	ガンマ特性を入力信号に合わせて調整し、コントラスト感のある画質に仕上げます。 中間調のコントラスト感と黒の締まりを改善します。 強設定に比べ中間的なコントラスト感にします。 自然なガンマ設定にします。
色補正	モード 1 ☒ モード 2 切	自然に見えるように色あいを補正します。 モード2よりも自然さを重視した設定です。 色を鮮やかにした設定です。自然の風景などを見る場合におすすめします。
コントラスト補正	☒ 強 中 弱 切	映像のシーンごとに最適なガンマ補正をし、コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。
バックライト補正	☒ 入 切	「入」で、画面全般が暗い映像において、バックライトの輝度をおさえて、黒の締まりを改善します。
映像輪郭補正	☒ 強 中 弱 切	急峻で切れ味のよい輪郭にします。

色にじみ補正	強 中 ☒ 弱 切	色境界部分の色にじみを改善します。
白バランス	◀ - 3 + 3 ▶	お好みの白色に補正します。 赤みがかかる ← → 緑がかかる
MPEG NR	強 中 ☒ 弱 切	デジタル放送のブロック状のノイズと輪郭部分に現れるモスキートノイズを軽減します。
ブロックノイズ NR	強 中 弱 ☒ 切	デジタル映像のブロックノイズを少なくします。
3次元NR	強 ☒ 中 弱 切	細微なノイズを減らします。
デジタルシネマ	自動 ☒ 切	「自動」にすると、映画番組本来のコマ割を検出し、本来の忠実な元画像を再現します。 ●映像により動きや輪郭が不自然になる場合は「切」にしてください。

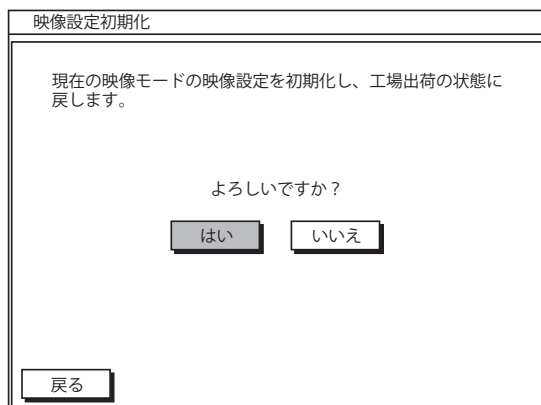
映像設定をする(つづき)

映像設定を初期化する

選んでいる映像モードの映像設定 **P.126** とプロ調整 **P.126** に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。映像モードごとに初期化できます。

1 「サブメニュー」→「映像設定」→「映像設定の初期化」の順に選ぶ

2 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す



3 もう一度 **決定**を押す

4 **戻る**を押す

お知らせ

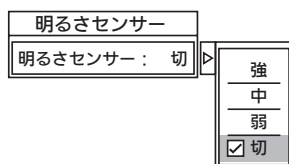
全モードを一度に初期化するときは、「メニュー」→「設定」→「設定初期化」の「映像設定の初期化」を行います。

自動的にお部屋に合った画面の明るさにする（明るさセンサー）

本体前面の明るさセンサーがお部屋の明るさを感知して、お部屋が暗いとき画面がまぶしくないように、自動で画面の明るさをおさえます。消費電力も節約します。

1 「サブメニュー」→「映像設定」→「明るさセンサー」の順に選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ



「強」「中」「弱」… 本機までの距離でお選びください。近いときは「強」がおすすめです。「強」では画面の明るさを強くおさえるので、画面を暗く感じる場合があります。

「切」…………… 明るさセンサーは、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

3 決定を押す

音声設定をする

音声の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「音声設定」画面について

音声設定		
音声モード切換	:	標準
高音	: — —	0
低音	: — —	0
左右バランス	: — —	0
重低音	:	弱
サラウンド		切
音質設定の初期化		
ヘッドホン設定		▶
自動音量補正	:	切
操作・報知音量	:	切
光音声出力設定	:	PCM

音声モード切換 **P.130**

映像に合った音質設定を、3つのモードの中から選ぶことができます。

高音、低音、左右バランス、重低音 **P.131**

音質を調整します。

サラウンド **P.51・131**

音の広がり感を切り換えます。

音質設定の初期化 **P.131**

現在選ばれている音声モードの音質設定を工場出荷時の状態に戻します。

ヘッドホン設定 **P.132**

ヘッドホンの音質を調整します。

自動音量補正 **P.133**

番組内容やシーン、入力内容で異なる音量を、自動で補正します。

操作・報知音量 **P.134**

操作音などの報知音の音量を切り換えます。

光音声出力設定 **P.134**

本機とアンプを、光、およびARC機能を使ってHDMIで接続している場合にだけ設定が必要です。接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

お知らせ

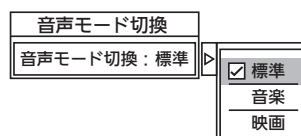
- 「メニュー」→「設定」→「音声設定」でも「音声設定」画面を表示できます。
- 「メニュー / サブメニューの使いかた」**P.119~121** もあわせてご覧ください。

音声モードを切り換える

映像に合った音質の設定を3つのモードの中から選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。調整方法については、**P.131** 「音質調整をする」をご覧ください。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→「音声モード切換」の順に選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ



3 決定を押す

お知らせ

音声モードは、各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに選ぶことができます。

音声モードの種類

- **標準**
標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。
- **音楽**
低音、高音を強調した設定になっています。
音楽番組や音楽ソフトを聞くとときにおすすめします。
- **映画**
聞きとりやすい音質になっています。
映画番組や映画ソフトを長時間見るときにおすすめします。

音質調整をする

音声モードは、それぞれお好みの音質に調整することができます。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→目的の調整項目を選ぶ

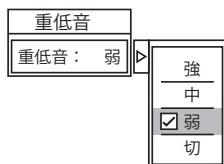
2 高音、低音、左右バランスの場合

◀▶で調整する



重低音の場合

▲▼で設定を選ぶ



3 決定を押す

音質調整の調整項目

高音	◀ -6 0 +6 ▶ 弱く 強く
低音	◀ -6 0 +6 ▶ 弱く 強く
左右バランス	◀ -6 0 +6 ▶ 左の音が大きく 右の音が大きく
重低音	強 中 弱 (checked) 切 } スピーカーの低音が大きくなり、 迫力のある音になります。

サラウンドで聞く

サラウンドを「入」にすると、音声の奥行き感や広がり感が強調されます。音楽番組やスポーツ中継などに適しています。

●ヘッドホン使用時にこの機能はありません。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→「サラウンド」の順に選ぶ

2 ▲▼で「入」を選ぶ

●サラウンドについてくわしくは P.51 をご覧ください。

3 決定を押す

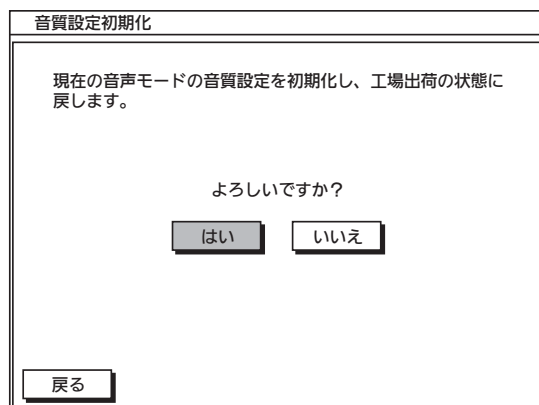
音質設定を初期化する

スピーカーで聞いている音について、選んでいる音声モードの音質調整 P.131 とサラウンド P.51 に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。

音声モードごとに初期化できます。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→「音質設定の初期化」の順に選ぶ

2 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す



3 もう一度決定を押す

4 決定を押す

お知らせ

全モードを一度に初期化するときには、「メニュー」→「設定」→「設定初期化」の「音質設定の初期化」を行います。

音声設定をする(つづき)

ヘッドホンの各種設定をする(ヘッドホン設定)

スピーカーとは別に音質や出力先を調整・設定できます。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→「ヘッドホン設定」→目的の設定項目を選ぶ

2 ヘッドホン高音、ヘッドホン低音、ヘッドホンバランスの場合

◀▶ で調整する

ヘッドホン高音

ヘッドホン高音： 0 ▶ ◀ - 6 + 6 ▶

3  を押す

ヘッドホン設定の項目	
ヘッドホン高音	▶ ◀ - 6 + 6 ▶ 弱く 強く
ヘッドホン低音	▶ ◀ - 6 + 6 ▶ 弱く 強く
ヘッドホン バランス	▶ ◀ - 6 + 6 ▶ 左の音が大きく 右の音が大きく
ヘッドホン 音質設定の 初期化	ヘッドホン設定の、音声出力先手動切換以外の項目を工場出荷時の状態に戻します。
音声出力先 手動切換	▶ 入 切 「入」で、ヘッドホン挿入時のスピーカー出力/ヘッドホン出力を手動で切り換えられます。 切換方法：消音ボタンを押すたびに消音→ヘッドホン→スピーカーの順に切り換わります。

お知らせ

ヘッドホンとスピーカーの両方から、同時に音声を出力することはできません。

聞きやすい音量にする(自動音量補正)

「自動音量補正」を「標準」または「ナイトモード」に設定すると、CM になったとき、番組が変わったとき、入力を切り換えたとき、映画のシーンが変わったときなど、音量感が大きく変わることをおさえ、音量調節頻度を減らします。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→「自動音量補正」の順に選ぶ

2 ▲▼で「入」を選ぶ

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	0
低音	0
左右バランス	0
重低音	弱
サラウンド	切
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定 ▶	
自動音量補正	切 ▶
操作・報知音量	切
光音声出力設定	P C M

標準
ナイトモード
☒ 切

「標準」…………… 通常の使用において、聞き取りやすく自然な効果です。

「ナイトモード」… 補正効果が強くなります。夜間など音量を絞っているとき向きです。

「切」…………… 自動音量補正がオフになります。

3 入を押す

お知らせ

- 静かなシーンが続くときなど、音量を大きくする効果が強くはたらくので雑音聞こえることがあります。
- ダイナミックレンジが重要な音楽の視聴では、音量補正効果によりダイナミックレンジを圧縮するため迫力感が弱くなります。
- 「ナイトモード」設定で、外部入力で音楽 DVD など録音レベルの大きなコンテンツを再生する場合、音量補正効果により、音が小さく感じる場合があります。

音声設定をする(つづき)

操作音などの報知音量の設定をする

操作音などの報知音の大きさを調整できます。
音量は3段階から選べます。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→「操作・報知音量」の順に選ぶ

2 ▲▼で好みの音量を選ぶ

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	0
低音	0
左右バランス	0
重低音	弱
サラウンド	切
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定	▶
自動音量補正	切
操作・報知音量	入
光音声出力設定	PCM

大

標準

☒ 小

切

3 を押す

光音声/ARC の出力形式を設定する

本機とアンプを、光、および ARC 機能を使って HDMI で接続している場合にだけ設定が必要です。光と ARC は同じ設定になります。別々に設定できません。
接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

1 「サブメニュー」→「音声設定」→「光音声出力設定」の順に選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	0
低音	0
左右バランス	0
重低音	弱
サラウンド	▶
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定	▶
自動音量補正	切
操作・報知音量	切
光音声出力設定	PCM

自動

☒ PCM

「自動」……ドルビーデジタル、AAC 対応機器と接続しているときに選びます。

「PCM」…ドルビーデジタル、AAC 対応でない機器と接続しているときに選びます。

3 を押す

録画・再生設定をする

[再生設定]

再生時、録画時、録画予約時に、いろいろな設定ができます。

再生設定をする

「メニュー」→「設定」→「録画・再生設定」→「再生設定」の順で、「再生設定」画面を表示して、設定します。

再生設定の項目

スチルモード	再生一時停止中の映像の設定をします。 ☒ 自動 フィールド フレーム 通常は、この設定にします。 画像のブレを抑えます。 小さな文字や細かい絵柄を見やすくします。
視聴制限設定	「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)した番組、LAN録画番組の視聴制限年齢やレベルを設定します。【P.135】 ※ 設定すると、暗証番号を入力しない限り、再生や視聴制限の設定変更ができなくなります。 デジタル放送の視聴制限の設定をするときは、【P.145】をご覧ください。
JPEGスライドショー	JPEGファイルの表示間隔を設定します。 ☒ 5秒 10秒
再生設定初期化	「再生設定」の設定内容を工場出荷時の設定に戻します。 【P.136】

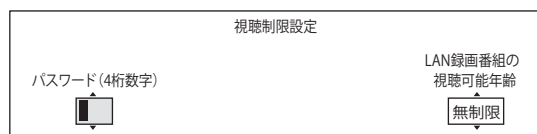
お知らせ

- 視聴制限設定
視聴制限解除や設定変更で入力する暗証番号(4桁のパスワード)は、デジタル放送の視聴制限を解除する暗証番号【P.145】と共通です。
デジタル放送の方で暗証番号を設定していなくても、ここでパスワードを入力すると暗証番号が設定されたことになり、デジタル放送の視聴制限番組を見るときに暗証番号の入力が必要になります。

再生時の視聴制限設定をする

1 「再生設定」→「視聴制限設定」を選ぶ

- 「視聴制限設定」画面が表示されます。



2 1あ～10%で暗証番号(4桁のパスワード)を入力し、決定を押す

- 暗証番号は【P.145】で登録した番号を入力します。
- 入力した数字は、「*」で表示されます。
- 入力中に番号を間違えたときは、を押します。

※ 暗証番号が未登録の場合は、ここで入力した番号が暗証番号として登録されます。
登録されると、デジタル放送の視聴制限番組を見るときにも暗証番号の入力が必要になります。

■ 「パスワードが間違っています。」メッセージが表示されたときは
間違った暗証番号を入力しています。を押したあと、正しい暗証番号を入力し直してください。

3 ▲▼で「LAN録画番組の視聴可能年齢」の設定内容を変更し、決定を押す

本機では、「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)のようにLAN端子を使って録画することを『LAN録画』と称しています。

「無制限」、「4歳」～「19歳」(1歳単位)

は工場出荷時の設定です。

- 視聴可能年齢の制限を超える番組を再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

4 「設定」画面が消えるまで戻るをくり返して押す

録画・再生設定をする
音声設定をする
テレビをお好みの設定にする

再生設定を初期化する (工場出荷時の状態に戻す)

気を付けて

- 再生設定初期化の実行中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。本機の故障の原因となります。

1 「再生設定」→「再生設定初期化」を選ぶ

2 ◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す

- 「再生設定」の設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。

3 「設定」画面が消えるまで [戻る] をくり返して押す

お知らせ

- 再生設定を初期化した場合でも、視聴制限の設定はそのまま残ります。

録画設定をする

「メニュー」→「設定」→「録画・再生設定」→「録画設定」の順で、「録画設定」画面を表示して、設定します。

録画設定の項目

自動 チャプター マーク	録画中に、チャプターマーク P.67 が自動的に記録される間隔を設定します。 ※ 本体に録画する場合のみ ☒ おすすめ自動 5分 10分 15分 切 おすすめ自動チャプター 録画中に、本編とCMの変わり目でチャプターマークが自動的に記録されます。 (番組内容により正しく動作しないことがあります。) チャプターマークを記録しません。 ● チャプターマーク数の記録上限を超えるときは、それ以上追加することはできません。 ● チャプターマークの最大登録可能数は、P.104 をご覧ください。
二重音声選択	二重音声(二カ国語)を録画するときの音声を設定します。 設定によって記録される音声については、P.75～76 をご覧ください。 ☒ 主音声 ☐ 副音声 主音声で録画します。 副音声で録画します。 録画の画質を設定します。 画質を優先させると、録画時間が短くなります。 録画時間を優先させると、画質は低くなります。
XP記録音声	録画モードXPで録画する時の音声を設定します。 ☒ MP2 ☐ LPCM 通常の音質で録画します。 二重音声は、主/副音声の両方が記録されます。 高音質(リニアPCM)で録画します。 二重音声は、「二重音声選択」で設定されている音声だけが記録されます。
録画モード	☒ TS ☐ AF ☐ AN ☐ AE ☐ XP ☐ SP ☐ LP ☐ EP ● 録画モードごとの画質、録画時間については、P.73 をご覧ください。 ● 番組表を表示中に、サブメニューからも変更できます。
AEモード	録画モードAEで録画するときの、録画時間を設定します。 ☒ 5.5倍 ☐ 12倍 「12倍」で、通常のAEよりも長時間録画できます。(画質は低下します。)
EPモード	録画モードEPで録画するときの、録画時間を設定します。 ☒ 6時間 ☐ 8時間 「8時間」で、通常のEPよりも長時間録画できます。(画質は低下します。)
録画設定初期化	「録画設定」の設定内容を工場出荷時の設定に戻します。

録画設定を初期化する (工場出荷時の状態に戻す)

気を付けて

- 録画設定初期化の実行中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。本機の故障の原因となります。

1 「録画設定」→「録画設定初期化」を選ぶ

2 ◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す

- 「録画設定」の設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。

3 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

録画予約設定をする

「メニュー」→「設定」→「録画・再生設定」→「録画予約設定」の順で、「録画予約設定」画面を表示して、設定します。

録画予約設定の項目

字幕焼きこみ	録画モードXP～EPで、番組表から番組を指定して予約した場合に、映像といっしょに字幕を録画するかどうかを設定します。 ※ デジタル放送の番組のみ あり ……「あり」で、字幕がある場合に映像といっしょに字幕を記録します。 ☒ なし ● この設定を「あり」にして記録された字幕は、再生時に表示の入/切はできません。 ● 録画モードTS、AF～AEの場合は、この設定にかかわらず字幕の情報が記録され、再生時に表示の入/切ができません。
字幕焼きこみ言語	「字幕焼きこみ」で記録する字幕言語の設定をします。 ※ 「字幕焼きこみ」の設定が「あり」の場合のみ設定可能 ☒ 日本語 英語
イベントリレー録画	野球中継などで、延長部分が他のチャンネルで引き続き放送される場合、そのまま引き続き録画を続けるかどうかを設定します。 くわしくは、P.86 をご覧ください。 する ……「する」で、番組の延長部分が他のチャンネルで放送される場合、番組引き続き録画します。 ☒ しない

通信設定をする

ネットワーク(ブロードバンド回線経由)、家庭内ネットワーク機能、端末機器などを利用するために必要な設定をします。

「通信設定」画面について

通信設定
ネットワーク設定
サーバー名設定
ホームサーバー設定 ▶

ネットワーク設定 P.141▶

データ放送の双方向通信や「ネットワーク」などを、ブロードバンド回線経由でご利用になる場合の設定です。

サーバー名設定 P.140▶

本機と接続したDLNA 対応機器(プレーヤー機器)側で表示される本機の名前の設定です。

ホームサーバー設定(右欄参照)

本機と接続したDLNA 対応機器(プレーヤー機器)との間で、家庭内ネットワーク機能 P.65▶ を利用するための設定です。

ホームサーバー設定をする

本機と家庭内ネットワーク機能に対応したテレビ(プレーヤー機器)をLANで接続し、本機(本体のハードディスク)に録画したコンテンツをテレビ(プレーヤー機器)で再生することができます。P.65▶

●「スカパー!プレミアムサービスLink」(録画)をする場合は、必ず「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。「切」にすると録画できません。

1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ
●「通信設定」画面が表示されます。

2 ▲▼ で「ホームサーバー設定」を選び、
(決定) を押す

3 ▲▼ で「ホームサーバー機能」を選び、
(決定) を押す

4 ▲▼ で「入」を選び、(決定) を押す

通信設定	ホームサーバー設定
ネットワーク設定	ホームサーバー機能 : 入 ▶
サーバー名設定	プレーヤー機器接続許可方法: 自動
ホームサーバー設定 ▶	プレーヤー機器一覧

☒ 入
☐ 切

●「高速起動設定」P.149▶ の設定が「入」で固定され、待機時の消費電力が増えます。

■ ホームサーバー機能を利用しない場合は「切」に設定してください。

● ホームサーバー機能を利用しなくても、「スカパー!プレミアムサービスLink」(録画)をする場合は、必ず「入」に設定してください。

5 ▲▼ で「プレーヤー機器接続許可方法」を選び、(決定) を押す

6 ▲▼ で「自動」を選び、(決定) を押す

通信設定	ホームサーバー設定
ネットワーク設定	ホームサーバー機能 : 入 ▶
サーバー名設定	プレーヤー機器接続許可方法: 自動
ホームサーバー設定 ▶	プレーヤー機器一覧

☒ 自動
☐ 手動

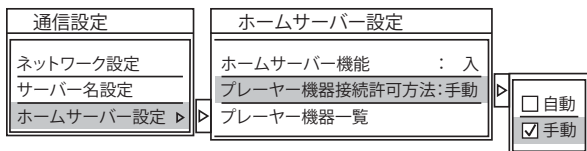
- 本機にアクセスのあったすべての機器の接続を許可します。
- アクセスのあった機器は、「プレーヤー機器一覧」に登録されます。(最大18台まで)

7 設定が完了したら、 を押す

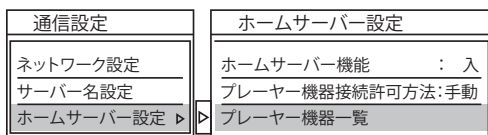
プレーヤー機器の接続設定を手動で行う場合

複数のプレーヤー機器が登録されている場合、個別に接続の許可/拒否を設定することができます。

- 1 左記の手順6のときに、
▲▼ で「手動」を選び、**決定** を押す



- 2 ▲▼ で「プレーヤー機器一覧」を選び、**決定** を押す



- 「プレーヤー機器一覧」画面が表示されます。
- 一覧には、機器ごとの接続設定(許可/拒否)、機器名称(MACアドレス)、登録日が表示されます。
- 接続したプレーヤー機器の情報が一覧に表示されないときは、そのプレーヤー機器の設定や接続状態を確かめてください。本機から接続したプレーヤー機器の情報を取得する操作はありません。

- 3 ▲▼ で接続設定を変更する機器を選び、**青** を押す

- 押すごとに、「許可」と「拒否」が切り換わります。
「許可」…接続を許可します。
「拒否」…接続を許可しません。
- 他の機器の接続設定も変更するときは、同様に操作します。

- 4 **戻る** を押す

お知らせ

- スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画または録画予約をする場合、その機器をアクセス許可状態にしてください。
- プレーヤー機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

不要なプレーヤー機器を一覧から削除する場合

現在は接続していない不要なプレーヤー機器を「プレーヤー機器一覧」から削除することができます。

- 1 **P.138** の手順6のときに、
▲▼ で「手動」を選び、**決定** を押す

- 2 ▲▼ で「プレーヤー機器一覧」を選び、**決定** を押す

- 「プレーヤー機器一覧」画面が表示されます。
- 一覧には、機器ごとの接続設定(許可/拒否)、機器名称(MACアドレス)、登録日が表示されます。

- 3 ▲▼ で一覧から削除する機器を選び、**黄** を押す

- すべての機器を一覧から削除する場合は **緑** を押してください。

- 4 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、**決定** を押す

- 他の機器の接続設定も変更するときは、上記の手順3～4をくり返します。

- 5 **戻る** を押す

通信設定をする (つづき)

接続したプレーヤー機器側で表示される本機の名前を変更する

本機と接続したDLNA対応機器(プレーヤー機器)側で表示される本機の名前を変更することができます。

工場出荷時は、「WoooTV_GP35」と設定されています。

1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ

- 「通信設定」画面が表示されます。

2 ▲▼ で「サーバー名設定」を選び、**決定**を押す

通信設定
ネットワーク設定
サーバー名設定
ホームサーバー設定 ▶

3 本機の名前を変更する

(文字の入力のしかたは、**P.107** をご覧ください。)

4 すべての文字を確定したら **決定**を押す

お知らせ

- 名称に漢字、かな、半角カタカナ、記号を使用すると、再生機器側の表示が使用した文字と異なる文字を表示(文字化け)する場合があります。

ネットワーク設定をする

本機にLANケーブルを接続して、データ放送の双方向通信や「ネットワーク」をブロードバンド経由で利用したり、「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）をすることができます。

「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）をするときは、必ず「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「ホームサーバー設定」→「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。（「切」にすると録画できません。）

お願い！

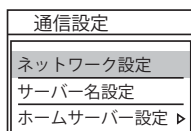
- プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に、設定してください。
- 設定内容はプロバイダや回線事業者の提供するサービス内容やお使いになっている機器によりますので、わからない場合はプロバイダや回線事業者へまずお問合せください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダや回線事業者に確認してください。
- スカパー！プレミアムサービスチューナーのネットワーク設定は、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

DHCP を使用して必要な情報を自動取得する場合

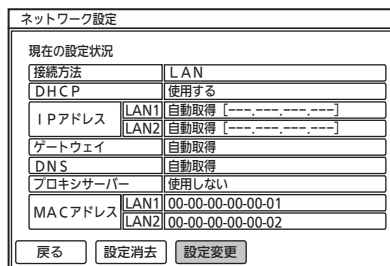
1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ

- 「通信設定」画面が表示されます。

2 「ネットワーク設定」が選ばれていることを確認して、**決定** を押す



3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、**決定** を押す

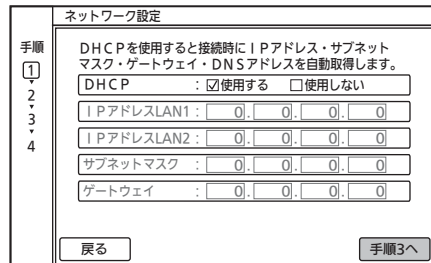


- プロキシサーバーを使用していない場合、接続した方のLAN端子側のIPアドレスが表示されていれば、この設定は完了しています。

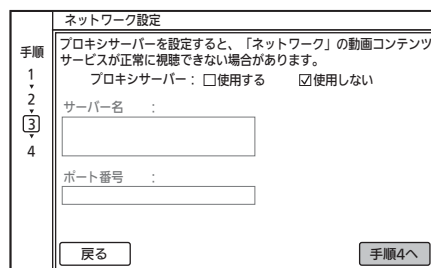
メニュー を押して、通常画面に戻してください。

IPアドレスが表示されない場合は、手順4、5へ進み設定を確認してください。

4 「DHCP」の「使用する」にチェックマークがあることを確認して、**決定** を押す



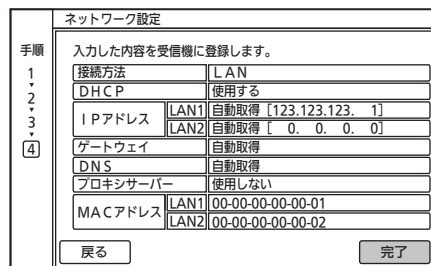
5 ▼ で「手順4へ」を選び、**決定** を押す



お知らせ

- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、**P.143** をご覧ください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダに確認してください。

6 「完了」が選ばれていることを確認して、**決定** を押す



7 設定が完了したら、**メニュー** を押す

通信設定をする (つづき)

必要な情報を手動で入力する場合

1 P.141 の手順**1** ~ **3**を行う

2 ▼ で「DHCP」の「使用しない」を選び、**(決定)** を押す

ネットワーク設定

DHCPを使用すると接続時にIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSアドレスを自動取得します。

DHCP : ☐ 使用する ☒ 使用しない

IPアドレスLAN1 : 0 0 0 0

IPアドレスLAN2 : 0 0 0 0

サブネットマスク : 0 0 0 0

ゲートウェイ : 0 0 0 0

戻る 手順2へ

3 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの数値を入力する

① ▼ で「IPアドレスLAN1」に移動し、**1** ^あ ~ **10** % で数値を入力する

- 入力中に数値を間違えたときは、◀ で戻って、入力し直してください。

② ▼ で「IPアドレスLAN2」に移動し、**1** ^あ ~ **10** % で数値を入力する

③ 同様に「サブネットマスク」と「ゲートウェイ」にも、必要に応じて数値を入力する

ネットワーク設定

DHCPを使用すると接続時にIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSアドレスを自動取得します。

DHCP : ☐ 使用する ☒ 使用しない

IPアドレスLAN1 : 123 123 123 1

IPアドレスLAN2 : 123 123 123 2

サブネットマスク : 255 255 0 0

ゲートウェイ : 111 222 111 222

戻る 手順2へ

4 ▼ で「手順2へ」を選び、**(決定)** を押す

戻る 手順2へ

5 DNS設定が必要な場合、◀ で「DNS」の「使用する」を選び、**(決定)** を押す

ネットワーク設定

プロバイダより指定されている場合は設定してください。

DNS : ☒ 使用する ☐ 使用しない

DNSアドレスプライマリ : 0 0 0 0

DNSアドレスセカンダリ : 0 0 0 0

戻る 手順3へ

6 DNSアドレスの数値を入力する

① ▼ で「DNSアドレスプライマリ」に移動し、**1** ^あ ~ **10** % で数値を入力する

- 入力中に数値を間違えたときは、◀ で戻って、入力し直してください。

② 同様に「DNSアドレスセカンダリ」の数値を入力する

7 ▼ で「手順3へ」を選び、**(決定)** を押す

戻る 手順3へ

8 P.141 の手順**5** ~ **7**を行う

ネットワーク設定

入力した内容を受信機に登録します。

接続方法	LAN
DHCP	使用しない
IPアドレス	LAN1 123.123.123. 1 (255.255. 0. 0)
	LAN2 123.123.123. 2 (255.255. 0. 0)
ゲートウェイ	123. 1. 1.123 12.123.123.123
DNS	123.123.123. 2
プロキシサーバー	使用しない
MACアドレス	LAN1 00-00-00-00-00-01
	LAN2 00-00-00-00-00-02

戻る 完了

プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

お知らせ

プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダに確認してください。

1 P.141 の手順5のときに、 ◀で「プロキシサーバー」の「使用する」を選び、**決定**を押す

2 プロキシサーバーのサーバー名とポート番号を入力する

- ① ▼ で「サーバー名」に移動し、**決定**を押す
- ② ▲▼◀▶ で文字または数字/記号を選び、**決定**を押す
 - 手順②をくり返して入力します。
 - 数字は、**1** ^あ ～ **10** [%] でも入力できます。
 - 間違えたときは、▲▼◀▶ で「一字削除」または「キャンセル」に移動し、**決定**を押して、入力し直してください。
- ③ ▼ で「確定」に移動し、**決定**を押す

- ④ ▼ で「ポート番号」に移動し、**決定**を押す
- ⑤ 上記の手順②～③を行い、同様に「ポート番号」の数値を入力して確定する

3 ▼ で「手順4へ」を選び、**決定**を押す

4 P.141 の手順6～7を行う

いろいろな機能を使うための設定ができます。

「機能設定」画面について

機能設定	
節約設定	▶
制限設定	▶
外付ハードディスク一覧	▶
リンク設定	▶
画面設定	▶
入力スキップ設定	▶
高速起動設定	

節約設定 P.144

いろいろな節約の設定ができます。

制限設定 P.145

放送、ネットワークの視聴許可年齢や、本体ボタン、リモコンボタンの制限を設定します。

外付ハードディスク一覧 P.44

外付ハードディスクの登録/削除ができます。

リンク設定 P.147

HDMIコントロールによるリンクに関する設定をします。

画面設定 P.148

画面の調整と、画面サイズに関する設定ができます。

入力スキップ設定 P.149

外部入力のスキップ設定をします。

高速起動設定 P.149

電源を入れたときに、すぐに映像を表示し操作できるようにします。電源スタンバイ中(スタンバイ/受像ランプが赤色に点灯中)の消費電力が増えます。

高速起動設定が必要な「ホームサーバー機能」が「入」に設定されているときは、この設定は選べません。

お知らせ 「メニュー / サブメニューの使いかた」 P.119~121 もあわせてご覧ください。

節約設定をする

いろいろな節約の設定ができます。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「節約設定」→目的の項目を選ぶ

2 ▲▼で「入」を選ぶ

3  を押す

お知らせ

無操作電源オフ「入」では、

- 電源が切れる 1 分前から「無操作電源オフ 1 分前」と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。

無信号電源オフ「入」では、

- 電源が切れる 1 分前から「無信号電源オフ 1 分前」と表示されます。
引き続き見るときは、「いいえ」が選ばれている状態で  を押してください。
- 画面全体が青色になっている(ブルーバック)ときは、はたらきません。

ディスク省電力「入」では、

- 本体、外付、カセット HDD とともに節電動作になります。一旦停止状態に入ると次の操作のときに動き始めるための時間がかかります。一発録画 P.81 では、録画が始まるまでが長くなります。
特に、「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画) P.89 をご利用になる場合は、録画開始が遅れますので「切」をおすすめします。

節約設定の項目

無操作電源 オフ	 入 ☒ 切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。
無信号電源 オフ	 入 ☒ 切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。
ディスク省電力	 入 ☒ 切	「入」で、ハードディスク(本体/外付/カセットHDD)を10分程度操作(見たり録ったり)しないときに待機状態から自動的に停止状態にします。

視聴時の制限項目設定をする

視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときや、ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。

お知らせ

- ここで設定する暗証番号(パスワード)は、次のようなときの共通の番号になります。
 - ・デジタル放送の視聴制限の解除
 - ・ネットワークの利用
 - ・「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画)した番組の視聴制限の解除 [P.135](#)

初めて視聴制限を設定するとき (暗証番号が未設定のとき)

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「制限設定」→「視聴制限設定」の順に選ぶ

2 **1**^あ～**10**[%]で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、**決定**を押す

暗証番号 : * * * * 確定

入力した数字は「*」で表示されます。

■「0」を入力するときは

10[%]を押す

■間違えたときは

◀を押して、1文字消すことができます

3 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、**決定**を押す

暗証番号 : * * * * 確定

確認のため、もう一度入力してください。

確認入力 : * * * * 確定

■2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「入力した番号と異なります。再度入力してください。」と表示されます。

画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

お知らせ

万一、暗証番号を忘れた場合には、「全情報の初期化」[P.159](#)後に、再設定していただく必要があります。ただし、「全情報の初期化」をすると全ての設定が工場出荷状態に戻ります。

視聴の許可年齢を設定するとき

4 「視聴の許可年齢」が選ばれている状態で、**決定**を押す

5 ▲▼で設定を選び、**決定**を押す

視聴の許可年齢 : 制限なし

ネットワーク利用制限 : ☐ する ☒ しない

「4才以上」………4才から19才まで1才単位で設定できます。番組の視聴年齢制限が設定した年齢より上の場合、例えば「15才以上」に設定すると、番組の視聴年齢制限が「18才以上」のときは、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。

「制限なし」………番組の視聴年齢制限に関係なく視聴できます。

ネットワーク利用制限を設定するとき

6 ▼で「ネットワーク利用制限」を選ぶ

7 ◀▶で設定を選び、**決定**を押す

視聴の許可年齢 : 制限なし

ネットワーク利用制限 : ☐ する ☒ しない

「する」………「ネットワーク」を利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。

「しない」………「ネットワーク」を利用するときに、暗証番号の入力が不要となります。

8 設定が終わったら、**メニュー**を押す

お知らせ

視聴の許可年齢を指定したり、ネットワーク利用制限を「する」に設定すると、暗証番号の入力が必要となりますので暗証番号を忘れないようにご注意ください。万一、暗証番号を忘れた場合は、全ての設定が工場出荷状態に戻る「全情報の初期化」[P.159](#)を行う必要があります。

視聴制限を一時的に解除するとき

視聴の許可年齢 **P.145** で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときは、暗証番号を入力する必要があります。

1 1^あ～10^あで4桁の暗証番号を入力する

- 入力した数字は「*」で表示されます。
- 「0」を入力するときは 10^あ を押します。
- 間違えたときは ◀ を押して、1文字消すことができます。

2 「確定」が選ばれていることを確認し、決定を押す

視聴制限が解除され、番組を見ることができます。

視聴制限の設定を変更するとき
(暗証番号が設定済みのとき)

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「制限設定」→「視聴制限設定」の順に選ぶ

2 1^あ～10^あで4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

暗証番号 : * * * * 確定

入力した数字は「*」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10^あ を押す

■ 間違えたときは

◀ を押して、1文字消すことができます

3 P.145 の手順 4～7 を行って設定を変更する

視聴の許可年齢 : 制限なし

ネットワーク利用制限 : ☐ する ☒ しない

4 変更が終わったら、メニューを押す

暗証番号を変更するとき

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「制限設定」→「視聴制限設定」の順に選ぶ

2 1^あ～10^あで4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

暗証番号 : * * * * 確定

入力した数字は「*」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10^あ を押す

■ 間違えたときは

◀ を押して、1文字消すことができます

3 ▼で「暗証番号変更」を選び、決定を押す

視聴の許可年齢 : 制限なし

ネットワーク利用制限 : ☐ する ☒ しない

暗証番号変更

4 1^あ～10^あで4桁の新しい暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

暗証番号 : * * * * 確定

入力した数字は「*」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10^あ を押す

■ 間違えたときは

◀ を押して、1文字消すことができます

5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

暗証番号 : * * * * 確定

確認のため、もう一度入力してください。

確認入力 : * * * * 確定

6 メニューを押す

本体やリモコンの操作を制限する

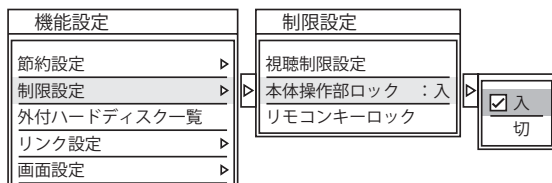
「本体操作部ロック」では、本体側面のボタン操作を無効にし、小さなお子様のいたづらを防ぎます。

「リモコンキーロック」では、リモコンの放送切換ボタン（地上デジタル、BS、CSの各ボタン）とメニューボタンを無効にできます。視聴しない放送を選択したり、希望しない設定を変更したりする誤操作を防ぎます。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「制限設定」→目的の設定項目を選ぶ

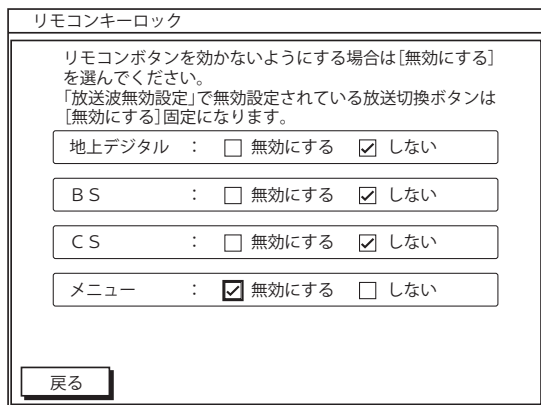
2 本体操作部ロックの場合

▲▼で「入」を選び



リモコンキーロックの場合

▲▼でリモコンボタンを選んでから、◀で「無効にする」を選び、(決定)を押す



3 決定を押す

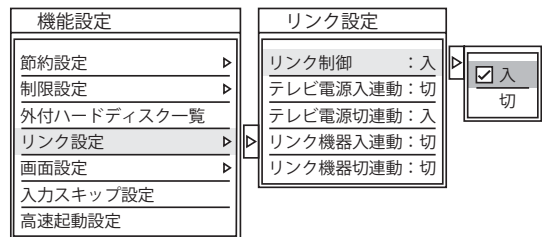
お知らせ

- 「放送波無効設定」[P.155]で無効に設定されている放送切換ボタンは、「無効にする」に固定されます。
- メニューボタンを「無効にする」に設定されていても、メニューボタンを3秒以上押すことで一時的にロックが解除され、メニュー画面を表示することができます。

HDMI コントロールのリンク設定をする

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」→目的の設定項目を選ぶ

2 ▲▼で「入」を選び、(決定)を押す



3 決定を押す

リンク設定の項目

リンク制御	☒ 入 ☐ 切	HDMIコントロール対応機器を接続したときは「入」を選んでください。
テレビ電源入連動	☐ 入 ☒ 切	「入」で、テレビの電源を「入」にすると、HDMIコントロール対応のレコーダーの電源も連動して「入」にします。
テレビ電源切連動	☒ 入 ☐ 切	「入」で、テレビの電源を「切」にすると、HDMIコントロール対応機器の電源も連動して「切」にします。
リンク機器入連動	☐ 入 ☒ 切	「入」で、HDMIコントロール対応機器の録画一覧ボタンや再生ボタンなどの操作をすると、テレビの電源も連動して「入」にします。
リンク機器切連動	☐ 入 ☒ 切	「入」で、HDMIコントロール対応機器の電源を「切」にすると、テレビの電源も連動して「切」にします。

お知らせ

デジタル音声を ARC で出力 [P.27] するときは、「リンク制御」を「入」にしてください。

ARC を使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

画面の調整や画面サイズの設定をする

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「画面設定」→目的の設定項目を選ぶ

2 垂直位置調整の場合

◀▶で調整する



水平幅調整、ID-1 判定の場合

▲▼で設定を選ぶ



3 入切を押す

お知らせ

- 「垂直位置調整」は、画面サイズごとに調整することができます。ただし、フルピクセル時は、操作はできませんが無効です。
- 画面サイズについては **P.58~59** をご覧ください。
- 「水平幅設定」は、480i、480p の標準、スムーズ時にのみ有効です。
- 次のようなときは、「ID-1 判定」を「切」に設定してください。
 - ・DVD やデジタル放送を録画したビデオテープで正常に動作しないとき
 - ・ビデオの一時停止や早送り、巻戻しをするときに、画面サイズが変化するのが気になるとき

画面の調整項目

垂直位置調整	映像が下に移動する 映像が上に移動する
水平幅調整	☒ モード1 (標準) モード2 画面左右の幅が少し広くなります。 モード1 (標準) モード2
ID-1判定	☒ 入 切 「入」で、ID-1信号があるDVDなどをビデオ1、ビデオ2入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。ビデオ2は「切」にできません。

外部入力スキップ設定をする

外部入力に外部機器を接続していない場合は、以下の手順でスキップ「する」に設定してください。入力切替操作のときにスキップ(飛び越し)します。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「入力スキップ設定」の順に選ぶ

2 ▲▼でスキップしたい入力を選んでから、◀▶「する」を選び、(決定)を押す

入力	スキップ	
ビデオ 1	☐ する	☒ しない
ビデオ 2	☐ する	☒ しない
HDMI 1	☐ する	☒ しない
HDMI 2	☒ する	☐ しない

戻る

◀▶を押すごとに次のように切り換わります。
する ←→ しない

3 [メニュー]を押す

高速起動設定をする

この設定を「入」にすると、電源を入れてから映像が表示されるまでの時間を高速化します。

「入」では内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、待機時消費電力(リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力)が増えます。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「高速起動設定」の順に選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ

高速起動の「入/切」を設定します。
高速起動「入」の場合は、動作を安定させるために1日1回再起動します。
再起動する時刻を設定できます。設定後、(決定)を押してください。

入/切	再起動時刻
入	AM 5:00

「入」…… 電源が切の状態から起動して(本機の電源が入になって)から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

「切」…… 高速起動がオフになります。

「入」に設定したとき

高速起動設定を「入」にすると、ソフトウェアの動作を保全するために定期的に電源を入れ直しますが、この再起動時刻をお好みの時刻に変更することができます。

3 ▲▼◀▶で再起動時刻を選ぶ

高速起動の「入/切」を設定します。
高速起動「入」の場合は、動作を安定させるために1日1回再起動します。
再起動する時刻を設定できます。設定後、(決定)を押してください。

入/切	再起動時刻
入	AM 11:00

- 時刻は10分単位で設定できます。
- ここで言う再起動では、映像が映ったり、音声が出たりすることはありません。録画機能の動作確認などを行います。そのため動作音がします。
- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

4 (決定)を押す

お知らせ

「ホームサーバー機能」P.138を「入」に設定されたときは、「高速起動設定」も自動的に「入」になり、切り換えることはできません。

初期設定をする

番組を視聴するための初期設定をします。

「初期設定」画面について

初期設定	
かんたんセットアップ	
放送設置設定	
放送波無効設定	
リモコンコード設定	▶
表示文字サイズ切換	: 標準
ソフトウェア更新	
時刻設定	

かんたんセットアップ P.150▶

かんたんセットアップを行って、地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BS・110度CSデジタル放送のアンテナの設定などを行います。

放送設置設定 P.151▶

かんたんセットアップを使わずに、個別に地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送のチャンネルなどを設定・変更します。

放送波無効設定 P.155▶

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送ごとに視聴するかどうかを設定します。

リモコンコード設定 P.155▶

2台のテレビをご使用の場合、本機のリモコンで同時に動かないようにリモコンコードを切り換えることができます。
また、警告表示の有無を切り換えることができます。

表示文字サイズ切換 P.156▶

チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換えます。

ソフトウェア更新 P.157▶

本機のソフトウェア更新を自動で行わないように設定できます。

時刻設定 P.157▶

デジタル放送を受信していると自動で時刻が設定・修正されますが、デジタル放送を受信していない場合は、手動で時刻設定ができます。

お知らせ

「メニュー / サブメニューの使いかた」 P.119~121▶ もあわせてご覧ください。

かんたんセットアップをやり直す

地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BS・110度CSデジタル放送のアンテナの設定などを行います。
引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときに、「かんたんセットアップ」をやり直します。

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「かんたんセットアップ」の順に選ぶ

2 P.38▶ からの手順 **1** ~ **7** を行い、かんたんセットアップをする

- 手順 **3** のときに、地上デジタルチャンネル設定の変更確認画面が表示されます。

◀▶で「はい」を選んで  を押し、次の手順に進んでください。

3 かんたんセットアップ後、必要に応じて各種設定を変更する

■ お好みの番号にお好みの放送を割り当てるには

「デジタル放送のチャンネルポジションの割り当てを、手動で使いやすく変更するとき（マニュアル）」
をご覧ください。 P.151~152▶

デジタル放送のチャンネル設定を変更する

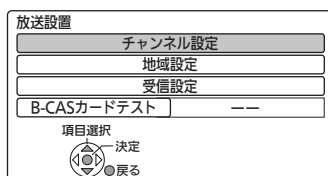
デジタル放送のチャンネル設定を自動または手動で変更することができます。

引っ越しなどで地上デジタル放送の受信地域が変わり、設定をやり直すとき(初期スキャン)

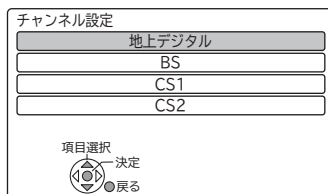
(地上デジタル放送のみ)

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「放送設置設定」の順に選ぶ

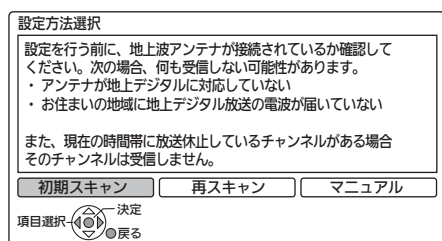
2 「チャンネル設定」が選ばれているので、そのまま **決定** を押す



3 「地上デジタル」が選ばれているので、そのまま **決定** を押す



4 「初期スキャン」が選ばれているので、そのまま **決定** を押す



5 「かんたんセットアップ」 P.38 の手順3 ②、③ を行い、チャンネルを自動設定する

- お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。チャンネルスキャン開始後、設定が終わるまで10分程度かかることがあります。設定が終わると、画面に一覧が表示されます。

6 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、**戻る** をくり返して押す

地上デジタル放送の電波状況が変わって、受信できる放送局を追加するとき(再スキャン)

(地上デジタル放送のみ)

1 左記(初期スキャン)の手順1 ~ 3 を行う

2 ▶ で「再スキャン」を選び、**決定** を押す

- 新たに受信できた放送局が自動的に追加されます。チャンネルスキャン開始後、設定が終わるまで10分程度かかることがあります。設定が終わると、画面に一覧が表示されます。

3 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、**戻る** をくり返して押す

デジタル放送のチャンネルポジションの割り当てを、手動で使いやすく変更するとき(マニュアル)

(地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送)

1 左記(初期スキャン)の手順1、2を行う

2 ▲▼ で変更したい放送を選び、**決定** を押す

3 地上デジタル放送のときのみ、▶ で「マニュアル」を選び、**決定** を押す

(BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のときは、この操作は不要です。)

4 ▲▼ で修正したいPoを選び、**決定** を押す

(例) 地上デジタルチャンネル設定の一覧の場合

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKKEテレ東京	テレビ
3	---	---	---
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	---	---	---
11	---	---	---
12	121	放送大学	テレビ

Po (チャンネルポジション) ※ 変更できません。

…選局するときの番号です。

1~12は、選局するとき **1*** ~ **12*** で直接選局することができる番号です。

「CH」(表示チャンネル)

…チャンネルを選局すると、画面に表示される番号です。

「---」または「-」のチャンネルは未設定です。

- 「チャンネル名」と「種類」は、CHを変更すると自動的に変更されます。

初期設定をする

テレビをお好みの設定にする

初期設定をする (つづき)

5 ◀▶ でCHのチャンネル番号を修正する

Po番号設定 1	
CH	011
チャンネル名	NHK総合・東京
種類	テレビ
設定変更 ◀▶ 戻る	

6 修正が終わったら、を押す

■ チャンネルの順番を入れ換えたいときは

- ① 手順4のときに  を押す
- ② ▲▼ で順番を入れ換えたいPoを選び、 を押す
- ③ ▲▼ で入れ換え先のPoを選び、 を押す
- ④ 入れ換えが終わったら、 を押す

7 2つ以上のPoの設定を変更する場合は、手順4～6をくり返す

8 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、 をくり返して押す

地域設定をする

データ放送が正しく受信できない場合に、地域設定を変更します。

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「放送設置設定」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「地域設定」を選び、 を押す

- 「地域設定」画面が表示されます。

3 「県域設定」で、お住まいの都道府県を◀▶ で選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都島部」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県島部」を選びます。

4 ▲▼ で「郵便番号」に移動し、 を押す

- 郵便番号入力画面が表示されます。

5 1^あ～10^きでお住まいの地域の郵便番号を入力し、 を押す

- 入力を間違えたときは、 を押します。

6 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、 を押す

7 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、 をくり返して押す

■ 「地域設定」を工場出荷時の設定に戻すときは

- ① 上記の手順2のときに、▲▼ で「地域設定削除」を選び、 を押す
- ② ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、 を押す

B-CASカードテストをする

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「放送設置設定」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「B-CASカードテスト」を選び、 を押す

- 問題ない場合は、「OK」が表示されます。

■ 「NG」が表示されたときは

- ① 本機の電源を切り、電源プラグを抜く
- ② miniB-CASカードを入れ直す **P.22**

3 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、 をくり返して押す

受信設定をする

地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする(アッテネーター)

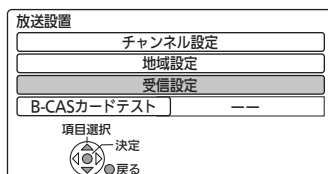
(地上デジタル放送のみ)

「受信設定」画面の「アッテネーター」(受信の強弱)の設定を変更すると、状況が改善されることがあります。

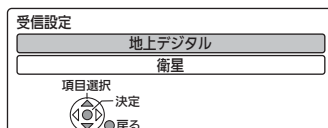
1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する P.47

2 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「放送設置設定」の順に選ぶ

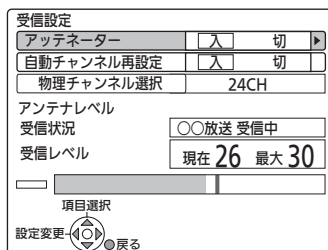
3 ▲▼ で「受信設定」を選び、(決定)を押す



4 「地上デジタル」が選ばれているので、そのまま (決定) を押す



5 ▲▼ で「アッテネーター」を選び、◀▶ で設定を切り換える



- 受信の強弱が変更されます。
「入」にすると弱くなります。受信環境により、設定を変えると受信レベルが改善されることがあります。
- 物理チャンネルとは
地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送の13～62CHのことです。(地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。)

■ 地上デジタル放送のアンテナの受信レベルを確認するときは

この画面で受信レベルを確認しながら、UHFアンテナの向きを調整することができます。

- 受信レベルは「22」以上が目安です。

6 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、戻る をくり返して押す

お知らせ

- 「アッテネーター」の設定を切り換えたあとは、再スキャン P.151 を行ってみてください。受信できる放送が増えることがあります。
逆に映りが悪くなったり、映らなくなる放送がある場合もありますので、その場合は「アッテネーター」の設定を元に戻し、再スキャンを行ってください。
- 「アッテネーター」の設定を切り換えたあとかんたんセットアップ P.150 をやり直すと、かんたんセットアップにより「アッテネーター」の設定が切り換わる場合があります。
- アンテナレベルは、「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」でも確認することができます。 P.120

地上デジタル放送のチャンネル再設定を変更する(自動チャンネル再設定)

(地上デジタル放送のみ)

地上アナログ放送終了に伴い、地上デジタル放送の受信チャンネルの変更(リパック)が行われています。(チャンネルポジションは変わりません。)

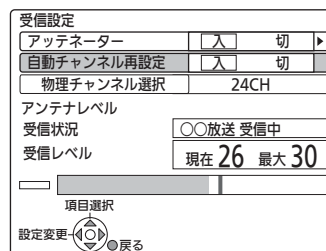
変更に合わせてチャンネル設定を自動で追従変更するかどうかの設定ができます。

「切」にすると、チャンネル変更(リパック)が行われたときに手で設定を変更 P.151 する必要があります。

地デジ送信チャンネルの変更についての詳しい情報は、総務省テレビ混信対策センター <http://tvkon.jp/> をご覧ください。

1 左記(アッテネーター)の手順2～4を行う

2 ▲▼ で「自動チャンネル再設定」を選び、◀▶ で設定を切り換える



- 「入」…自動で変更します。
変更された場合は、「放送局からのお知らせ」でお知らせします。 P.123
- 「切」…自動で変更しません。

3 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、戻る をくり返して押す

初期設定をする

テレビをお好みの設定にする

初期設定をする (つづき)

BS・110度CSアンテナのアンテナ電源の設定をしたり、受信レベルを調整する(アンテナ電源)

(BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のみ)

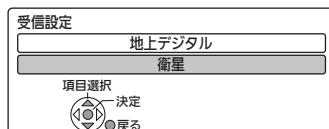
「受信設定」画面(BS・110度CSデジタル放送放送用)でアンテナの受信レベルを確認しながら、アンテナの向きを調整することができます。(マンションなどの共用アンテナやCATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合は、この調整は不要です。)

お願い!

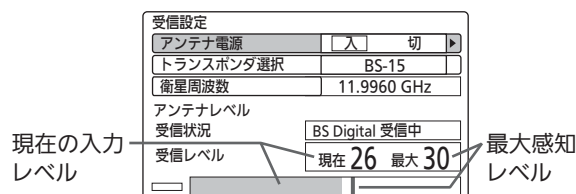
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線を確認してから、「アンテナ電源」の設定を「入」にしてください。

1 P.153 (アッテネーター)の手順2、3を行う

2 ▲▼ で「衛星」を選び、決定を押す



3 「アンテナ電源」が「切」になっているときは、◀ で「入」を選ぶ



- 本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します。
- 「トランスポンダ選択」、「衛星周波数」は放送局からの案内がない限り変更しないでください。変更すると、視聴できなくなることがあります。

4 「現在」の数値が「最大」の数値に近づくように、アンテナの向きを調整する

- 受信レベルは「22」以上が目安です。

5 設定画面が消える(テレビ画面に戻る)まで、戻るをくり返して押す

お知らせ

- 「アンテナ電源」を「入」に設定した場合は、電源プラグを抜かないでください。
- 1台のBS・110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。
- アンテナの受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- アンテナレベルは、「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」でも確認することができます。P.120

放送波無効設定をする

特定の放送波を無効にすることができます。
「無効にする」に設定された放送波の放送切換ボタンは、効かなくなります。

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「放送波無効設定」の順に選ぶ

2 ▲▼で無効にしたい放送波を選んでから、◀▶で「無効にする」を選び、
(決定)を押す

放送波無効設定	
放送切換を効かないようにする場合は[無効にする]を選んでください。	
地上デジタル	: ☒ 無効にする ☐ しない
B S	: ☐ 無効にする ☒ しない
C S	: ☐ 無効にする ☒ しない
戻る	

3 戻るを押す

リモコンコードの設定を変更する

リモコンコードを切り換える

本機の近くに他の当社製テレビを設置している場合は、リモコンコードを切り換えるとリモコンの誤動作を防げます。

工場出荷時は「リモコン 1」に設定されています。

例：リモコン 1 からリモコン 2 に切り換えるとき

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「リモコンコード設定」→「リモコンコード切換」の順に選ぶ

初期設定	リモコンコード設定
かんたんセットアップ	リモコンコード切換
放送設置設定	リモコンコード警告表示：入
放送波無効設定	
リモコンコード設定 ▶	
表示文字サイズ切換 : 標準	
ソフトウェア更新	
時刻設定	

2 「コード切換開始」が選ばれていることを確認し、(決定)を押す

リモコンコード切換
リモコンと本体受信部のリモコンコードを切り換えます。 このテレビの近くに他の日立製テレビを設置している場合は、異なるリモコンコードを設定してください。
現在の設定 : リモコン 1
コード切換開始

3 ▲▼で「リモコン 2」を選び、(決定)を押す

リモコンコード切換
リモコンコードを選んでください。
現在の設定 : リモコン 1
リモコン 1 リモコン 2

● 本体側がリモコン 2 に設定されます。

4 リモコンの(決定)を押しながら2^かを3秒以上押して、リモコン側もリモコン 2 に設定する

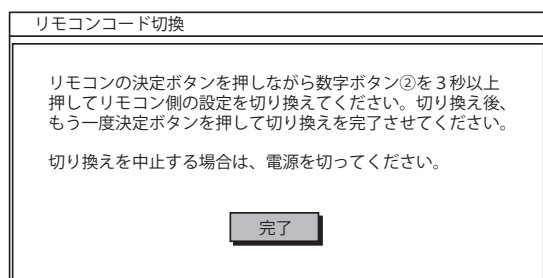
● 同時押しは、しっかり 3 秒以上の長押しを行ってください。時計を見ずに感覚で秒数を数える場合は実際の時間より短くなることがありますので、十分余裕を持って押し続けてください。

初期設定をする

テレビをお好みの設定にする

初期設定をする(つづき)

5 もう一度 を押す



- リモコンコードが変更されると、手順1の画面に戻ります。画面が切り換わらない場合は、再度手順4の操作を行ってください。
- リモコンコード切替を中止したいときは、を押さずに、本体左側面にある電源ボタンで電源を「切」にしてください。
手順4を行った後の場合は、ボタンを押しながら数字ボタンの「1」を3秒以上押し続けてリモコン側のコードを元に戻します。

6 を押す

お知らせ

- 本体側とリモコン側でリモコン 1/2 が一致していないと、リモコンでの操作はできません。その場合は画面右下に本体側で設定されているコードを示すアイコンが表示されますので、それに合わせてリモコン側の設定を変更してください。
- 電源ボタンでリモコンコード切替を中止できない(「本体操作部ロック」P.147 が「入」になっている)場合は、録画やダビング中でないことを十分確かめてから電源プラグを抜いてください。

リモコンコード警告の表示 / 非表示を設定する

本体側とリモコン側のリモコンコード(リモコン 1/2)が一致していない状態でリモコン操作をすると、画面に警告のアイコンが表示されるようになっていますが、表示しないようにすることもできます。

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「リモコンコード設定」→「リモコンコード警告表示」の順に選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ

- 「入」… 警告のアイコンを表示します。
- 「切」… 警告のアイコンを表示しません。

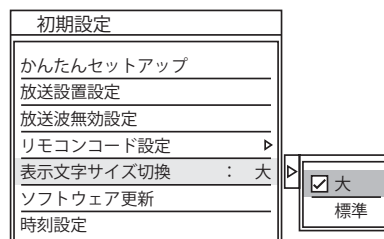
3 を押す

チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える

番組のチャンネル番号、字幕の有無、音量、現在時刻などの文字サイズを切り換えることができます。

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「表示文字サイズ切替」の順に選ぶ

2 ▲▼で設定を選ぶ



3 を押す

お知らせ

画面表示ボタン  を押したときに表示される次の表示については、文字サイズを切り換えられません。

- ・ 音声の種類
- ・ ハードディスクの情報
- ・ 節電メーターとエコ効果メーター
- ・ 画面サイズ
- ・ 明るさセンサー
- ・ 未読のお知らせの有無
- ・ オンタイマー

ソフトウェア更新を設定する

ソフトウェア更新とは本機のソフトウェア（制御プログラム）をダウンロードし、自動的に書き換える機能です。

通常は、自動更新されることをおすすめします。
(工場出荷時は自動更新されるように設定されています。)

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「ソフトウェア更新」の順に選ぶ

2 更新を自動で行わない場合は、◀▶で「ソフトウェア更新」の「切」を選ぶ

■ 更新を自動で行う設定に戻すときは「入」を選びます。

3  を押す

設定を「切」にしたときは、更新情報が届くと放送局からのお知らせでお知らせします。

ダウンロード更新情報が届いたときはソフトウェア更新を「入」にしてダウンロード更新を行ってください。

ダウンロード更新が行われたら、自動で更新を行いたくない場合は再び「切」に設定してください。

ダウンロード更新(オンエアダウンロード)は、いつ行われるの？

自動で更新する場合は、本機の電源が「切」のときに、デジタル放送電波を使って本機の追加機能や機能向上などの情報がダウンロードされ、自動的に本機の制御プログラムが最新のものに書き換えられます。

- ダウンロード更新を自動で行わない設定にしている場合でも、ダウンロード更新情報が届いたときは必ずダウンロード更新を行ってください。
- ダウンロード後は、本書と本機で画面や文言が一致なくなることがあります。
- CATV(ケーブルテレビ)でもダウンロードは行われます。同様にお使いください。

お願い

- ダウンロード更新中は、本機の操作はできません。
- ダウンロード更新中に予約の録画が始まったときは、ダウンロードは中止されます。
- 次のような場合には、自動でダウンロード更新する設定になっていても、実行されません。
 - ・ 電源プラグが抜かれているとき。
 - ・ 悪天候などのために受信状態が悪いとき。
 - ・ 本機の電源が「入」のとき。
- ダウンロード更新が行われた場合は、放送局からのお知らせ **P.123** が発行されます。

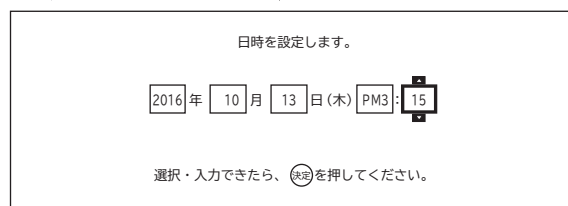
時刻設定をする

デジタル放送を受信できるときは、自動で時刻が設定・修正されますので、この設定は不要です。

1 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「時刻設定」の順に選ぶ

● 「時刻設定」画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶で時刻を合わせる



- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

3  を押す

● 時刻が確定されます。

お知らせ

- 録画予約の設定があるときに時計を変更すると、正しく録画できないことがあります。
- 時刻を変更すると、番組が終了したとみなされる録画予約は削除されます。

本機を工場出荷時の設定に戻す

●一部の設定内容を初期化する

本機の映像設定、音質設定、ヘッドホン音質設定、ネットワーク情報の内容を、個別に工場出荷時の状態に戻します。

「映像設定初期化」

すべての映像モードの映像設定を、工場出荷時の状態に戻します。

「音質設定初期化」

すべての音声モードの音質設定を、工場出荷時の状態に戻します。

「ヘッドホン音質設定初期化」

ヘッドホン設定(音声出力先手動切換を除く)の内容を、工場出荷時の状態に戻します。

「ネット情報初期化」

ネットワークの表示履歴や「お気に入り」などの情報を、工場出荷時の状態に戻します。(ネットワーク上で行った各種契約情報は残ります。)

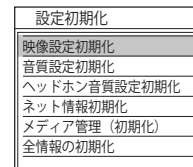
気を付けて

- 初期化の実行中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。しないでください。本体の故障の原因となります。

例：映像設定の内容を初期化するとき

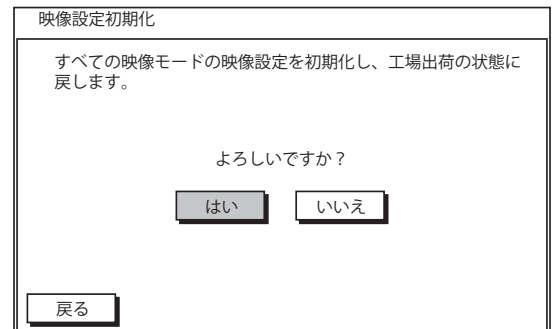
1 「メニュー」→「設定」→「設定初期化」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「映像設定初期化」を選び、**決定**を押す



- 「映像設定初期化」画面が表示されます。

3 ◀▶ で「はい」を選び、**決定**を押す



4 初期化が終わったら、**決定**を押す

5 戻るを押す

お知らせ

- 次の設定内容は、それぞれの設定画面から工場出荷時の状態に戻すこともできます。
 - ・「映像設定の初期化」 **P.128**
現在選んでいる映像モードの映像設定とプロ調整に関する内容を、工場出荷時の状態に戻します。
 - ・「音質設定の初期化」 **P.131**
現在選んでいる音声モードの音質調整とサラウンドに関する内容を、工場出荷時の状態に戻します。
 - ・「ヘッドホン音質設定の初期化」 **P.132**
ヘッドホン設定(音声出力先手動切換を除く)の内容を、工場出荷時の状態に戻します。
(左記の「ヘッドホン音質設定初期化」と同じ)
 - ・「再生設定初期化」 **P.136**
再生設定(視聴制限を除く)の内容を、工場出荷時の状態に戻します。
 - ・「録画設定初期化」 **P.137**
録画設定の内容を、工場出荷時の状態に戻します。

●すべての設定内容を初期化する

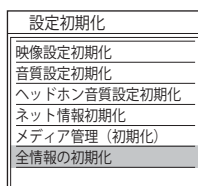
本機のすべての設定内容を、工場出荷時の状態に戻します。

気を付けて

- 初期化の実行中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
本体の故障の原因となります。
- 「全情報の初期化」をすると本体の録画内容が消去されるため、本機を譲渡するときや廃棄するとき以外は実行しないでください。
- 「すべての設定を初期化」で初期化した場合は、本機に登録していた外付の登録情報も初期化(消去)されます。(再登録が必要となり、外付の内容が消去されます。)

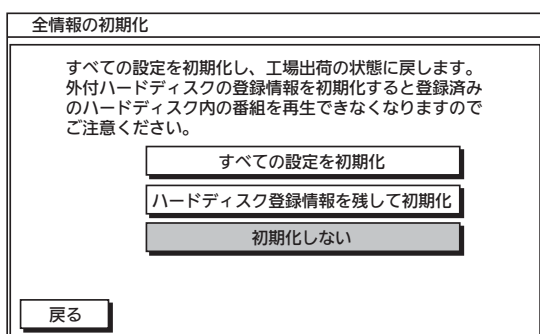
1 「メニュー」→「設定」→「設定初期化」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「全情報の初期化」を選び、(決定)を押す



- 「全情報の初期化」画面が表示されます。

3 ▲▼ で初期化方法を選び、(決定)を押す



「すべての設定を初期化」

- …本機のすべての設定(本体の録画内容の消去も含む)を工場出荷時の設定に戻すとき。

「ハードディスク登録情報を残して初期化」

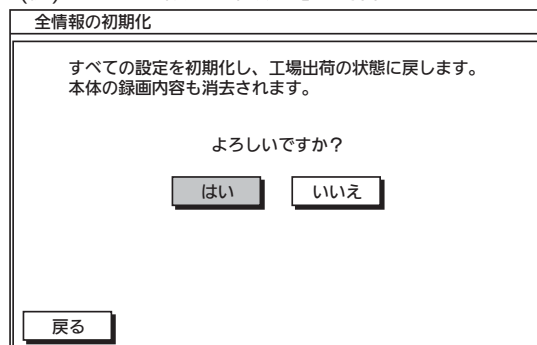
- …外付の登録情報以外の設定(本体の録画内容の消去も含む)を工場出荷時の設定に戻すとき。
外付に移動した番組を引き続きご覧になりたい場合は、こちらを選択してください。

「初期化しない」

- …設定を初期化しないとき。

4 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、(決定)を押す

(例)「すべての設定を初期化」の場合



- 初期化が実行されます。

全情報の初期化をした場合は、初期化後にスタンバイ状態になります。

お知らせ

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」をすることをおすすめします。
- 本体・外付に記憶された録画内容やお客さまの個人情報(メール、登録情報、ポイント情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 次の場合は、全情報の初期化はできません。
 - ・ 録画中
 - ・ 予約の録画開始の直前
 - ・ ダビング中
 - ・ 本体/外付間の番組移動中

本機を工場出荷時の設定に戻す

テレビをお好みの設定にする

本体・外付・カセットHDDを初期化する

気を付けて

- 初期化を行って消去された録画内容は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから初期化してください。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化中は、本機の電源を切ったり、電源プラグを抜かないでください。
カードの破損や本体・外付・カセットHDDが故障する原因となります。
- 初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。

本体・外付の録画内容を全部または一部消去する(本体初期化・外付初期化)

本体 外付

1 「メニュー」→「設定」→「設定初期化」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「メディア管理(初期化)」を選び、**決定**を押す

3 本体の録画内容を消去するとき
▲▼ で「本体初期化」を選び、**決定**を押す

外付の録画内容を消去するとき

▲▼ で「外付初期化」を選び、**決定**を押す

4 ▲▼ で消去方法を選び、**決定**を押す

(例) 本体の録画内容を全部消去するとき

メディア管理	
カセットHDD初期化・設定	
本体初期化	全消去
外付初期化	部分消去
SDカード	

「全消去」……すべて消去するとき。

「部分消去」……保護された番組以外を消去するとき。

5 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、**決定**を押す

- 本体または外付の録画内容が消去されます。

カセットHDDの録画内容を全部または一部消去する

カセットHDD

1 左記(本体初期化・外付初期化)の手順1、2を行う

2 「カセットHDD初期化・設定」で、**決定**を押す

3 ▲▼ で消去方法を選び、**決定**を押す

(例) 本体の録画内容を全部消去するとき

メディア管理	
カセットHDD初期化・設定	
本体初期化	全消去
外付初期化	部分消去
SDカード	カセットHDD名称変更

「全消去」……すべて消去するとき。

「部分消去」……保護された番組以外を消去するとき。

4 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、**決定**を押す

SDカードを初期化(フォーマット)する (SDカード初期化)

SD

消去または初期化が終わるまで、しばらく時間がかかります。

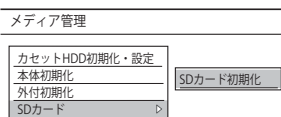
消去または初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

SDカードを初期化(フォーマット)する

1 **P.160** (本体初期化・外付初期化)の手順**1**、**2**を行う

2 ▲▼ で「SDカード」を選び、**(決定)** を押す

3 ▲▼ で「SDカード初期化」を選び、**(決定)** を押す



4 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、**(決定)** を押す

- SDカードが初期化されます。

B-CAS カードについて

地上・BS・110 度 CS デジタル放送を視聴するためには、B-CAS カードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004 年 4 月から、番組の著作権保護のために B-CAS カードを利用することになりました。B-CAS カードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2008 年 7 月から「ダビング 10」の運用が開始されましたが、運用開始後も全ての番組が「ダビング 10」になるものではありません。

●限定受信システム(CAS : Conditional Access Systems)とは

限定受信システム(CAS)とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル(放送内容をわからなくする技術)を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

●(株)B-CAS とは

デジタル放送の限定受信システム(CAS)を管理するため設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CAS カードの発行・管理をしています。

B-CAS カードに個人情報を書き込まれることはありません。

付属の B-CAS カード台紙に記載の内容をよくお読みください。

■ B-CAS カードについてのお問い合わせは(2016 年 6 月現在)

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

TEL : 0570-000-250 (IP 電話からの場合は 045-680-2868)

受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

<http://www.b-cas.co.jp/>

デジタル放送について

本機は、地上・BS・110 度 CS デジタルチューナーを搭載しています。

UHF アンテナ(地上デジタル対応)や衛星アンテナ(110 度 CS 対応)を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

- デジタル放送全般については、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB) <http://www.apab.or.jp/> をご覧ください。

地上デジタル放送

- 地上デジタル放送を受信するには、UHF アンテナが必要です。現在お使いの UHF アンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ(CATV)でも受信できます。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。
本機はすべての周波数(VHF 帯、MID 帯、SHB 帯、UHF 帯)に対応する【CATV パススルー対応】の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

デジタル放送について(つづき)

BS デジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS 日テレ、BS 朝日、BS-TBS、BS ジャパン、BS フジなどは無料放送を行っています。有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター(2016 年 6 月現在)

TEL: フリーダイヤル 0120-580-807

受付時間 9:00 ~ 20:00 (年中無休)

<http://www.wowow.co.jp/>

■「スター・チャンネル」カスタマーセンター(2016 年 6 月現在)

TEL: 0570-013-111

または、045-650-4724

受付時間 10:00 ~ 18:00

<http://www.star-ch.jp/>

110 度 CS デジタル放送(スカパー！)

- BS デジタル放送と同じ東経 110 度の方角にある通信衛星(Communication Satellite)を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110 度 CS デジタル放送を視聴するには、「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。110 度 CS デジタル放送には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。

■スカパー！カスタマーセンター(総合窓口)(2016 年 6 月現在)

TEL: フリーダイヤル 0120-039-888

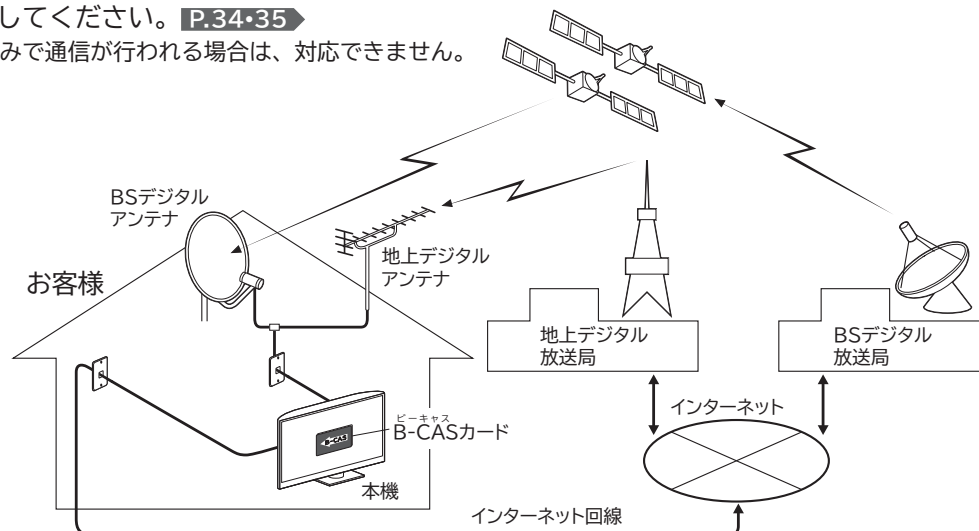
受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

<http://www.skyperfectv.co.jp/>

●双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの 1 つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。▶P.34・35

※電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。



デジタル放送のチャンネル設定一覧

● 地上デジタル放送のチャンネル設定一覧（地域名を用いた設定）

- かんたんセットアップ **P.38** で選択された地域の放送局とチャンネルポジション（リモコンの **1*** ～ **12*** ）の組み合わせは、下表ようになります。（2016年6月現在）
- 他の地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
- 新たに放送電波の中継基地が開設された場合、放送の開始当初は混信を避けるために非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。
- 地上デジタル放送の受信チャンネルの変更（リパック）が行われることがあります。
本機では、リパックに合わせてチャンネル設定を自動で追従変更するか手動で変更するかが選ぶことができます。 **P.153**
地デジ送信チャンネルの変更についての詳しい情報は、総務省テレビ混信対策センター <http://tvkon.jp/> をご覧ください。

表の見かた

徳島		お住まいの地域
3	NHK 総合・徳島	チャンネルポジション (リモコンの1~12ボタン)
2	NHKEテレ徳島	
1	四国放送	チャンネル名

お住まいの地域	北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（釧路）	北海道（北見）	北海道（室蘭）
チャンネル名	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・室蘭
	2 NHKEテレ札幌	2 NHKEテレ函館	2 NHKEテレ旭川	2 NHKEテレ帯広	2 NHKEテレ釧路	2 NHKEテレ北見	2 NHKEテレ室蘭
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
チャンネル名	3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・盛岡	1 NHK総合・福島	3 NHK総合・青森	1 NHK総合・東京
	2 NHKEテレ仙台	2 NHKEテレ秋田	2 NHKEテレ山形	2 NHKEテレ盛岡	2 NHKEテレ福島	2 NHKEテレ青森	2 NHKEテレ東京
	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	6 IBCテレビ	8 福島テレビ	1 RAB青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央テレビ	6 ATV青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 テレビユー山形	8 めんこいテレビ	5 KFB福島放送	5 青森朝日放送	8 フジテレビジョン
	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼテレビ	5 岩手朝日テレビ	6 テレビユー福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
チャンネル名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・前橋	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・宇都宮	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・長野
	2 NHKEテレ東京	2 NHKEテレ東京	2 NHKEテレ東京	2 NHKEテレ東京	2 NHKEテレ東京	2 NHKEテレ東京	2 NHKEテレ長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn長野朝日放送
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
チャンネル名	1 NHK総合・新潟	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良
	2 NHKEテレ新潟	2 NHKEテレ甲府	2 NHKEテレ大阪	2 NHKEテレ大阪	2 NHKEテレ大阪	2 NHKEテレ大阪	2 NHKEテレ大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYテレビ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ 21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
チャンネル名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	1 NHK総合・山口
	2 NHKEテレ大阪	2 NHKEテレ広島	2 NHKEテレ岡山	2 NHKEテレ高松	2 NHKEテレ松江	2 NHKEテレ鳥取	2 NHKEテレ山口
	4 MBS毎日放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY山口放送
	6 ABCテレビ	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ	6 BSテレビ	3 tysテレビ山口
	8 関西テレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 yab山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち			
	3 BBCびわ湖放送		8 OHKテレビ	8 OHKテレビ			

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
チャンネル名	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津	3 NHK総合・岐阜	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・静岡	1 NHK総合・福井	3 NHK総合・富山
	2 NHKEテレ名古屋	2 NHKEテレ名古屋	2 NHKEテレ名古屋	2 NHKEテレ金沢	2 NHKEテレ静岡	2 NHKEテレ福井	2 NHKEテレ富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBC	1 KNB北日本放送
	5 CBCテレビ	5 CBCテレビ	5 CBCテレビ	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT富山テレビ
	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 MRO	4 だいいちテレビ		6 チューリップテレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日テレビ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 ぎふチャン				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
チャンネル名	1 NHK総合・松山	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎	3 NHK総合・鹿児島
	2 NHKEテレ松山	2 NHKEテレ徳島	2 NHKEテレ高知	3 NHK総合・北九州	2 NHKEテレ熊本	2 NHKEテレ長崎	2 NHKEテレ鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHKEテレ福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送	1 MBC南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHKEテレ北九州	8 TKUテレビ熊本	8 KTNテレビ長崎	8 KTS鹿児島テレビ
	6 あいテレビ		8 さんさんテレビ	1 KBC九州朝日放送	4 KKTくまもと県民	5 NCC長崎文化放送	5 KKB鹿児島放送
	8 テレビ愛媛			4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 NIB長崎国際テレビ	4 KYT鹿児島読売TV
				5 FBS福岡放送			
				7 TVQ九州放送			
				8 TNCテレビ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄
チャンネル名	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・沖縄
	2 NHKEテレ宮崎	2 NHKEテレ大分	2 NHKEテレ佐賀	2 NHKEテレ沖縄
	6 MRT宮崎放送	3 OBS大分放送	3 STSサガテレビ	3 RBCテレビ
	3 UMKテレビ宮崎	4 TOSテレビ大分		5 QAB琉球朝日放送
		5 OAB大分朝日放送		8 沖縄テレビ(OTV)

- 一覧の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定一覧

工場出荷時に設定されているチャンネル(2016年6月現在)

BS	BSデジタル放送		CS	CS1 (110度デジタル放送)		CS	CS2 (110度デジタル放送)	
1 ^あ	101	NHK BS1	1 ^あ	001	放送休止中	1 ^あ	100	スカパー！プロモ100
2 ^か	102	NHK BS1 (マルチ)	2 ^か	---		2 ^か	---	
3 ^せ	103	NHK BSプレミアム	3 ^せ	---		3 ^せ	---	
4 ^た	141	BS日テレ	4 ^た	---		4 ^た	---	
5 ^な	151	BS朝日 1	5 ^な	055	シヨップチャンネル	5 ^な	---	
6 ^は	161	BS-TBS	6 ^は	---		6 ^は	---	
7 ^ま	171	BSジャパン	7 ^ま	---		7 ^ま	---	
8 ^や	181	BSフジ・181	8 ^や	---		8 ^や	---	
9 ^ら	191	WOWOWプライム	9 ^ら	---		9 ^ら	---	
10 ^ろ	200	スター・チャンネル1	10 ^ろ	---		10 ^ろ	---	
11 ^わ	211	BS11	11 ^わ	---		11 ^わ	---	
12 ^そ	222	TwelV (トゥエルビ)	12 ^そ	---		12 ^そ	---	

お問い合わせ先 次のページをご覧ください。

- WOWOW **P.163**
- スター・チャンネル **P.163**
- スカパー！ **P.163**

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 警告

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

■ 電 源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	●電源プラグが抜けていませんか。 ●スタンバイ/受像ランプが赤色に点滅している場合は、電源プラグを抜いて、ランプが消えるのを待って、電源を入れ直してください(リセット)。 →それでも電源が入らずランプが点滅する場合は、次項を参照ください。	37 —
スタンバイ/受像ランプが赤色に点滅する。 または点灯しない。	●安全のための保護回路がはたらいたことを表しています。このとき安全のためリモコンで操作はできません。 →電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。	—
電源が入らない。 本体の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の  が逆に入っていませんか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 ●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に R1 または R2 のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・ R1 が表示されたとき……リモコンの  を押しながら 1 を3秒以上押す ・ R2 が表示されたとき……リモコンの  を押しながら 2 を3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。	— 36 2 — 155~156
急に電源が切れた。	●無操作電源オフ、無信号電源オフが「入」になっていませんか。 ●オフタイマーの設定がされていた可能性があります。 →再度電源を入れた際、オフタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起らないか確認してください。	144 56
リモコンで電源を切った後、しばらくして「カチッ」と音がした。	●電源を切った後もデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に「カチッ」と音がします。 故障ではありません。 電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。	—
突然電源が入った。	●オンタイマーの設定がされていませんか。	57
電源を入れた後しばらく操作ができない。	●外付ハードディスクを接続していると、電源「入」時や再生後の録画一覧表示時にしばらく操作ができないことがあります。ハードディスクの情報を取り込んでいるためです。 しばらく待ってから操作をしてください。	—
設置後、電源を入れたら臭いがした。	●この製品は、プラスチックなどを外装や内部に使用しており、開梱時や据付初期のご使用中およびご使用後に、多少の臭いを感じることがあります。この臭いのご使用とともに軽減されます。気になる場合はお部屋の換気をしてください。	—

■ リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	●電源を「入」にした後、録画・再生機能の準備のため、数十秒程度は音量・選局以外の操作ができません。画面左上の「起動中」の表示が消えたら操作できます。 →すぐに操作できるようにするには「高速起動設定」を「入」にします。 ただし、電源「切」時の電力が増えます。	149
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	—
	●リモコンの乾電池の  が逆に入っていませんか。	36
	●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。	2
	●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。	—
	●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、  ~  ボタンがデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル   や番組表でチャンネル切換をしてください。	—
	●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に  または  のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・  が表示されたとき……リモコンの  を押しながら  を3秒以上押す ・  が表示されたとき……リモコンの  を押しながら  を3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。 ●電源プラグを抜いて、しばらくおいてから再度電源プラグを差し直してください。 本機は、複雑なプログラムにより動作しています。まれにプログラム処理動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。電源プラグを抜き差しすること（リセット）で、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。 ●踏む、ぶつけるなどリモコンに強い衝撃が加わると、見た目にはわからなくても内部の部品が破損し使えなくなることがあります。リモコン交換が必要となりますので、リモコンは丁寧に扱ってください。	155~156
		—
		—

故障かな？と思ったら(つづき)

■ テレビを見ているとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
本体ボタンで操作できない。	●電源を「入」にした後、録画・再生機能の準備のため、数十秒程度は音量・選局以外の操作ができません。画面左上の「起動中」の表示が消えたら操作できます。 →すぐに操作できるようにするには「高速起動設定」を「入」にします。 ただし、電源「切」時の電力が増えます。 ●「本体操作部ロック」が「入」になっていませんか。 ●電源プラグを抜いて、しばらくおいてから再度電源プラグを差し直してください。 本機は、複雑なプログラムにより動作しています。まれにプログラム処理動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。電源プラグを抜き差しすること(リセット)で、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。 ●入力切換、チャンネル、音量ボタンが、リモコンの 、    と同じはたらきをするのは、メニューの各項目が画面に表示されているときに限ります。 メニュー項目が消えたあとの画面、たとえば項目「見る(再生)」から表示した録画一覧など、ではリモコンと同じはたらきはしません。	149 147 — —
映像も音も出ない。	●アンテナ線が外れていませんか。 (「放送を受信できません。」のメッセージが表示されます。) ●入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。 ●外部機器の接続コードが外れていませんか。	23~24 178 48 25~31
映像は出るが、音が出ない。	●消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。 ●ビデオなどの入力端子が外れていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。 ●音声の出力先が「ヘッドホン」になっていませんか。 →消音ボタンを押してください。または、音声出力先手動切換を「切」にしてください。	2~3 25~31 17 132
ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。	●ビデオ入力端子の接続コードが外れていないか調べてください。	25
音がつまったような感じがする。	●「自動音量補正」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量をおさえる効果によりつまったように感じる場合があります。	133
音の大きさが変化する。 人の声に変化する。	●「自動音量補正」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量を補正する効果により変動する場合があります。	133
音声に異音が入ったり 映像にノイズが出る。	●テレビや接続機器の近くで無線機を使用したり、携帯電話の通話などを行っていませんか。 →無線機などを離して使用してください。	—
音がおかしい。	●音声設定のほとんど、または全てが最大や最小、強になっていませんか。工場出荷状態はおすすめの設定になっていますが、お好みに応じて実際に音を聞きながら設定を変更してみてください。 ●工場出荷状態に戻すことができます。	130~133 131
ヘッドホンをさしても スピーカーから音が出たままになる。	●音声出力先手動切換が「入」になっていませんか。 →「入」では消音ボタンで音声の出力先をスピーカーかヘッドホンかを切り換えます。	132
ビデオ1/2の映像端子(黄) を抜いたら、 音が大きくなった。	●音楽プレーヤーを接続している状態に切り換わりました。音楽プレーヤーからの入力 は他の機器より小さいので、その分音が大きくなるよう設定されています。	48

■ テレビを見ているとき (つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
映りが悪い。	● アンテナ接続コネクタへのつなぎかたを確認してください。 ● アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ● アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。 ● アンテナは正しい方向に向いていますか。 ● 自動車、オートバイ、電車、ヘッドライヤーなどからの妨害電波が入っています。 →アンテナを原因となるものから離してください。 ● コントラストの調節を確認してください。 ● チャンネルの設定をやり直してください。 ● 標準画質での放送ではありませんか。 →「番組説明」で確認できます。 ● 屋内配線のしかたによって、お部屋によって映りが変わる場合があります。	23～24 — — — 126 151～152 55 40
色がつかない。 色がおかしい。	● 色の濃さの調節をしてください。 ● 色あいの調節をしてください。	126 126
画面の横幅が圧縮されて、 左右に黒い帯が出る。	● 画面サイズが「標準」になっていませんか。 →「サブメニュー」→「ワイド切換」で、映像に合った画面サイズを選んでください。	58～59
「スムーズ」を選んでいるのに、 左右に黒い帯が出る。	● ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。	58～59
字幕が切れる。	● 画面サイズによっては切れる場合があります。 →メニュー機能で画面の上下の位置（垂直位置）を調整してください。	148
画面が暗い。 夜になると画面が暗くなる。	● 明るさセンサーが設定されていませんか。 ● 映像モードが変更されていませんか。 ● コントラストの調節を確認してください。 ● ご購入時の画質に戻すことができます。	129 125 126 128
チャンネル   で、 チャンネルを選べない。	● 「選局対象」が「ラジオ」または「データ」になっていませんか。 →「選局対象」を「すべて」にしてください。 たとえばBSデジタル放送で「選局対象」を「データ」にした場合は、地上デジタル放送と110度CSデジタル放送もチャンネル   ではデータ放送以外の選局ができません。	122
外部入力画面が 選べない。	● 「入力スキップ設定」が「する」に設定されていませんか。	149
テレビの上部や液晶パネル 面の温度が高い。	● 本体上面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。 （本体の通風孔をふさがないように、お使いください。）	—
テレビからときどき 「ピシッ」と音がする。	● 室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。	—
一発録画がなかなか 始まらない。	● 「ディスク省電力」が「入」になっていませんか。	144
映像の動きが不自然。	● 「デジタルシネマ」が「自動」になっていませんか。映像によっては動きが不自然になることがあります。 →「デジタルシネマ」を「切」にしてみてください。	126～127

故障かな？と思ったら(つづき)

■ デジタル放送のとき（共通）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
デジタル放送が映らない。	● B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。	22
リモコンで操作できない。	● デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、 ①② ～ ①③ ボタンがデータ操作に使われる場合があり、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル  や番組表でチャンネル切換をしてください。	—
字幕や文字スーパーが出ない。	● 「字幕」が「切」に設定されていませんか。 →「日本語」に設定してください。 ● 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 ● 本機で録画モードXP～EPで録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。	50 — 75・100

■ 地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	● UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 →地上アナログ放送終了以降、放送電波環境の見直しが続いています。対象地域では受信状態が変わることがあります。くわしくは総務省テレビ混信対策センター P.153 へお問い合わせください。 ● 地上デジタル放送の場合は、「受信設定」の「アッテネーター」の設定を切り換えると、映りが改善されることがあります。	— 153
映像や音が出ない、またはときどき出なくなる。 映像が静止する、またはときどき静止する。	● 受信レベルが低い状態でご覧になっていませんか。 →受信レベルが低いと、天候や近隣の環境（建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など）の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなることがあります。 ● UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 →「アンテナレベル」で受信レベルを確認することができます。何らかの要因で受信レベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	124・153 124・153
地上デジタルの放送局のロゴマークが表示されない。	● 地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。 ロゴマーク情報の送信時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。	—

■ BS・110度CSデジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	●「受信設定」→「衛星」→「アンテナ電源」で「入」を選んでいませんか。 ●BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 ●BS・110度CSアンテナ線を分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。くわしくは電気店他にお問い合わせください。 ●分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 ●アンテナ接続コネクタがプラスチックのものをお使いの場合、正しく加工されていますか。→「アンテナレベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。	154 — — — 124・154
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。	●アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 ●アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。→「アンテナレベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。	— 124・154
データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り換わった。	●データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違っリモコンの 13 ~ 12 ボタンを押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。	—
特定のチャンネルの映像や音声がなくなったり、または時々出なくなる。	●本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していないですか。 →BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声がなくなることがあります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。	—
有料放送の視聴ができない。	●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。 ●有料放送を視聴するための手続きをされていますか。 →視聴契約の手続きをしてください。	22 163
BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。	●110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。 →くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。 ●ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。 →くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。 ●契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 ●110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。 →くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。	— — — —
急に画像や音質が少し悪くなった。	●降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	—

BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着すると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

故障かな？と思ったら(つづき)

■ SDカードの出し入れ・USB機器の接続

●画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
本機の設定画面やサブメニューが出ない。 表示されない項目がある。	●設定や項目の操作ができない場合は、選べなかったり表示されません。	—
本体（ハードディスク）やSDカードが正常に動作しない。	●露付きが起きているませんか。 →電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。 外付（ハードディスク）やカセットHDDにも同じことが起こることがありますが、外付やカセットHDDに関してはメーカーにお問い合わせください。	13
SDカードの操作ができない。 SDカードの内容が読めない。	●SDカードを入れていますか。	101
	●SDカードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。	101
	●パソコンで編集されたデータは読めないことがあります。	—
	●SDXCカードには対応していません。	—
USBの操作ができない。 USBの内容が読めない。	●本機で対応しているUSB機器を接続していますか。	103
	●USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。	101
	●SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。	102～103
	●録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。	—
USB機器を接続したら、外付ハードディスクを登録するためのメッセージが表示される。	●容量が160GB以上のUSB機器は外付ハードディスクとして認識します。そのため登録画面が表示されます。	—
	→USB接続による本機への読み込みはできません。SDカードが使える機器であればSDカードで中継する、など工夫すれば画像が取り込める場合があります。	
	→外付ハードディスクとして使用する場合は、登録してください。登録（初期化）すると、USB機器内の記録情報が消去されます。	
	→USB機器内の記録情報を消去したくない場合は、登録しないでください。	
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった。	●USB機器から静止画再生中または映像取り込み（ダビング）中に、「USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。」というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。 →USBケーブルの接続を外してください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	102・118

■ 番組表 (P.52 もご覧ください。)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
番組表が表示されない。 番組表が8日分表示されない。	● お買上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。	52
予約した番組と録画された番組が合っていない。	● 番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。	52

■ 録画・録画予約 (P.66・69～80 もご覧ください。)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
録画できない。	● 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていますか。 ● 「録画禁止」番組を録画していませんか。 ● 本体やカセットHDDの残量時間が不足していませんか。 → 不要な番組を削除するか、別のカセットHDDに録画してください。 ● 番組数がいっぱいになっていませんか。 → 不要な番組を削除するか、別のカセットHDDに録画してください。 ● 録画番組数が録画可能数を超えていませんか。 録画可能数を超える録画はできません。	— 70 49・105 104～105 71
スカパー！プレミアムサービスチューナーから予約録画した番組が録画できない。	● 「ホームサーバー機能」が「切」になっていませんか。	138
録画予約できない。 録画予約した番組が録画されない。	● 予約スキップをしていると、録画されません。 ● 停電があったときは、正しく録画されません。(テレビからのお知らせで確認できます。) ● 時計 (特に年や月) が合っていますか。 ● 初期化 (フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。	87 71・123 157 —
番組の最後まで録画できていない。 予約で録画した最後の部分が録画できていない。	● 予約が重なっていませんか。 ● 前の予約の終了日時と後の予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。	78 78
2番組を同時に録画できない。	● 2番組を同時に録画できない組み合わせがあります。	77
録画しても字幕が記録されない。	● デジタル放送の字幕がある番組を録画モードXP～EPで録画する場合は、「録画予約設定」の「字幕焼きこみ」の設定を「あり」にすると字幕が記録されます。(再生中の字幕の入/切はできません。)	75・137
延長になった番組が最後まで録画できていない。	番組が延長になったときに追跡録画できるのは番組表から予約した番組のみです。また、次のような場合、番組の延長部分が録画できません。 ● 延長になった時間部分に他の予約が入っている場合、後から始まる番組の方が優先されるため、延長になった番組の録画は中断され、後から始まる番組の方が録画されます。本機は2番組同時録画ができますので2番組までは録画されますが、同時録画できない条件がありますので、その場合は延長となった番組の録画は中断されます。 ● 放送局からの番組情報の送信されかたにより、番組変更情報を本機で判別できない場合があります。その場合は録画が中断されます。	86

故障かな？と思ったら(つづき)

■ 再生

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
番組の最初から再生が始まらない。	● つづき再生になっていませんか。	96
録画一覧画面に、録画した番組が表示されない。 録画一覧画面に、録画中の番組が表示されない。 (追いかけ再生ができない。)	● 録画一覧画面で該当するジャンルのラベルを選んでいませんか。 →録画一覧(全)画面に切り換えると、すべての番組が表示されます。	95
再生中の映像が乱れる。	● 早送り/早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 ● 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。 ● 放送を録画したときの電波状態が悪かった可能性があります。	— — —
音声が出ない。 字幕が出ない。	● AVアンプなどを接続している場合、接続している機器について次のことを確認してください。 ・接続した機器の電源が入っていますか。 ・接続した機器の入力切替が合っていますか。 ・ケーブルやコードを正しく(入力/出力も含む)接続していますか。 ● AVアンプなどを接続している場合、「光音声出力設定」が、接続しているアンプなどに合わせて、正しく設定されていますか。 ● 本機で録画モードXP~EPで録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。	28 134 75・100
二重音声(二カ国語音声)が切り換えられない。 日本語と英語が切り換えられない。	● 「録画設定」の「二重音声選択」で設定されている音声で記録されます。 →録画前に、これらの設定を確認してから録画してください。 二重音声(主+副)の二カ国語番組では、 ● 「XP記録音声」設定を「LPCM」にしてXPモードで録画していませんか。 ● マルチ音声の二カ国語番組をXP~EPモードで録画していませんか。	136 75~76・136
デジタル音声(光)出力から出力している二重音声を本機の音声切替操作で切り換えられない。	● 「光音声出力設定」を「自動」に設定してデジタル音声出力端子から音声を出力しているときは、本機の音声切替で音声を切り換えることはできません。 →設定を「PCM」にするか、アンプ側で音声を切り換えてください。	134
家庭内ネットワーク機能でつないだテレビから視聴ができない。	● ケーブルは対応しているLAN2端子に接続され、カチっというまで挿入されていますか。 ● ホームサーバー機能を「入」にしていますか。 ● つないだテレビは、DLNAに対応したデジタルメディアプレイヤーですか。LAN端子があるテレビでもデジタルメディアプレイヤーでないものがあります。 ● 本機の動作状態により視聴できない場合があります。	— — — 65
家庭内ネットワーク機能でつないだテレビの映像が途切れたり乱れたりする。	● 無線LANで接続している場合は、通信状態により映像や音が途切れたり乱れる場合があります。	—
外付に移動した番組が録画一覧に表示されない。	● 外付ハードディスクが接続されていますか。 →外付ハードディスク一覧で緑色の丸印となっていなければ本機が外付を認識していません。接続をし直してください。何度か接続をし直しても認識しない場合は、ハードディスクメーカーにお問い合わせください。	45
登録した外付ハードディスクを接続しているのに録画一覧の「  外付」ラベルが選べない。	● 外付ハードディスクに何も番組がないとき、ラベルは薄く表示され選択できません。	94

■ 消去・編集・ダビング (P.104~118 もご覧ください。)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
チャプターマークが追加できない。	●チャプターマーク数がいっぱいになっていませんか。 →不要なチャプターマークを削除してください。	104・110
削除・分割した番組を元に戻せない。	●削除・分割された内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、削除・分割してください。	105・109 ~110
初期化(再フォーマット)した内容を元に戻せない。	●初期化(フォーマット)して消去された内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、初期化してください。	160~161
ダビングすると、元の番組が消える。	●「1回だけ録画可能」番組のダビングや、「ダビング10(コピー9回+ムーブ1回)」番組の10回目のダビングは、「ムーブ(移動)」になり、録画元の番組は削除されます。	70
ダビングしても字幕がダビングされない。	●デジタル放送を録画モードTS、AF~AEで録画した番組をTS、AF~AEでダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。(字幕がある場合のみ)	75

■ 動画配信サービス

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「ネットワーク」が利用できない。	●「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境との接続が必要です。また、「動画配信サービス」を利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。	34~35
	●ネットワークの接続と設定は正しいですか。	141~143
	●「通信設定」画面の「プロキシ」が「使用する」に設定されている場合は、「動画配信サービス」が利用できないことがあります。	143
	●利用環境や接続回線の混雑状況などによって、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。	—
Cookieを受信しますか？の画面が消えず次の画面が表示されない。	●連続して絶え間なくCookieの受信の確認が行われています。「次回からこのダイアログを表示しない」にチェックマークを入れ「OK」とすると確認せず受信するようになるためこの画面は出なくなり、次の画面が表示されます。	—

■ 家庭内ネットワーク

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
プレーヤー機器の番組一覧に表示されない番組がある。	●外付に移動した番組は、プレーヤー機器で再生できないので表示されません。	65
プレーヤー機器で再生できない番組がある。	●プレーヤー機器側で対応していない録画方式の番組は再生できません。 ●2番組同時録画中他、本機の状態により再生できない場合があります。	65 —
接続したテレビ(プレーヤー機器)に番組の一覧が表示されない。	●プレーヤー機器一覧で接続拒否に設定されていませんか。 ●ネットワークの接続が外れたり断線したりしていませんか。	139 32~33

故障かな？と思ったら(つづき)

■ 外付ハードディスク

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
外付ハードディスクを登録できない。	●本機で登録できる外付ハードディスクは、容量160 GB～2 TBまでのUSB HDDだけです。(注：160 GBと表示があっても実質容量が160 GBを切るものは外付として使用できません。接続するハードディスクの取扱説明書などをご確認ください。)	41
	●外付ハードディスクは、8台まで登録することができます。(本機に接続できる外付ハードディスクは1台だけです。)	43
	●本機でダビングなどをしているときは、本機に未登録の外付ハードディスクを接続しても登録画面が表示されず登録はできません。ダビングなどの終了後、メニューから登録を行ってください。	44
他機で初期化された外付ハードディスクが使用できない。	●本機以外(同一型式の当社モデルを含む)で使用した外付ハードディスクを本機で使用するためには、本機で登録する必要があります。登録すると、外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。	43
本機で登録した外付ハードディスクが他機で使用できない。	●外付ハードディスクは、登録をしたこの機器でのみ使用することができます。(同一型式の当社モデルでも使用できません。)	43
外付ハードディスクに録画やダビング(録画)ができない。	●外付ハードディスクに録画することはできません。 本体/外付ハードディスク間の番組の移動をすることができます。	66・91
本体と外付ハードディスクの間で番組の移動ができない。	●移動できる番組は、録画モードTS、AF～AEの番組だけです。	91
	●次の番組は移動できません。 ・録画モードXP～EPの番組 ・保護されている番組 ●「一旦、外付ハードディスクを取り外してから…」と表示が出るときは、外付ハードディスクを接続し直してください。何度か接続し直しても表示が出る場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。	91 46
本体と外付ハードディスクの間で番組のコピーができない。	●本体/外付ハードディスク間の番組のコピーはできません。 移動だけとなり、移動後は移動元の番組が削除されます。	91

■ その他

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
時計がずれる。 (デジタル放送を受信していない場合のみ)	●本機には、ジャストクロック(時計の自動修正機能)はありませんので、時間経過とともに時計がずれます。(1か月で数分程度) デジタル放送を受信できる場合は、時計が自動修正されます。	—
視聴制限設定の暗証番号 (パスワード)を忘れた。	●「全情報の初期化」を行って本機をお買上げ時の状態に戻す必要があります(本体の録画内容も消去されます)ので、暗証番号を忘れないようにしてください。	159

●「アクトビラ」に関するお問い合わせは、 アクトビラ・カスタマーセンター

受付時間 10:00～19:00 年中無休<元日を除く>
TEL 0570-09-1017

(2016年6月現在)

●「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせ先は、 TSUTAYA TV 公式情報サイトでご確認ください。

TSUTAYA TV 公式情報サイト <http://tsutaya-tv.jp>
または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認ください。

(2016年6月現在)

●スカパー！放送サービス及びご契約内容の変更に関するお問い合わせは、 スカパー！カスタマーセンター

フリーダイヤル 0120-039-888
受付時間 10:00～20:00 <年中無休>
電話番号はお間違いのないようにお願いします。
お電話いただく前に、有料放送契約約款
(<http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/>)の内容をご確認ください。
※個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー
(<http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/>)に記載しております。

(2016年6月現在)

メッセージ表示一覧

本機では、テレビからや放送局からのお知らせとは別に、状況に合わせて画面に「メッセージ」が表示されます。

■ 操作全般

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
アンテナ電源を確認してください。 くわしくは取扱説明書をご覧ください。 (E209)	● 映像が映っていない場合は、アンテナ線の芯線と編組線が接触していないか、受信設定でアンテナ電源の設定が間違っていないかを確認してください。 映像が映っている場合は、電源の設定をお使いの環境に合わせて切り換えます。	23・154
B-CASカードを正しく挿入してください。	● B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。	22
地上デジタル放送を受信するためには チャンネルスキャンを行う必要があります。 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「放送設置」 →「チャンネル設定」→「地上デジタル」より チャンネル設定を行ってください。	● チャンネル設定が必要です。メニューの「設定」の「初期設定」 「放送設置設定」から、「チャンネル設定」で地上デジタルの 「初期スキャン」を行ってください。	151
放送を受信できません。 悪天候やアンテナ設置に問題がある場合もあります。 E202	● 受信レベルが低くて受信できません。アンテナの接続や向きを確認してください。 ● アンテナ線や配線器具が古いと一部のチャンネルが映らないなど、受信状態が悪くなる場合があります。一旦外して、芯線の折れやぐらつき、さびなどがないか確認し、再度しっかり接続し直してください。場合により新しいものに交換してください。	124・154 40
まもなく予約録画を開始します。 現在の操作を完了させないと予約録画ができません。現在の操作を中断しますか？ ----- まもなく予約録画を開始します。録画の準備をしてください。	● まもなく予約の録画が始まりますが、現在予約を実行できる状態ではありません。 → 予約を実行する場合は、録画できるように準備をしてください。	—
まもなく予約録画を開始します。この操作はできません。	● まもなく予約の録画が始まるため、その操作を行うことはできません。 → 「同時操作について」も合わせてご覧ください。	79～80
録画中はこの操作はできません。	● 現在録画中のため、その操作を行うことは禁止されています。 → 「同時操作について」も合わせてご覧ください。	79～80
しばらくお待ちください。	● 停電復帰時など、システムの設定中です。設定が終わるまで操作ができませんので、しばらくお待ちください。	—

■ お知らせ

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
 (画面表示ボタンを押したとき)	● 新着の「テレビからのお知らせ」または「放送局からのお知らせ」があります。 → お知らせの内容を確認してください。	123

■ SDカードの出し入れ・USB機器の接続

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
SDカードに異常が発生しました。	● SDカードのデータを正しく読み込み/書き込みできませんでした。 →  を押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出してもう一度正しく入れ直してください。	101
未対応のSDカードか傷や汚れのため読み込めません。SDカードを取り出して確認してください。	● 本機で対応できないSDカードが挿入されたか、傷や汚れのあるSDカードが挿入されています。 →  を押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。 - SDカードの取り出しについては P.101 をご覧ください。	67・103
USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。	● USB機器からJPEG再生中または映像取り込み（ダビング）中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 → USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	103・118

■ 番組表

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
番組がありません。	● 番組表を表示するための情報がありません。（お買上げ時は、番組データを取得するまでは番組表内に番組が表示されません。）	52～53

■ 録画

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
残量不足のため、録画を中断しました。	● 本体の残量がなくなったため、録画を中断しました。	—
8時間を超えたため、録画を停止しました。	● 連続録画時間が8時間になったため、録画を停止しました。 ● 1番組あたりの連続録画可能時間は最大8時間です。	72

メッセージ表示一覧(つづき)

■ 予約

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
予約が重なっています。 予約情報を確認してください。	● 予約日時が重なっています。 → (決定) を押してメッセージを消したあと、日時を変更してください。	78
残量が不足しています。	● 本体やカセットHDDの残量が不足しています。 → (決定) を押してメッセージを消したあと、本体やカセットHDDの残量を確認してください。	49
予約の設定内容が不足しています。	● 時刻指定予約で未設定の項目や設定が間違っている項目があります。 → (決定) を押してメッセージを消したあと、必要な項目を変更してください。	85
予約日時が間違っています。	● 開始と終了が同時刻になっています。	—
現在、録画中です。この予約はできません。	● 録画中に、その録画が終了する前に録画が始まる時間で、その録画中には録画できない条件の予約をしようとしています。	—
予約数がいっぱいなので予約登録できません。	● ユーザー予約数がいっぱいのため、それ以上予約できません。 総予約数は最大80番組です。 → 不要な予約を削除してください。	69 88
本体残量がわずかです。不要な録画番組は削除してください。 ----- 本体の残量不足で録画を中断する場合があります。 不要な録画番組は削除してください。	● 本体に録画できる時間がわずかになっています。一発録画中、予約録画中に残量がなくなり録画が中断する可能性もありますので不要な録画は消去して残量を増やしてください。	105

■ 再生

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
再生できるファイルがありません。	● JPEGのデータを正しく読み込みできませんでした。 ● 再生できるJPEGファイルがありません。	103 103
再生できませんでした。	● JPEGのデータを正しく再生できませんでした。	103

■ 消去・編集・ダビング

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
これ以上選択できません。	● 複数番組を一度に削除できる番組数がいっぱいになっています。複数番組を一度に削除できる番組数は、最大20番組です。 ● ダビング時、複数選択できる番組数がいっぱいになっています。複数選択できる番組数は、最大18番組です。	105 114
この位置に設定できません。	● 番組の部分削除で、開始点と終了点の間隔が短すぎます。チャプターがあるところや、そのすぐ近くには設定できません。	109
この番組はダビングできません。	● ダビングができない番組をダビングしようとしています。	—
これ以上、番組を追加できません。 番組登録画面に戻るには、いずれかの番組を削除してください。	● ダビング一覧の登録タイトル数がいっぱいになっています。ダビング一覧に登録できるタイトル数は最大18です。	114
ダビング先の空き容量が足りません。 ----- ダビング先の残量が不足しているため、ダビングできません。	● ダビングタイトルの総容量がダビング先の空き容量（残量）を超えています。 →ダビングする番組数を減らす、録画モードを変える、などにより容量を減らすことができます。	—
ダビングができませんでした。	● ダビング先の容量不足などによって、ダビングができませんでした。	—
録画中はダビングできません。	● 録画中はダビングができません。	80
以下の理由で、この外付ハードディスクはご使用いただけません。 ・容量が160GB～2TBの範囲外 ・外付ハードディスクに異常が発生 登録済みの場合、登録は削除され外付ハードディスク内の番組は再生できなくなります。取り外してください。 ----- 外付ハードディスクに異常が発生したため、ダビングができませんでした。 一旦、外付ハードディスクを取り外してから接続しなおしてください。 ----- 外付ハードディスクに異常が発生しました。 一旦、外付ハードディスクを取り外してから接続しなおしてください。	● 外付ハードディスクに異常が発生しています。画面表示内容に当てはまらない場合は、お買い上げのメーカーへお問い合わせください。	—

メッセージ表示一覧(つづき)

■ テレビを見ているとき

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
未登録の外付ハードディスクが接続されています。 「外付ハードディスク一覧」から登録を行ってください。	● 接続されている外付ハードディスクはまだ登録が完了していません。このままでは使用できませんのでメニューの「設定」→「機能設定」→「外付ハードディスク設定」→「外付ハードディスク一覧」から登録を行ってください。	44
外付ハードディスクが未接続状態になりました。 外付ハードディスク内のデータが壊れる可能性があるため、 取り外しは「外付ハードディスク取外し」から行ってください。	● 外付ハードディスクの取り外しが正しく行われませんでした。 録画内容が失われるなど不具合が発生する恐れがありますので必ず「外付ハードディスク取外し」から取り外してください。	46

アイコン一覧

■ ジャンルアイコン

アイコン	アイコンの意味	アイコン	アイコンの意味
	映画		バラエティ
	映画（邦画）		情報／ワイドショー
	映画（洋画）		ニュース／報道
	ドラマ		ニュース／報道（天気）
	スポーツ		アニメ／特撮
	スポーツ（野球）		ドキュメンタリー／教養
	スポーツ（サッカー）		劇場／公演
	スポーツ（ゴルフ）		趣味／教育
	音楽		福祉

■ リモコン操作時

アイコン	アイコンの意味
	リモコンコードが、テレビ側とリモコン側とで食い違っているときの、テレビ側のリモコンコード
	

用語の説明

アイコン

さまざまな意味を簡潔に記号化したものです。

スクイーズ

4:3 のテレビでは 4:3 サイズに収まるように画像が水平方向に縮小される 16:9 の映像です。

ビットレート

映像・音声データを記録する際に、1 秒間に書き込む情報量のことをいいます。

マルチビュー放送

1 チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。たとえば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送を行う、などが考えられます。

AAC(エーエーシー)

Advanced Audio Coding の略で、音声符号化の規格の 1 つです。AAC は、CD 並みの音質データを約 1 / 12 にまで圧縮できます。また、5.1ch のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

ARC(オーディオリターンチャンネル)

テレビと AV アンプを HDMI ケーブル 1 本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能です。光デジタルケーブルが不要になります。テレビも AV アンプも ARC に対応している必要があります。

AVCHD(エーブイシーエイチディー)

ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクや SD カードなどに撮影できるように開発された規格です。

GB(ギガバイト)、TB(テラバイト)

HDD や DVD の容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。1 TB = 約 1000 GB となります。

HDMI(エイチディーエムアイ)

High Definition Multimedia Interface の略で、DVD レコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタル AV インターフェースです。

映像信号と音声信号を 1 本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

JPEG(ジエイペグ)

Joint Photographic Experts Group の略で、静止画像データの圧縮方式の 1 つです。

ファイル容量を小さくできる割に画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

MPEG(エムペグ)、MPEG-2(エムペグツー)、MPEG-4 AVC/H.264(エムペグフォー エーブイシー/エイチドット ニロクヨン)

MPEG は Moving Picture Experts Group の略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。

MPEG-2 は、DVD の記録などに使われる方式です。

MPEG-4 AVC/H.264 は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

PCM(ピーシーエム)

Pulse Code Modulation の略称で CD など使われているデジタル信号です。

USB(ユーエスビー)

Universal Serial Bus の略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、デジタルビデオカメラ / デジタルカメラなどを接続して、写真(JPEG)の再生やハイビジョン画質 (AVCHD) 動画の本機への取込み (ダビング) ができます。また、本機では外付ハードディスクを接続して、本体に録画した番組を移動することもできます。

Wi-Fi(ワイファイ)

無線 LAN 機器が標準規格(IEEE 802.11 シリーズ)に準拠していることを示すブランド名です。

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿が柔らかい布で軽く拭きとってください。
また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
 - 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で100倍以上に薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、よく絞ってから軽く拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。水滴がテレビ内部に入らないようにご注意ください。
研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。
アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
 - 水滴や溶剤などがかった場合はすぐに拭きとってください。
そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
 - 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。
ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。
- ※ 表面は傷つきやすいので硬いもので押したりこすったり、たいたりしないように、取り扱いには十分注意してください。
- 画面についたキズは修理できません。
- ※ 手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分ご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。



【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。



内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。
内部にほこりがたまったら使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。
電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

著作権等について

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- マーク、および「acTVila」、「アクトビラ」は(株)アクトビラの商標です。
- 「TSUTAYA TV」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- 『「スカパー！プレミアムサービス Link」ロゴ』は、スカパーJSAT 株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされていません。
 - ・AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画を再生する場合
 - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC 規格に準拠する動画を再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- DLNA[®]、DLNA ロゴ、DLNA CERTIFIED[®] は、Digital Living Network Alliance の商標、サービスマーク、または認定マークです。
- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
©2012-2013 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS[™] NetFront[®]

- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

保証とアフターサービス (必ずご覧ください)

修理を依頼される時は(出張修理)

P.166~177 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

尚、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。

(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。

(ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。

(ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。

(ホ) 受信不能あるいは故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用 性能部品の 保有期間

テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。ただし、部品保有期間内においても故障の状況その他の事情により部品の交換修理以外の対応とさせていただきます場合がございます。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や 修理に関する ご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご連絡していただきたい内容

品 名	日立液晶テレビ
型 式	本 体 : L32-GP35 L43-GP35 リモコン : C-H28
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料

診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

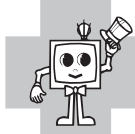
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。



ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全



お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

ホームページに「よくあるご質問」について掲載しておりますので、ご活用ください。

<http://av.hitachi-ls.co.jp/qa/>

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、故障かな?と思ったら **P.166~177** をご覧ください。

商品情報やお取り扱いについての相談窓口	修理に関するご相談窓口
TEL 0120-3121-11 携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料) FAX 0120-3121-34 (受付時間) 9:00~17:30 (月~土)、9:00~17:00 (日・祝日) 年末年始は休ませていただきます。	TEL 0120-3121-68 携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料) FAX 0120-3121-87 (受付時間) 9:00~19:00 (月~土)、9:00~17:30 (日・祝日)

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。

URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/repair.html>

または

「修理相談／受け付け」ページの  出張修理の Web 受付 ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。

<対象製品>

テレビ、ビデオ／レコーダー、冷蔵庫、ルームエアコン、洗濯機、衣類乾燥機

食器洗い乾燥機、ポンプ、電子レンジ、クッキングヒーター

保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って、修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
保証期間	お買上げ日から1年です。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記相談窓口にて、各地区のサービスセンターをご紹介します。
- 本窓口等で取得しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。
- 次のページに「お問い合わせ診断シート」があります。
お問い合わせの前にご確認ください。

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際には、以下の情報が役に立ちます。
このシートにご記入の上、お客様相談センターへお問い合わせください。

お問い合わせ診断シート
お客様ご相談窓口

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

型	式	L32-GP35	L43-GP35
種	類	液晶カラーテレビ	
電	源	AC100 V 50 / 60 Hz	
消 費 電 力		63 W	95 W
		待機時 0.1 W (高速起動「入」設定時 約22W)	待機時 0.15 W (高速起動「入」設定時 約26W)
年 間 消 費 電 力 量		63 kWh / 年 [映像モード：スタンダード時]	87 kWh / 年 [映像モード：スタンダード時]
受 信 機 型 サ イ ズ		32V	43V
区 分 名		DN2 (FHD以外、液晶ノーマル、付加機能2)	DF2 (FHD、液晶ノーマル、付加機能2)
音声	実用最大出力 JEITA	8W + 8W	
ア ン テ ナ 入 力		VHF / UHF 1 軸 75 Ω不平衡形(CATV パススルー対応)	
BS・110度CSアンテナ入力		75 Ω不平衡形 (C15 形) 兼コンバーター用電源(DC 15 V)出力	
受 信 チ ャ ン ネ ル		BS デジタル、110 度 CS デジタル、地上デジタル (CATV パススルー対応、ワンセグ放送除く)	
モ液 ジ ュ ー ル 晶	液 晶 パ ネ ル	32 V型カラーTFT液晶	43 V型カラーTFT液晶
	表 示 画 素 数	1366 ドットX 768 ライン	1920 ドットX 1080 ライン
	バックライトの種類	LED	
有 効 表 示 領 域		幅 69.8 X 高さ 39.3/ 対角 80.1 cm	幅 94.1 X 高さ 52.9/ 対角 108.0 cm
内 蔵 H D D 容 量		1TB	
ハ ッ ド ホ ン		φ 3.5 ステレオミニジャック	
ビ デ オ 入 力 端 子		(映像) 1.0 V(p-p) 75 Ω(同期負極性) (音声) 150 mV(rms) ハイインピーダンス	
音 声 出 力 端 子		φ 3.5 ステレオミニジャック	
H D M I 入 力 端 子		2系統 2端子 ARC対応 (HDMI 1のみ)	
L A N 端 子		10BASE-T/100BASE-TX	
SDメモリーカード挿入口		SD カード、SDHC カード対応(miniSD カード、microSD カードはアダプター装着)	
U S B 端 子		ハイスピード USB(USB2.0 準拠) Type A DC 5 V	
デジタル音声(光)出力端子		角型	
外形寸法	スタンドあり	幅 73.5 X 高さ 48.2 X 奥行 20.6 cm	幅 97.7 X 高さ 63.2 X 奥行 20.6 cm
	スタンドなし	幅 73.5 X 高さ 44.5 X 奥行 10.4 cm	幅 97.7 X 高さ 58.3 X 奥行 10.8 cm
質 量	スタンドあり	8.1 kg	12.4 kg
	スタンドなし	7.3 kg	11.5 kg
キャビネット材質		PC + ABS 樹脂、PS 樹脂	
使 用 周 囲 温 度		0℃～40℃	
許 容 湿 度		80 %最大(結露なきこと)	
リモコン	型 式	C-H28	
	電 源	DC 3 V 単4形乾電池 2 個	

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 「区分名」とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っており、その区分名称を言います。
- テレビのV型（32V型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 「年間消費電力量」とは、省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。
- テレビの省エネ法の改正（2010年4月）により、区分名、年間消費電力量の測定方法が変更になりました。
この取扱説明書では、新基準による「区分名」、「年間消費電力量」を掲載しています。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 日本国外で本品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this tuner in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)
- 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

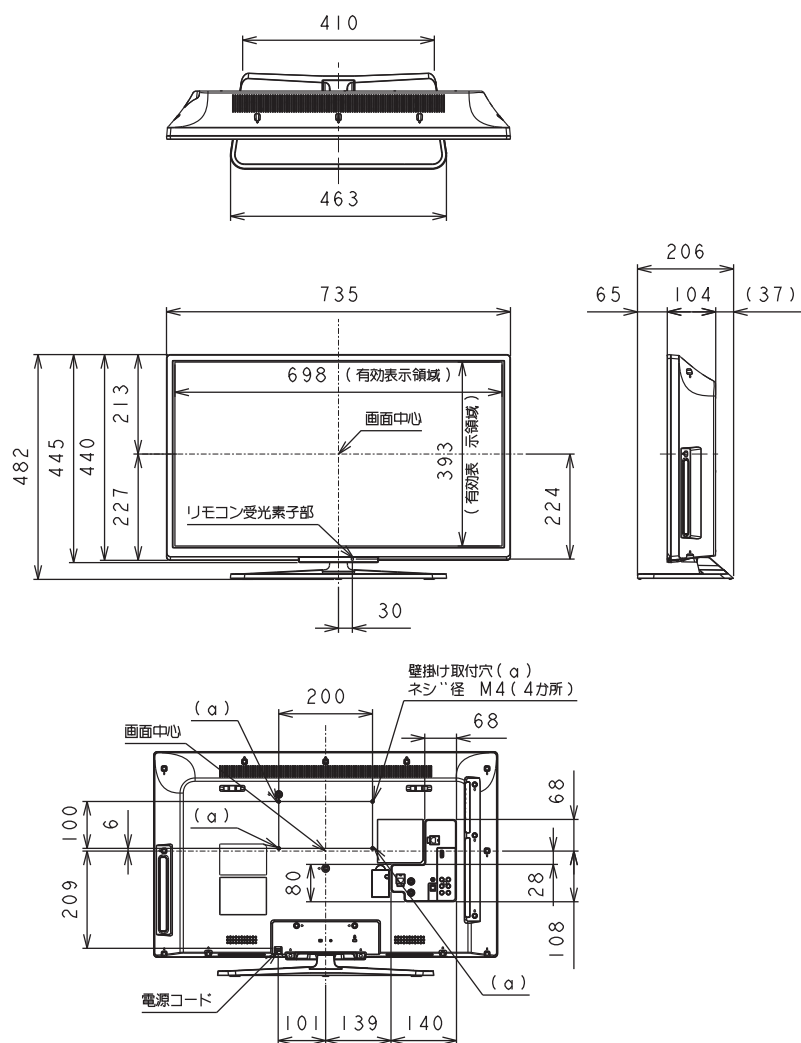
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当りの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
 - ・地上デジタル（HD放送）：17 Mbps ・BS デジタル（HD放送）：24 Mbps
- デジタル放送のデータを圧縮変換して録画する場合の圧縮方法について
 - ・MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

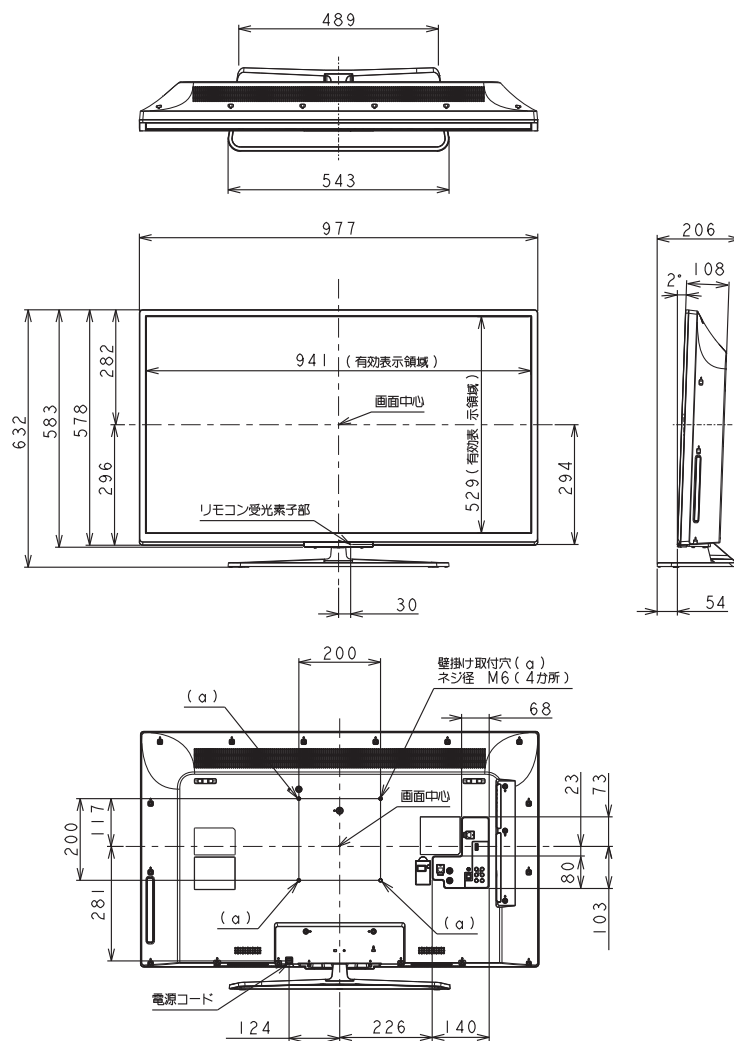
外形寸法について

L32-GP35

(単位: mm)



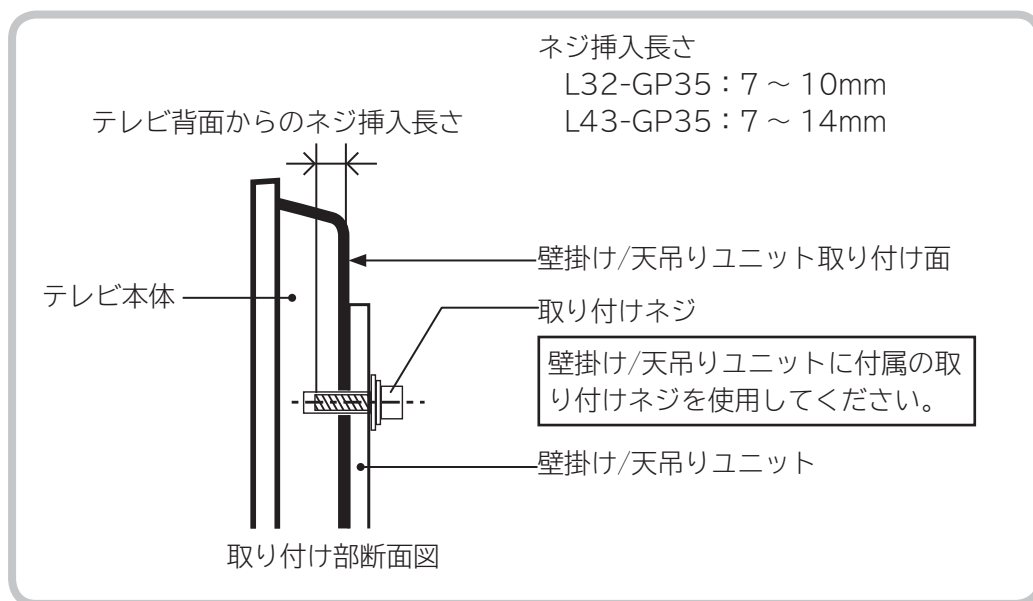
(単位: mm)



壁掛け/天吊りユニット取り付け時について

壁掛け/天吊りユニット取り付け時の注意

- 壁掛け/天吊りユニットを取り付ける際は、壁掛け/天吊りユニットに付属の取り付けネジを使用し、付属の取り付けネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛け/天吊りユニット取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定されています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- 天吊りユニットの場合は、寸法図を参考に天井強度が十分確保されている設置場所を決めてください。
また、天吊りユニットの高さ調節位置や画面の前傾角度、左右角度も事前に設定してください。
- 壁掛け/天吊りユニットの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。



別売の壁掛け/天吊りユニットのテレビ取付金具のネジ取付穴位置と取り付けネジについて

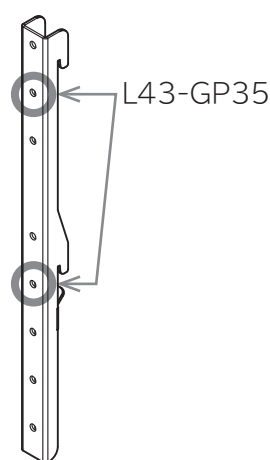
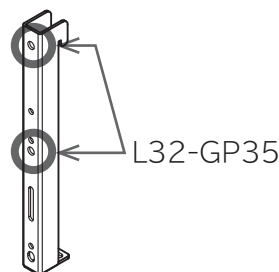
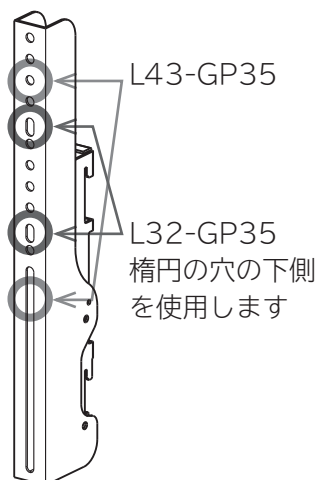
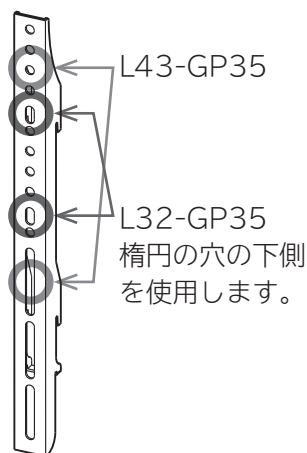
- テレビ取付金具は下記の取付穴を使用してください。
- テレビ取付金具のネジはユニットに付属の L32-GP35 : M4 x 12mm ネジ (4 本)、L43-GP35 : M6 x 16mm ネジ (4 本) を使用してください。
- 締め付けトルクは約 98N・cm (10kgf・cm) としてください。
- 壁掛け/天吊りユニットの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

YH-MF3255 (固定型) (別売)

YH-MV3255 (角度可変型) (別売)

YH-STA2 (天吊り型) (別売)

YH-MTB2 (天吊り型) (別売)



⚠ 注意

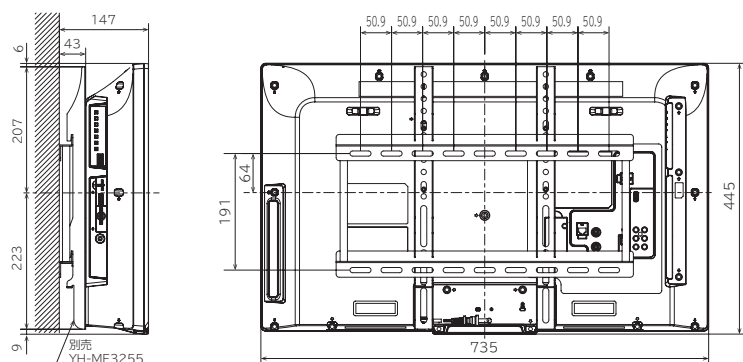
ネジの長さが短すぎるとテレビ本体の重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。
また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。
壁掛け / 天吊りユニット取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。

壁掛け/天吊りユニット取り付け図 L32-GP35

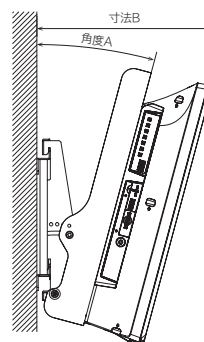
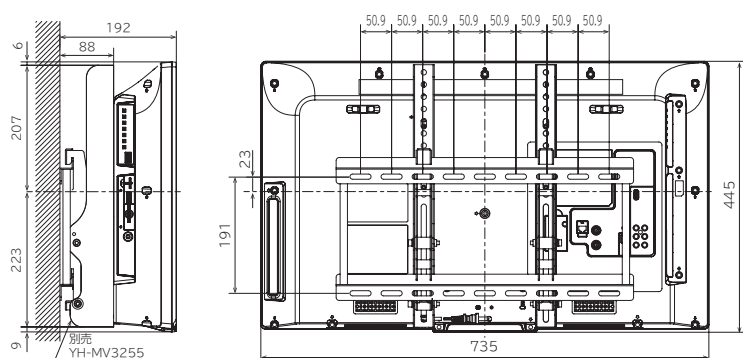
壁掛け/天吊りユニット(別売)取り付け時の寸法

(単位:mm)

YH-MF3255 (固定型)

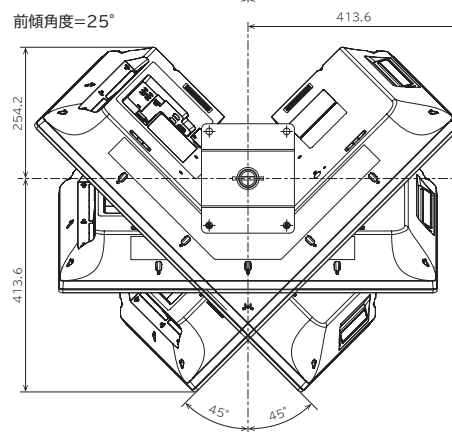
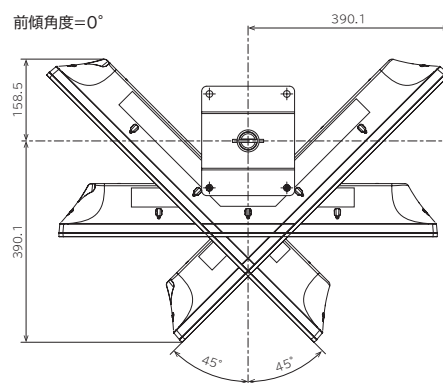
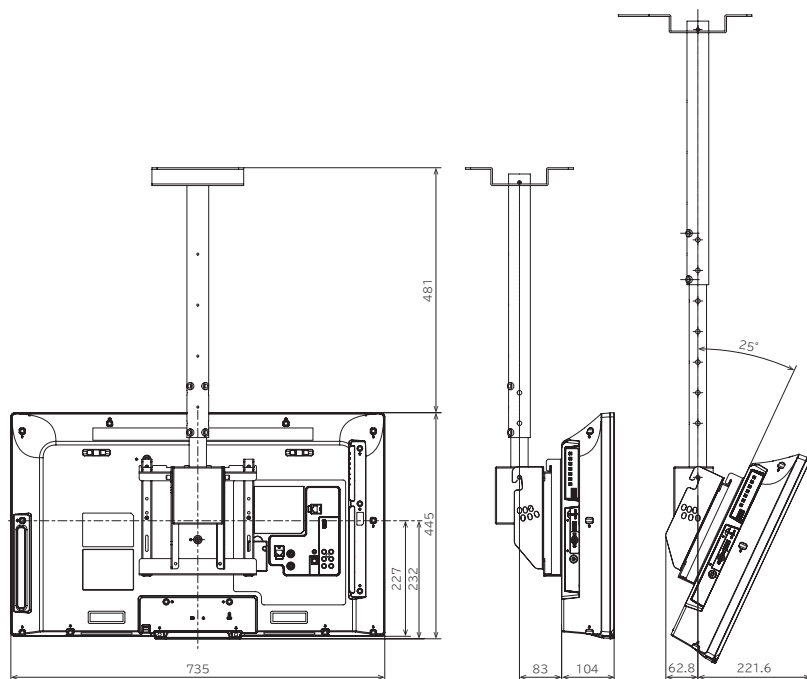


YH-MV3255 (角度可変型)



角度A(度)	寸法B(mm)
5	225
10	258
15	288

YH-STA2(天吊り型)



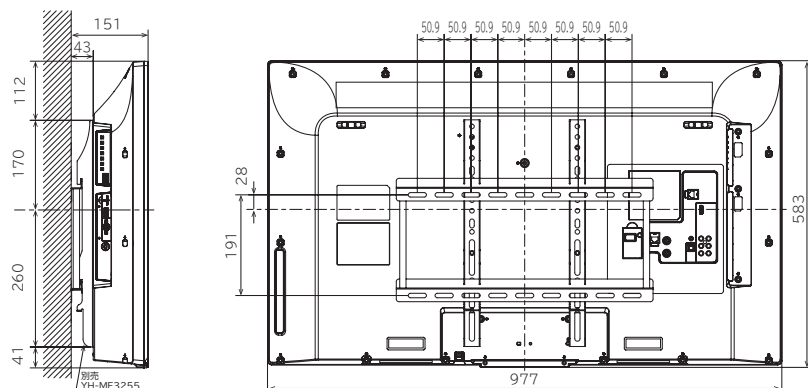
壁掛け/天吊りユニット取り付け図
壁掛け/天吊りユニット取り付け時について

困ったとき

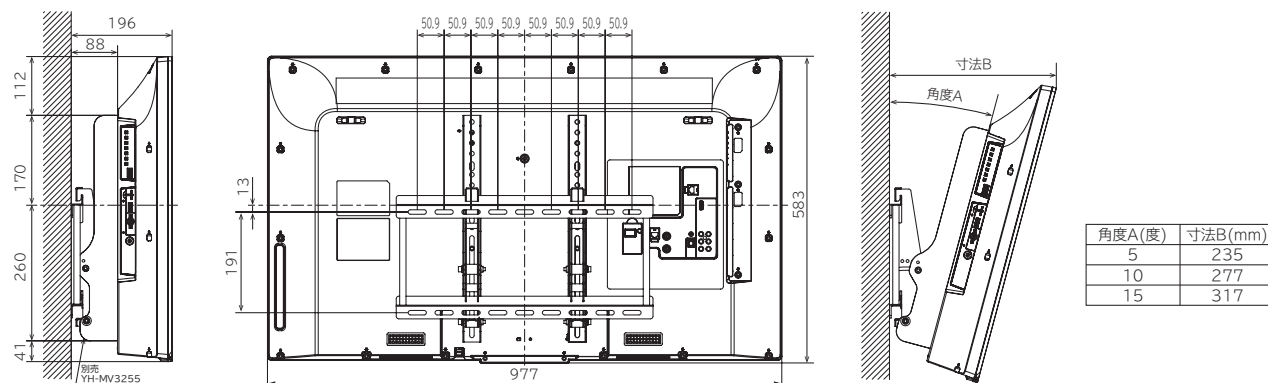
壁掛け／天吊りユニット (別売) 取り付け時の寸法

(単位: mm)

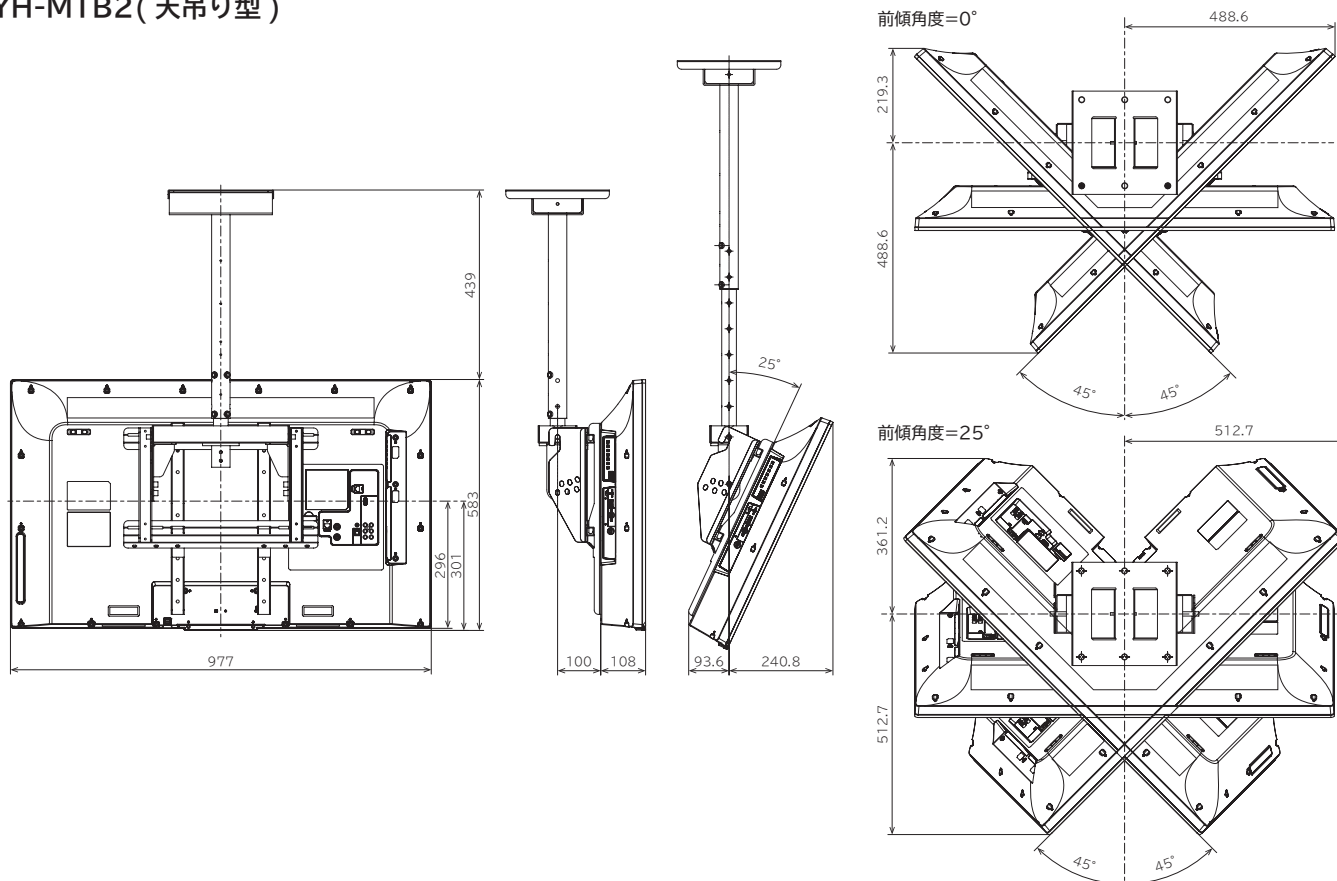
YH-MF3255 (固定型)



YH-MV3255 (角度可変型)



YH-MTB2 (天吊り型)



本製品は、本体とスタンドが別々になっています。

最初に本体とスタンドを確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。

また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。必ず2人以上で作業してください。

1 梱包箱から本体を取り出し、水平な机に置いてください。

※ 本体の重さに耐えることが可能な、本体よりも大きい机をご使用ください。

2 スタンドネックのフックを本体にはめ込んだあと、付属のスタンドネック取付用ネジ(4×18mm) 3本で本体とスタンドネックをしっかりとネジ止めしてください。

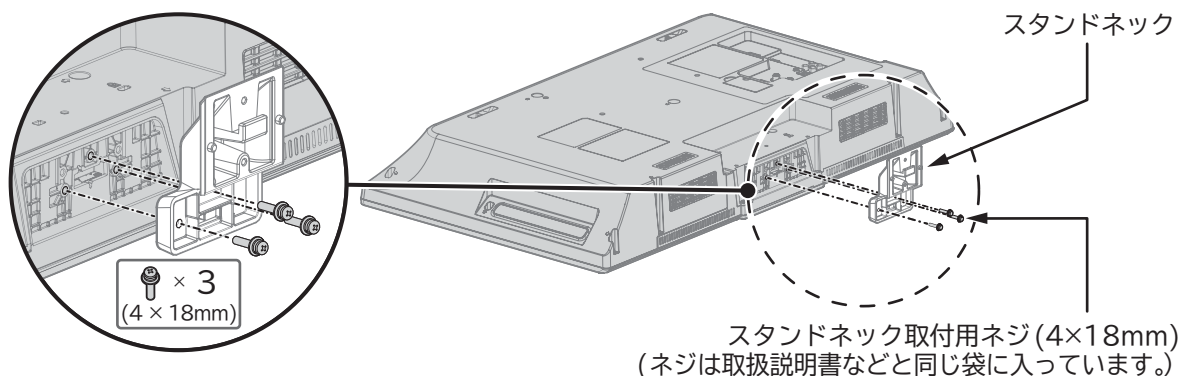
※ 指をはさまないように、ご注意ください。

※ 液晶画面には、触らないでください。(画面に傷や汚れがつく場合があります。)

※ ドライバーはネジのサイズに合ったもの(No.2)をご使用ください。

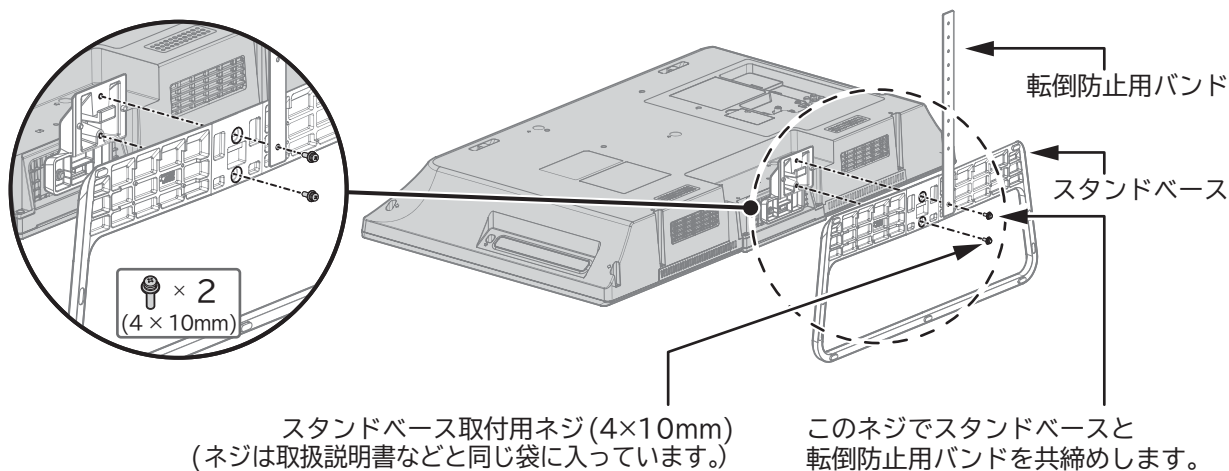
※ ネジの取り扱いにはご注意ください。(お子様が飲み込むと危険です。)

※ スタンドネックを手で持ちながらネジ止めすると、スタンドがずれて取り付けられる恐れがありますので、ネジ止めの際は本体を持つなどし、スタンドネックを直接触らないようにお願いします。



3 付属のスタンドベース取付用ネジ(4×10mm)2本で、スタンドネックとスタンドベース、転倒防止用バンドをしっかりとネジ止めしてください。

※ スタンドベースを手で持ちながらネジ止めすると、スタンドがずれて取り付けられる恐れがありますので、ネジ止めの際は本体を持つなどし、スタンドベースを直接触らないようにお願いします。



全てのネジ止めが完了した後、スタンドベースを手で軽く動かして、ガタつきがない事を確認してください。もし、ガタつきがある場合は、一度ネジを外して、取り付け直してください。

設置後は、必ず転倒防止の処置をしてください。くわしくは、「転倒防止についてのお願い」 P.14 をご覧ください。

壁掛け／天吊りユニット取り付け時についた

困ったとき

本製品は、本体とスタンドが別々になっています。

最初に本体とスタンドを確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。

また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。必ず2人以上で作業してください。

1 梱包箱から本体を取り出し、水平な机に置いてください。

※ 本体の重さに耐えることが可能な、本体よりも大きい机をご使用ください。

2 スタンドネックのフックを本体にはめ込んだあと、付属のスタンドネック取付用ネジ(4×20mm) 3本で本体とスタンドネックをしっかりとネジ止めしてください。

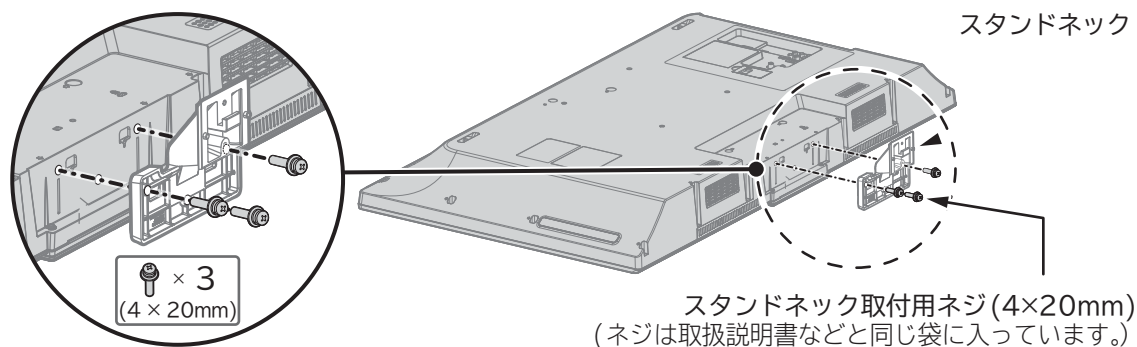
※ 指をはさまないように、ご注意ください。

※ 液晶画面には、触らないでください。(画面に傷や汚れがつく場合があります。)

※ ドライバーはネジのサイズに合ったもの(No.2)をご使用ください。

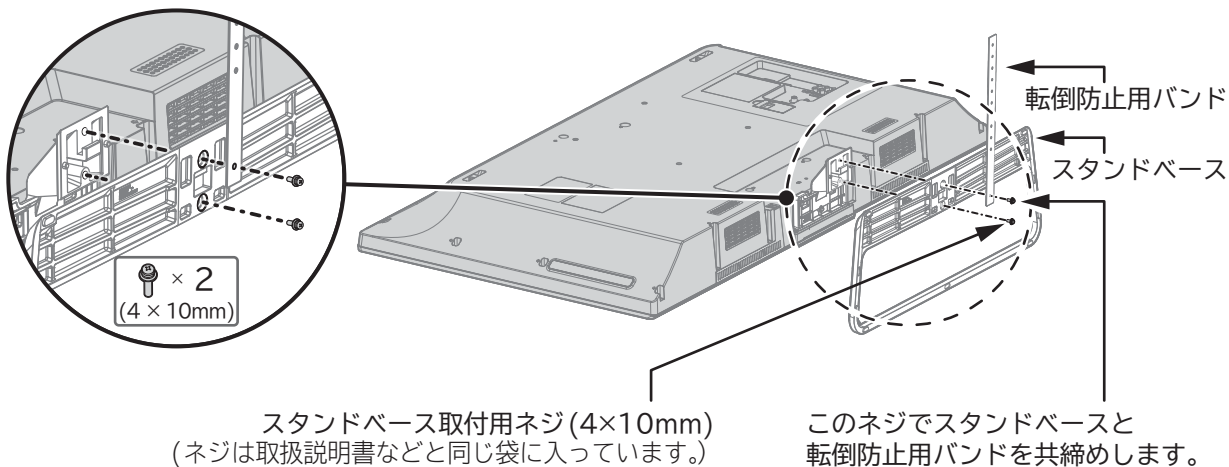
※ ネジの取り扱いにはご注意ください。(お子様が飲み込むと危険です。)

※ スタンドネックを手で持ちながらネジ止めすると、スタンドがずれて取り付けられる恐れがありますので、ネジ止めの際は本体を持つなどし、スタンドネックを直接触らないようにお願いします。



3 付属のスタンドベース取付用ネジ(4×10mm)2本で、スタンドネックとスタンドベース、転倒防止用バンドをしっかりとネジ止めしてください。

※ スタンドベースを手で持ちながらネジ止めすると、スタンドがずれて取り付けられる恐れがありますので、ネジ止めの際は本体を持つなどし、スタンドベースを直接触らないようにお願いします。



全てのネジ止めが完了した後、スタンドベースを手で軽く動かして、ガタつきがない事を確認してください。もし、ガタつきがある場合は、一度ネジを外して、取り付け直してください。

設置後は、必ず転倒防止の処置をしてください。くわしくは、「転倒防止についてのお願い」 P.14 をご覧ください。

索引

あ

アイコン.....55, 166 ~ 167, 183
明るさセンサー.....129
明るさセンサー受光部.....16
頭だし.....98
暗証番号.....135, 145 ~ 146
アンテナ電源.....154
アンテナの接続.....23 ~ 24
アンテナレベル.....124, 153 ~ 154
一時停止(一発録画の).....81
一時停止(再生の).....97
一時停止(ボタン).....2
一発録画.....81
移動する(ダビング)(メニュー).....119 ~ 120
イベントリレー録画.....86, 137
色あい.....126
いろいろな速度の再生.....97
色温度.....126
色にじみ補正.....127
色の濃さ.....126
色補正.....127
色ボタン.....2
映像切換.....50
映像設定.....125 ~ 129
映像設定の初期化.....128
映像モード切換.....125
映像輪郭補正.....127
追いかけて再生.....99
お知らせ(メニュー).....119 ~ 120, 123 ~ 124
おすすめ自動チャプター.....136
お問い合わせ診断シート.....191
オフタイマー(ボタン).....2, 56
オンエアダウンロード.....157
音質設定の初期化.....131
音声、音声言語の切り換え(再生中の).....100
音声切換(ボタン).....2, 51
音声出力先手動切換.....132
音声出力端子.....18, 28
音声設定.....130 ~ 134
音声付き早送り(早見再生).....97
音声の録画について.....75 ~ 76
音声モード切換.....130
オンタイマー.....57
音量(ボタン).....2, 17, 47

か

外部アンプ連動.....60
画質調整.....126
カセットHDD.....66, 68
カセットHDD名称変更.....111
カセットHDD移動取り消し.....74
家庭内ネットワーク.....32, 33, 65
画面サイズ.....58 ~ 59
画面設定.....148
画面表示(ボタン).....2, 49
かんたんセットアップ(初めて).....38

かんたんセットアップ(やり直し).....150
機能設定.....144 ~ 149
黒レベル.....126
決定(ボタン).....3, 119
現在時刻.....49, 157
高音.....131
高速起動設定.....149
故障かな?と思ったら.....166 ~ 177
コピー(ダビング).....112
コマ送り / コマ戻し.....97
コントラスト.....126
コントラスト補正.....127
コントロール部.....16 ~ 17

さ

再生(本体の番組の).....94 ~ 95
再生(AVCHD の動画の).....103
再生(JPEG).....101 ~ 103
再生一時停止.....97
再生設定.....135
再生設定初期化.....136
再生(ボタン).....2
サブメニュー(ボタン).....2, 119, 121
左右バランス.....131
サラウンド.....51, 131
サラウンド音声の録画.....75
サーバー名設定.....140
時刻指定予約.....85
時刻設定.....157
視聴制限設定(再生時の).....135
視聴制限設定(視聴時の).....145 ~ 146
視聴制限(ネットワークの).....145 ~ 146
自動音量補正.....133
自動チャプターマーク.....136
自動追跡(デジタル放送の予約).....86
字幕(ボタン).....2, 50
字幕、字幕言語の切り換え(再生中の).....100
字幕の録画.....75
字幕焼きこみ(設定).....75, 137
字幕焼きこみ言語(設定).....75, 137
シャープネス.....126
ジャンルアイコン.....52, 55, 183
ジャンル検索(番組表の).....54
重低音.....131
受信設定.....153 ~ 154
消音(ボタン).....3
消画.....56
詳細予約.....83 ~ 84
初期化(本機を工場出荷時に戻す).....158 ~ 159
初期化(本体 / 外付 / カセットHDDの録画内容の消去).....160
初期化(SD カードの再フォーマット).....161
初期設定.....150 ~ 157
白バランス.....127
垂直位置調整.....148
水平幅調整.....148
数字ボタン.....2, 4

索引(つづき)

「スカパー！プレミアムサービス Link」

（録画）	30～31, 89～90
スキップ(外部入力)	149
スキップ(再生)	97
スキップ(予約)	87
スクイーズ	184
スタンドの取り付け	197～198
スタンバイ / 受像ランプ	16
スチルモード	135
スライドショー	102
スロー / 逆スロー再生	97
制限設定	145～146
設定(メニュー)	119～120
設定初期化(ディスク)	160～161
設定初期化(本機)	158～159
節電画質設定	38
節約設定	144
選局対象	122
全情報の初期化	159
操作・報知音量	134
外付ハードディスク一覧	45
外付ハードディスクとの接続	41～42
外付ハードディスク取外し	46
ソフトウェア更新	123, 157

た

ダビング(ダビング一覧からの)	113～116
ダビング制限	70～71
ダビング 10(コピー 9 回+ムーブ 1 回) 番組	70
地域設定	152
地上デジタルアンテナ入力端子	18, 23～24
地上デジタル放送	47, 162
地上(ボタン)	2, 47
チャプター(マーク)	67, 110
チャプターマークの追加 / 削除	110
チャンネル設定一覧	164～165
チャンネル設定	151～152
チャンネル ▲ ▼ (ボタン)	3, 17, 47
通信設定	138～143
つづき再生(リジューム停止)	96
データ放送	47
低音	131
停止(ボタン)	2
ディスク省電力	144
ディテール	127
停電時の録画内容(ダビング)	117
停電時の録画内容(録画予約)	93
デジタル音声(光)出力端子	18, 28
デジタルシネマ	127
デジタル放送について	162
テレビからのお知らせ	123
テレビ操作(メニュー)	119～120
電源(ボタン)	2, 17, 37, 47
同時操作(追いかけ再生)	80
同時操作(2 番組同時録画)	80
同時操作について	79～80

取り込む(ダビング)(メニュー)	119～120
時計(ボタン)	3, 49
録る(番組表・予約)(メニュー)	119～120
ドルビーデジタル	134

な

二重音声選択	136
二重音声の録画	75～76
入力切換(ボタン)	2, 17, 48
入カスキップ設定	149
ネット (ボタン)	3
残す(ダビング)(メニュー)	119～120

は

ハードディスク(HDD)	66, 68
バックライト	126
バックライト補正	127
早送り / 早戻し	97
早送り(ボタン)	2
早戻し(ボタン)	2
早見再生(音声付き早送り)	97
番組移動実行中の中止	93
番組手動移動	92～93
番組説明	55
番組説明の表示(番組表)	53
番組データ取得(番組表)	53
番組データの受信 / 表示について	52
番組の移動(本体・外付)	91
番組の削除(録画した番組)	105
番組の名前の変更	107
番組の部分削除	109
番組の分割	109～110
番組の保護、保護の解除	106
番組表(簡単予約)	82
番組表(視聴)	52～54
番組表(詳細予約)	83～84
番組表の見かた	52
光音声出力設定	134
ビットストリーム	28
ビットレート	184
ビデオ入力端子	18, 25, 29
表示文字サイズ切換	156
付属品	21
フリーワード検索(番組表)	54
プレーヤー機器	138～139
プロ調整	126～127
ブロックノイズ NR	127
ヘッドホン設定	132
ヘッドホン端子	17
編集(カセットHDD)	111
編集(番組)	106～110
編集の制限	104
ボード(CS)	124
ホームサーバー設定	138～139
放送局からのお知らせ	123

放送設置設定	151 ~ 154
放送波無効設定	155
本機で使えるメディア・カード	66 ~ 68
本機でできる録画予約	69
本体(HDD)初期化	160
本体操作部ロック	147

ま

毎週 / 毎日録画(時刻指定予約)	85
毎週 / 毎日録画(詳細予約)	83 ~ 84
毎週録画(簡単予約)	82
マルチ番組の録画	75
マルチビュー放送	50, 184
見る(再生)(メニュー)	119 ~ 120
見る(ボタン)	3
無信号電源オフ	144
無操作電源オフ	144
ムーブ(移動)(ダビング)	70, 112
メディア管理(初期化)	160 ~ 161
メニュー(ボタン)	2, 17, 119
文字の入力	107 ~ 108
戻る(ボタン)	3, 119

や

予約(録画)	69 ~ 80, 82 ~ 86
予約一覧画面の見かた	87
予約一覧(ボタン)	3
予約が重なった場合	78
予約スキップ	87
予約の確認	87
予約の取り消し	88
予約の変更	88

ら

リジューム停止(つづき再生)	96
リセット	166 ~ 168
リピート再生	98
リモコンキーロック	147
リモコンコード切換	155 ~ 156
リモコンコード警告表示	156
リモコンコード設定	155 ~ 156
リモコン受光部	2, 16
リモコンの準備	36
リンク	26
リンク設定	147
録画(一発録画)	81
録画(ボタン)	2, 81
録画・再生設定	135 ~ 136
録画一覧画面の見かた	94
録画時間の目安(録画モード別の)	72 ~ 74
録画実行中の予約録画の停止	88
録画制限、ダビング制限	70 ~ 71
録画設定	136 ~ 137
録画設定初期化	137

録画中のチャンネルや入力切り換え	76
録画モード	72 ~ 74, 136
録画モード変換	73, 106
録画予約	69 ~ 80, 82 ~ 86
録画予約設定	137
録画 / 予約ランプ	16

わ

ワイド切換(ボタン)	3, 58
------------	-------

A、B、C・・・

AAC	134, 184
AE モード(設定)	136
AF、AN、AE(録画モード)	72 ~ 74
ARC(オーディオリターンチャンネル)	27, 184
AVCHD	184
AVCHD の動画の再生	103
B-CAS カード	17, 22, 162
B-CAS カード情報の確認	124
B-CAS カードテスト	152
BS デジタル放送	47, 163
BS(ボタン)	2, 47
BS ラジオ放送	47
BS・110 度 CS-IF 入力端子	18, 23
CATV(ケーブルテレビ)放送	24, 29
Ch 番号入力	47
CS(ボタン)	2, 47
d データ(ボタン)	2, 47
DLNA	32, 65
EP(録画モード)	72 ~ 74
EP モード(設定)	136
GB、TB	184
HDD(ハードディスク)	66, 68
HDMI	48, 184
HDMI 映像・音声入力端子	17 ~ 18, 26 ~ 27, 30 ~ 31
HDMI コントロール対応 AV アンプとの接続	27
ID-1 判定	148
JPEG	184
JPEG 再生	101 ~ 103
JPEG スライドショー(設定)	135
LAN 端子	18, 30 ~ 35
LAN 録画	135
LP(録画モード)	72 ~ 74
miniB-CAS カード	17, 22
MPEG、MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264	184
MPEG NR	127
PCM	28, 134, 184
SD カード	17
SD カード初期化	161
SD カードの出し入れ	101
SP(録画モード)	72 ~ 74
TS(録画モード)	72 ~ 74
USB	184
USB 機器の接続	101
USB 端子	17, 41, 101

索引(つづき)

Wi-Fi	184
XP(録画モード)	72 ~ 74
XP 記録音声(設定)	76, 136

1、2、3・・・

「1 回だけ録画可能」番組	70
110 度 CS デジタル放送	47, 163
10 秒バック (ボタン)	2, 97
2 番組同時録画	77
3 次元 NR	127
30 秒スキップ(ボタン)	2, 97

記号

▲▼◀▶ (ボタン)	3, 119
▶▶ (ボタン)	2, 97
◀◀ (ボタン)	2, 97

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

 日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋 2-15-12



Printed in China
A45VBJH
2EMN00547A ★★★★★